
III 調査結果

1 市政全体に関する満足度について

(1) 甲賀市への愛着

「問 7」 あなたは、甲賀市に愛着をお持ちですか。(○は1つだけ)

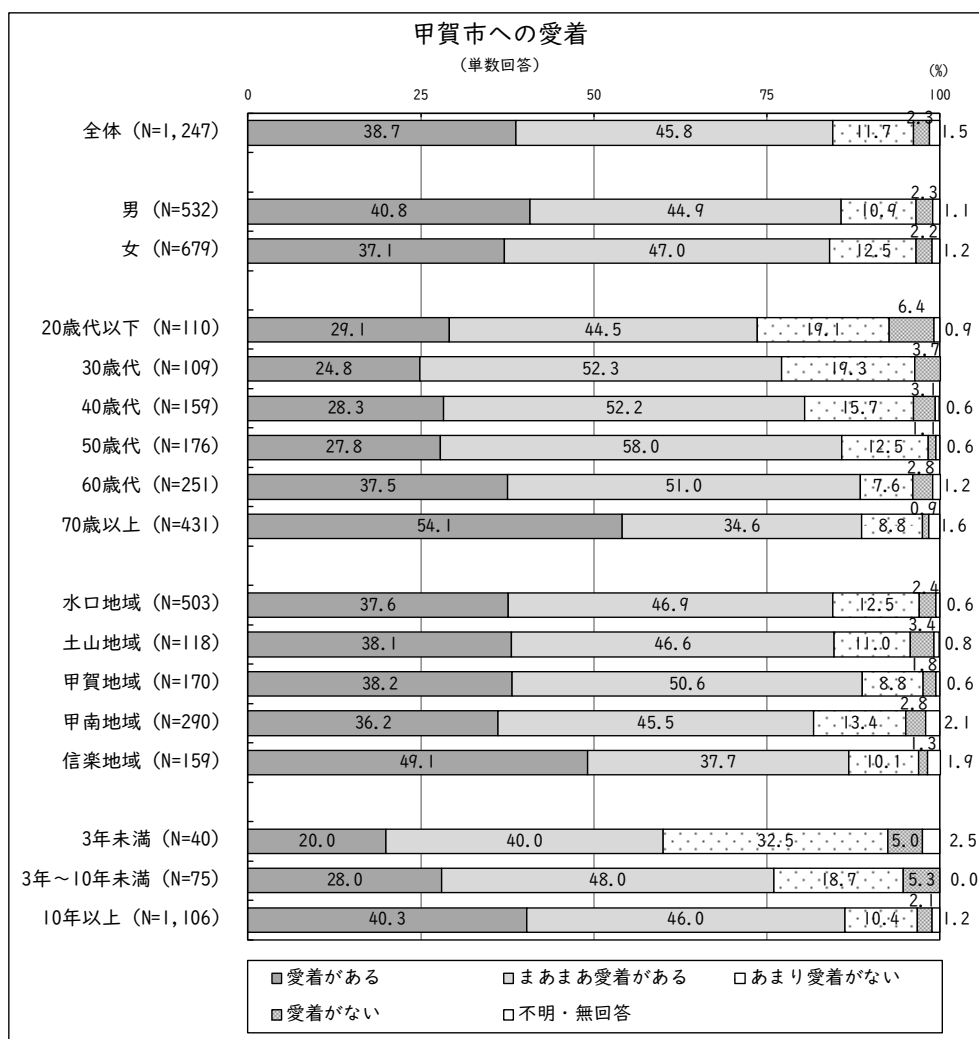
甲賀市への愛着は、「まあまあ愛着がある」が45.8%で最も多くなっており、以下、「愛着がある」が38.7%、「あまり愛着がない」が11.7%、「愛着がない」が2.3%と続いている。「愛着がある」と「まあまあ愛着がある」を合わせた『愛着あり』は84.5%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「まあまあ愛着がある」が最も多くなっている。『愛着あり』の割合をみると、男性は85.7%、女性は84.1%となっている。

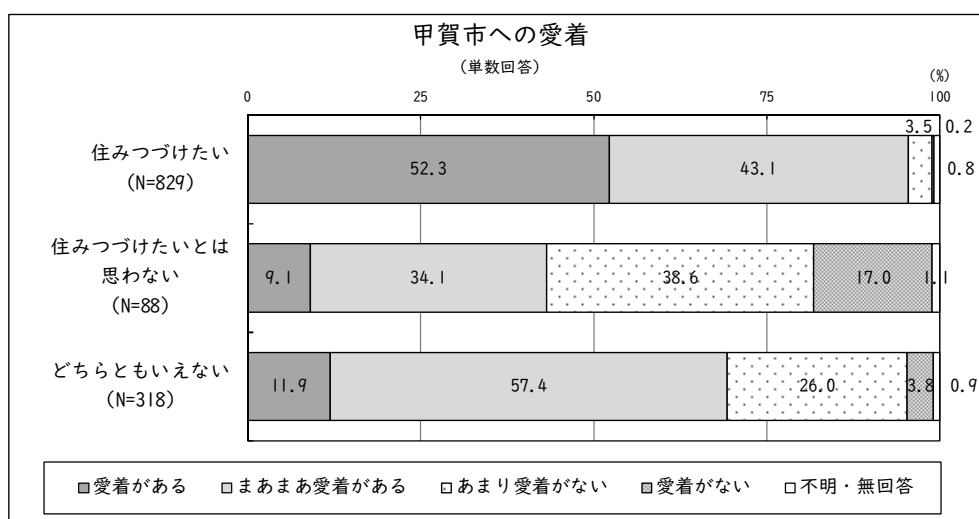
年代別にみると、70歳以上のみ「愛着がある」が、他の年代では「まあまあ愛着がある」が最も多くなっている。『愛着あり』の割合をみると、最も多いのは70歳以上で88.7%、以下、60歳代で88.5%、50歳代で85.8%と続いている。年代が低いほど「あまり愛着がない」が多くなっている。

居住地域別にみると、信楽地域のみ「愛着がある」が、他の地域では「まあまあ愛着がある」が最も多くなっている。『愛着あり』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で88.8%、以下、信楽地域で86.8%、土山地域で84.7%、水口地域で84.5%、甲南地域で81.7%と続いている。

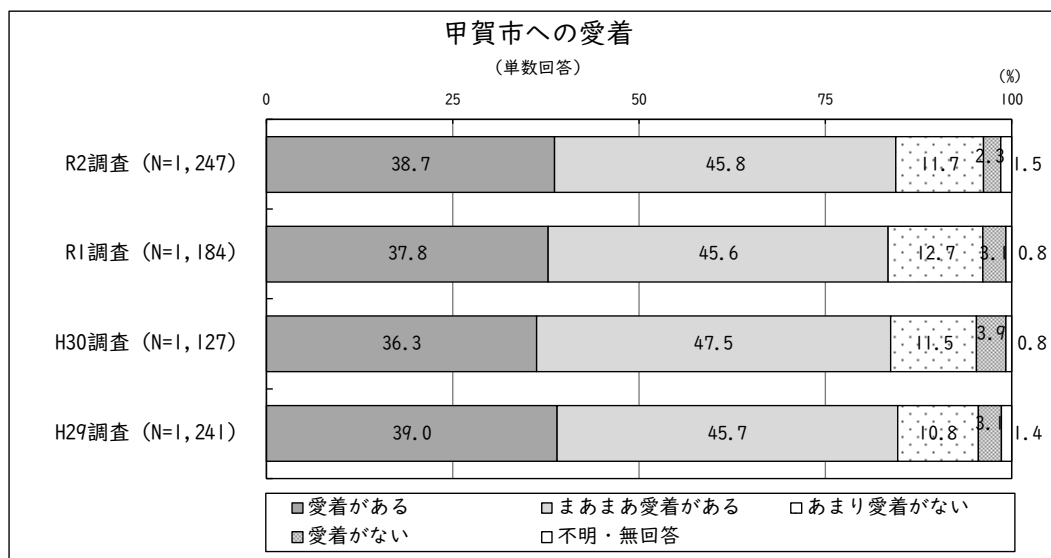
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「まあまあ愛着がある」が最も多くなっている。『愛着あり』の割合をみると、最も多いのは10年以上で86.3%、以下、3年～10年未満で76.0%、3年未満で60.0%と続いている。居住歴が短いほど「愛着がある」が少なく、「愛着があまりない」が多くなっている。



定住意向別にみると、住みつづけたいでは「愛着がある」が、住みつづけたいとは思わないでは「あまり愛着がない」が、どちらともいえないでは「まあまあ愛着がある」が、最も多くなっている。『愛着あり』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 95.4%、以下、どちらともいえないで 69.3%、住みつづけたいとは思わないで 43.2%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「愛着がある」「まあまあ愛着がある」とともにほとんど変化はみられない。



(2) 甲賀市の魅力を自慢できるか

「問 8」 あなたは、甲賀市の魅力を市外の人に自慢できますか。(○は1つだけ)

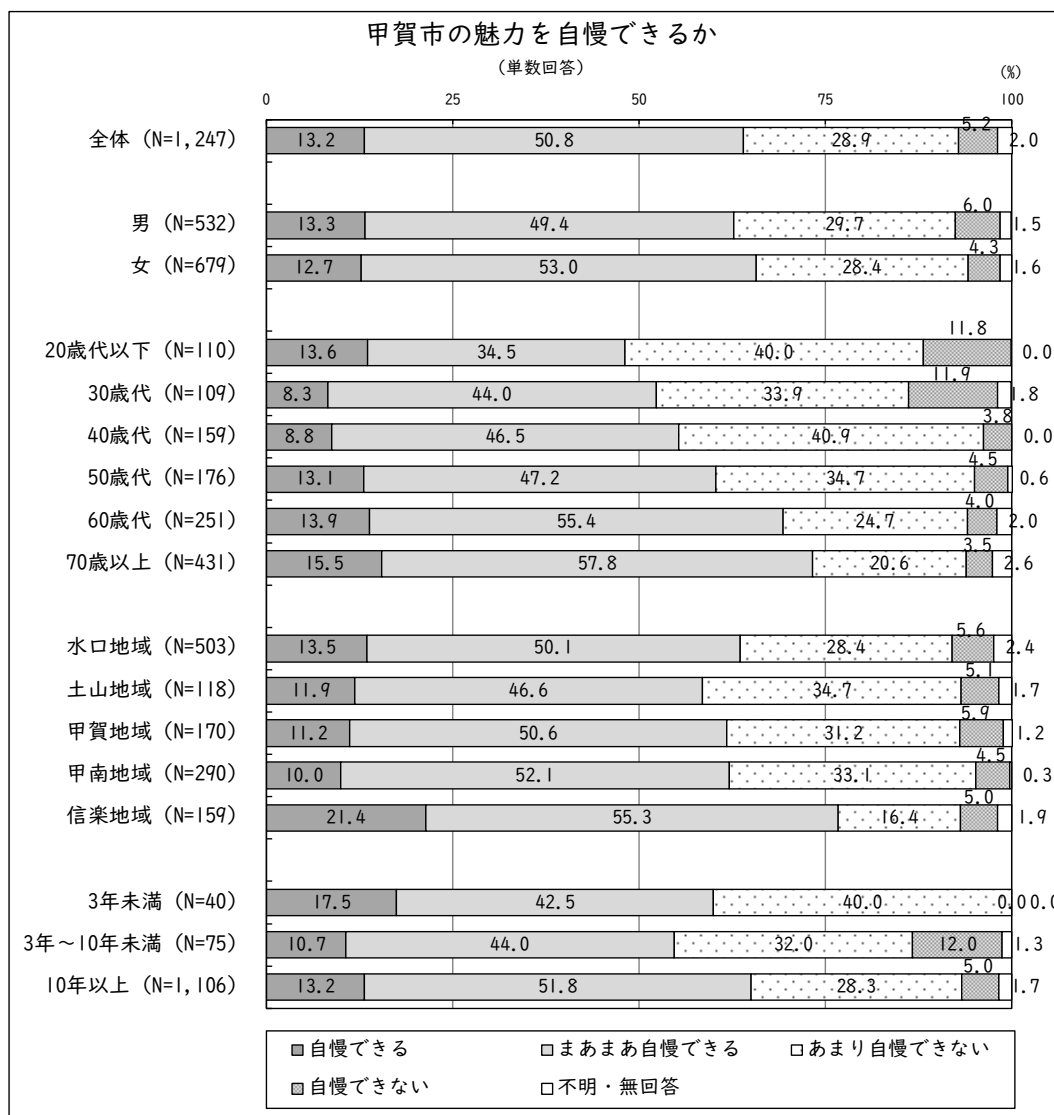
甲賀市の魅力を市外の人に自慢できるかは、「まあまあ自慢できる」が 50.8%で最も多くなっており、以下、「あまり自慢できない」が28.9%、「自慢できる」が13.2%、「自慢できない」が5.2%と続いている。「自慢できる」と「まあまあ自慢できる」を合わせた『できる』は 64.0%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「まあまあ自慢できる」が最も多くなっている。『できる』の割合をみると、男性は 62.7%、女性は 65.7%となっている。

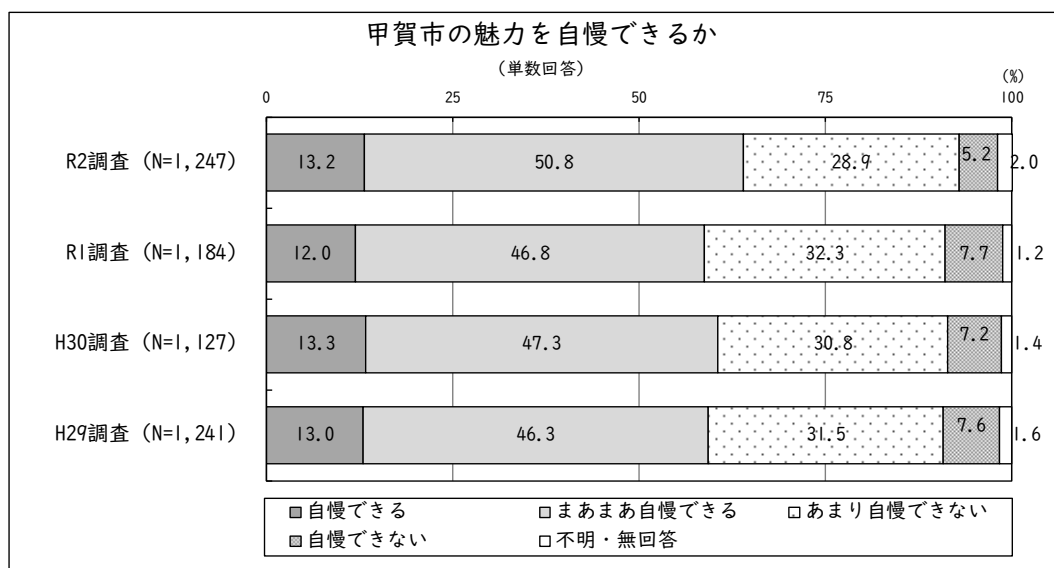
年代別にみると、20 歳代以下のみ「あまり自慢できない」が、他の年代では「まあまあ自慢できる」が最も多くなっている。『できる』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 73.3%、以下、60 歳代で 69.3%、50 歳代で 60.3%と続いている。年代が低いほど「まあまあ自慢できる」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「まあまあ自慢できる」が最も多くなっている。『できる』の割合をみると、最も多いのは信楽地域で 76.7%、以下、水口地域で 63.6%、甲南地域で 62.1%、甲賀地域で 61.8%、土山地域で 58.5%と続いている。信楽地域では「あまり自慢できない」が少なくなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「まあまあ自慢できる」が最も多くなっている。『できる』の割合をみると、最も多いのは 10 年以上で 65.0%、以下、3 年未満で 60.0%、3 年～10 年未満で 54.7%と続いている。居住歴が短いほど「あまり自慢できない」が多くなっている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「まあまあ自慢できる」が多くなっている。



(3) 定住意向

「問 9」 あなたは、これからも甲賀市に住みつづけたいと思われませんか。(○は1つだけ)

定住意向は、「住みつづけたい」が 66.6%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が 25.6%、「住みつづけたいとは思わない」が 7.1%と続いている。

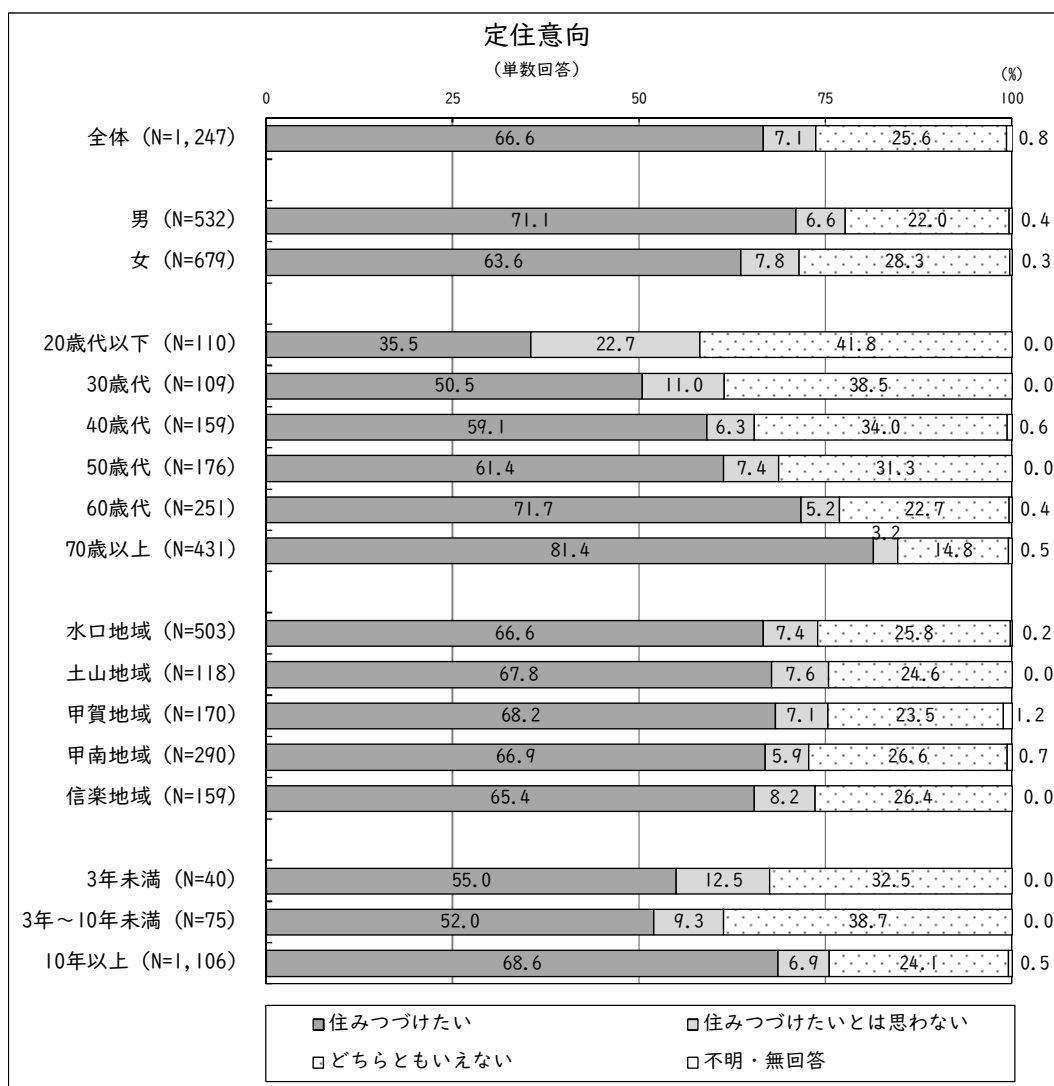
性別にみると、男性、女性ともに「住みつづけたい」が最も多くなっている。「住みつづけたい」の割合をみると、男性が 71.1%、女性が 63.6%で、男性の方が多くなっている。

年代別にみると、20 歳代以下のみ「どちらともいえない」が、他の年代では「住みつづけたい」が最も多くなっている。「住みつづけたい」の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 81.4%、以下、60 歳代で 71.7%、50 歳代で 61.4%と続いている。年代が高いほど「住みつづけたい」が多くなっている。

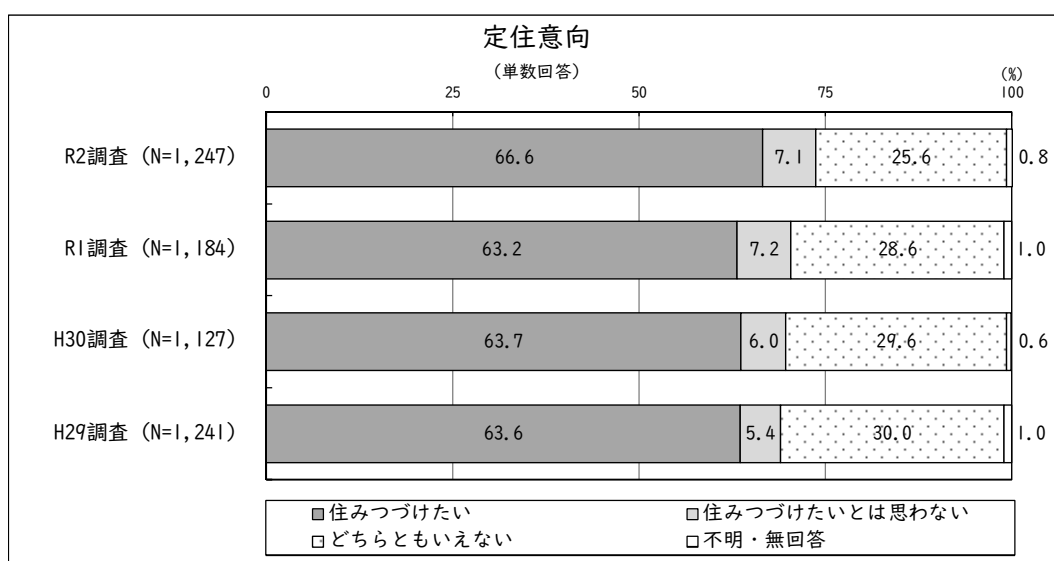
居住地域別にみると、すべての地域において「住みつづけたい」が最も多くなっている。「住みつづけたい」の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 68.2%、以下、土山地域で 67.8%、甲南地域で 66.9%、水口地域で 66.6%、信楽地域で 65.4%と続いている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「住みつづけたい」が最も多くなっている。

「住みつづけたい」の割合をみると、最も多いのは 10 年以上で 68.6%、以下、3 年未満で 55.0%、3 年～10 年未満で 52.0%と続いている。居住歴が短いほど「住みつづけたいとは思わない」が多くなっている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「住みつづけたい」が多くなっている。



<問 9-1> 問 9 で「住みつづけたい」と回答された方におたずねします。
あなたが甲賀市に住みつづけたいと思われるのはどのような理由(家族の事情も含めて)からですか。(あてはまるものすべてに○)

定住したい理由は、「住宅がある」が 54.9%で最も多くなっており、以下、「地域に愛着がある」が 49.4%、「結婚している(家族、親族がいる)から」が 38.1%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「住宅がある」が最も多くなっている。男性は「地域に個性がある」「仕事の関係(仕事がある)」が多くなっている。

年代別にみると、20 歳代以下のみ「地域に愛着がある」が、他の年代は「住宅がある」が最も多くなっている。40 歳代では「学校や進学の関係(学校がある)」が多く、50 歳代以下では「仕事の関係(仕事がある)」が多くなっている。

居住地域別にみると、信楽地域のみ「地域に愛着がある」が、他の地域では「住宅がある」が最も多くなっている。土山地域、甲賀地域、信楽地域では「買い物に便利」が少なくなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、3 年未満のみ「買い物に便利」が、他の居住歴では「住宅がある」が最も多くなっている。10 年未満では「仕事の関係(仕事がある)」が多くなっている。

定住したい理由（複数回答）

	地域に個性がある	地域に愛着がある	交通の便がよい	買い物に便利	娯楽・遊戯施設がある	地域の人間関係がよい	（仕事の関係） 仕事がある	（学校や進学の関係） 学校がある	結婚している（家族、親族がいる）から	住宅がある	特に理由はない	その他	不明・無回答
全体（N=830）	8.4	49.4	13.0	26.1	2.2	30.0	23.1	4.1	38.1	54.9	6.6	6.0	0.7
男（N=378）	11.9	51.9	15.1	25.9	3.4	30.2	27.5	4.2	34.1	56.9	6.6	5.8	0.5
女（N=432）	5.6	47.2	11.3	27.1	1.2	28.9	19.9	4.2	41.9	54.2	6.5	6.0	0.9
20歳代以下（N=39）	12.8	48.7	5.1	33.3	10.3	23.1	33.3	7.7	17.9	30.8	5.1	2.6	0.0
30歳代（N=55）	10.9	40.0	20.0	32.7	3.6	25.5	47.3	9.1	47.3	56.4	5.5	10.9	1.8
40歳代（N=94）	11.7	46.8	10.6	23.4	4.3	24.5	45.7	19.1	41.5	59.6	3.2	7.4	0.0
50歳代（N=108）	7.4	48.1	10.2	31.5	2.8	23.1	30.6	0.0	42.6	54.6	5.6	7.4	0.0
60歳代（N=180）	4.4	48.3	12.8	17.2	0.6	28.9	25.0	1.7	48.3	53.9	5.0	6.7	0.6
70歳以上（N=351）	9.1	52.4	14.0	27.6	1.1	35.3	9.1	1.4	31.3	57.0	9.1	4.6	1.1
水口地域（N=335）	8.1	45.1	13.7	39.1	3.3	26.0	23.6	6.0	39.1	56.7	4.2	6.3	0.9
土山地域（N=80）	2.5	46.3	3.8	7.5	1.3	28.8	21.3	2.5	35.0	55.0	8.8	11.3	0.0
甲賀地域（N=116）	7.8	56.9	13.8	14.7	1.7	37.9	20.7	5.2	40.5	57.8	6.0	2.6	0.0
甲南地域（N=194）	5.7	46.9	20.6	29.9	1.5	34.0	24.2	2.6	36.6	54.1	8.2	6.7	0.5
信楽地域（N=104）	20.2	62.5	2.9	4.8	1.0	27.9	24.0	1.0	36.5	48.1	10.6	3.8	1.9
3年未満（N=22）	9.1	27.3	13.6	50.0	0.0	27.3	40.9	9.1	45.5	50.0	4.5	9.1	0.0
3年～10年未満（N=39）	7.7	38.5	12.8	30.8	5.1	17.9	41.0	17.9	43.6	61.5	0.0	5.1	2.6
10年以上（N=759）	8.4	50.7	12.9	25.3	2.1	30.8	21.9	3.3	37.8	55.1	7.0	6.1	0.7

前年度の調査と比較すると、「地域の人間関係がよい」が多くなっている。

	地域に個性がある	地域に愛着がある	交通の便がよい	買い物に便利	娯楽・遊戯施設がある	地域の人間関係がよい	（仕事の関係） 仕事がある	（学校や進学の関係） 学校がある	結婚している（家族、親族がいる）から	住宅がある	特に理由はない	その他	不明・無回答
R2調査（N=830）	8.4	49.4	13.0	26.1	2.2	30.0	23.1	4.1	38.1	54.9	6.6	6.0	0.7
R1調査（N=748）	7.1	47.1	10.4	21.5	1.6	24.3	19.0	3.7	33.7	59.0	4.3	5.7	0.9

<問 9-2> 問 9 で「住みつづけたいとは思わない」と回答された方におたずねします。
あなたが他の場所に移り住みたいと思われるのはどのような理由からですか。(家族の事情も含めて)(あてはまるものすべてに○)

定住したくない理由は、「交通の便がよくない」が 80.7%で最も多くなっており、以下、「買い物に不便」が 44.3%、「娯楽・遊戯施設がない」が 43.2%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「交通の便がよくない」が最も多くなっている。男性は「地域の個性に乏しい」「地域に愛着がもてない」が多く、女性は「仕事の関係(仕事がない)」「住宅の都合」が多くなっている。

年代別にみると、すべての年代において「交通の便がよくない」が最も多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「交通の便がよくない」が最も多くなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「交通の便がよくない」が最も多くなっている。

前年度の調査と比較すると、「交通の便がよくない」「娯楽・遊戯施設がない」「仕事の関係(仕事がない)」が増加、「買い物に不便」「地域の人間関係になじめない」が少なくなっている。

定住したくない理由（複数回答）

	地域の個性に乏しい	地域に愛着がもてない	交通の便がよくない	買い物に不便	娯楽・遊戯施設がない	地域の人間関係になじめない	仕事の関係(仕事がない)	学校や進学の関係(学校がない)	結婚する(家族、親族が他の場所にいる)から	住宅の都合	特に理由はない	その他	不明・無回答
全体 (N=88)	20.5	30.7	80.7	44.3	43.2	20.5	22.7	13.6	3.4	9.1	4.5	14.8	0.0
男 (N=35)	31.4	37.1	68.6	37.1	28.6	22.9	11.4	14.3	2.9	5.7	8.6	14.3	0.0
女 (N=53)	13.2	26.4	88.7	49.1	52.8	18.9	30.2	13.2	3.8	11.3	1.9	15.1	0.0
20歳代以下 (N=25)	16.0	24.0	84.0	40.0	72.0	12.0	36.0	20.0	8.0	4.0	4.0	4.0	0.0
30歳代 (N=12)	16.7	25.0	83.3	41.7	41.7	16.7	8.3	16.7	0.0	16.7	8.3	8.3	0.0
40歳代 (N=10)	10.0	20.0	80.0	60.0	30.0	10.0	50.0	40.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
50歳代 (N=13)	23.1	23.1	76.9	30.8	30.8	30.8	7.7	0.0	0.0	15.4	7.7	30.8	0.0
60歳代 (N=13)	23.1	61.5	76.9	38.5	23.1	46.2	23.1	7.7	7.7	23.1	0.0	15.4	0.0
70歳以上 (N=14)	35.7	35.7	78.6	57.1	28.6	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	28.6	0.0
水口地域 (N=37)	13.5	21.6	75.7	32.4	40.5	16.2	18.9	10.8	5.4	8.1	8.1	16.2	0.0
土山地域 (N=9)	44.4	33.3	88.9	66.7	66.7	33.3	33.3	44.4	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0
甲賀地域 (N=12)	25.0	41.7	83.3	50.0	58.3	16.7	25.0	8.3	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0
甲南地域 (N=17)	23.5	47.1	82.4	35.3	29.4	29.4	5.9	11.8	0.0	5.9	0.0	11.8	0.0
信楽地域 (N=13)	15.4	23.1	84.6	69.2	38.5	15.4	46.2	7.7	0.0	15.4	0.0	23.1	0.0
3年未満 (N=5)	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0
3年～10年未満 (N=7)	0.0	14.3	100.0	28.6	71.4	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
10年以上 (N=76)	23.7	34.2	80.3	47.4	42.1	23.7	25.0	15.8	2.6	7.9	3.9	15.8	0.0

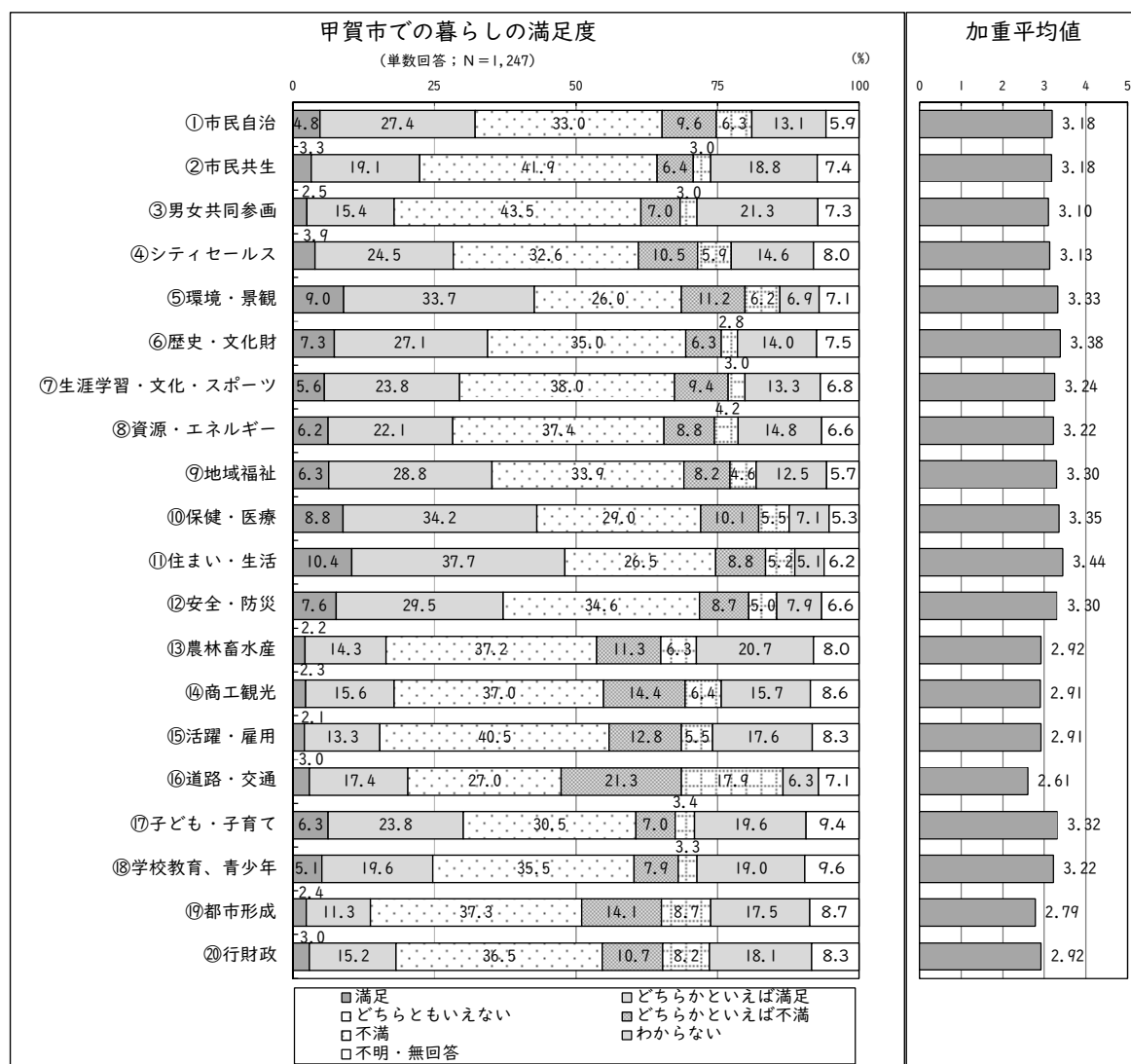
	地域の個性に乏しい	地域に愛着がもてない	交通の便がよくない	買い物に不便	娯楽・遊戯施設がない	地域の人間関係になじめない	仕事の関係(仕事がない)	学校や進学の関係(学校がない)	結婚する(家族、親族が他の場所にいる)から	住宅の都合	特に理由はない	その他	不明・無回答
R2調査 (N=88)	20.5	30.7	80.7	44.3	43.2	20.5	22.7	13.6	3.4	9.1	4.5	14.8	0.0
R1調査 (N=85)	20.0	34.1	72.9	49.4	35.3	29.4	15.3	10.6	4.7	7.1	2.4	17.6	5.9

(4) 暮らしの「満足度」と「重要度」

「問 10」 あなたの甲賀市での暮らしの「満足度」と「重要度」についておたずねします。
以下の①～⑳のそれぞれの項目について、右の欄の1～6の中から満足度合い、重要度合いに最も近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

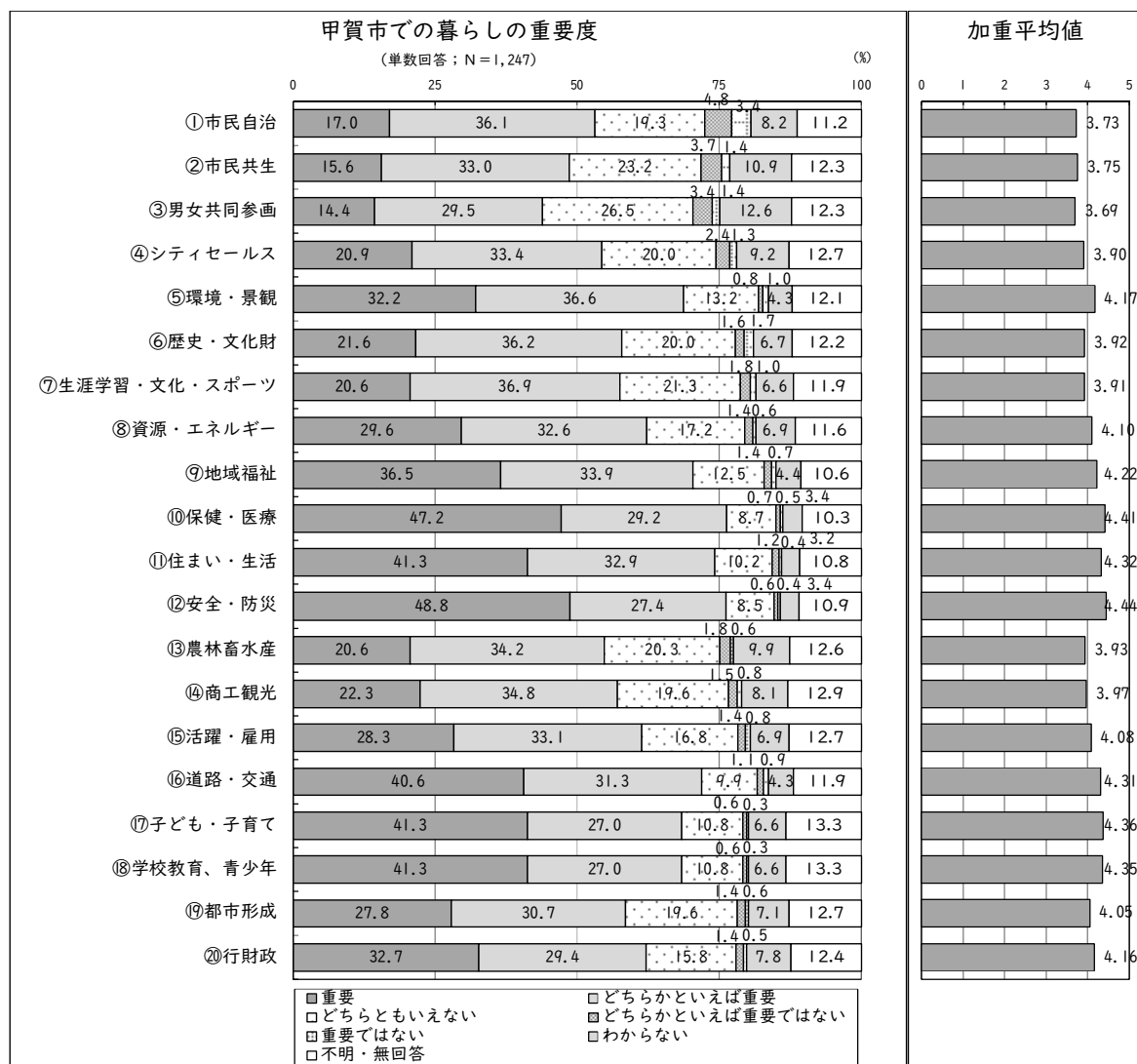
甲賀市の暮らしの満足度について、「満足」が最も多いのは「住まい・生活」で 10.4%、以下、「環境・景観」で 9.0%、「保健・医療」で 8.8%と続いている。「不満」が最も多いのは「道路・交通」で 17.9%、以下、「都市形成」で 8.7%、「行財政」で 8.2%と続いている。

「満足」を 5 点、「どちらかといえば満足」を 4 点、「どちらともいえない」を 3 点、「どちらかといえば不満」を 2 点、「不満」を 1 点とした場合の加重平均値をみると、最も高いのは「住まい・生活」で 3.44 点、以下、「歴史・文化財」で 3.38 点、「保健・医療」で 3.35 点と続いている。

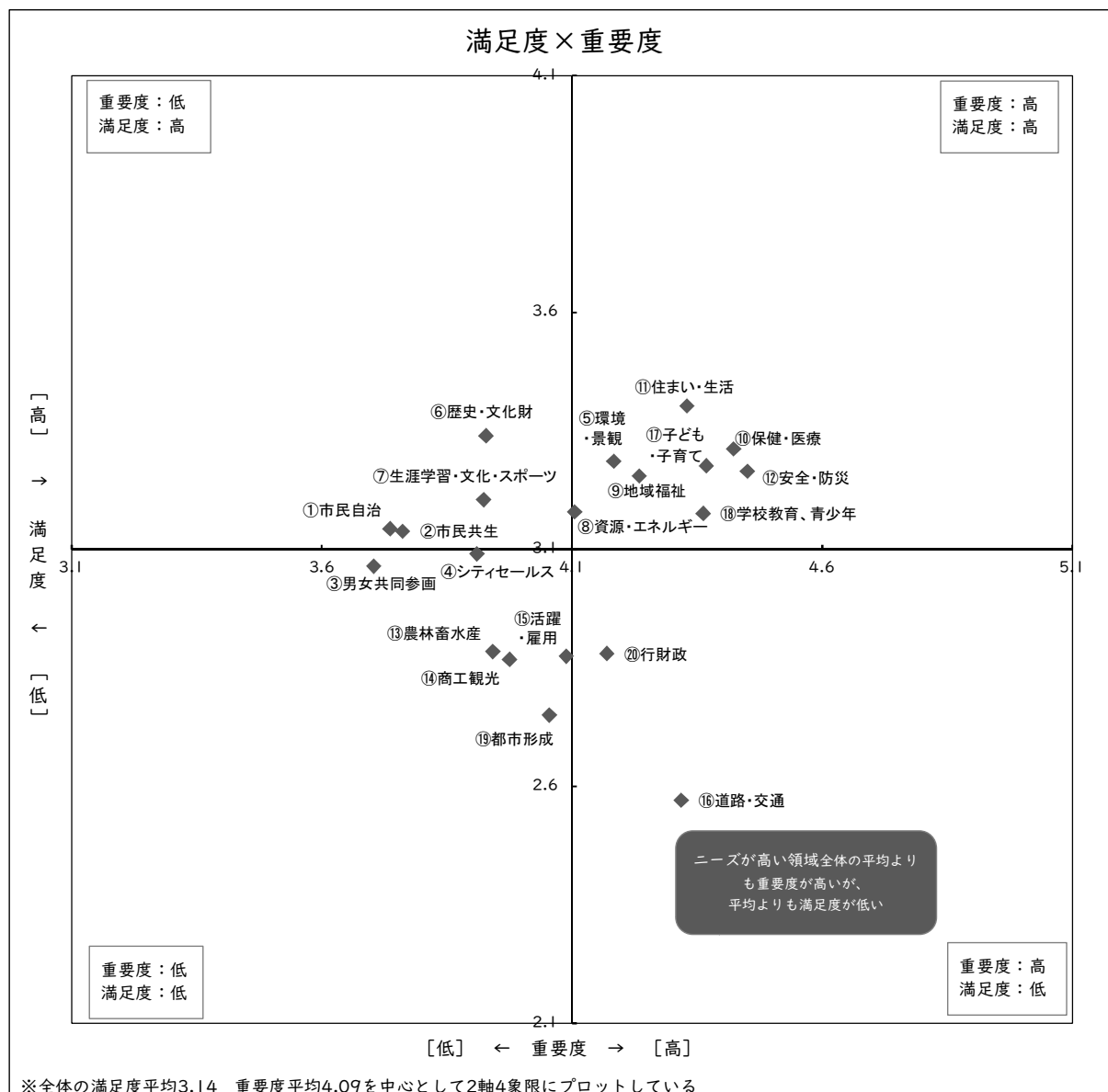


甲賀市の暮らしの重要度について、「重要」が最も多いのは「安全・防災」で 48.8%、以下、「保健・医療」で 47.2%、「住まい・生活」「子ども・子育て」「学校教育、青少年」で 41.3%と続いている。「重要ではない」が最も多いのは「市民自治」で 3.4%、以下、「歴史・文化財」で 1.7%、「市民共生」「男女共同参画」で 1.4%と続いている。

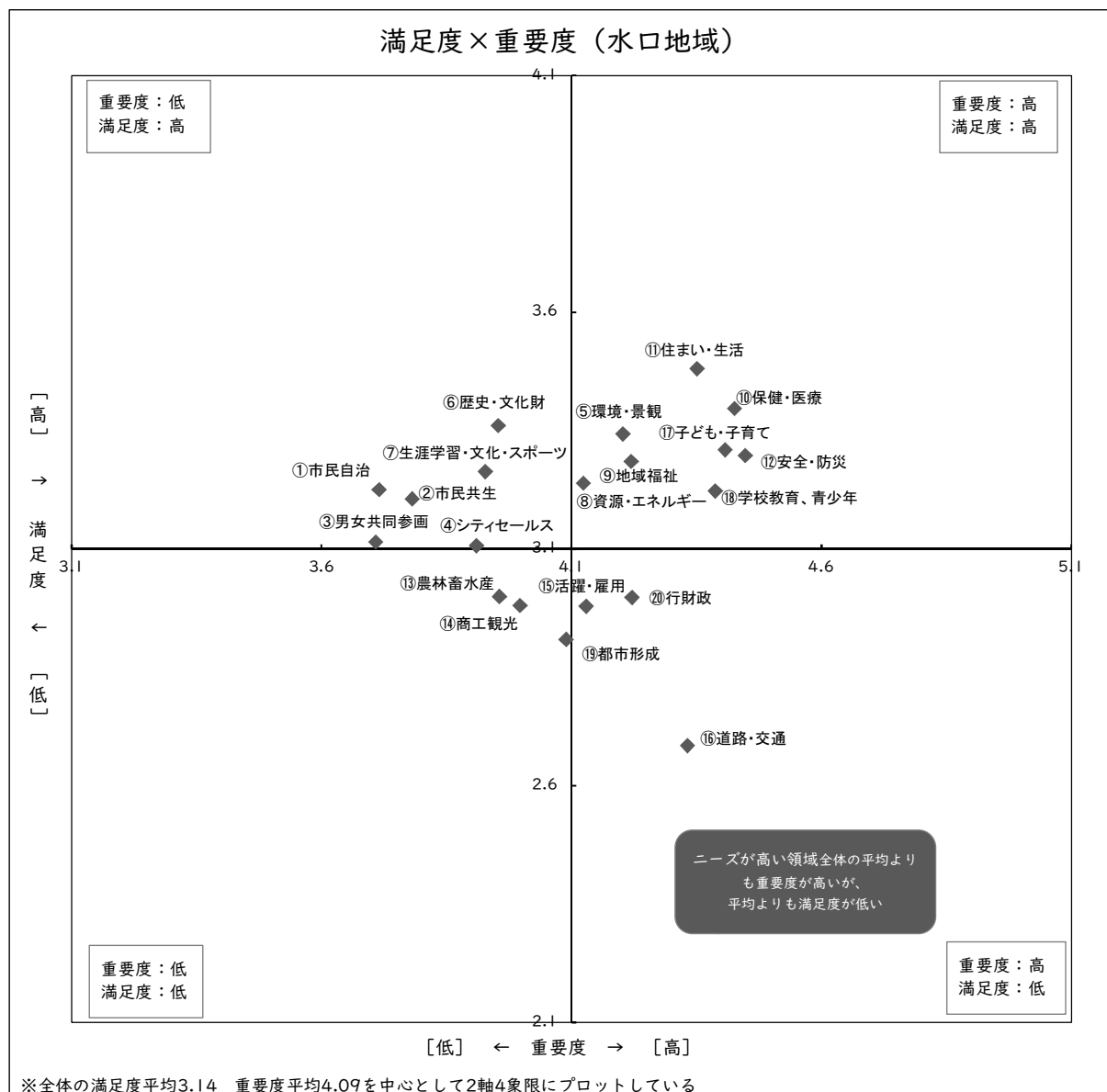
「重要」を 5 点、「どちらかといえば重要」を 4 点、「どちらともいえない」を 3 点、「どちらかといえば重要ではない」を 2 点、「重要ではない」を 1 点とした場合の加重平均値をみると、最も高いのは「安全・防災」で 4.44 点、以下、「保健・医療」で 4.41 点、「子ども・子育て」で 4.36 点と続いている。



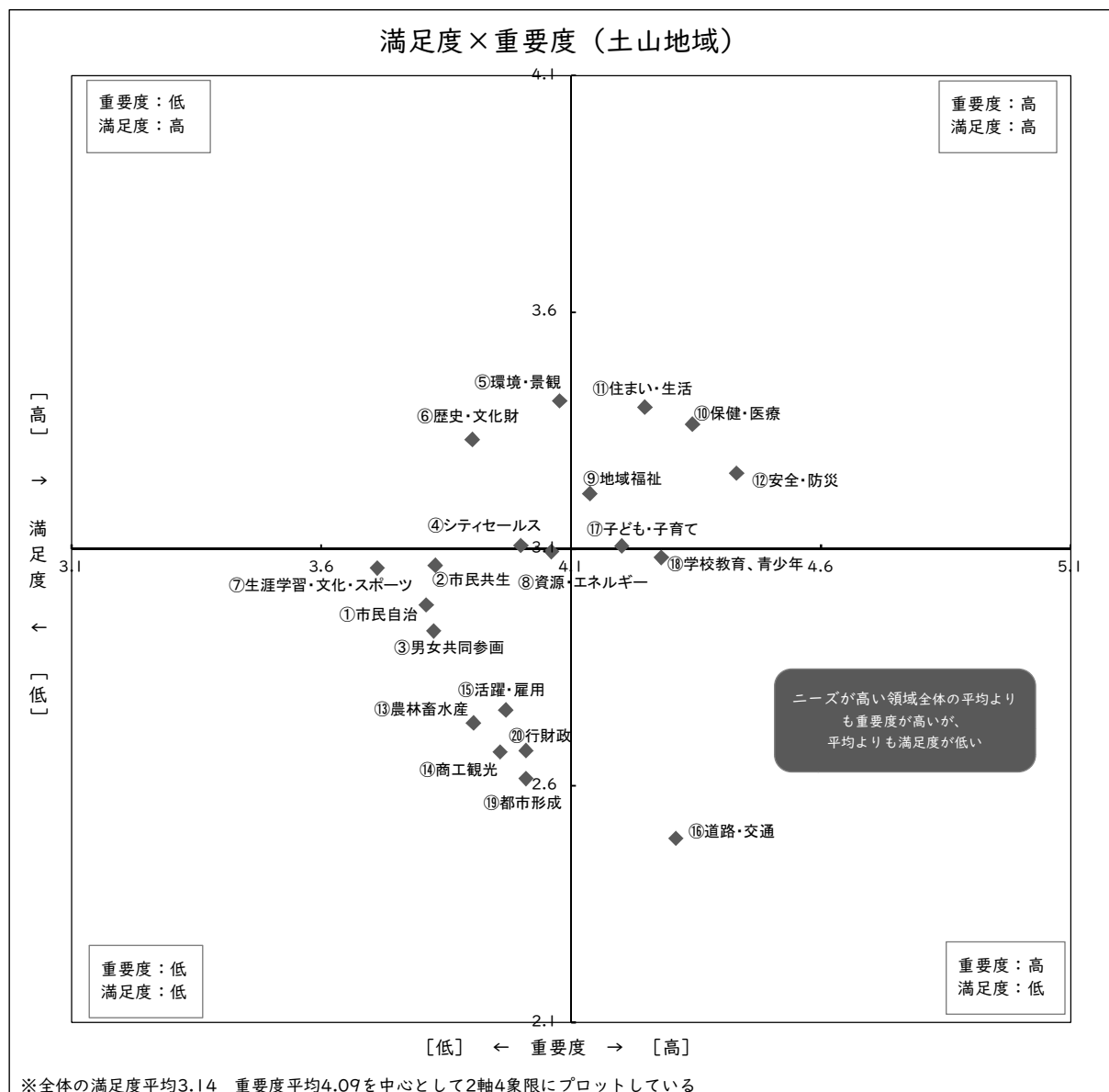
満足度を縦軸、重要度を横軸とし、全項目の加重平均値の平均を原点とした 2 次元上にそれぞれを配置した場合、「道路・交通」「行財政」の 2 項目は、縦軸より右、横軸より下に位置している。これらは、全体の平均より重要度は高いが、低い満足度しか得られていない「ニーズの高い領域」と見なせる。



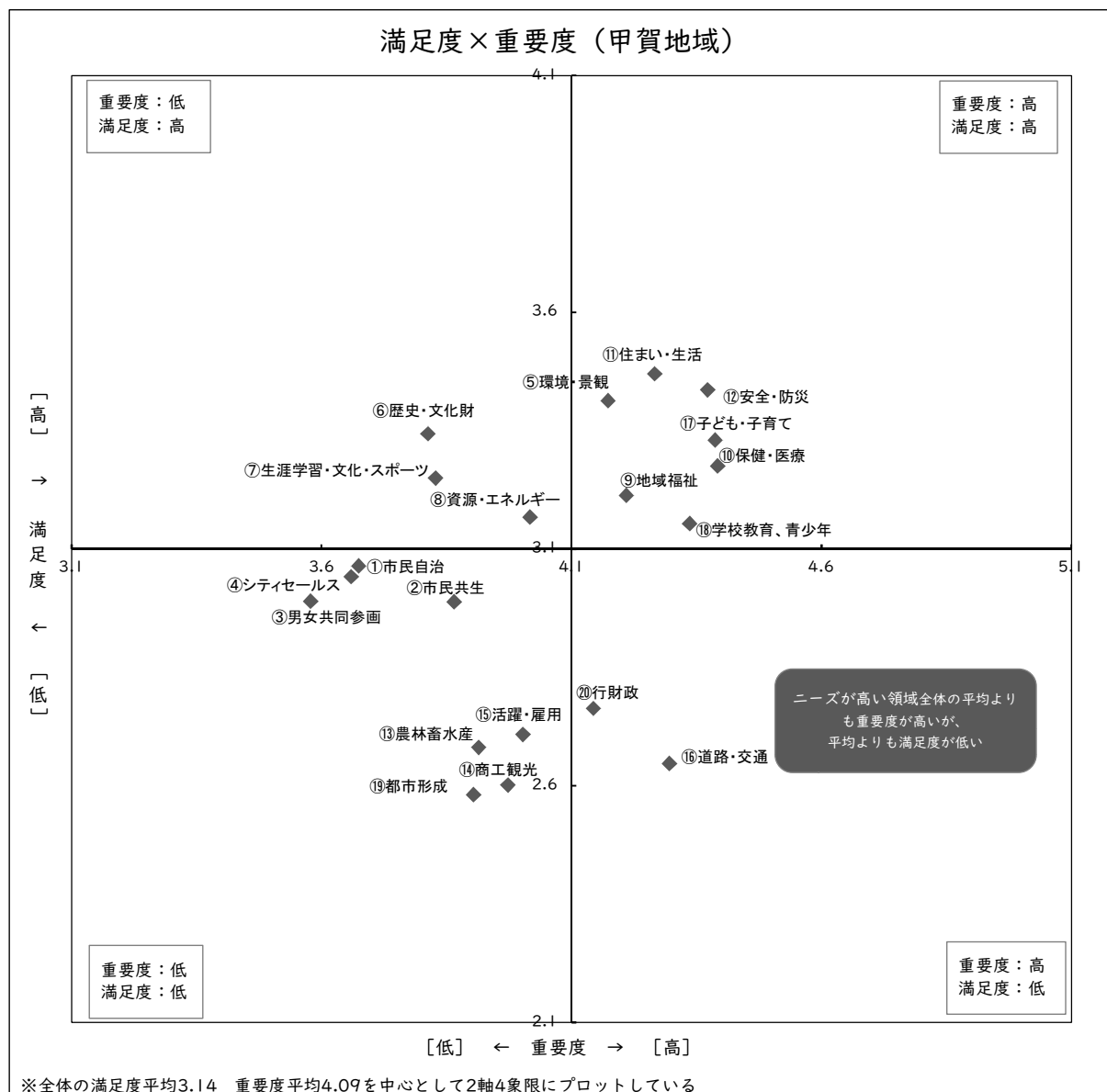
水口地域について、「活躍・雇用」「道路・交通」「行財政」の3項目は、縦軸より右、横軸より下に位置している。これらは、全体の平均より重要度は高いが、低い満足度しか得られていない「ニーズの高い領域」と見なせる。



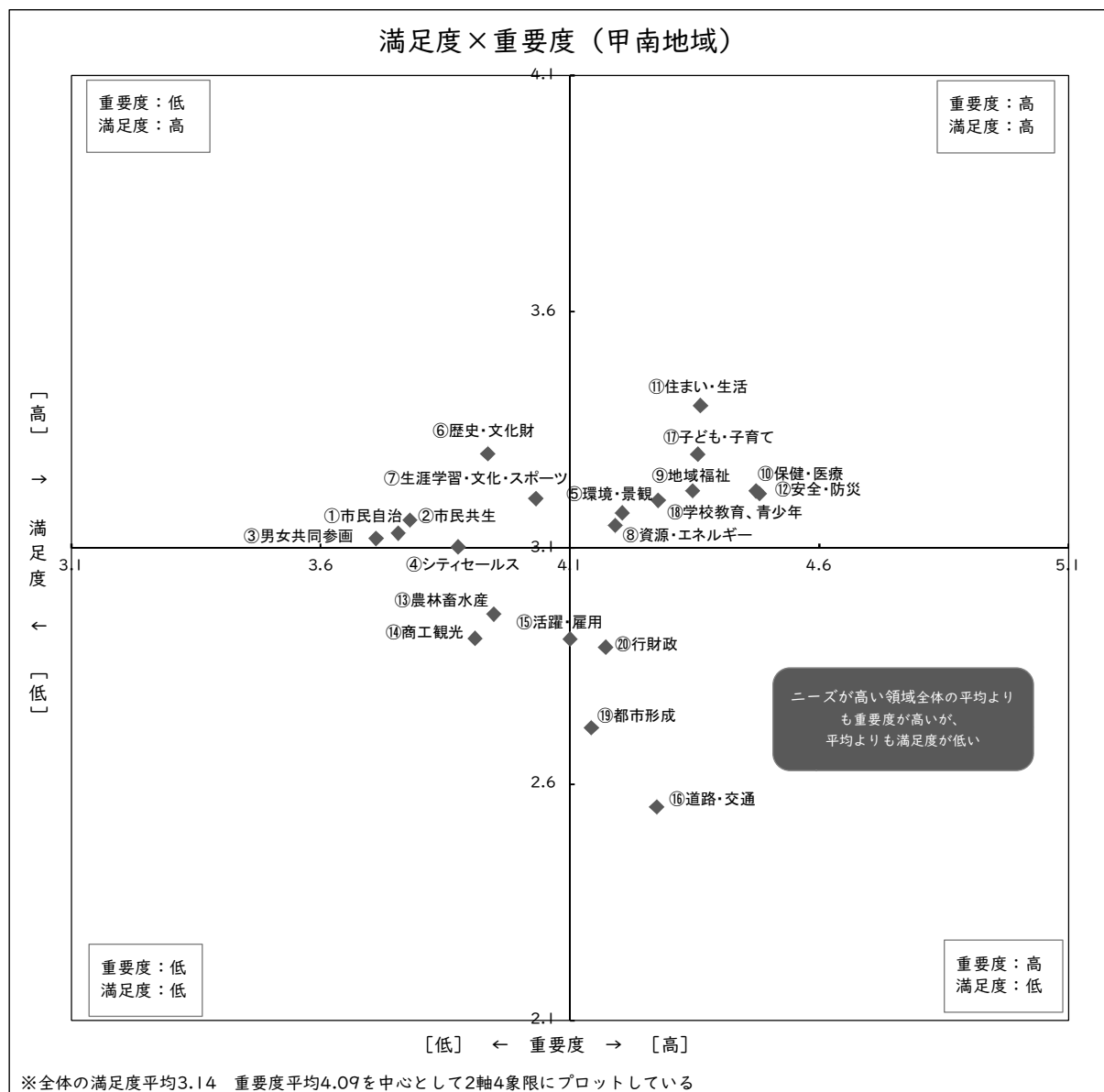
土山地域について、「道路・交通」「学校教育、青少年」の2項目は、縦軸より右、横軸より下に位置している。これらは、全体の平均より重要度は高いが、低い満足度しか得られていない「ニーズの高い領域」と見なせる。



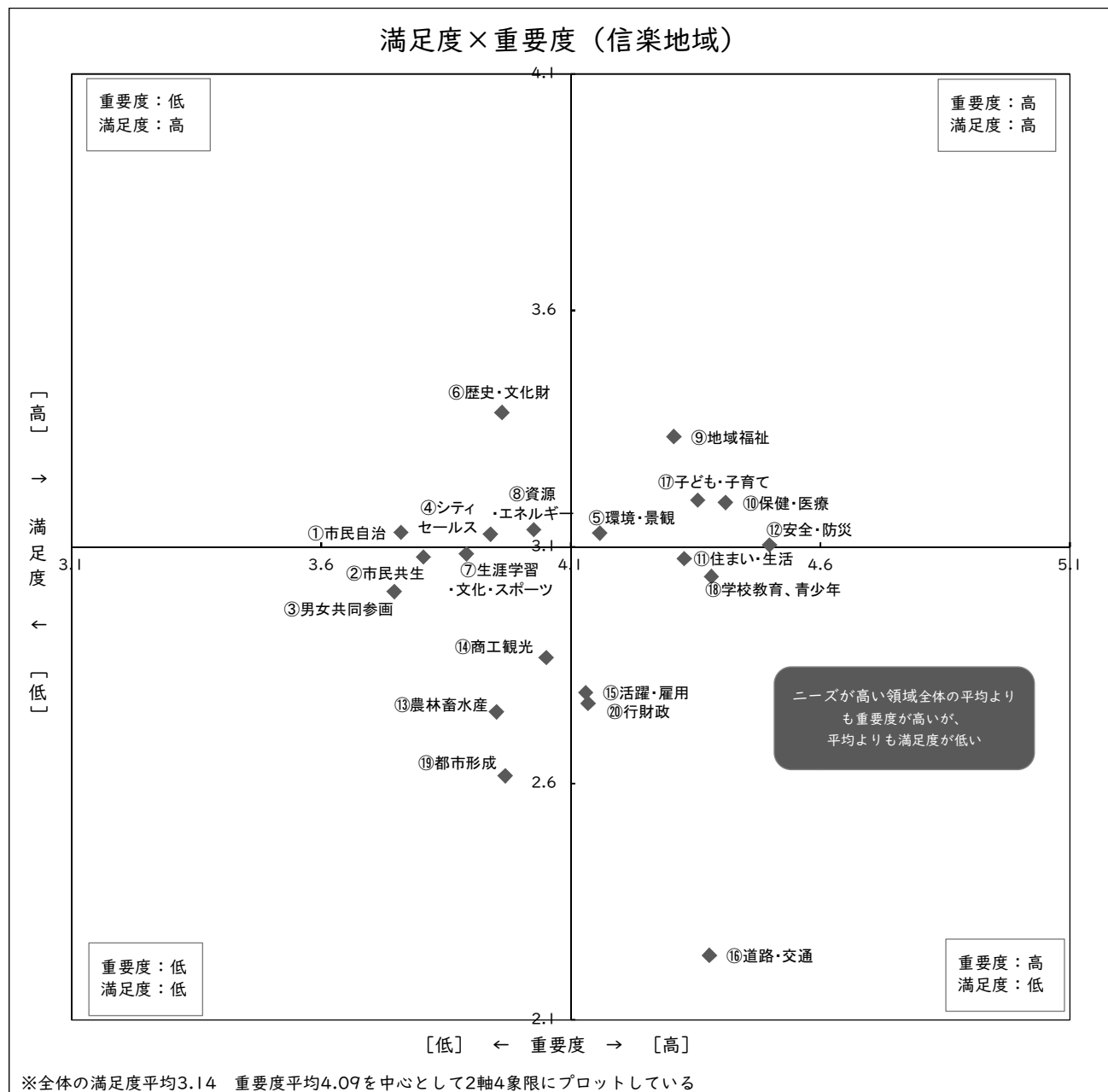
甲賀地域について、「道路・交通」「行財政」の2項目は、縦軸より右、横軸より下に位置している。これらは、全体の平均より重要度は高いが、低い満足度しか得られていない「ニーズの高い領域」と見なせる。



甲南地域について、「活躍・雇用」「道路・交通」「都市形成」「行財政」の4項目は、縦軸より右、横軸より下に位置している。これらは、全体の平均より重要度は高いが、低い満足度しか得られていない「ニーズの高い領域」と見なせる。



信楽地域について、「住まい・生活」「活躍・雇用」「道路・交通」「学校教育、青少年」「行財政」の5項目は、縦軸より右、横軸より下に位置している。これらは、全体の平均より重要度は高いが、低い満足度しか得られていない「ニーズの高い領域」と見なせる。



【1. あふれる愛にあなたも仲間】

① 市民自治(区・自治会、自治振興会、市民活動)

【満足度】

市民自治の満足度は、「どちらともいえない」が 33.0%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 27.4%、「わからない」が 13.1%、「どちらかといえば不満」が 9.6%、「不満」が 6.3%、「満足」が 4.8%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 32.2%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 33.7%、女性は 31.9%となっている。

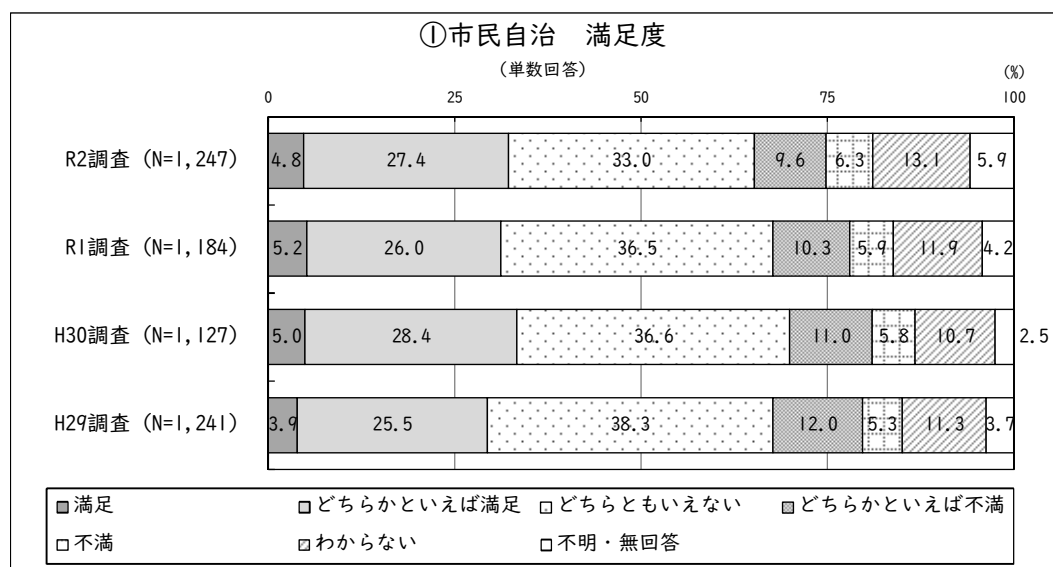
年代別にみると、20 歳代以下のみ「わからない」が、他の年代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 38.5%、以下、60 歳代で 33.1%、50 歳代で 32.4%と続いている。

居住地域別にみると、甲賀地域のみ「どちらかといえば満足」が、他の地域では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 35.3%、以下、甲南地域で 34.5%、水口地域で 33.4%、信楽地域で 27.1%、土山地域で 24.5%と続いている。

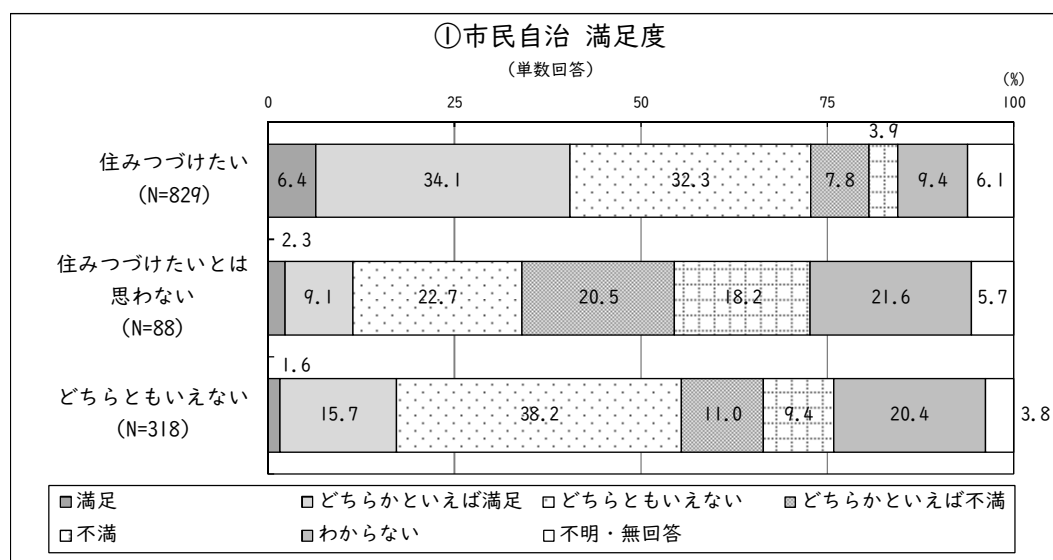
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 10 年以上で 33.1%、以下、3 年未満で 32.5%、3 年～10 年未満で 21.3%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」が多く、「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



定住意向別にみると、住みつづけたいでは「どちらかといえば満足」が、他の定住意向では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 40.5%、以下、どちらともいえないで 17.3%、住みつづけたいとは思わないで 11.4%と続いている。



【重要度】

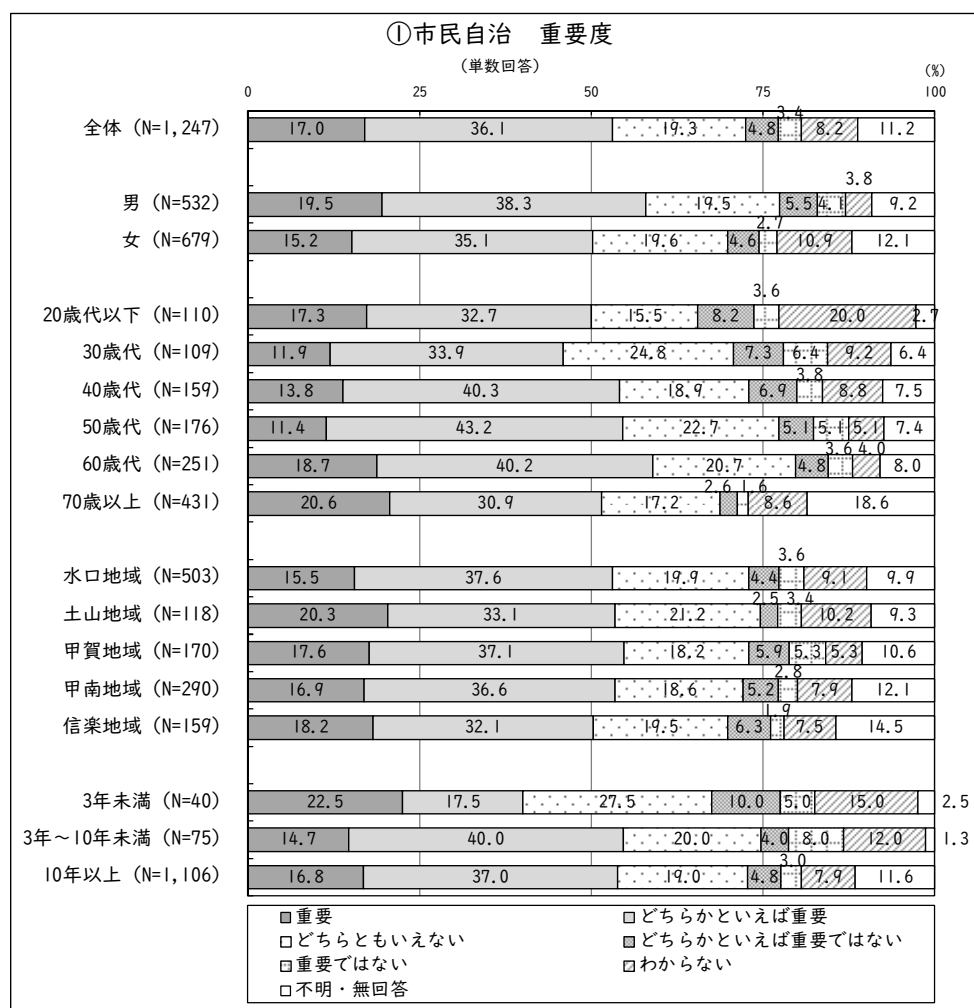
市民自治の重要度は、「どちらかといえば重要」が 36.1%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が19.3%、「重要」が17.0%、「わからない」が8.2%、「どちらかといえば重要ではない」が4.8%、「重要ではない」が 3.4%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 53.1%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 57.8%、女性は 50.3%となっている。

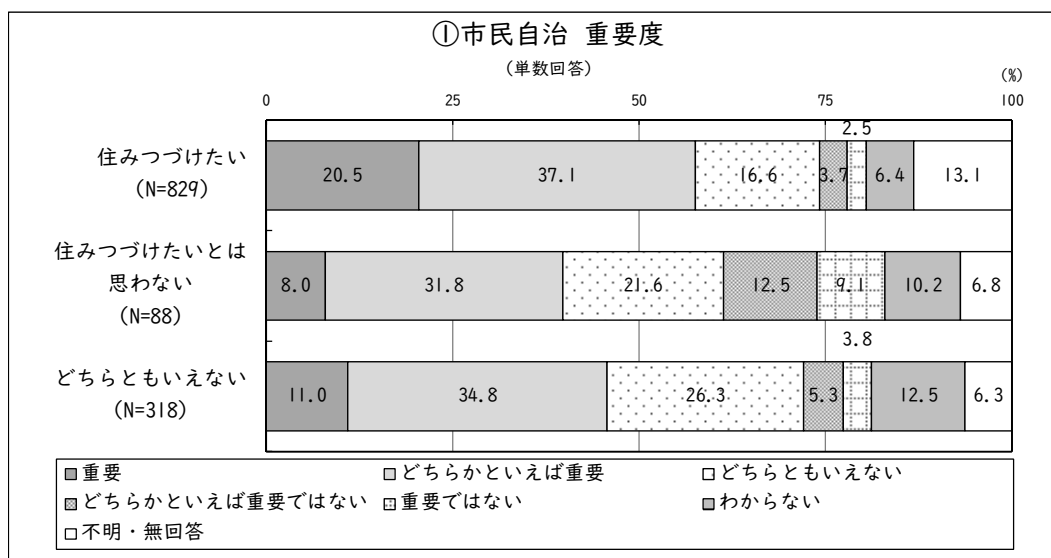
年代別年代別にみると、いずれの年代においても「どちらかといえば重要」最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは60歳代で58.9%、以下、50歳代で54.6%、40歳代で54.1%と続いている。

居住地域別にみると、いずれの地域においても「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 54.7%、以下、甲南地域で 53.5%、土山地域で 53.4%、水口地域で 53.1%、信楽地域で 50.3%と続いている。

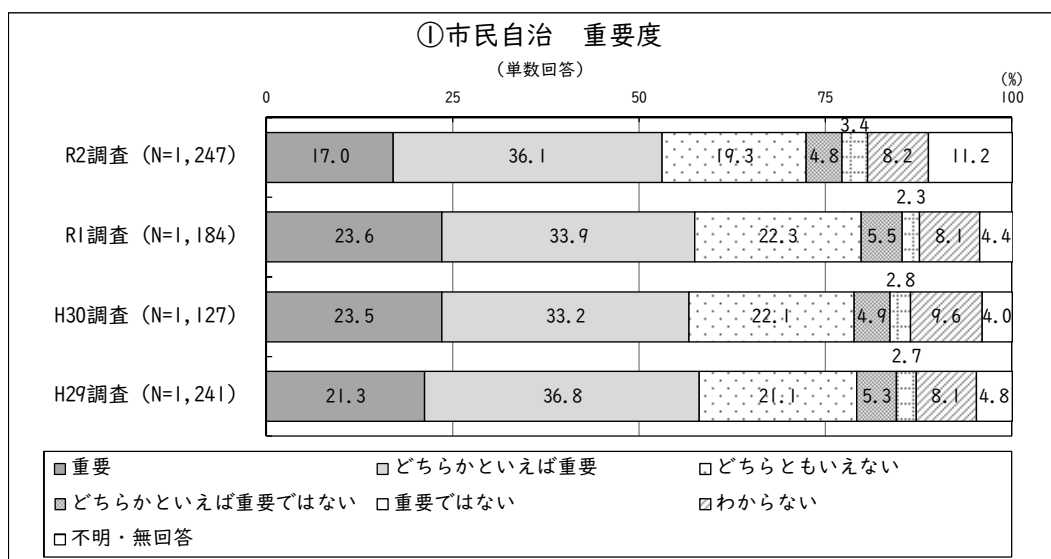
甲賀市の居住歴別にみると、3年未満のみ「どちらともいえない」が、他の居住歴では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で54.7%、以下、10年以上で 53.8%、3年未満で 40.0%と続いている。3年未満では「重要」が多くなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 57.6%、以下、どちらともいえないで 45.8%、住みつづけたいとは思わないで 39.8%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、本年度は「重要」が少なくなっている。



② 市民共生(人権、多文化共生)

【満足度】

市民共生の満足度は、「どちらともいえない」が 41.9%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 19.1%、「わからない」が 18.8%、「どちらかといえば不満」が 6.4%、「満足」が 3.3%、「不満」が 3.0%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 22.4%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 24.2%、女性は 21.4%となっている。

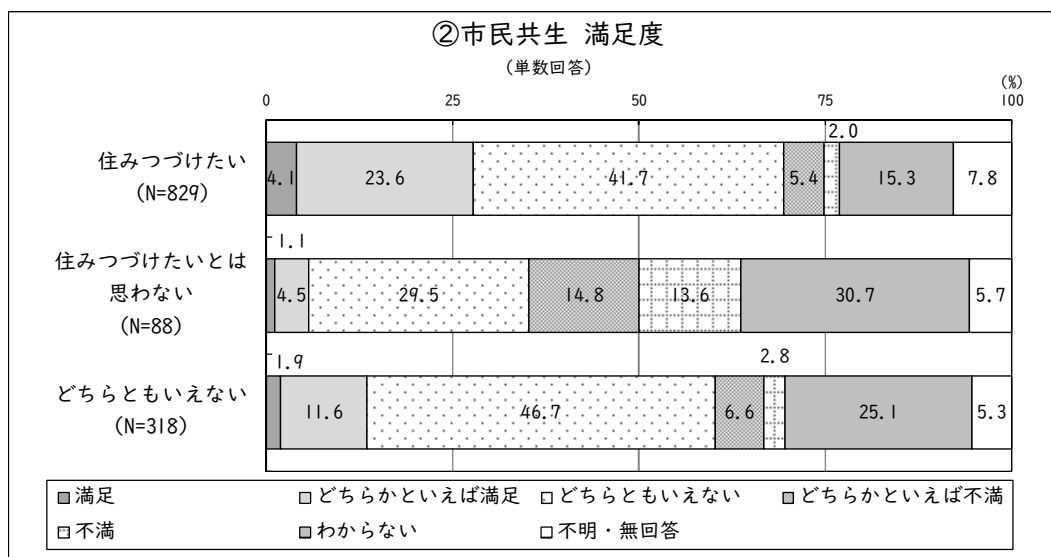
年代別にみると、20 歳代以下のみは「わからない」が、他の年代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 26.2%、以下、20 歳代以下で 24.6%、50 歳代で 21.6%と続いている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 24.5%、以下、甲南地域で 23.5%、甲賀地域で 21.8%、土山地域で 19.4%、信楽地域で 17.6%と続いている。信楽地域では「どちらかといえば満足」が少なくなっている。

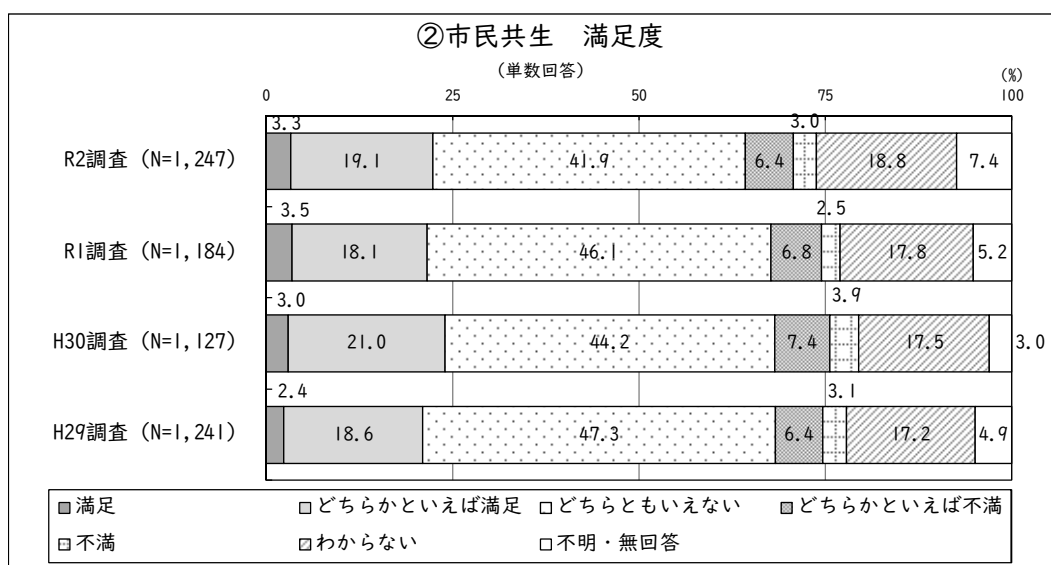
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 10 年以上で 22.8%、以下、3 年未満で 22.5%、3 年～10 年未満で 17.3%と続いている。



定住意向別にみると、住みつづけたいとは思わないでは「わからない」が、他の定住意向では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで27.7%、以下、どちらともいえないで13.5%、住みつづけたいとは思わないで5.6%と続いている。



平成29年度調査からの推移をみると『満足』『不満』に総じて変化は見られない。



【重要度】

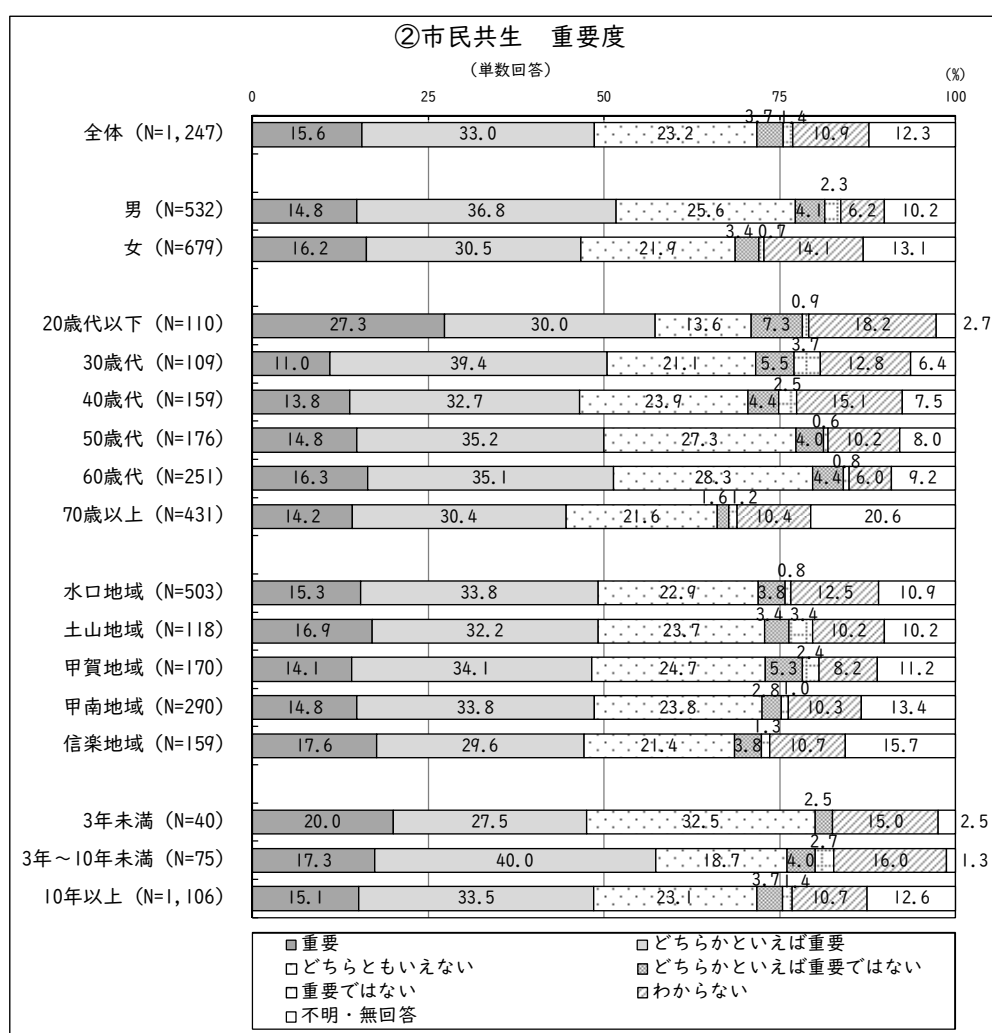
市民共生の重要度は、「どちらかといえば重要」が 33.0%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が 23.2%、「重要」が 15.6%、「わからない」が 10.9%、「どちらかといえば重要ではない」が 3.7%、「重要ではない」が 1.4%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 48.6%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 51.6%、女性は 46.7%となっている。

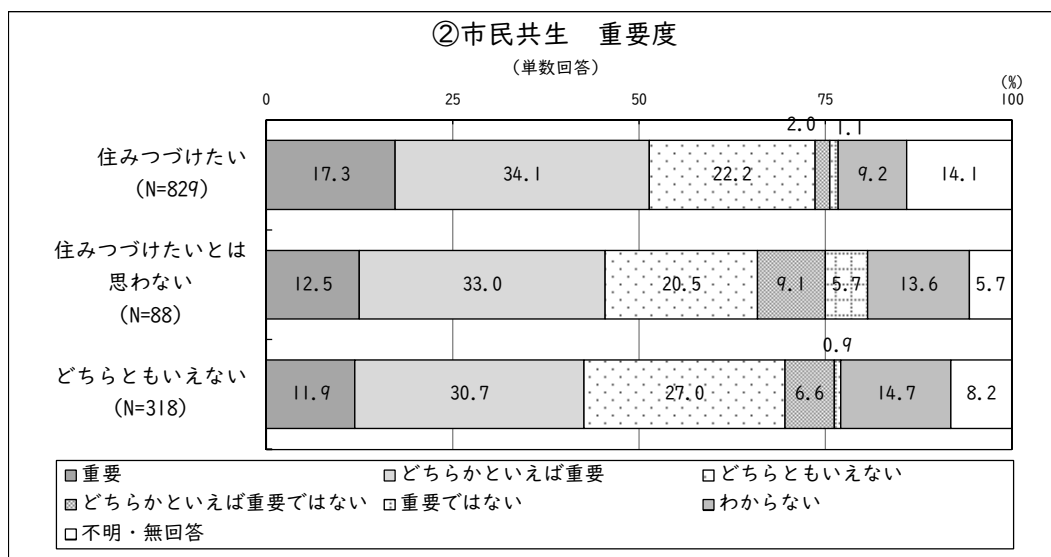
年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 57.3%、以下、60 歳代で 51.4%、30 歳代で 50.4%と続いている。20 歳代では「重要」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 49.1%、以下、水口地域で 49.1%、甲南地域で 48.6%、甲賀地域で 48.2%、信楽地域で 47.2%と続いている。

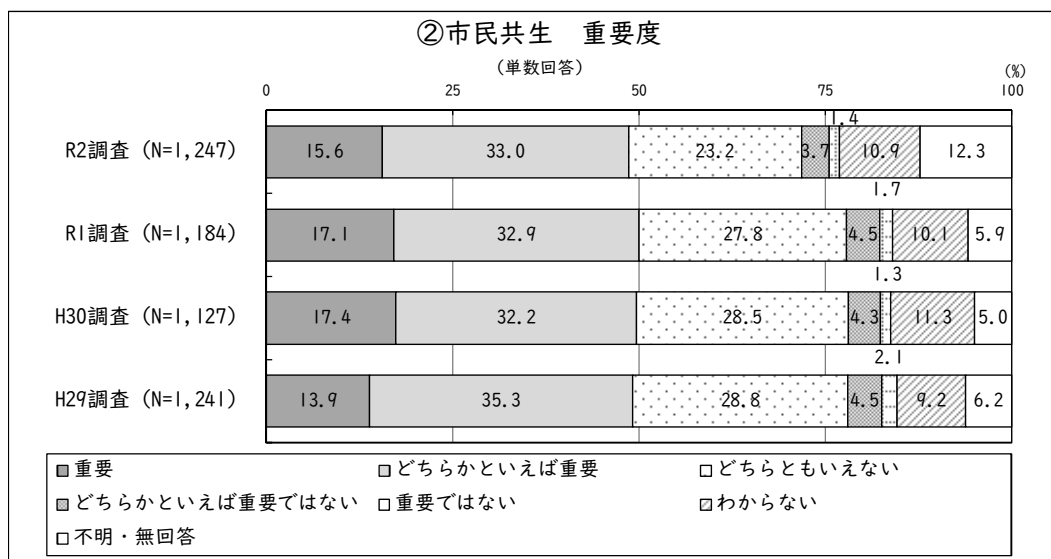
甲賀市の居住歴別にみると、3 年未満のみ「どちらともいえない」が、他の居住歴では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 57.3%、以下、10 年以上で 48.6%、3 年未満で 47.5%と続いている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで51.4%、以下、住みつづけたいとは思わないで45.5%、どちらともいえないで42.6%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、総じて変化はみられない。



③ 男女共同参画

【満足度】

男女共同参画の満足度は、「どちらともいえない」が43.5%で最も多くなっており、以下、「わからない」が21.3%、「どちらかといえば満足」が15.4%、「どちらかといえば不満」が7.0%、「不満」が3.0%、「満足」が2.5%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は17.9%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は19.3%、女性は17.0%となっている。

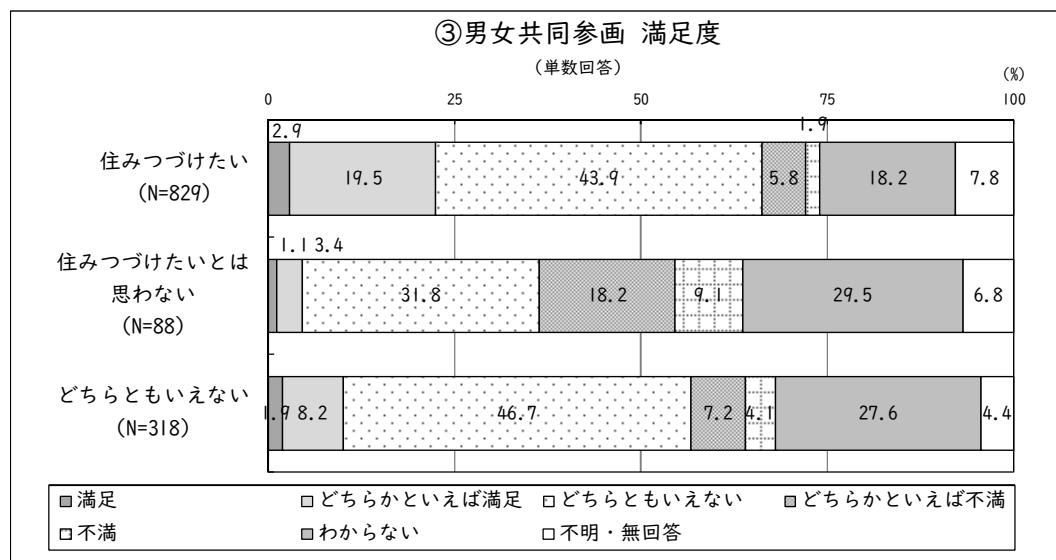
年代別にみると、20歳代以下のみ「わからない」が、他の年代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは70歳以上で23.0%、以下、20歳代以下で20.9%、60歳代で17.1%と続いている。

居住地域別にみると、いずれの地域においても「どちらともいえない」が最も多くなっている。

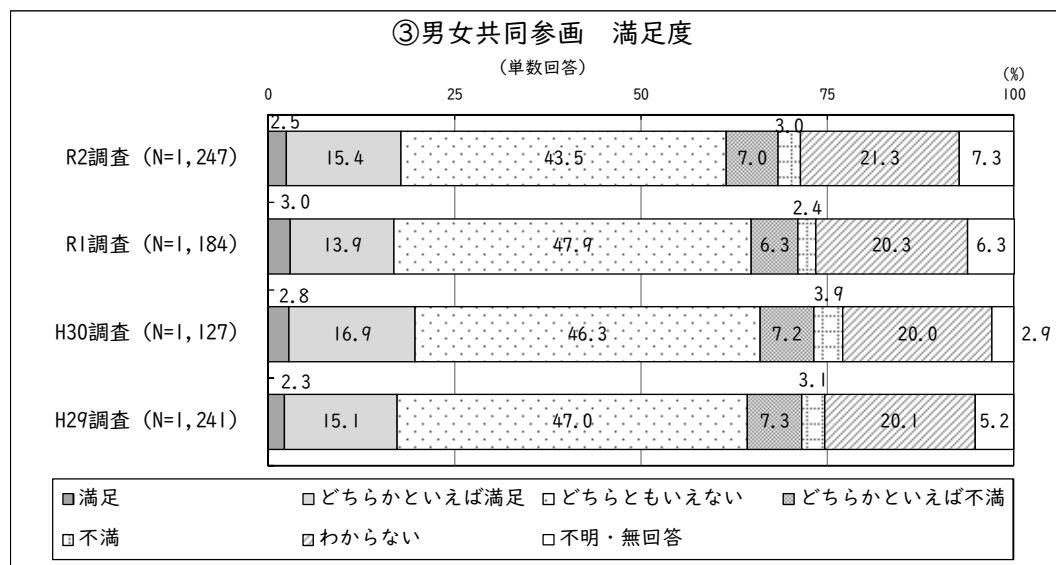
甲賀市の居住歴別にみると、3年～10年未満のみ「わからない」が、他の居住歴では「どちらともいえない」が最も多くなっている。3年未満では「どちらかといえば満足」が少なくなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 22.4%、以下、どちらともいえないで 10.1%、住みつづけたいとは思わないで 4.5%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると『満足』『不満』に総じて変化は見られない。



【重要度】

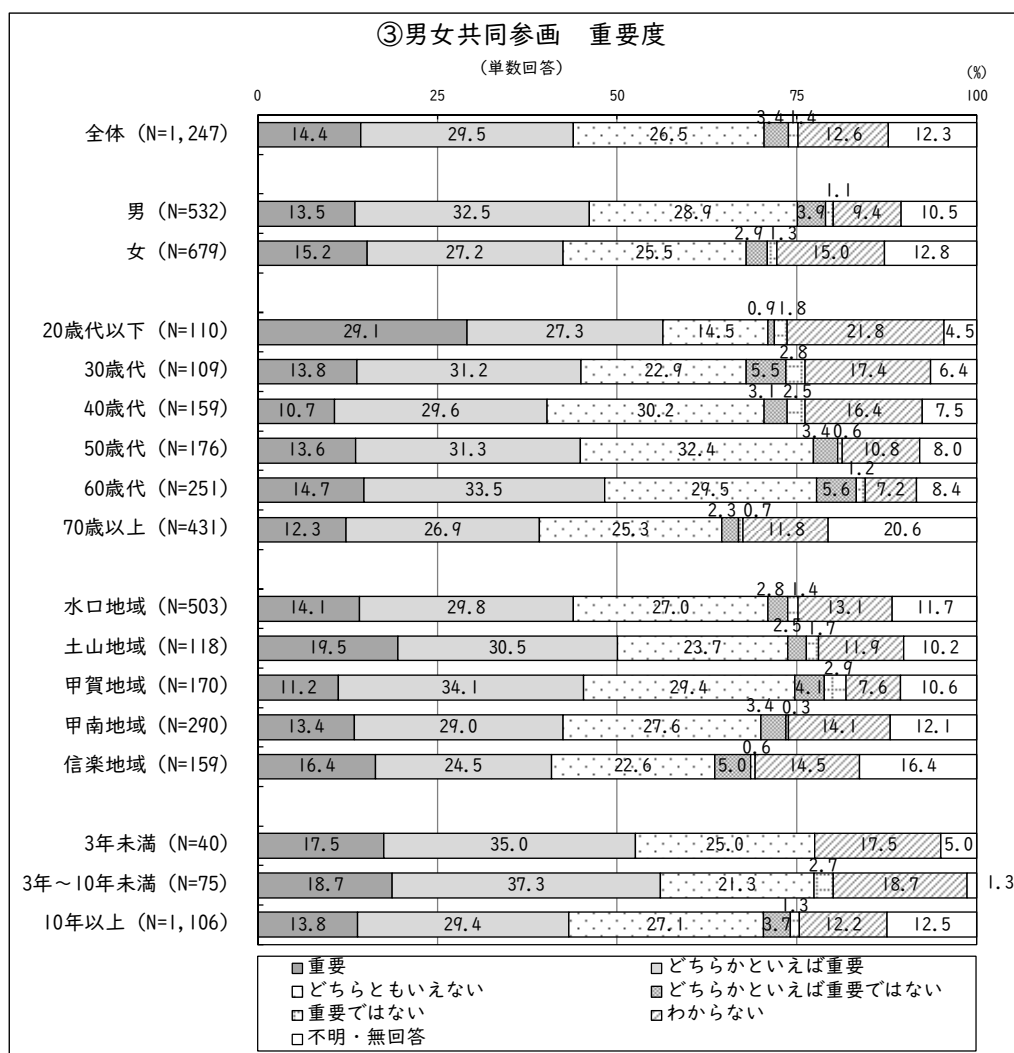
男女共同参画の重要度は、「どちらかといえば重要」が 29.5%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が 26.5%、「重要」が 14.4%、「わからない」が 12.6%、「どちらかといえば重要ではない」が 3.4%、「重要ではない」が 1.4%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 43.9%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 46.0%、女性は 42.4%となっている。

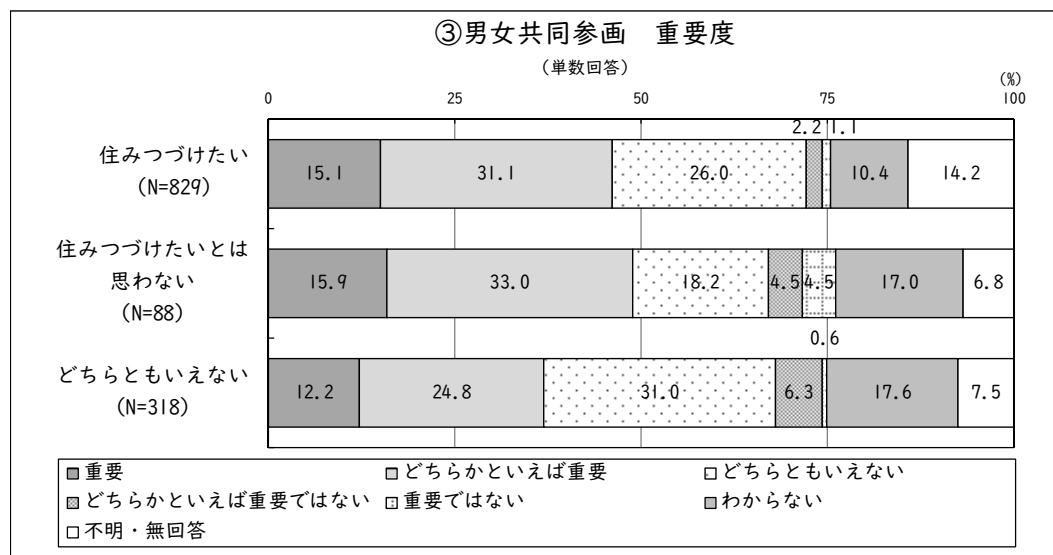
年代別にみると、20 歳代以下は「重要」が、40 歳代と 50 歳代は「どちらともいえない」が、その他の年代では「どちらかといえば重要」最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 56.4%、以下、60 歳代で 48.2%、30 歳代で 45.0%と続いている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 50.0%、以下、甲賀地域で 45.3%、水口地域で 43.9%、甲南地域で 42.4%、信楽地域で 40.9%と続いている。土山地域では「重要」が多くなっている。

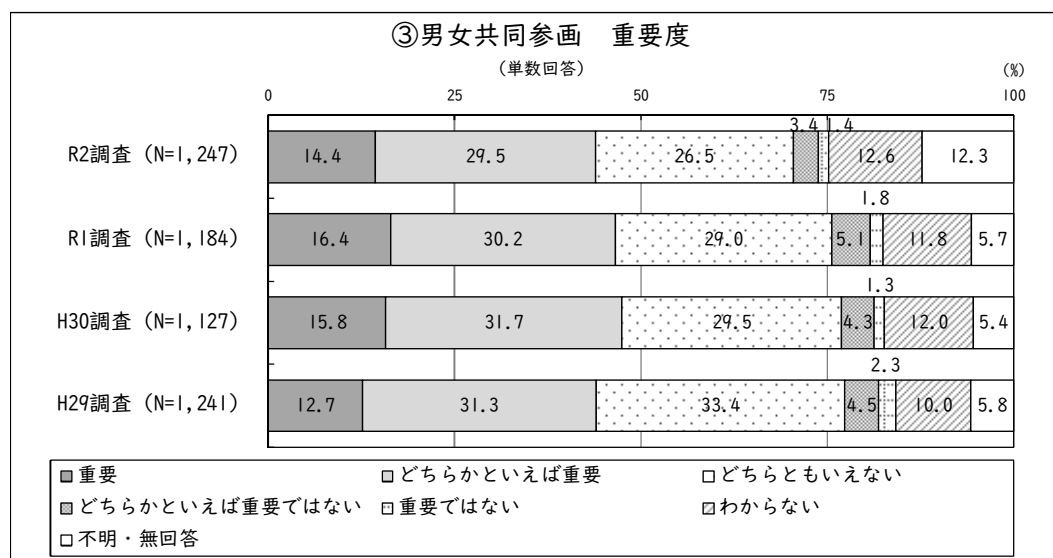
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 56.0%、以下、3 年未満で 52.5%、10 年以上で 43.2%と続いている。



定住意向別にみると、どちらともいえないでは「どちらともいえない」が、他の定住意向では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいとは思わないで48.9%、以下、住みつづけたいで46.2%、どちらともいえないで37.0%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、昨年度まで「重要」が多くなっていたが、本年度は少なくなっている。



④ シティセールス(情報発信、広報広聴)

【満足度】

シティセールスの満足度は、「どちらともいえない」が 32.6%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 24.5%、「わからない」が 14.6%、「どちらかといえば不満」が 10.5%、「不満」が 5.9%、「満足」が 3.9%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 28.4%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 28.7%、女性は 28.4%となっている。

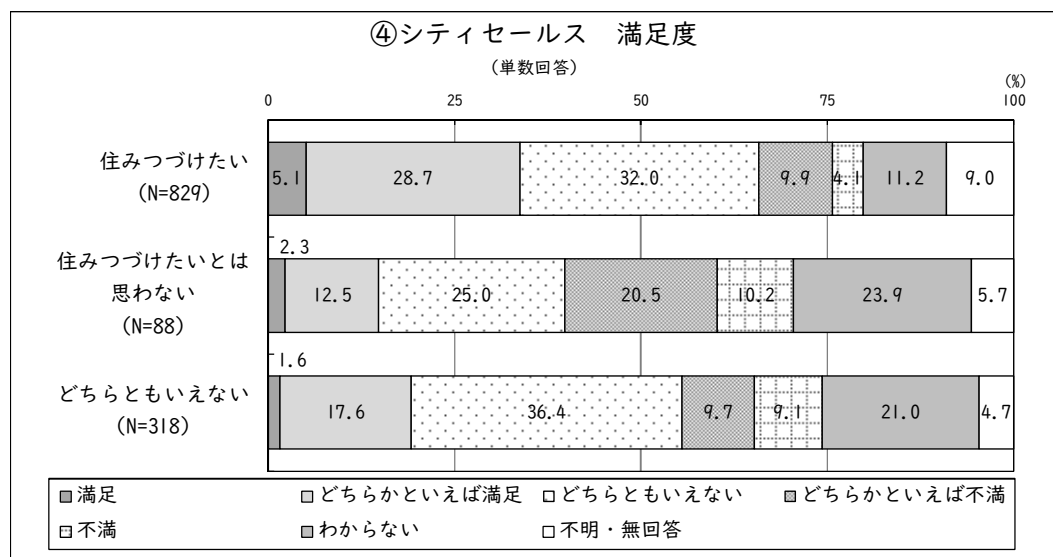
年代別にみると、20 歳代以下は「わからない」が、他の年代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 32.0%、以下、60 歳代で 31.1%、20 歳代以下で 28.2%と続いている。20 歳代以下では「満足」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 31.4%、以下、甲賀地域で 30.0%、甲南地域で 29.3%、水口地域で 28.3%、信楽地域で 24.5%と続いている。

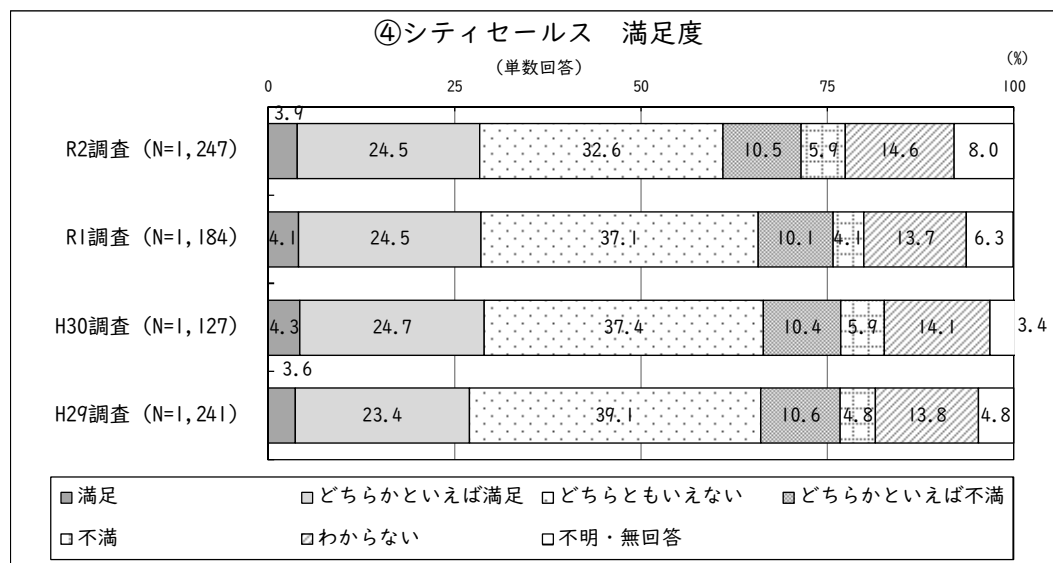
甲賀市の居住歴別にみると、いずれの居住歴においても「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 32.5%、以下、3 年～10 年未満で 29.4%、10 年以上で 28.5%と続いている。3 年未満では「どちらかといえば不満」「不満」が少なくなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 33.8%、以下、どちらともいえないで 19.2%、住みつづけたいとは思わないで 14.8%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると『満足』『不満』に総じて変化は見られない。



【重要度】

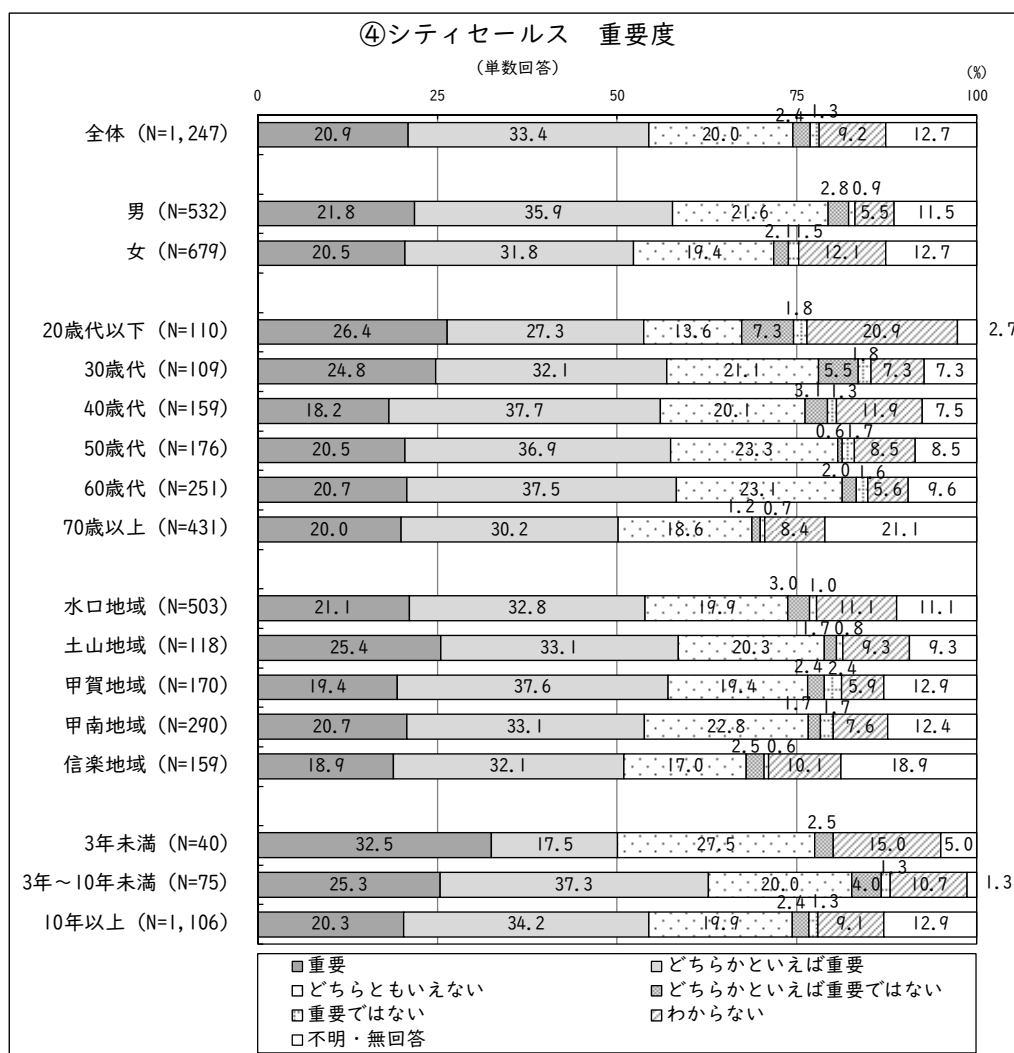
シティセールの重要度は、「どちらかといえば重要」が 33.4%で最も多くなっており、以下、「重要」が 20.9%、「どちらともいえない」が 20.0%、「わからない」が 9.2%、「どちらかといえば重要ではない」が 2.4%、「重要ではない」が 1.3%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 54.3%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 57.7%、女性は 52.3%となっている。

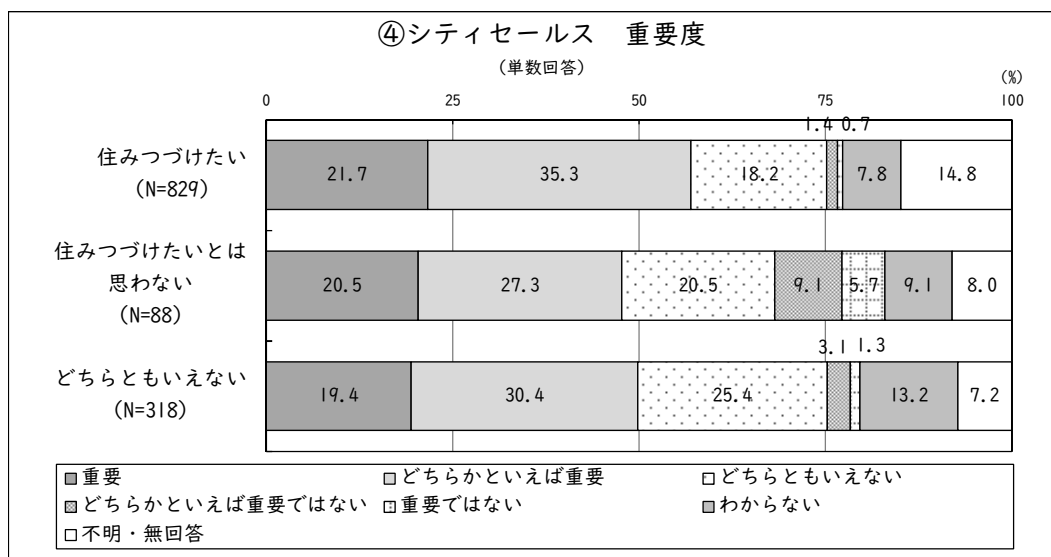
年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 60 歳代で 58.2%、以下、50 歳代で 57.4%、30 歳代で 56.9%と続いている。20 歳代以下では「重要」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 58.5%、以下、甲賀地域で 57.0%、水口地域で 53.9%、甲南地域で 53.8%、信楽地域で 51.0%と続いている。

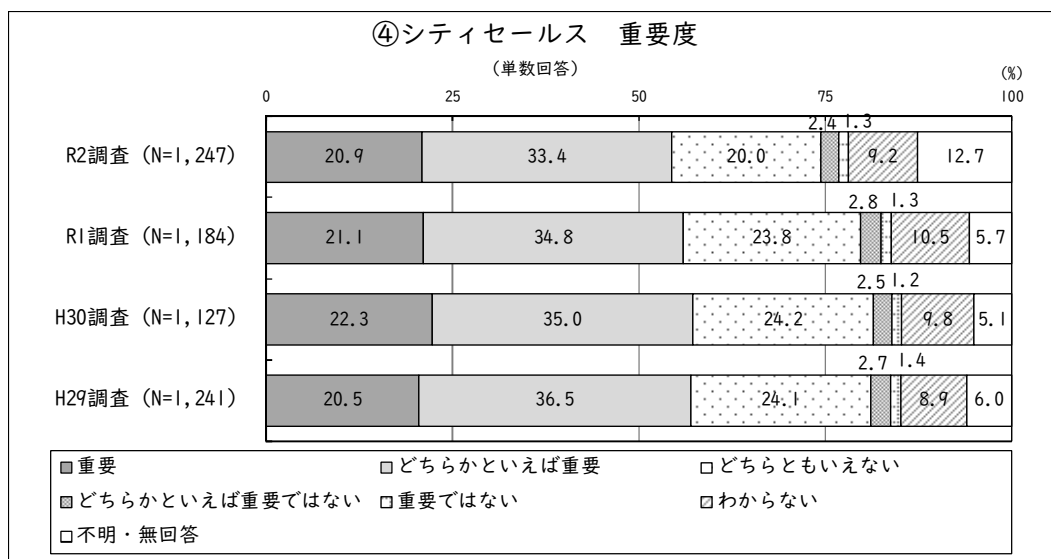
甲賀市の居住歴別にみると、3 年未満のみ「重要」が、他の居住歴では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 62.6%、以下、10 年以上で 54.5%、3 年未満で 50.0%と続いている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 57.0%、以下、どちらともいえないで 49.8%、住みつづけたいとは思わないで 47.8%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、総じて変化はみられない。



【2. いろいろ山河と生きいき文化】

⑤ 環境・景観(自然保護、景観保全、公園整備、生活環境)

【満足度】

環境・景観の満足度は、「どちらかといえば満足」が 33.7%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が 26.0%、「どちらかといえば不満」が 11.2%、「満足」が 9.0%、「わからない」が 6.9%、「不満」が 6.2%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 42.7%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 44.4%、女性は 41.7%となっている。

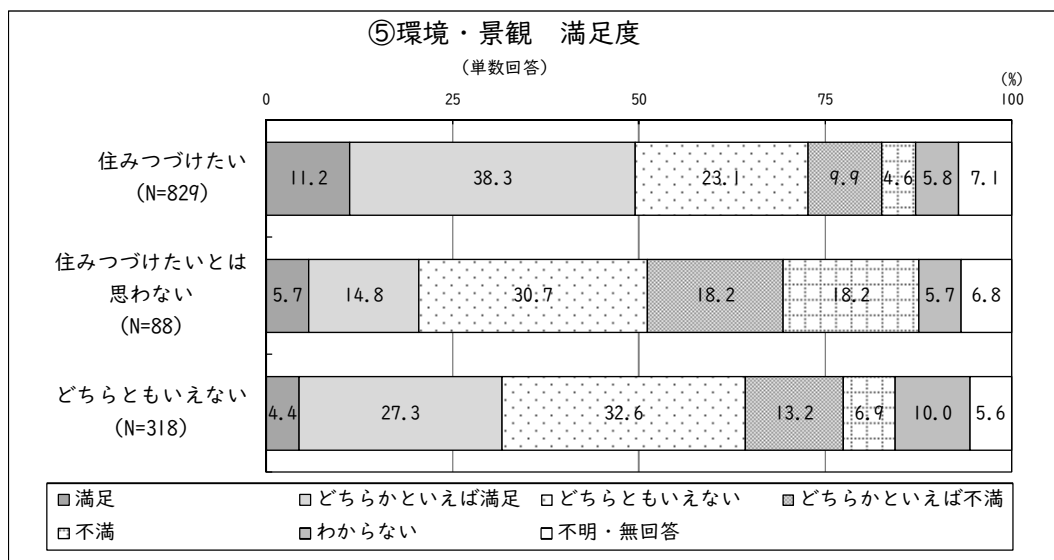
年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 49.1%、以下、50 歳代で 46.6%、30 歳代で 44.9%と続いている。20 歳代以下で「満足」が、40 歳代で「不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、信楽地域のみ「どちらともいえない」が、他の地域では「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 49.2%、以下、甲賀地域で 45.9%、水口地域で 44.1%、甲南地域で 40.3%、信楽地域で 35.2%と続いている。

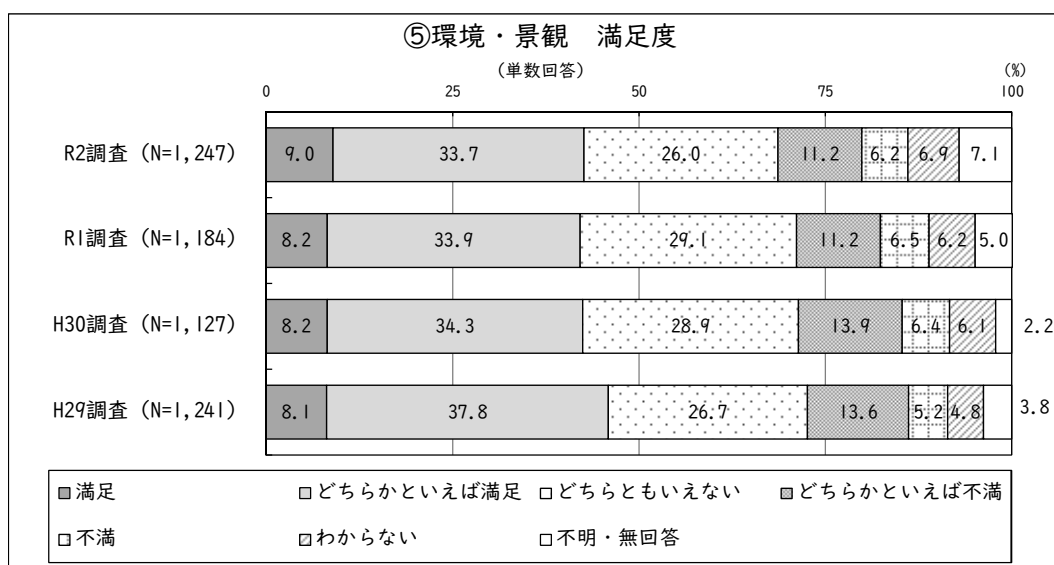
甲賀市の居住歴別にみると、3 年未満のみ「どちらともいえない」が、他の居住歴では「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 47.5%、以下、3 年～10 年未満で 46.7%、10 年以上で 42.7%と続いている。3 年未満で「満足」が多く、3 年～10 年未満で「満足」が少なくなっている。



定住意向別にみると、住みつづけたいでは「どちらかといえば満足」が、他の定住意向では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 49.5%、以下、どちらともいえないで 31.7%、住みつづけたいとは思わないで 20.5%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「どちらかといえば満足」「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



【重要度】

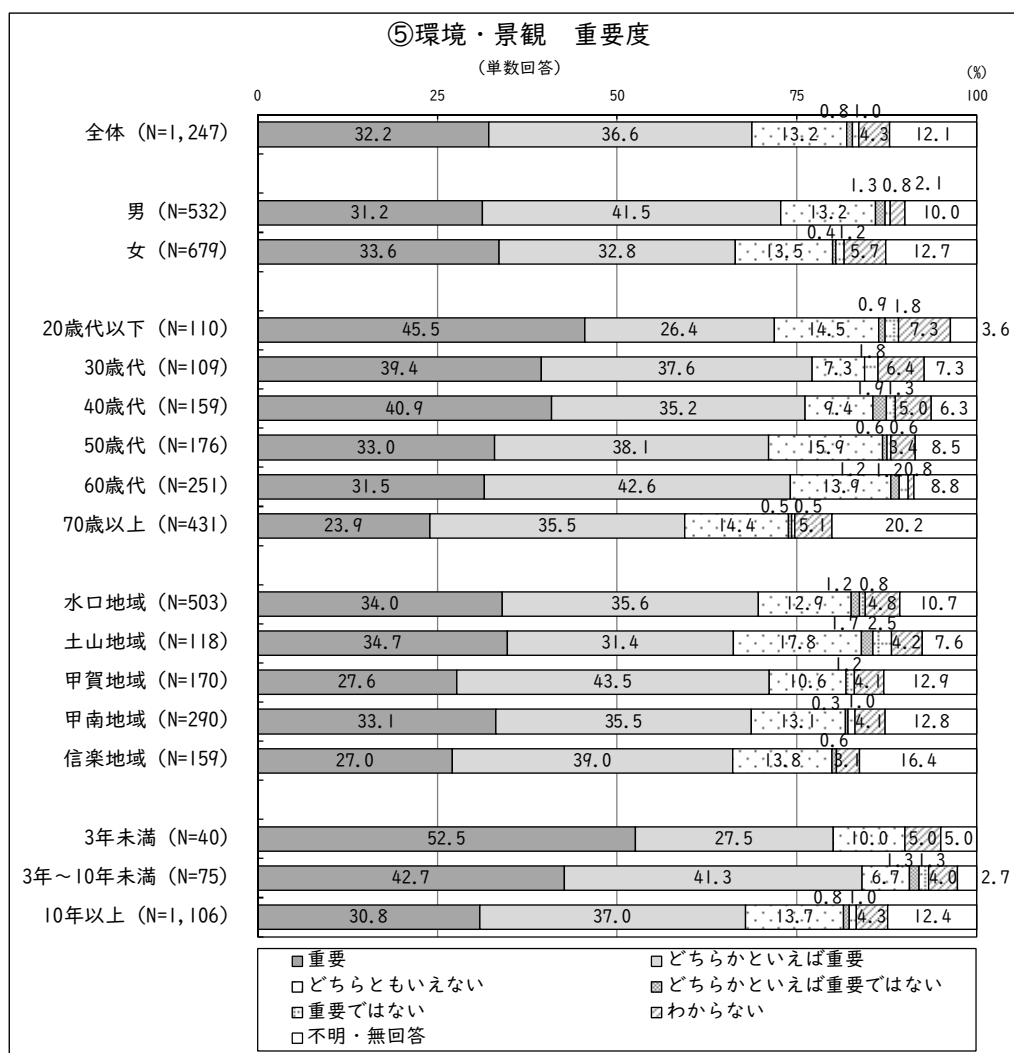
環境・景観の重要度は、「どちらかといえば重要」が 36.6%で最も多くなっており、以下、「重要」が 32.2%、「どちらともいえない」が 13.2%、「わからない」が 4.3%、「重要ではない」が 1.0%、「どちらかといえば重要ではない」が 0.8%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 68.8%となっている。

性別にみると、男性は「どちらかといえば重要」が、女性は「重要」が、最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 72.7%、女性は 66.4%となっている。

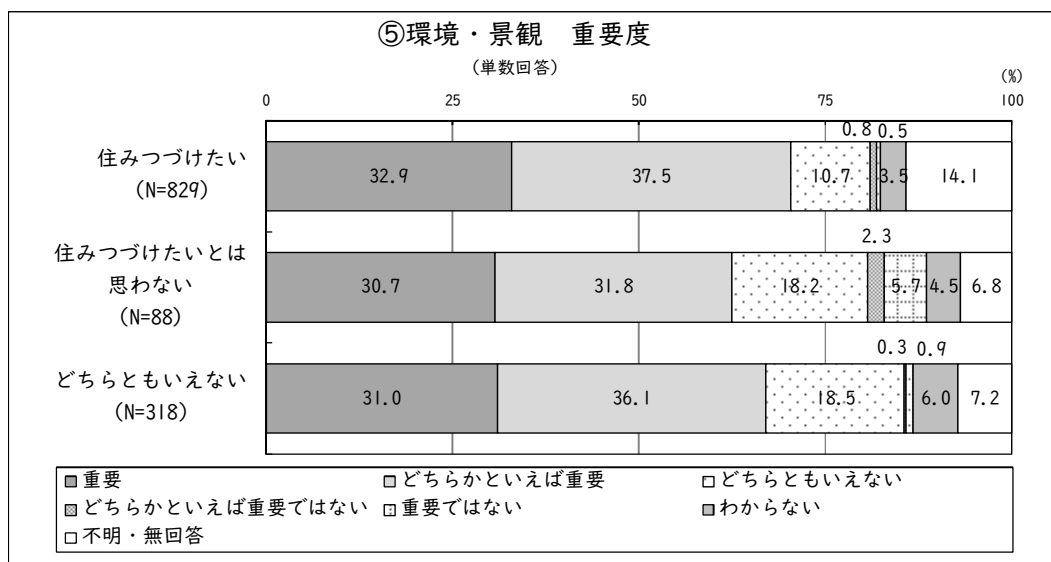
年代別にみると、40 歳代以下では「重要」が、他の年代では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 30 歳代で 77.0%、以下、40 歳代で 76.1%、60 歳代で 74.1%と続いている。

居住地域別にみると、土山地域のみ「重要」が、他の地域では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 71.1%、以下、水口地域で 69.6%、甲南地域で 68.6%、土山地域で 66.1%、信楽地域で 66.0%と続いている。

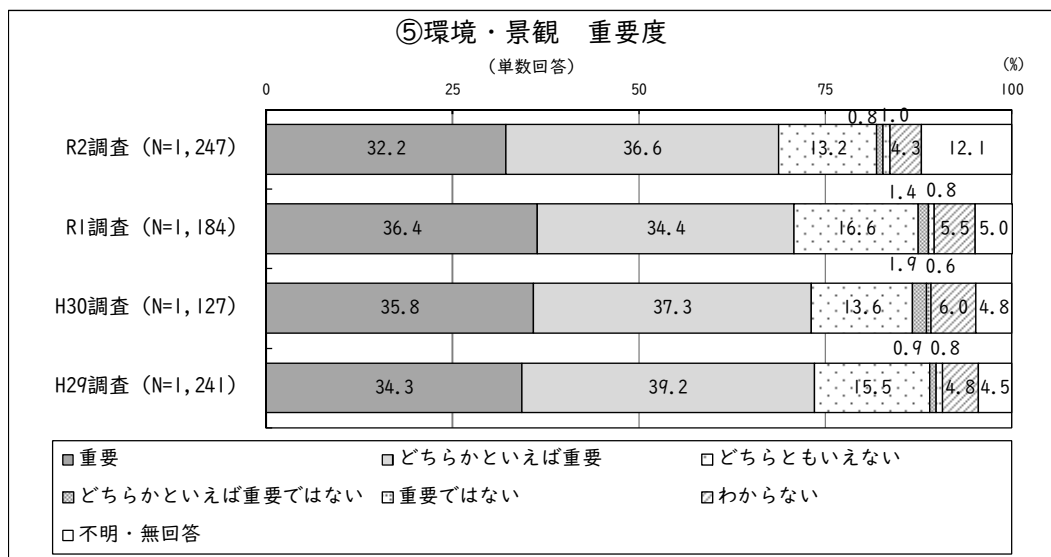
甲賀市の居住歴別にみると、10 年未満では「重要」が、10 年以上では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 84.0%、以下、3 年未満で 80.0%、10 年以上で 67.8%と続いている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 70.4%、以下、どちらともいえないで 67.1%、住みつづけたいとは思わないで 62.5%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、令和元年度まで「重要」が多くなっていたが、本年度は少なくなっている。



⑥ 歴史・文化財(文化財の調査、保護、活用)

【満足度】

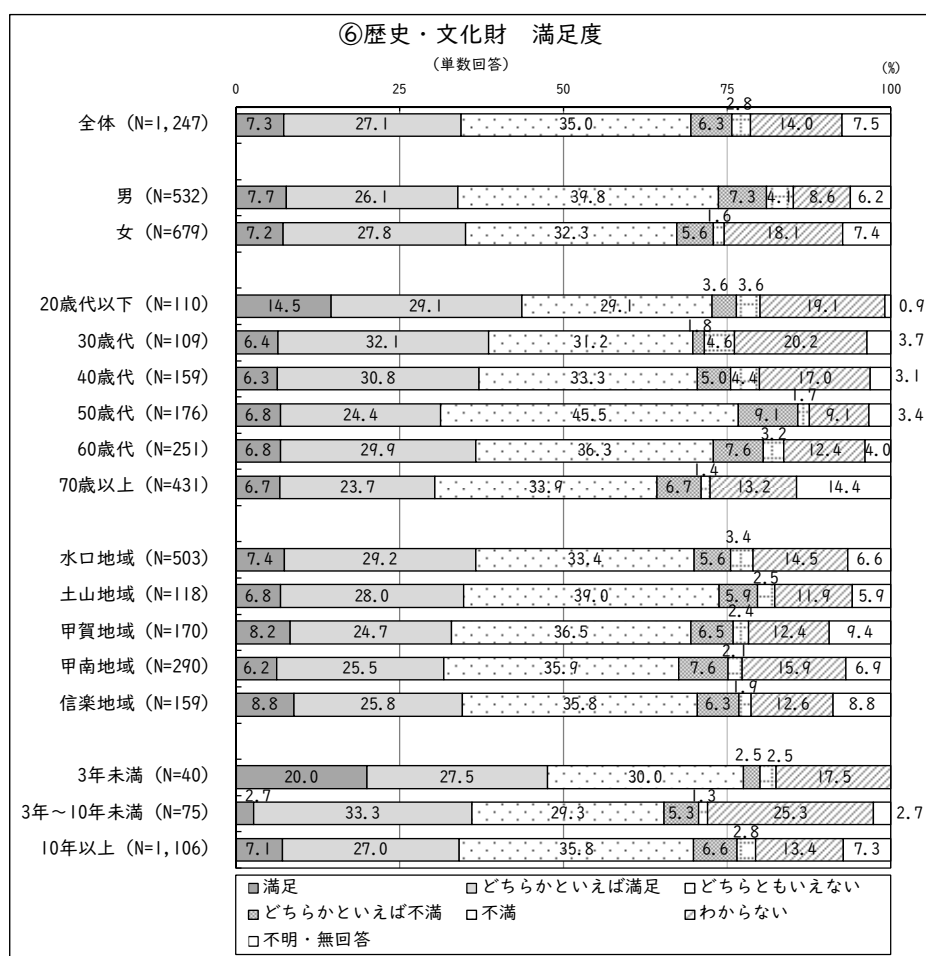
歴史・文化財の満足度は、「どちらともいえない」が 35.0%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 27.1%、「わからない」が 14.0%、「満足」が 7.3%、「どちらかといえば不満」が 6.3%、「不満」が 2.8%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 34.4%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 33.8%、女性は 35.0%となっている。

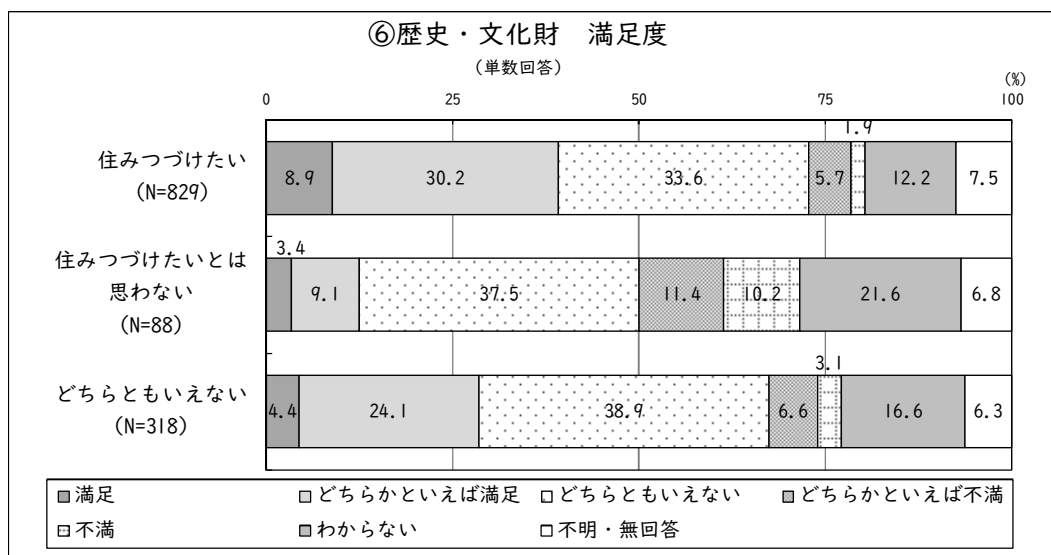
年代別にみると、30 代以下では「どちらかといえば満足」が、他の年代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 43.6%、以下、30 歳代で 38.5%、40 歳代で 37.1%と続いている。20 歳代以下では「満足」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 36.6%、以下、土山地域で 34.8%、信楽地域で 34.6%、甲賀地域で 32.9%、甲南地域で 31.7%と続いている。

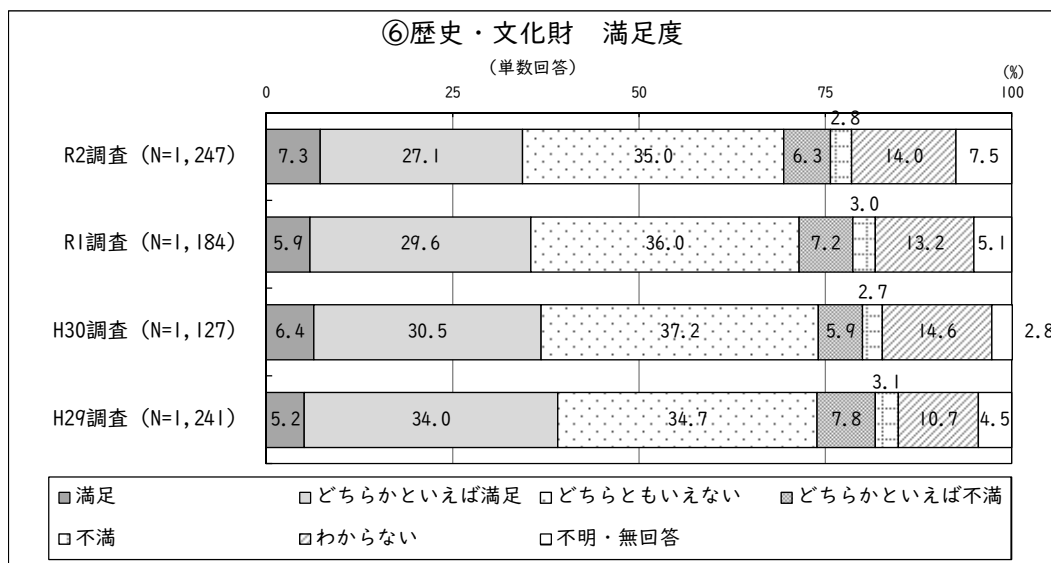
甲賀市の居住歴別にみると、3 年～10 年未満は「どちらかといえば満足」が、他の居住歴では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 47.5%、以下、3 年～10 年未満で 36.0%、10 年以上で 34.1%と続いている。3 年未満では「満足」が多くなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 39.1%、以下、どちらともいえないで 28.5%、住みつづけたいとは思わないで 12.5%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「どちらかといえば満足」が少なくなっている。



【重要度】

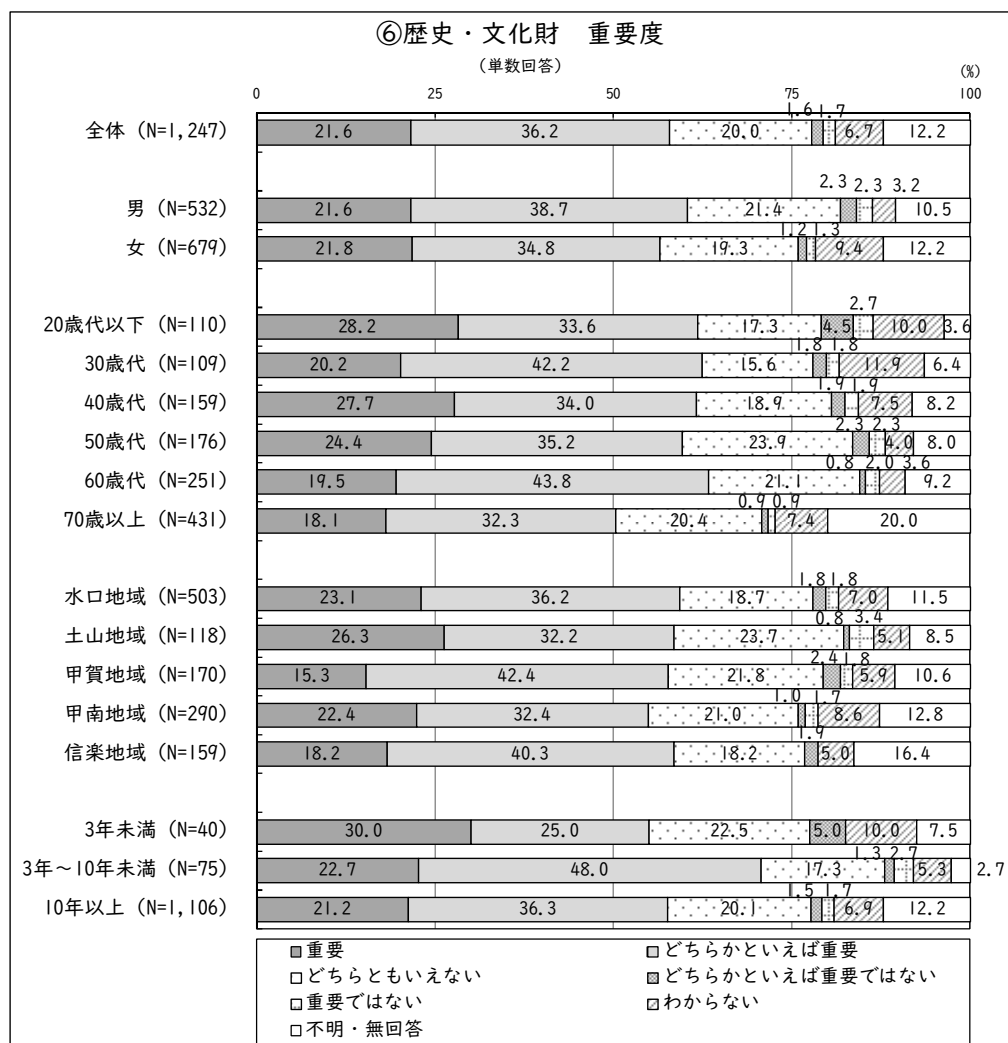
歴史・文化財の重要度は、「どちらかといえば重要」が 36.2%で最も多くなっており、以下、「重要」が 21.6%、「どちらともいえない」が 20.0%、「わからない」が 6.7%、「重要ではない」が 1.7%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.6%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 57.8%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 60.3%、女性は 56.6%となっている。

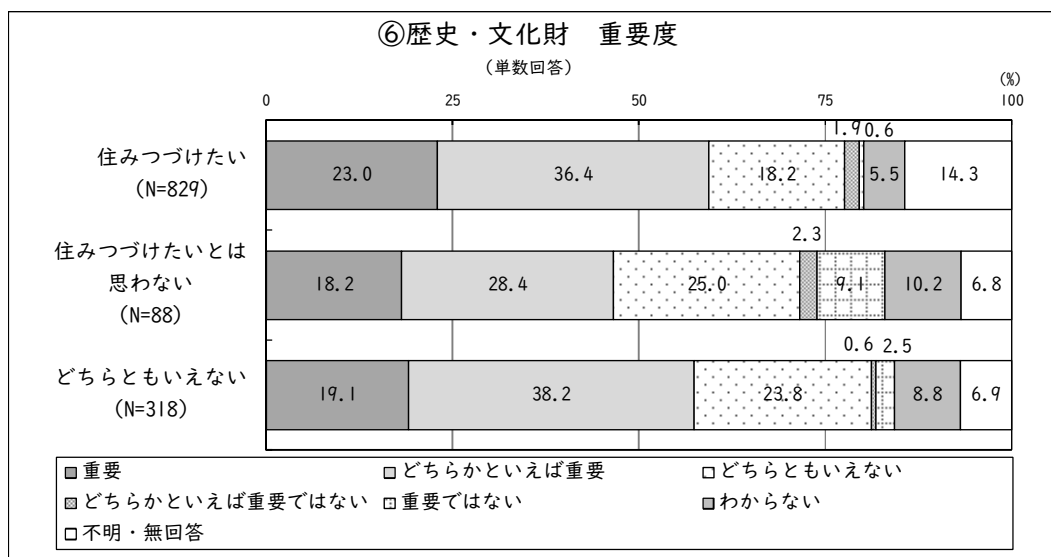
年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 60 歳代で 63.3%、以下、30 歳代で 62.4%、20 歳代以下で 61.8%と続いている。20 歳代以下と 40 歳代で「重要」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 59.3%、以下、土山地域、信楽地域で 58.5%、甲賀地域で 57.7%、甲南地域で 54.8%と続いている。甲賀地域で「重要」が少なくなっている。

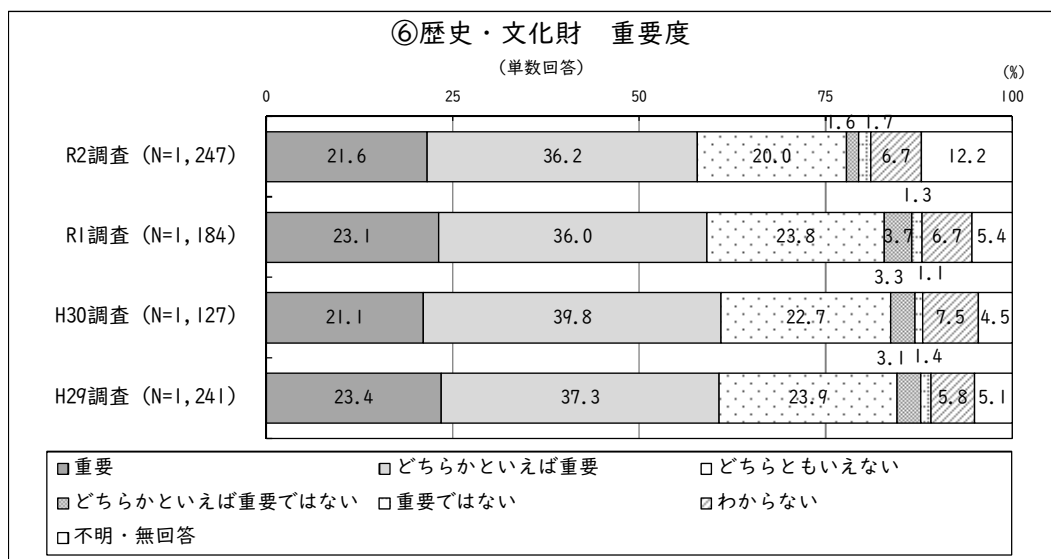
甲賀市の居住歴別にみると、3 年未満のみ「重要」が、それ以外の居住歴においては「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 70.7%、以下、10 年以上で 57.5%、3 年未満で 55.0%と続いている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 59.4%、以下、どちらともいえないで 57.3%、住みつづけたいとは思わないで 46.6%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、総じて変化はみられない。



⑦ 生涯学習・文化・スポーツ(生涯学習、文化、芸術、スポーツの振興)

【満足度】

生涯学習・文化・スポーツの満足度は、「どちらともいえない」が38.0%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が23.8%、「わからない」が13.3%、「どちらかといえば不満」が9.4%、「満足」が5.6%、「不満」が3.0%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は29.4%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は29.5%、女性は29.9%となっている。

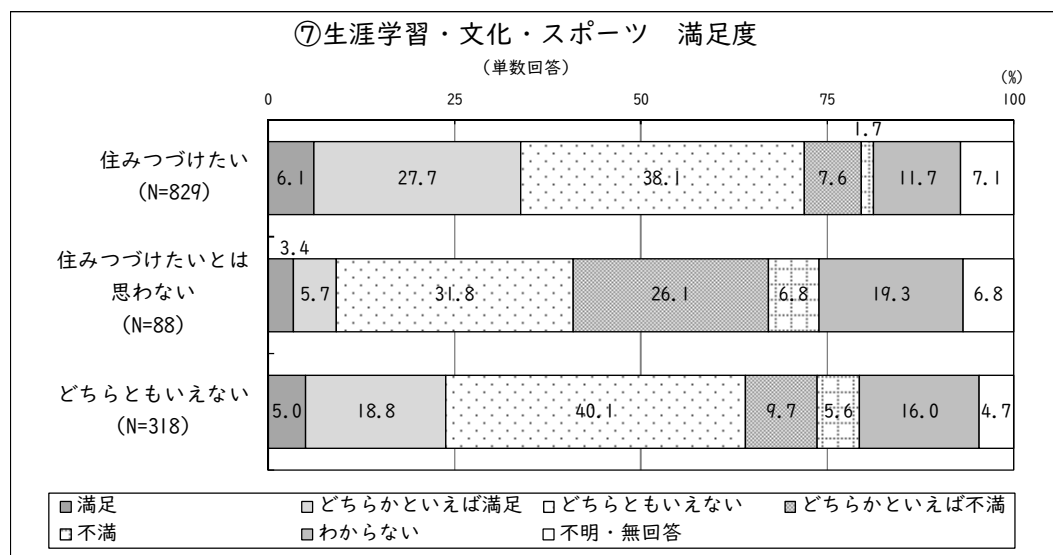
年代別にみると、20歳代以下のみ「どちらかといえば満足」が、他の年代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で40.0%、以下、40歳代で33.9%、30歳代で28.5%と続いている。20歳代以下では「満足」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で33.5%、以下、水口地域で30.7%、甲南地域で29.7%、土山地域、信楽地域で24.6%と続いている。甲賀地域では「どちらかといえば満足」が多くなっている。

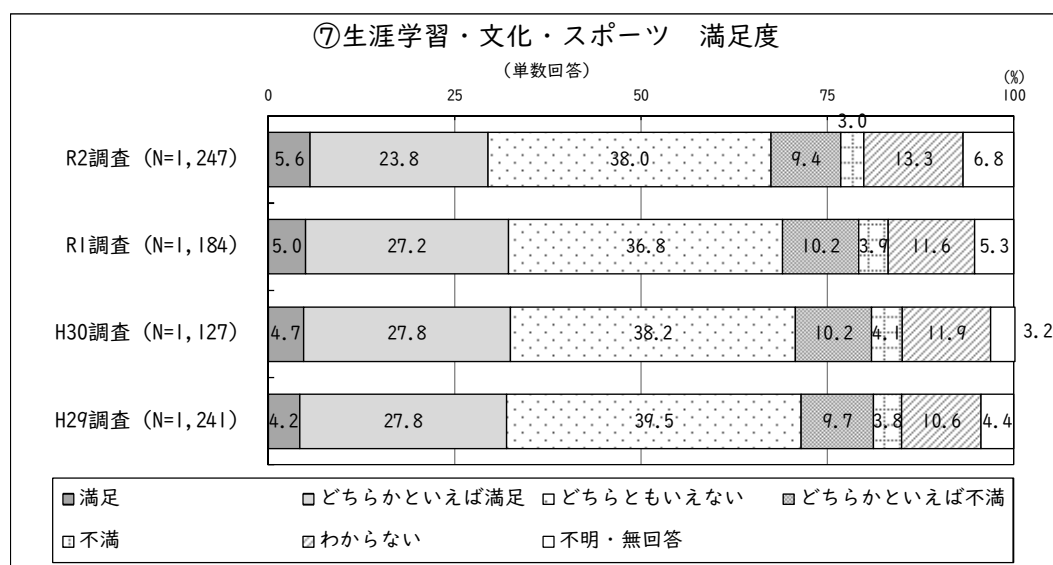
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で34.7%、以下、3年未満で32.5%、10年以上で28.9%と続いている。3年～10年未満では「どちらかといえば満足」が多くなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 33.8%、以下、どちらともいえないで 23.8%、住みつづけたいとは思わないで 9.1%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」が増加し、本年度は「どちらかといえば満足」が少なくなっている。



【重要度】

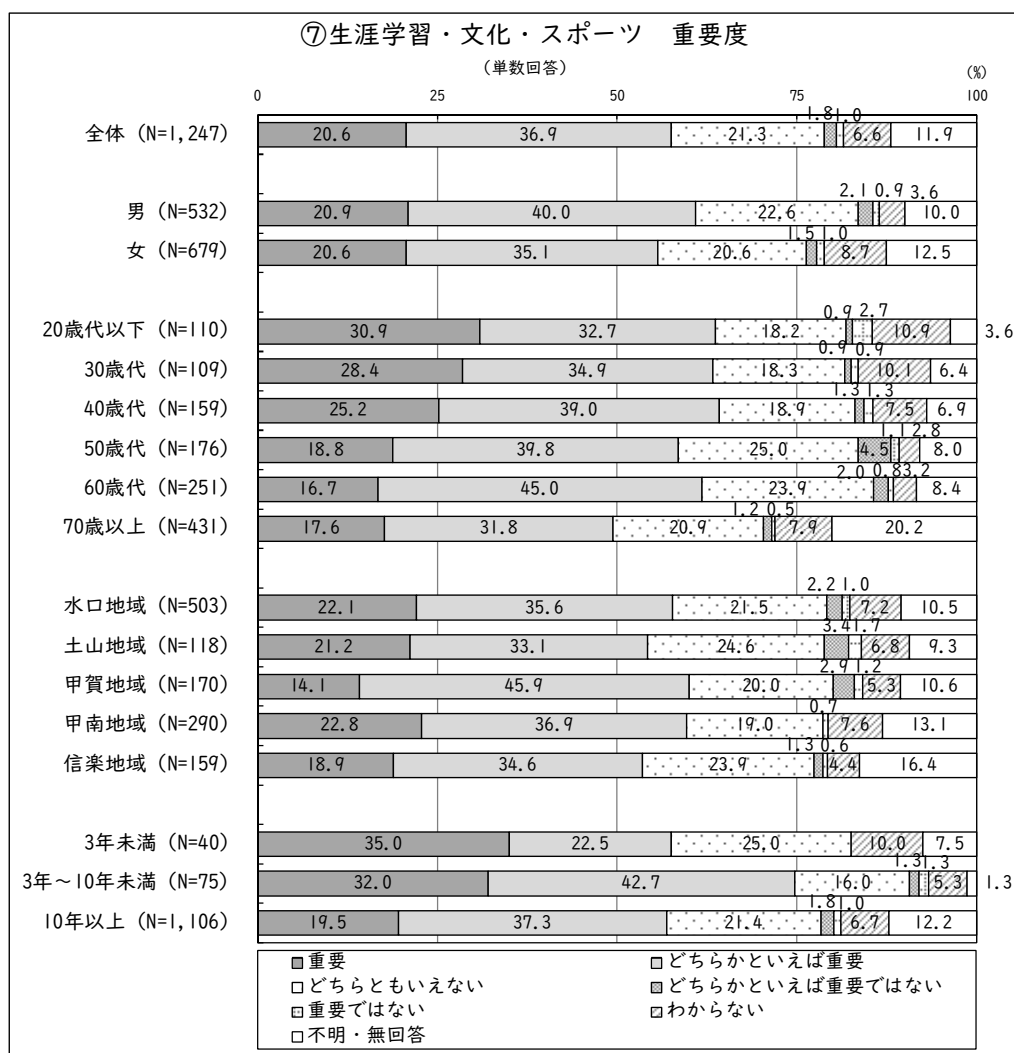
生涯学習・文化・スポーツの重要度は、「どちらかといえば重要」が 36.9%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が21.3%、「重要」が20.6%、「わからない」が6.6%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.8%、「重要ではない」が 1.0%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 57.5%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 60.9%、女性は 55.7%となっている。

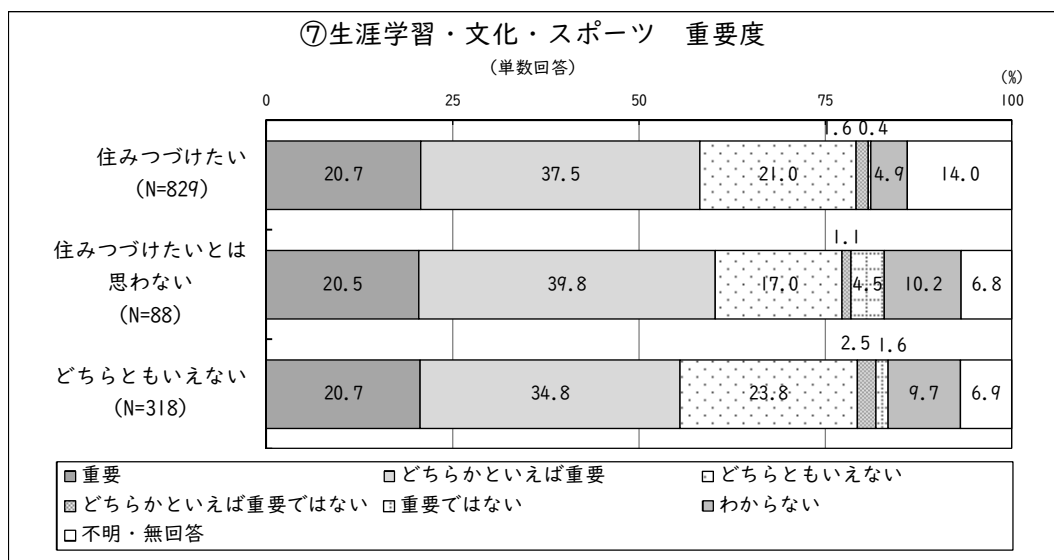
年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 40 歳代で 64.2%、以下、20 歳代以下で 63.6%、30 歳代で 63.3%と続いている。30 歳代以下では「重要」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 60.0%、以下、甲南地域で 59.7%、水口地域で 57.7%、土山地域で 54.3%、信楽地域で 53.5%と続いている。甲賀地域では「重要」が少なくなっている。

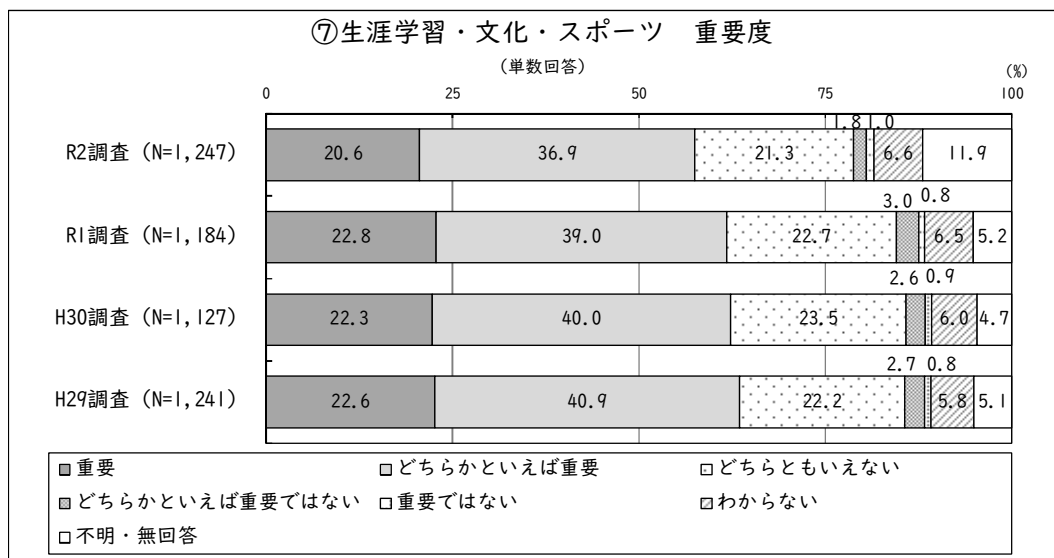
甲賀市の居住歴別にみると、3 年未満のみ「重要」が、他の居住歴では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 74.7%、以下、3 年未満で 57.5%、10 年以上で 56.8%と続いている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたとは思わないで 60.3%、以下、住みつづけたいで 58.2%、どちらともいえないで 55.5%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、本年度は「重要」「どちらかといえば重要」が少なくなっている。



⑧ 資源・エネルギー(省資源、省エネ、新エネルギーの活用、廃棄物処理)

【満足度】

資源・エネルギーの満足度は、「どちらともいえない」が37.4%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が22.1%、「わからない」が14.8%、「どちらかといえば不満」が8.8%、「満足」が6.2%、「不満」が4.2%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は28.3%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は26.3%、女性は30.0%となっている。

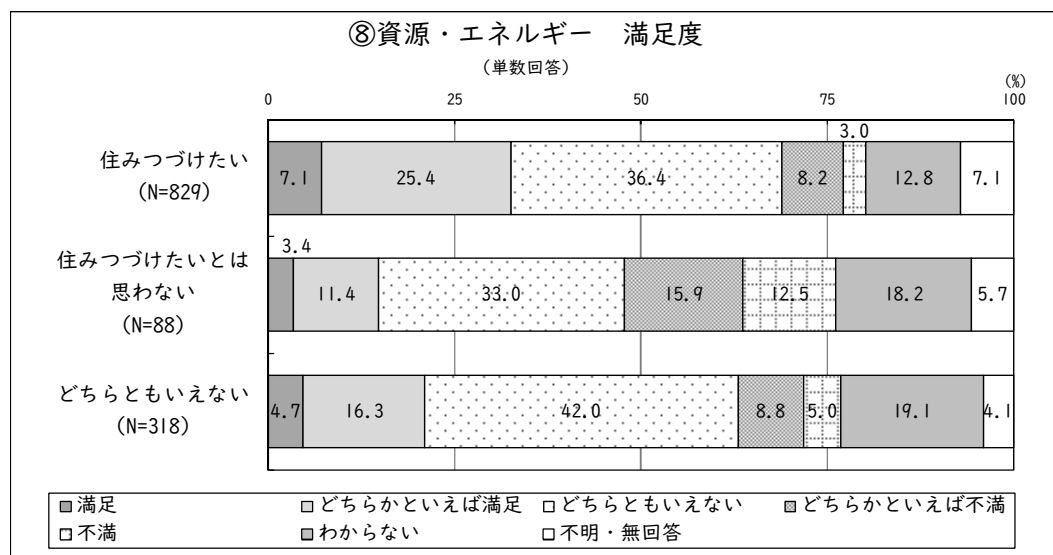
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で32.7%、以下、70歳以上で30.4%、40歳代で28.9%と続いている。20歳代以下では「満足」が多く、「どちらかといえば不満」が少なくなっている。30歳代では「満足」が少なく、「不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で30.5%、以下、甲賀地域で28.2%、土山地域で27.9%、甲南地域で26.2%、信楽地域で25.8%と続いている。

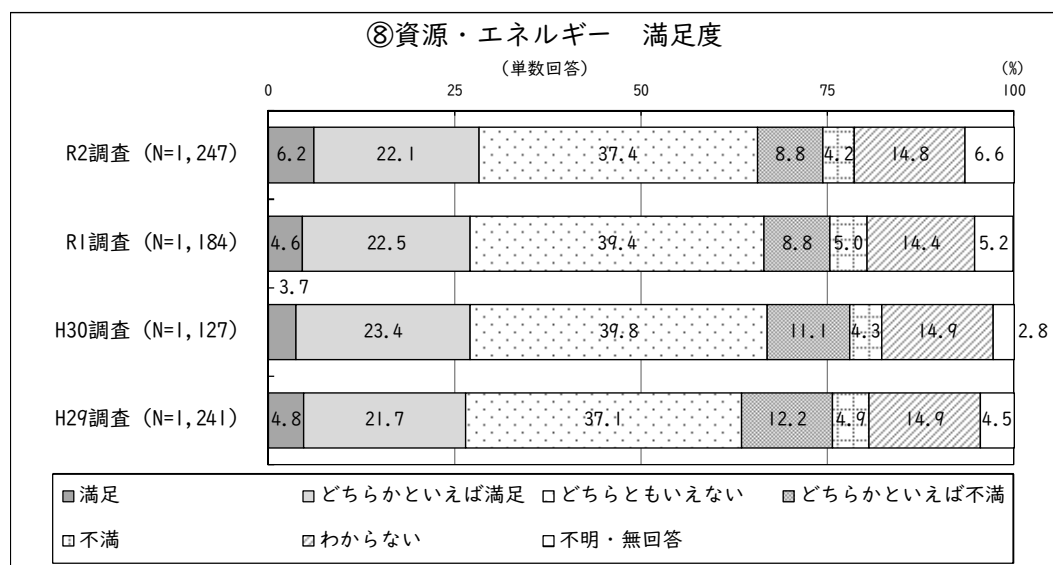
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは10年以上で28.9%、以下、3年未満で27.5%、3年～10年未満で22.7%と続いている。3年～10年未満では「満足」が少なくなっている。



定住意向別にみると、定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで32.5%、以下、どちらともいえないで21.0%、住みつづけたいとは思わないで14.8%と続いている。



平成29年度調査からの推移をみると、本年度は「満足」が多くなっている。



【重要度】

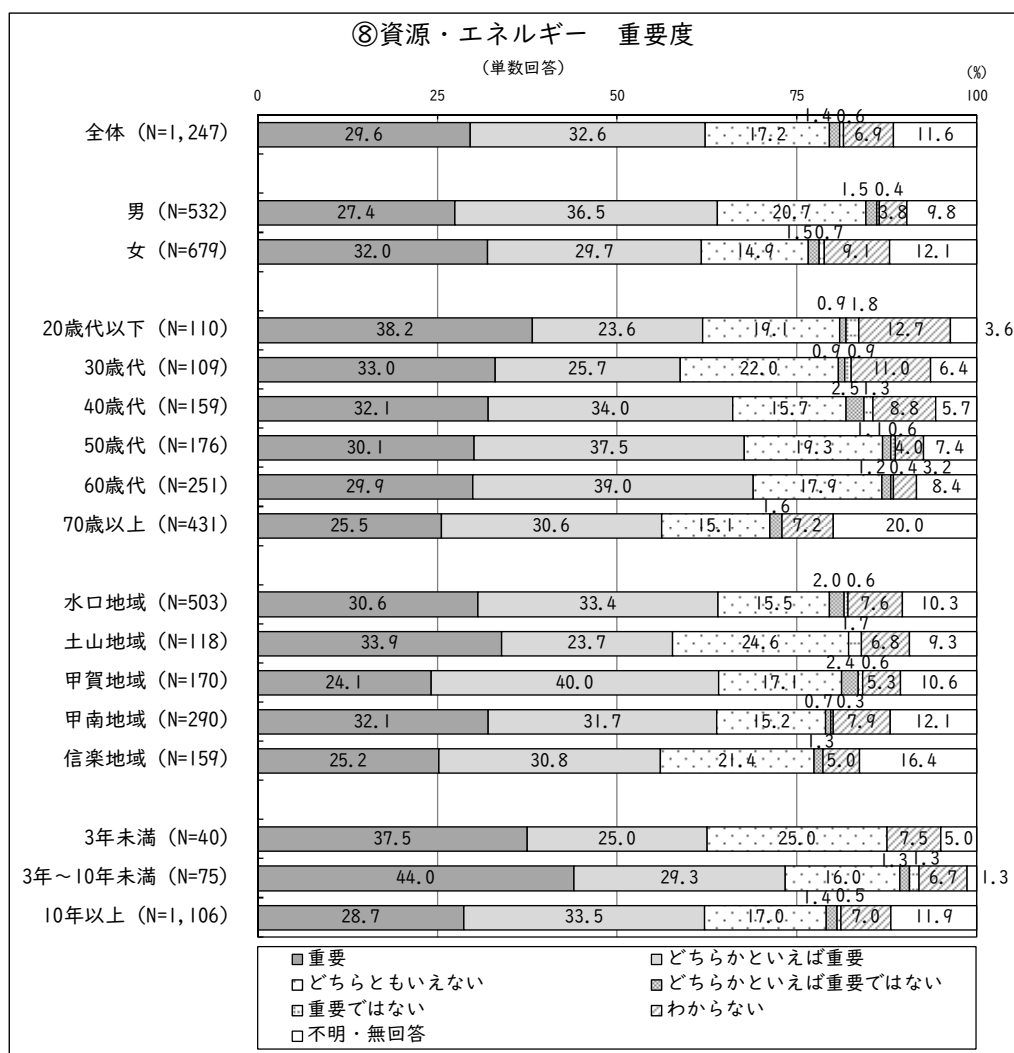
資源・エネルギーの重要度は、「どちらかといえば重要」が 32.6%で最も多くなっており、以下、「重要」が 29.6%、「どちらともいえない」が 17.2%、「不明・無回答」が 11.6%、「わからない」が 6.9%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.4%、「重要ではない」が 0.6%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 62.2%となっている。

性別にみると、性別にみると、男性は「どちらかといえば重要」が、女性は「重要」が、最も多くなっていてる。『重要』の割合をみると、男性は 63.9%、女性は 61.7%となっている。

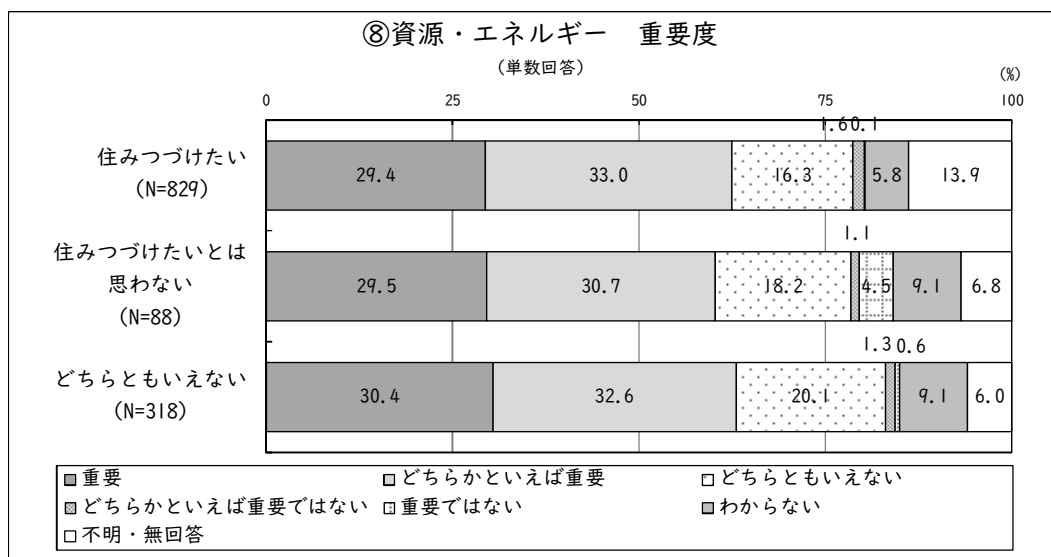
年代別にみると、30 歳代以下では「重要」が、他の年代では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 60 歳代で 68.9%、以下、50 歳代で 67.6%、40 歳代で 66.1%と続いている。

居住地域別にみると、土山地域、甲南地域では「重要」が、他の地域では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 64.1%、以下、水口地域で 64.0%、甲南地域で 63.8%、土山地域で 57.6%、信楽地域で 56.0%と続いている。

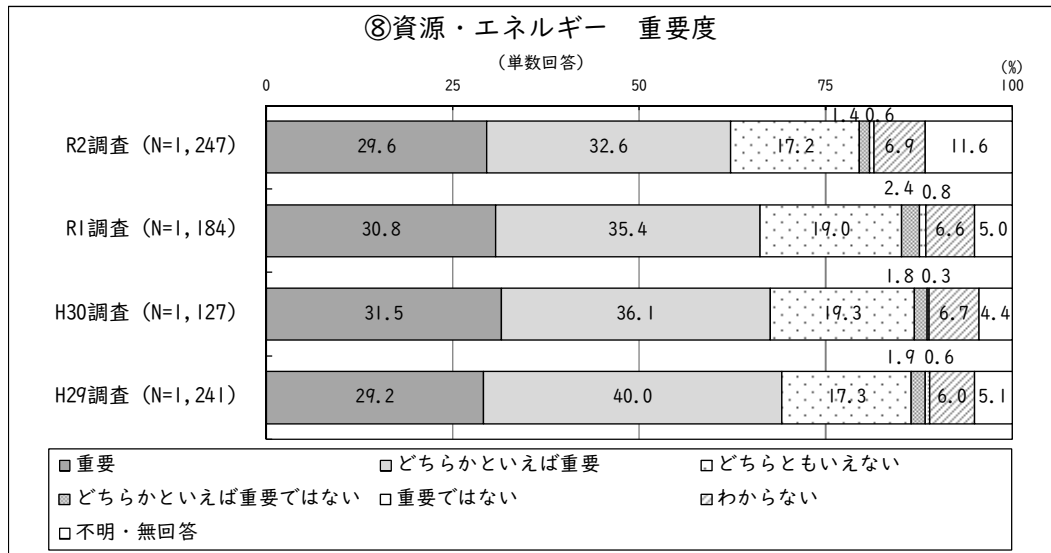
甲賀市の居住歴別にみると、10 年未満では「重要」が、10 年以上では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 73.3%、以下、3 年未満で 62.5%、10 年以上で 62.2%と続いている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのはどちらともいえないで 63.0%、以下、住みつづけたいで 62.4%、住みつづけたいとは思わないで 60.2%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「どちらかといえば重要」が少なくなっている。



【3. こぼれる笑顔に応える安心】

⑨ 地域福祉(高齢者の生きがい、障がい福祉、地域福祉団体、ボランティア、セーフティネット)

【満足度】

地域福祉の満足度は、「どちらともいえない」が 33.9%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 28.8%、「わからない」が 12.5%、「どちらかといえば不満」が 8.2%、「満足」が 6.3%、「不満」が 4.6%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 35.1%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 32.4%、女性は 37.7%となっている。

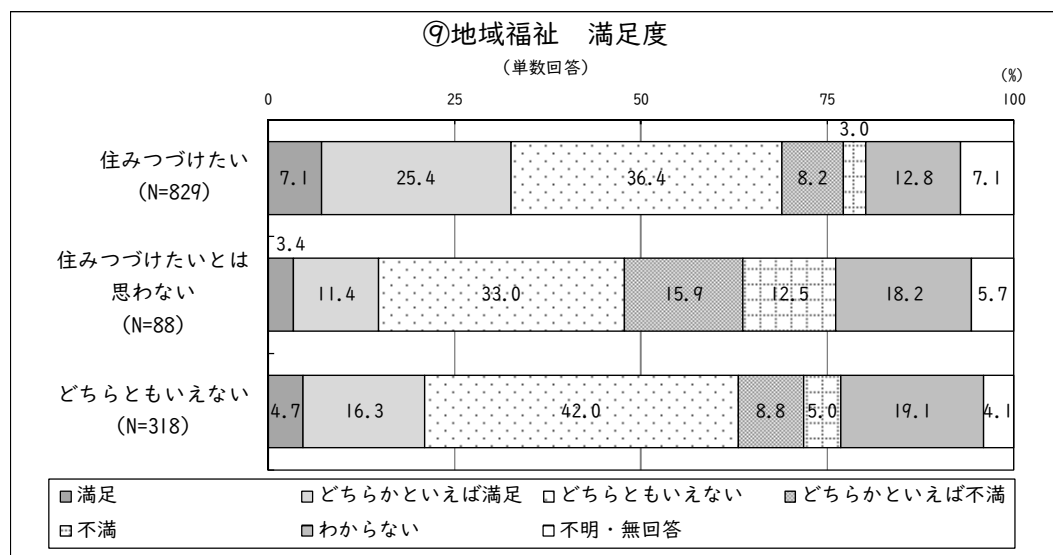
年代別にみると、30 歳代と 70 歳代は「どちらかといえば満足」が、他の年代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 41.0%、以下、20 歳代以下で 37.3%、60 歳代で 34.7%と続いている。20 歳代以下では「満足」が多くなっている。

居住地域別にみると、信楽地域では「どちらかといえば満足」が、他の地域では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは信楽地域で 40.2%、以下、土山地域で 39.0%、水口地域で 34.6%、甲南地域で 33.8%、甲賀地域で 32.3%と続いている。

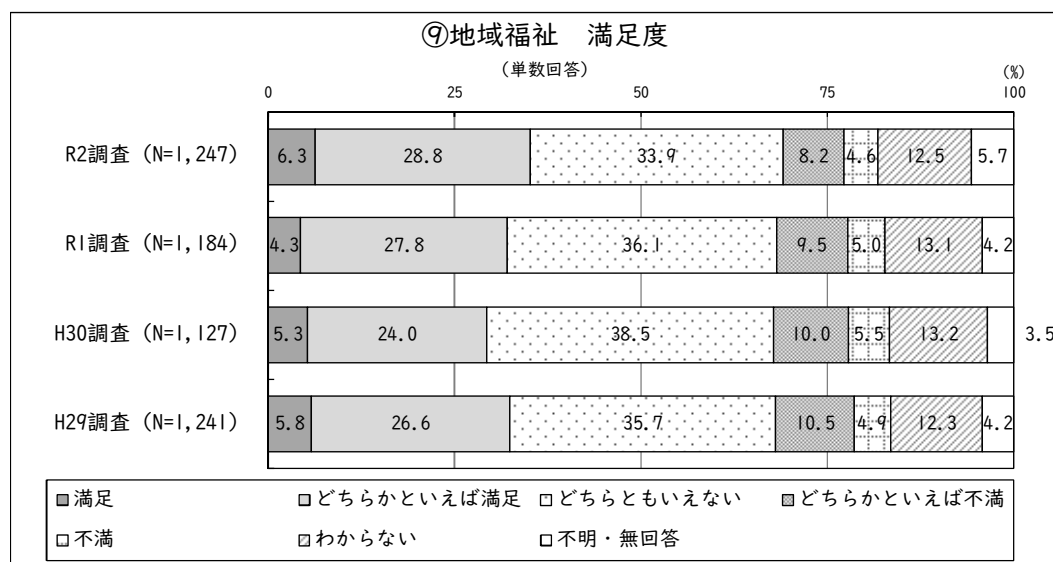
甲賀市の居住歴別にみると、3 年～10 年未満はで「どちらかといえば満足」が、他の居住歴では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 10 年以上で 35.9%、以下、3 年～10 年未満で 33.4%、3 年未満で 27.5%と続いている。



定住意向別にみると、住みつづけたいでは「どちらかといえば満足」が、他の定住意向では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 40.8%、以下、どちらともいえないで 26.7%、住みつづけたいとは思わないで 14.8%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、平成 30 年度以降「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえば不満」「不満」が少なくなっている。



【重要度】

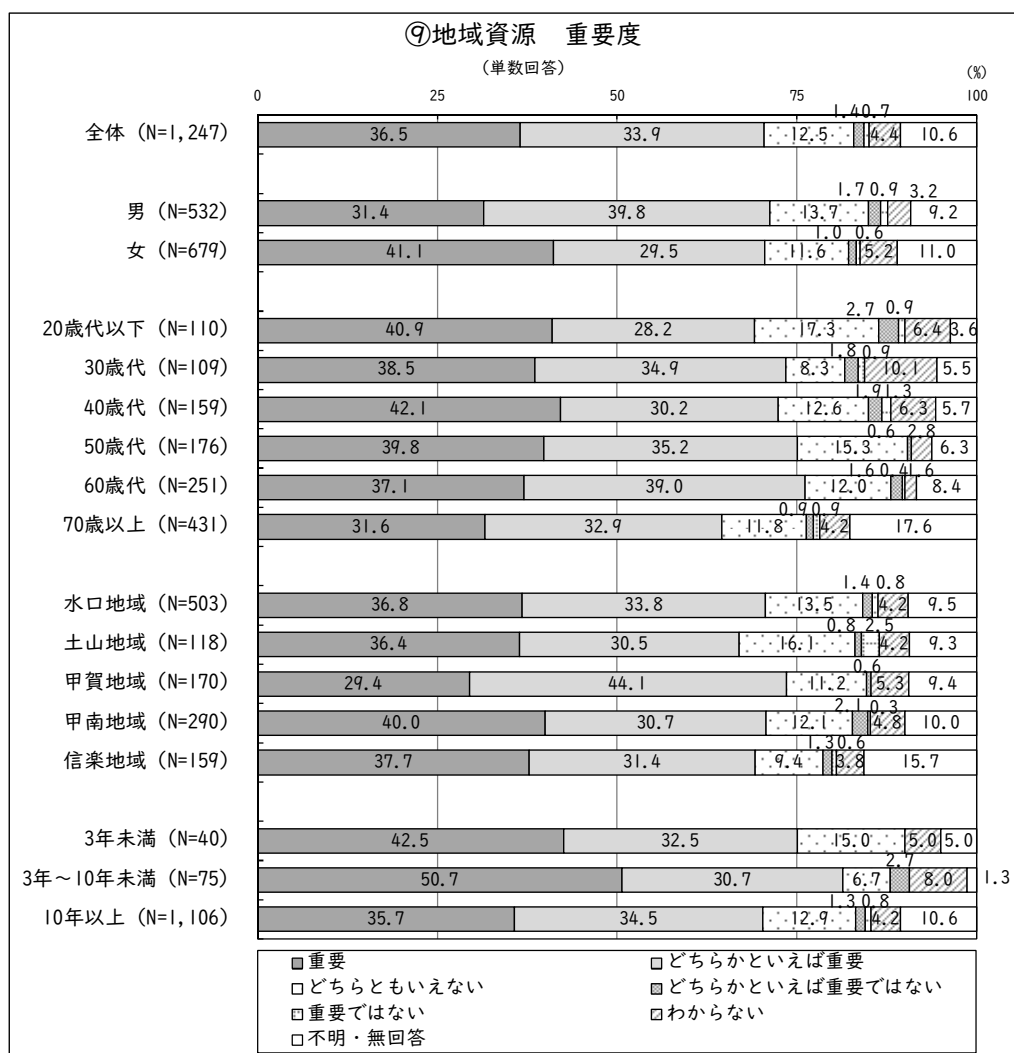
地域福祉の重要度は、「重要」が 36.5%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば重要」が 33.9%、「どちらともいえない」が 12.5%、「わからない」が 4.4%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.4%、「重要ではない」が 0.7%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 70.4%となっている。

性別にみると、男性は「どちらかといえば重要」が、女性は「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 71.2%、女性は 70.6%となっている。

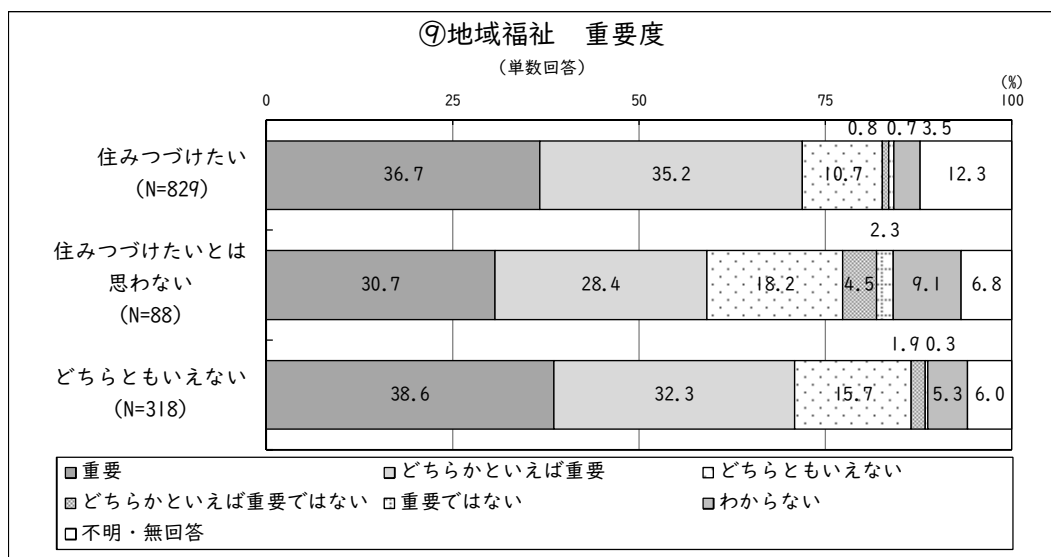
年代別にみると、60 歳代以上では「どちらかといえば重要」が、他の年代では「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 60 歳代で 76.1%、以下、50 歳代で 75.0%、30 歳代で 73.4%と続いている。

居住地域別にみると、甲賀地域では「どちらかといえば重要」が、他の地域では「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 73.5%、以下、甲南地域で 70.7%、水口地域で 70.6%、信楽地域で 69.1%、土山地域で 66.9%と続いている。

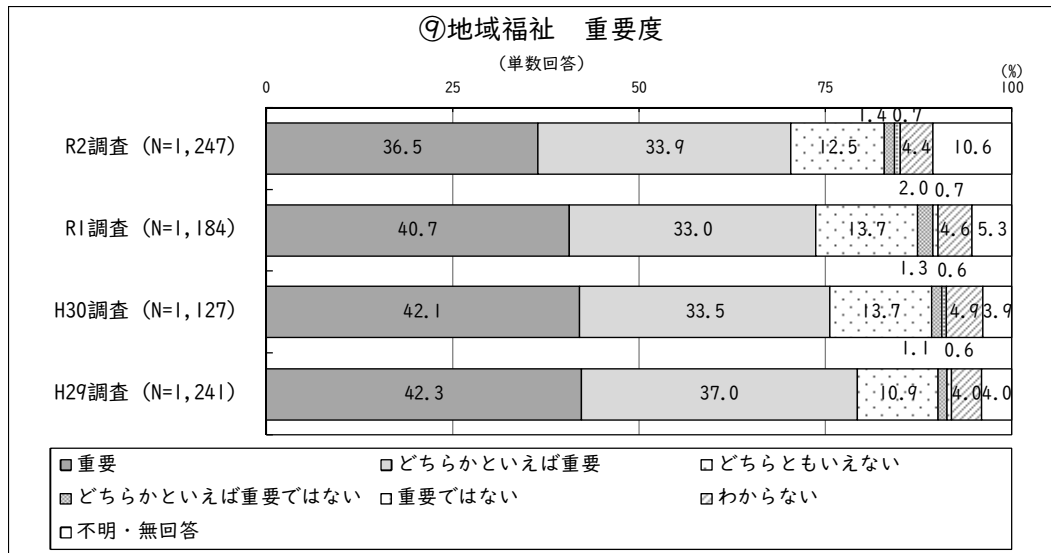
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で81.4%、以下、3年未満で75.0%、10年以上で70.2%と続いている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 71.9%、以下、どちらともいえないで 70.9%、住みつづけたいとは思わないで 59.1%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「重要」「どちらかといえば重要」が少なくなっている。



⑩ 保健・医療(健康、疾病の予防と早期発見、地域医療体制、国民健康保険、後期高齢者医療保険)

【満足度】

保健・医療の満足度は、「どちらかといえば満足」が 34.2%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が 29.0%、「どちらかといえば不満」が 10.1%、「満足」が 8.8%、「わからない」が 7.1%、「不満」が 5.5%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 43.0%となっている。

性別にみると、男性は「どちらともいえない」が、女性は「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 40.1%、女性は 45.8%となっている。

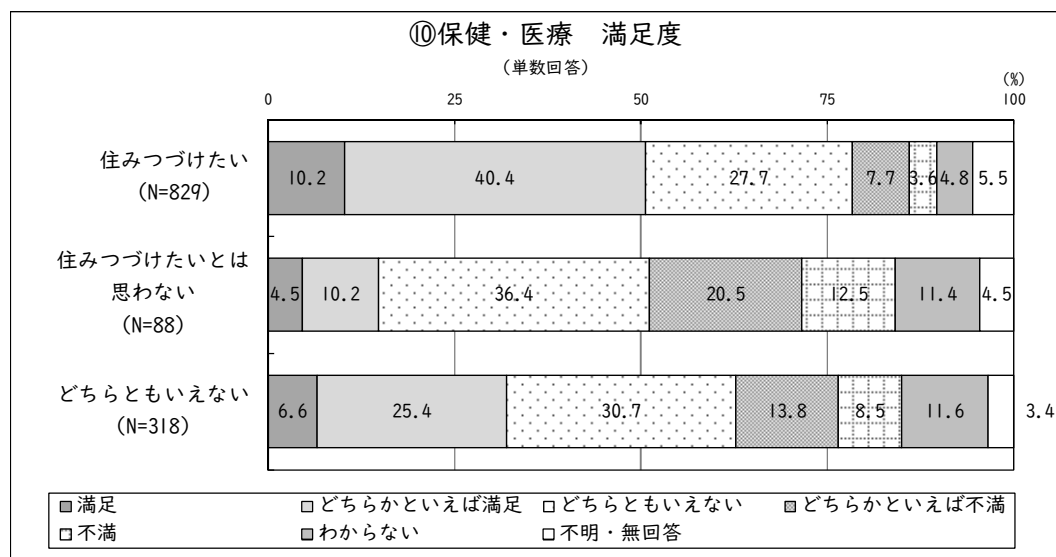
年代別にみると、20 歳代以下、40 歳代、50 歳代では「どちらともいえない」が、他の年代では「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 52.2%、以下、60 歳代で 45.8%、20 歳代以下で 37.3%、30 歳代で 36.7%、と続いている。30 歳代では「満足」が少なく、「不満」が多くなっている。50 歳代では「どちらかといえば不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 46.6%、以下、水口地域で 44.7%、甲南地域で 42.1%、甲賀地域で 41.2%、信楽地域で 38.4%と続いている。信楽地域では「どちらかといえば不満」が多くなっている。

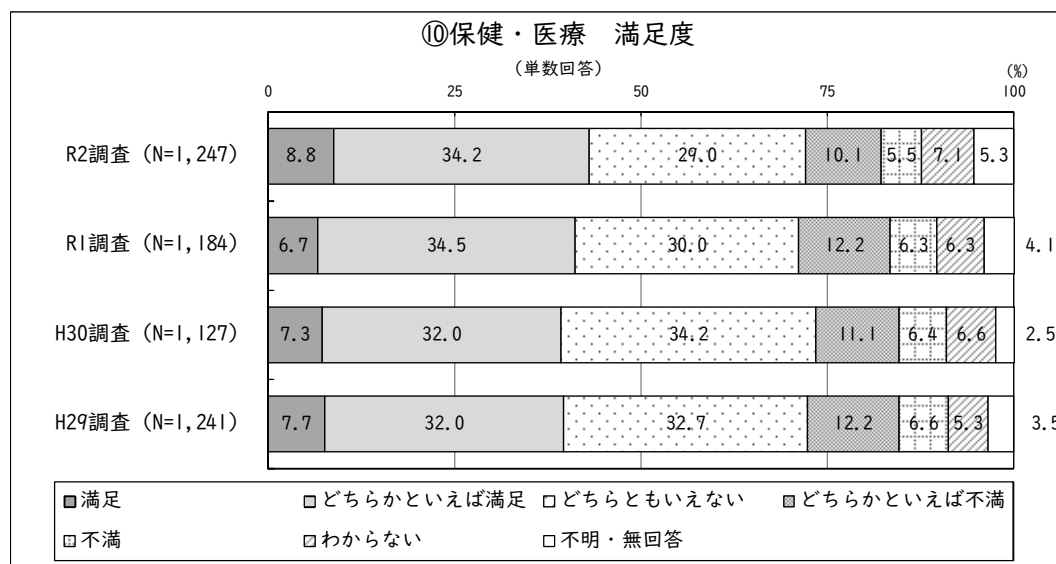
甲賀市の居住歴別にみると、3 年未満では「どちらともいえない」が、他の居住歴では「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 44.0%、以下、10 年以上で 43.1%、3 年未満で 37.5%と続いている。3 年未満では「満足」が多く、「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



定住意向別にみると、住みつづけたいでは「どちらかといえば満足」が、他の定住意向では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 50.6%、以下、どちらともいえないで 32.0%、住みつづけたいとは思わないで 14.7%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



【重要度】

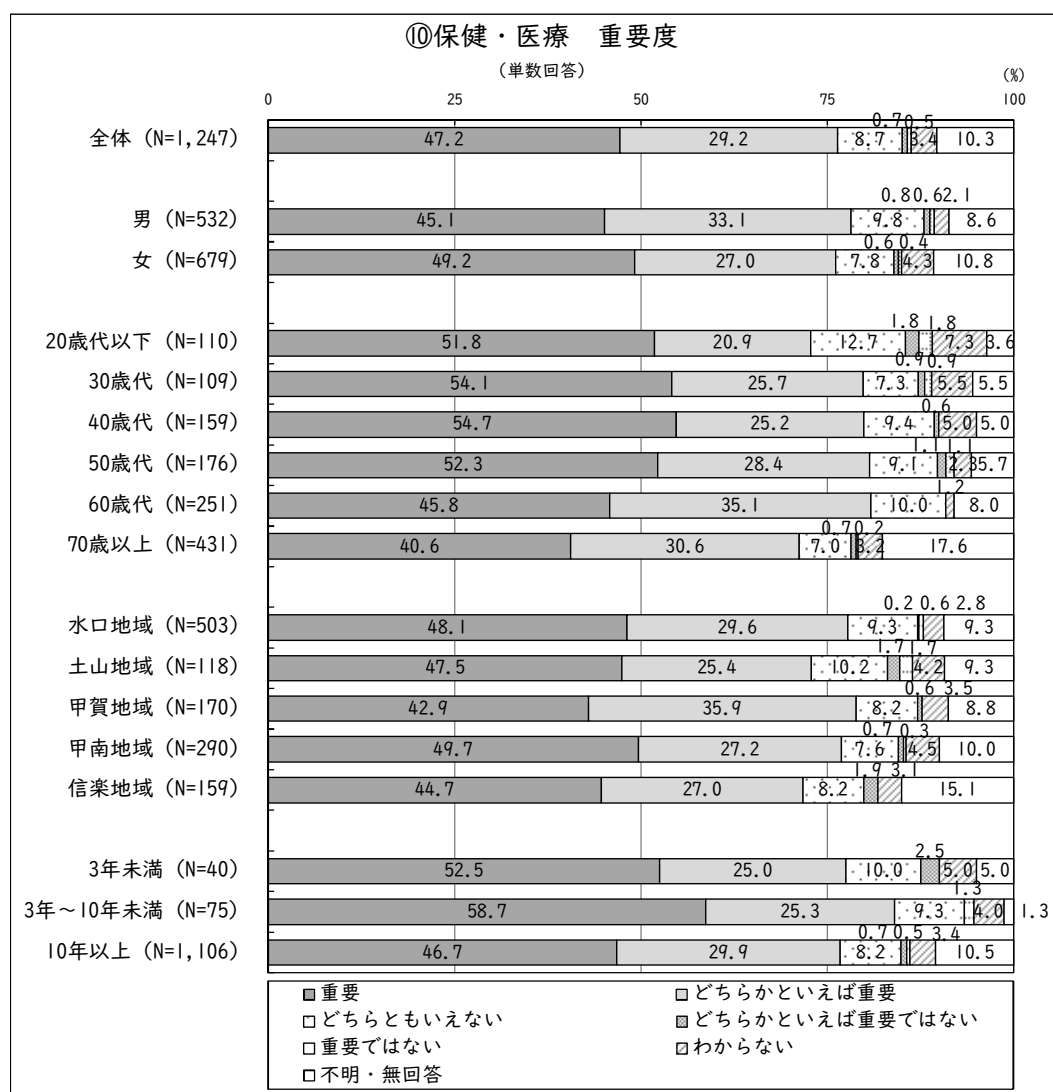
保健・医療の重要度は、「重要」が 47.2%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば重要」が 29.2%、「どちらともいえない」が 8.7%、「わからない」が 3.4%、「どちらかといえば重要ではない」が 0.7%、「重要ではない」が 0.5%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 76.4%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 78.2%、女性は 76.2%となっている。

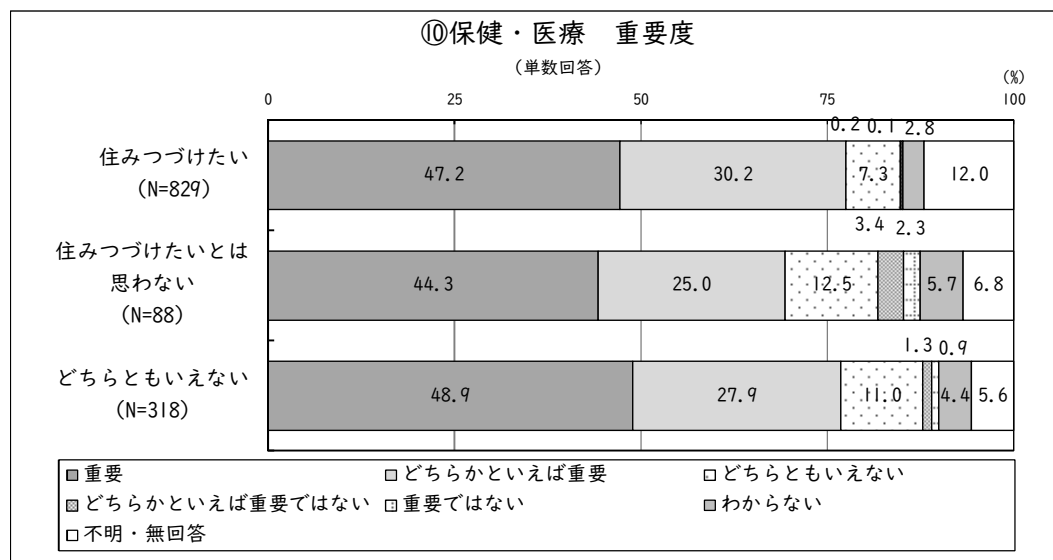
年代別にみると、すべての年代において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 60 歳代で 80.9%、以下、50 歳代で 80.7%、40 歳代で 79.9%と続いている。

居住地域別にみると、すべての地域において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 78.8%、以下、水口地域で 77.7%、甲南地域で 76.9%、土山地域で 72.9%、信楽地域で 71.7%と続いている。

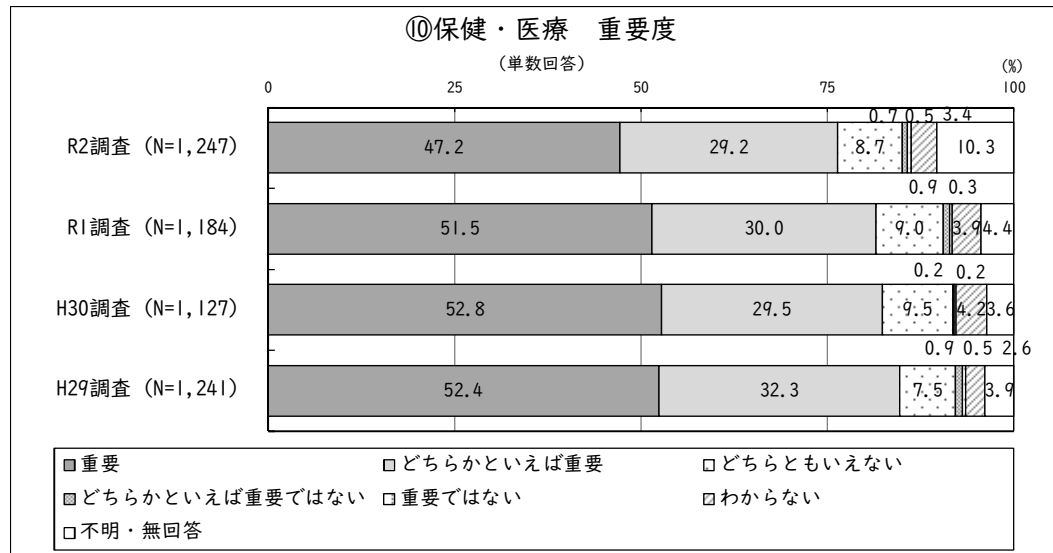
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 84.0%、以下、3 年未満で 77.5%、10 年以上で 76.6%と続いている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで77.4%、以下、どちらともいえないで76.8%、住みつづけたいとは思わないで69.3%と続いている。



平成29年度調査からの推移をみると、「重要」「どちらかといえば重要」が少なくなっている。



⑪ 住まい・生活(良好な住環境、公営住宅、上下水道)

【満足度】

住まい・生活の満足度は、「どちらかといえば満足」が 37.7%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が26.5%、「満足」が10.4%、「どちらかといえば不満」が8.8%、「不満」が5.2%、「わからない」が 5.1%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 48.1%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は48.1%、女性は48.5%となっている。

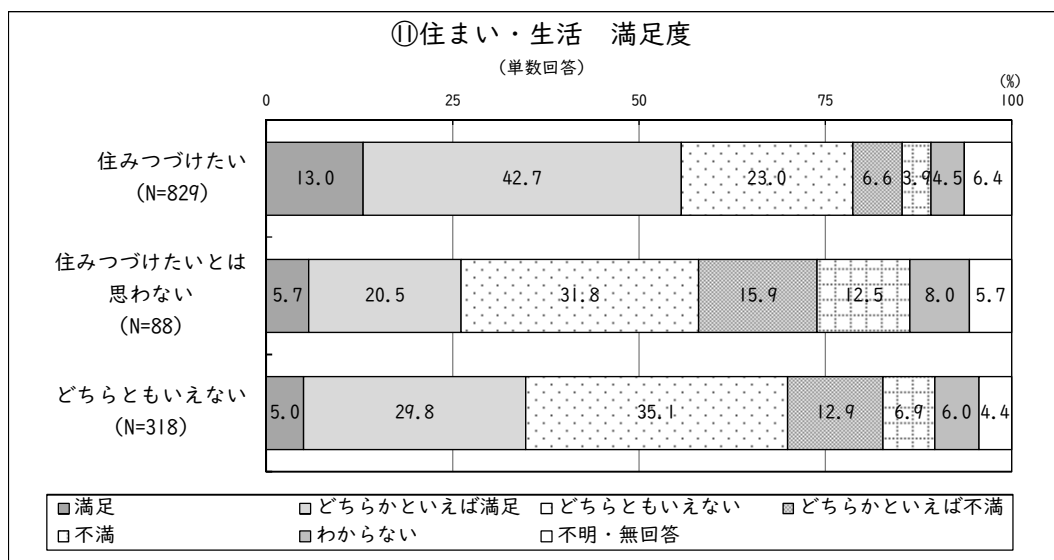
年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 55.0%、以下、20 歳代以下で 54.5%、60 歳代で 44.3%と続いている。30 歳代では「満足」が少なくなっている。

居住地域別にみると、信楽地域では「どちらともいえない」が、他の地域では「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 53.5%、以下、土山地域で 50.0%、甲南地域で 49.7%、水口地域で 49.5%、信楽地域で 34.0%と続いている。

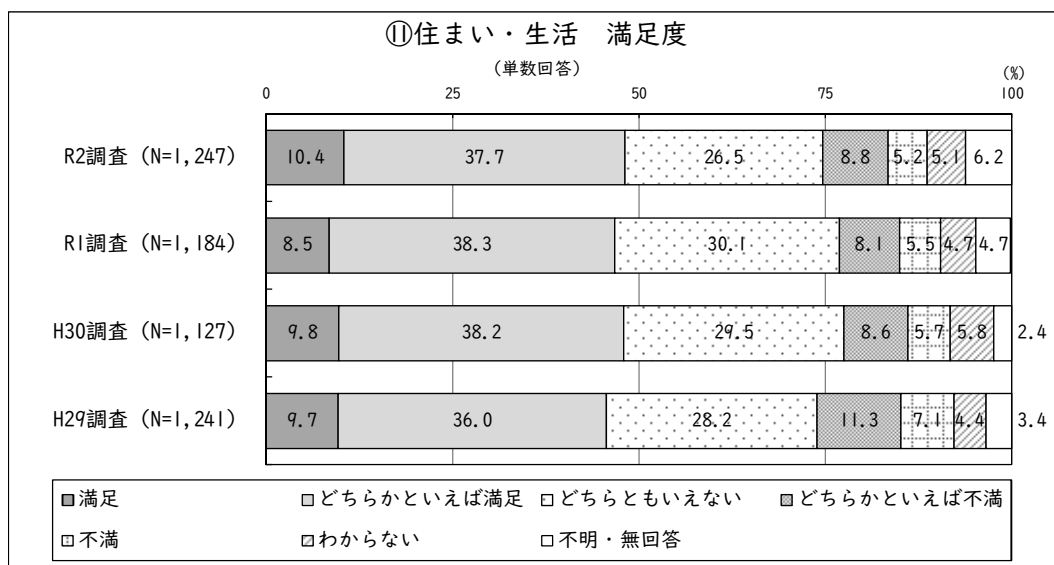
甲賀市の居住歴別にみると、3 年未満では「どちらともいえない」が、他の居住歴では「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは3 年～10 年未満で52.0%、以下、10 年以上で 48.6%、3 年未満で 35.0%と続いている。



定住意向別にみると、住みつづけたいでは「どちらかといえば満足」が、他の定住意向では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 55.7%、以下、どちらともいえないで 34.8%、住みつづけたいとは思わないで 26.2%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「どちらかといえば満足」が多くなっている。



【重要度】

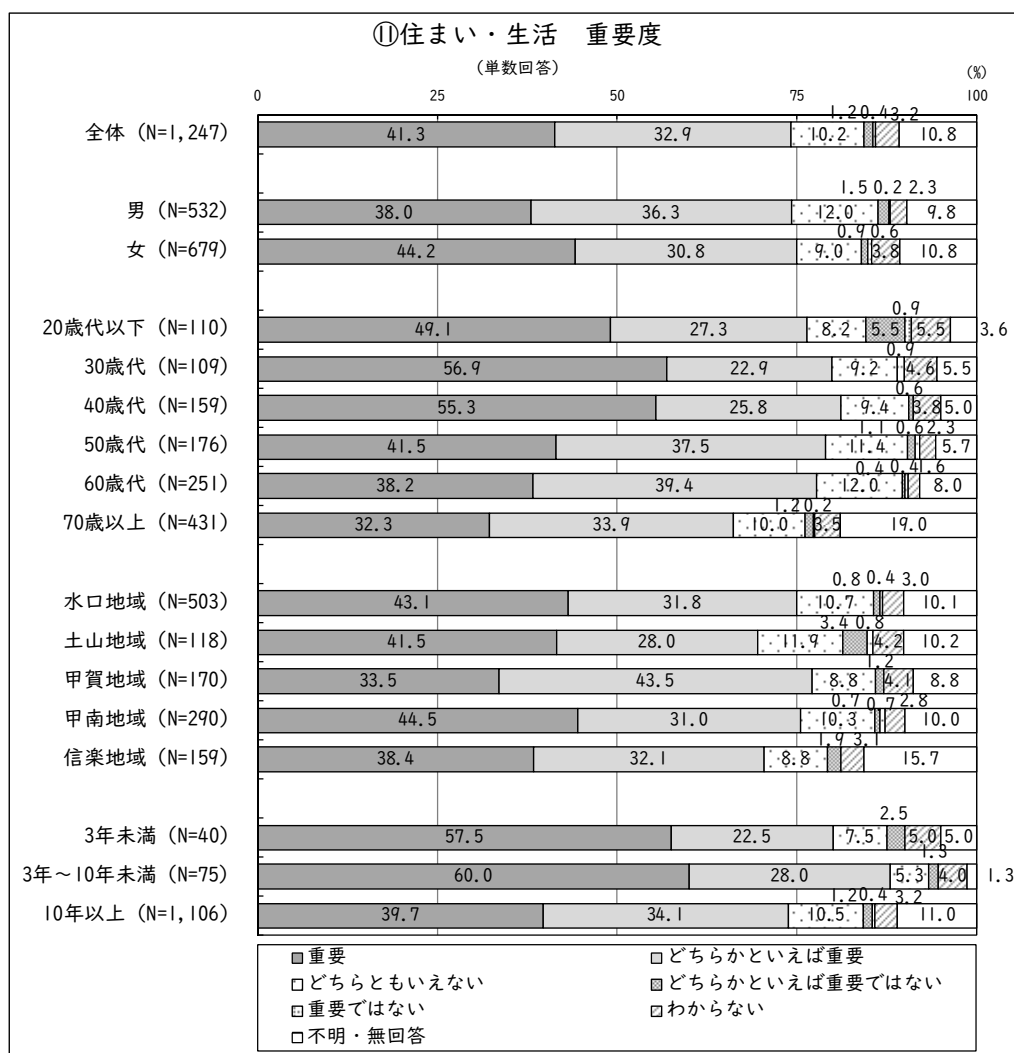
住まい・生活の重要度は、「重要」が 41.3%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば重要」が 32.9%、「どちらともいえない」が 10.2%、「わからない」が 3.2%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.2%、「重要ではない」が 0.4%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 74.2%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 74.3%、女性は 75.0%となっている。

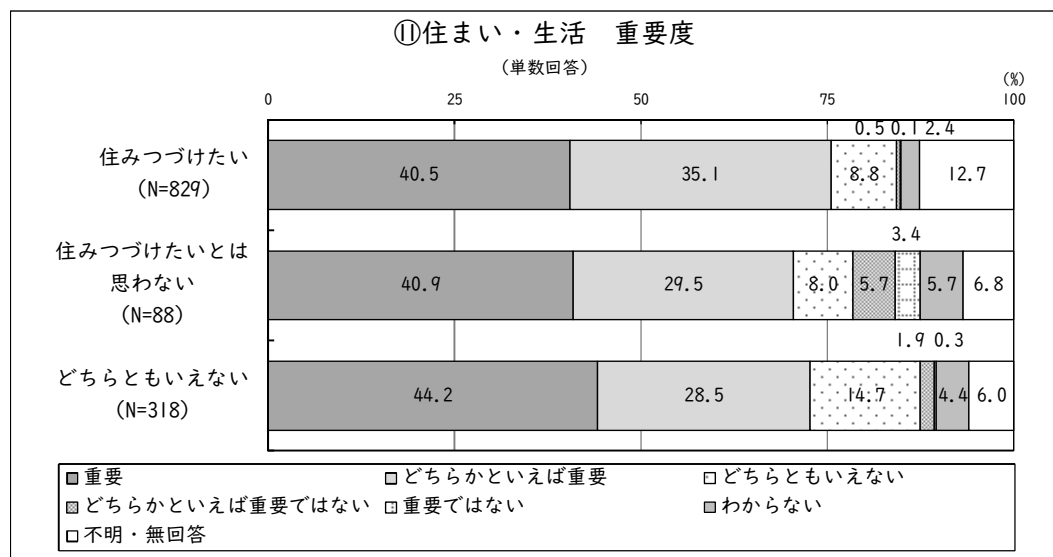
年代別にみると、60 歳代以上では「どちらかといえば重要」が、他の年代では「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 40 歳代で 81.1%、以下、30 歳代で 79.8%、50 歳代で 79.0%と続いている。

居住地域別にみると、甲賀地域では「どちらかといえば重要」が、他の地域では「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 77.0%、以下、甲南地域で 75.5%、水口地域で 74.9%、信楽地域で 70.5%、土山地域で 69.5%と続いている。

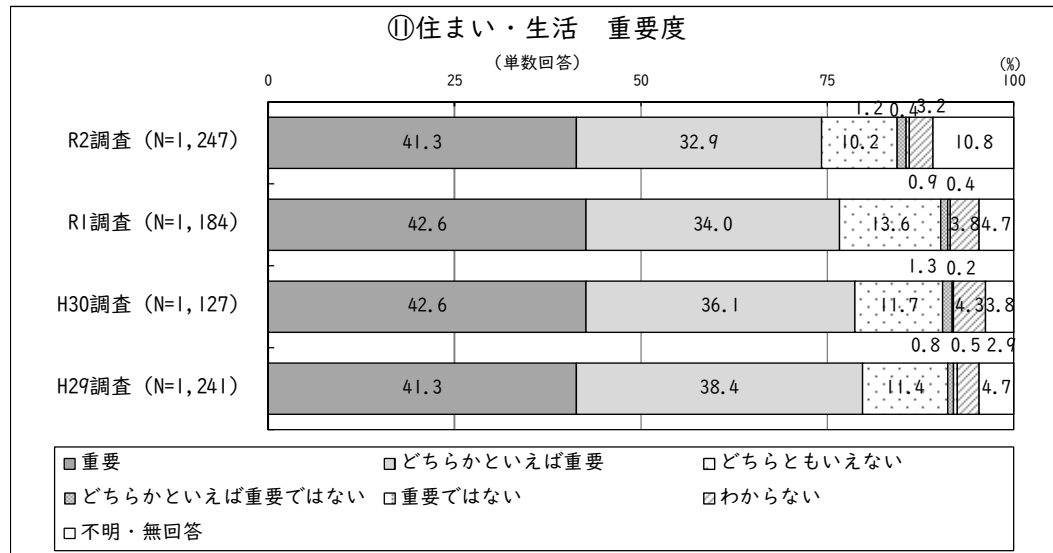
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 88.0%、以下、3 年未満で 80.0%、10 年以上で 73.8%と続いている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで75.6%、以下、どちらともいえないで72.7%、住みつづけたいとは思わないで70.4%と続いている。



平成29年度調査からの推移をみると、「どちらかといえば重要」が少なくなっている。



⑫ 安全・防災(事故予防、防犯、消防、地域の防災体制、土砂災害)

【満足度】

安全・防災の満足度は、「どちらともいえない」が 34.6%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 29.5%、「どちらかといえば不満」が 8.7%、「わからない」が 7.9%、「満足」が 7.6%、「不満」が 5.0%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 37.1%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 36.6%、女性は 38.2%となっている。

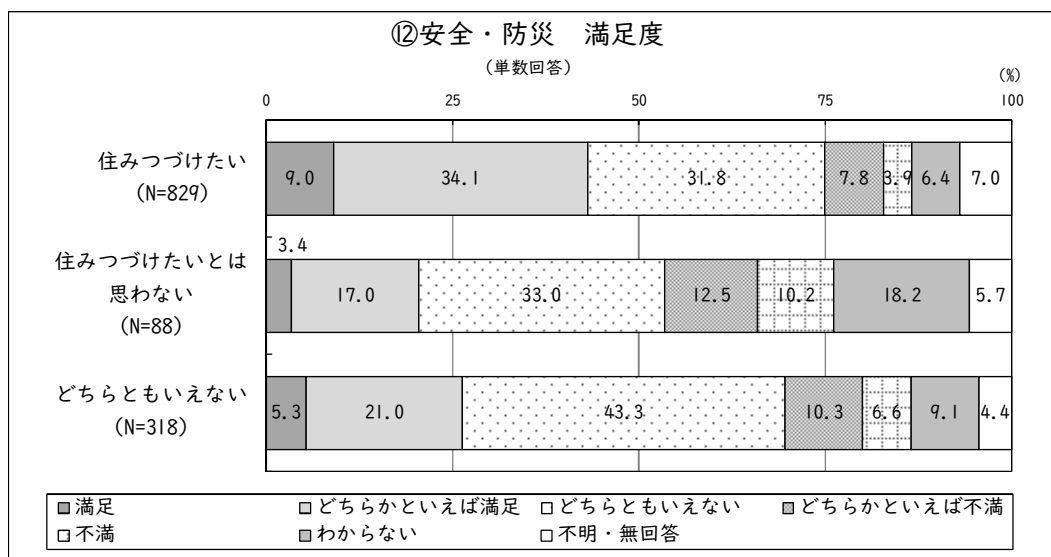
年代別にみると、20 歳代以下、70 歳以上では「どちらかといえば満足」が、他の年代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 45.4%、以下、70 歳以上で 40.6%、40 歳代で 36.5%と続いている。20 歳代以下では「どちらかといえば不満」が少なく、30 歳代では「不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、甲賀地域では「どちらかといえば満足」が、他の地域では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 44.7%、以下、土山地域で 38.2%、甲南地域で 37.3%、水口地域で 36.0%、信楽地域で 32.7%と続いている。信楽地域では「どちらかといえば不満」が多くなっている。

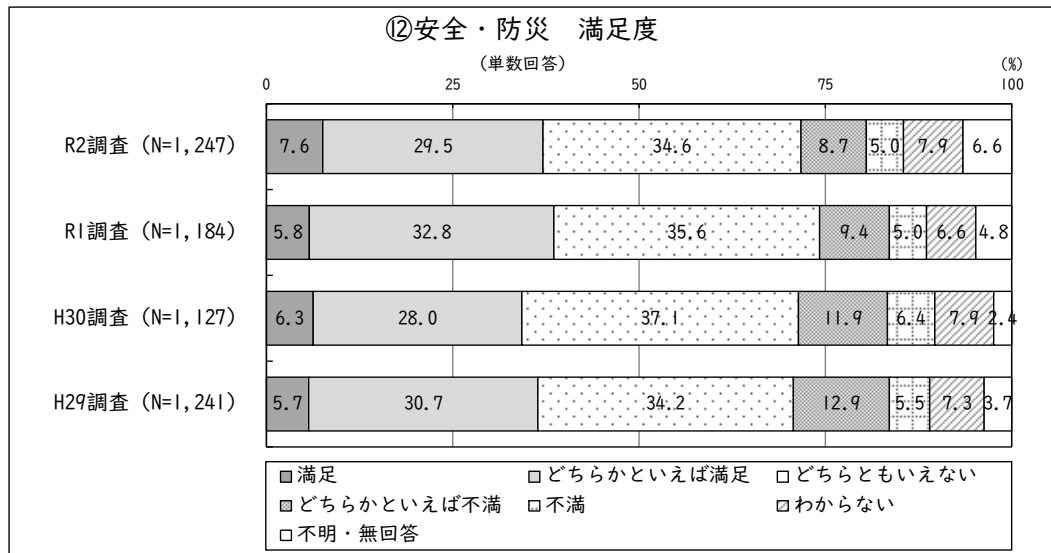
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 10 年以上で 37.5%、以下、3 年～10 年未満で 37.3%、3 年未満で 35.0%と続いている。



定住意向別にみると、住みつづけたいでは「どちらかといえば満足」が、他の定住意向では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで43.1%、以下、どちらともいえないで26.3%、住みつづけたいとは思わないで20.4%と続いている。



平成29年度調査からの推移をみると、「どちらかといえば不満」「不満」が少なくなっている。



【重要度】

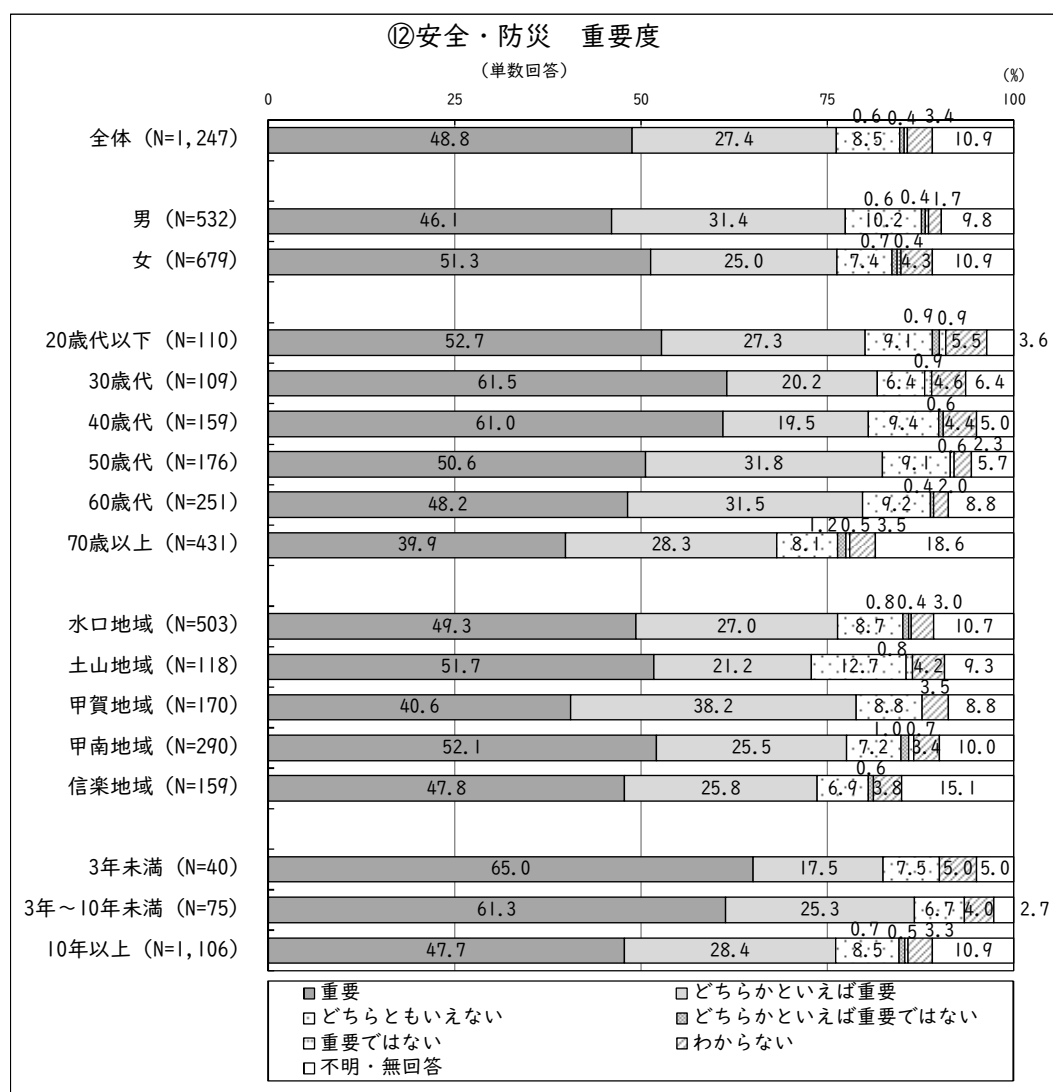
安全・防災の重要度は、「重要」が 48.8%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば重要」が 27.4%、「どちらともいえない」が 8.5%、「わからない」が 3.4%、「どちらかといえば重要ではない」が0.6%、「重要ではない」が0.4%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 76.2%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 77.5%、女性は 76.3%となっている。

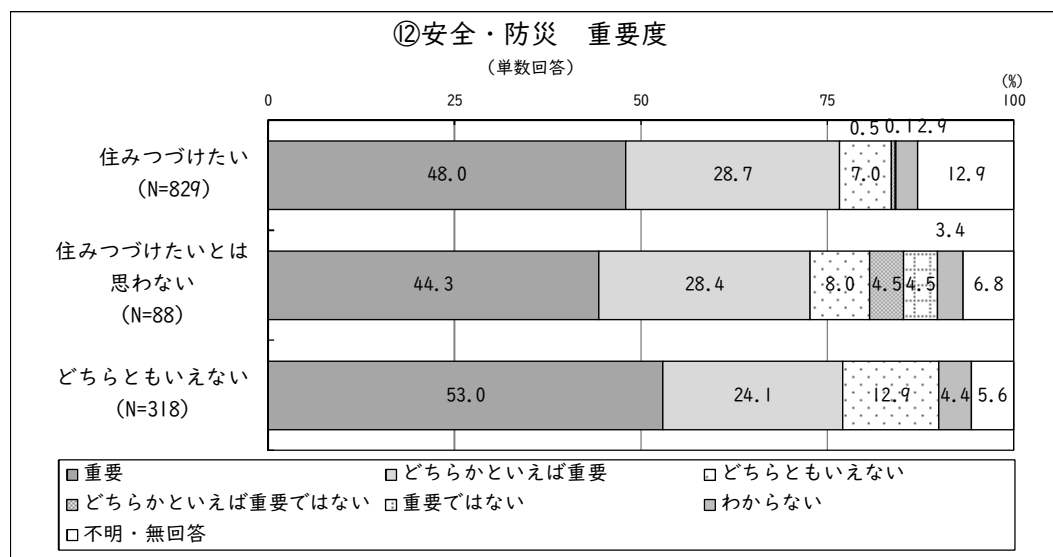
年代別にみると、すべての年代において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 50 歳代で 82.4%、以下、30 歳代で 81.7%、40 歳代で 80.5%と続いている。

居住地域別にみると、すべての地域において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 78.8%、以下、甲南地域で 77.6%、水口地域で 76.3%、信楽地域で 73.6%、土山地域で 72.9%と続いている。

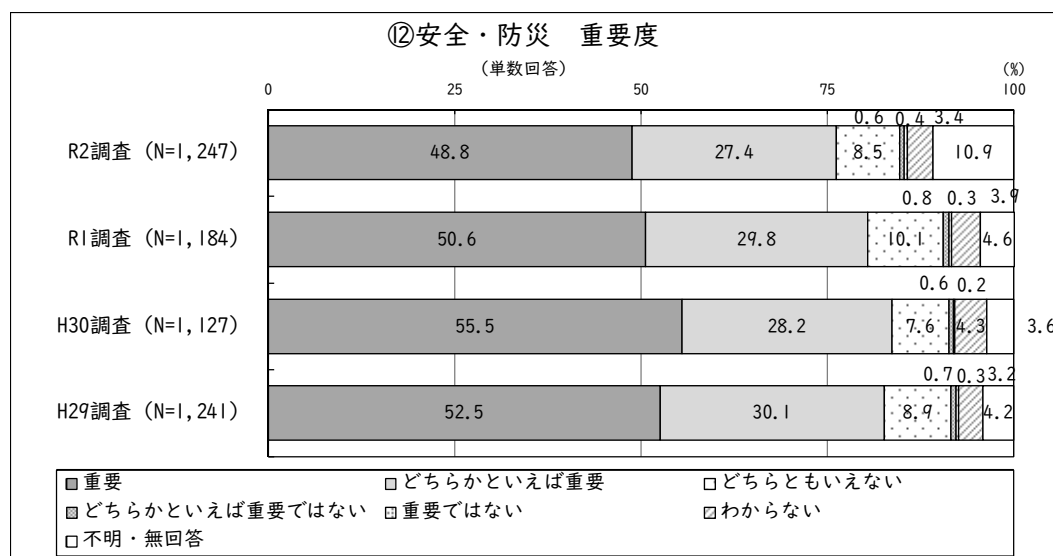
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で86.6%、以下、3年未満で82.5%、10年以上で76.1%と続いている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのはどちらともいえないで 77.1%、以下、住みつづけたいで 76.7%、住みつづけたいとは思わないで 72.7%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、平成 30 年度以降「重要」が少なくなっている。



【4. うみだす活力受けつぐ伝統】

⑬ 農林畜水産（農林畜水産業振興、地域ブランド、鳥獣害対策）

【満足度】

農林畜水産の満足度は、「どちらともいえない」が 37.2%で最も多くなっており、以下、「わからない」が 20.7%、「どちらかといえば満足」が 14.3%、「どちらかといえば不満」が 11.3%、「不満」が 6.3%、「満足」が 2.2%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 16.5%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 16.2%、女性は 17.0%となっている。

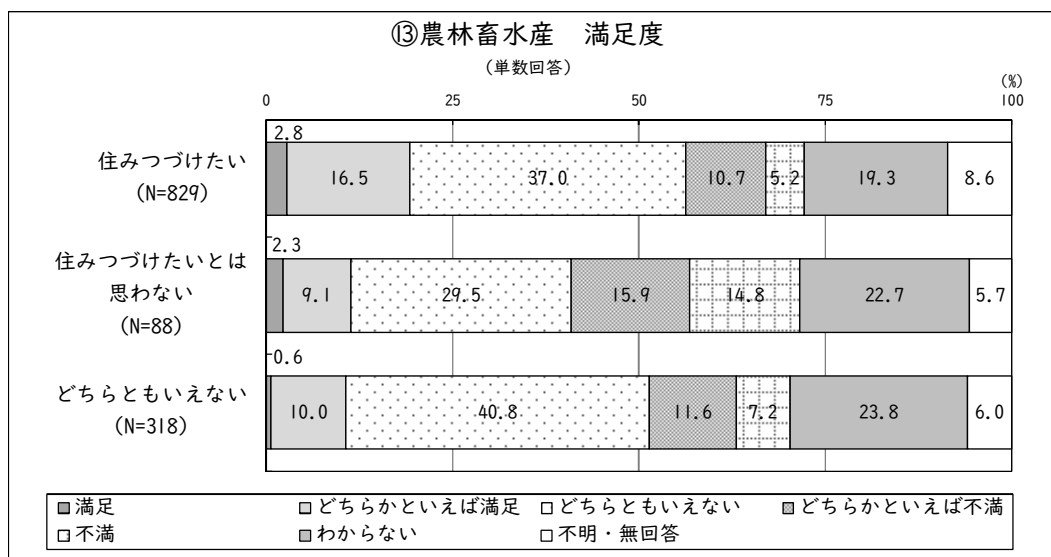
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 29.1%、以下、30 歳代で 21.1%、40 歳代で 18.2%と続いている。20 歳代以下では「満足」「どちらかといえば満足」が多くなっている。40 歳代では「どちらかといえば不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 18.3%、以下、甲南地域で 17.6%、甲賀地域で 15.3%、土山地域で 12.7%、信楽地域で 12.6%と続いている。甲賀地域では「どちらかといえば不満」が多くなっている。

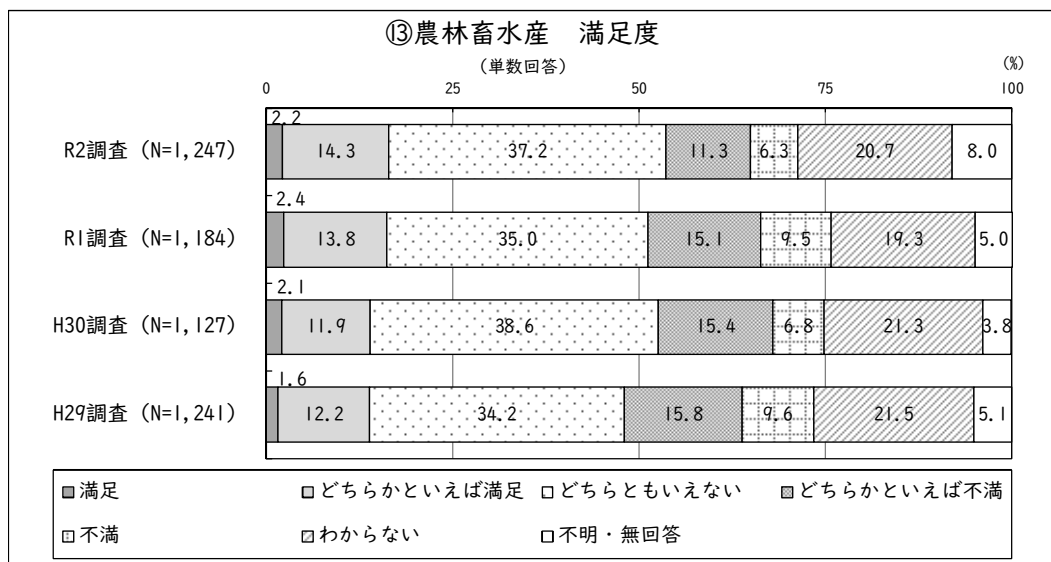
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 22.5%、以下、3 年～10 年未満で 17.3%、10 年以上で 16.3%と続いている。3 年未満では「どちらかといえば満足」が多くなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 19.3%、以下、住みつづけたいとは思わないで 11.4%、どちらともいえないで 10.6%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



【重要度】

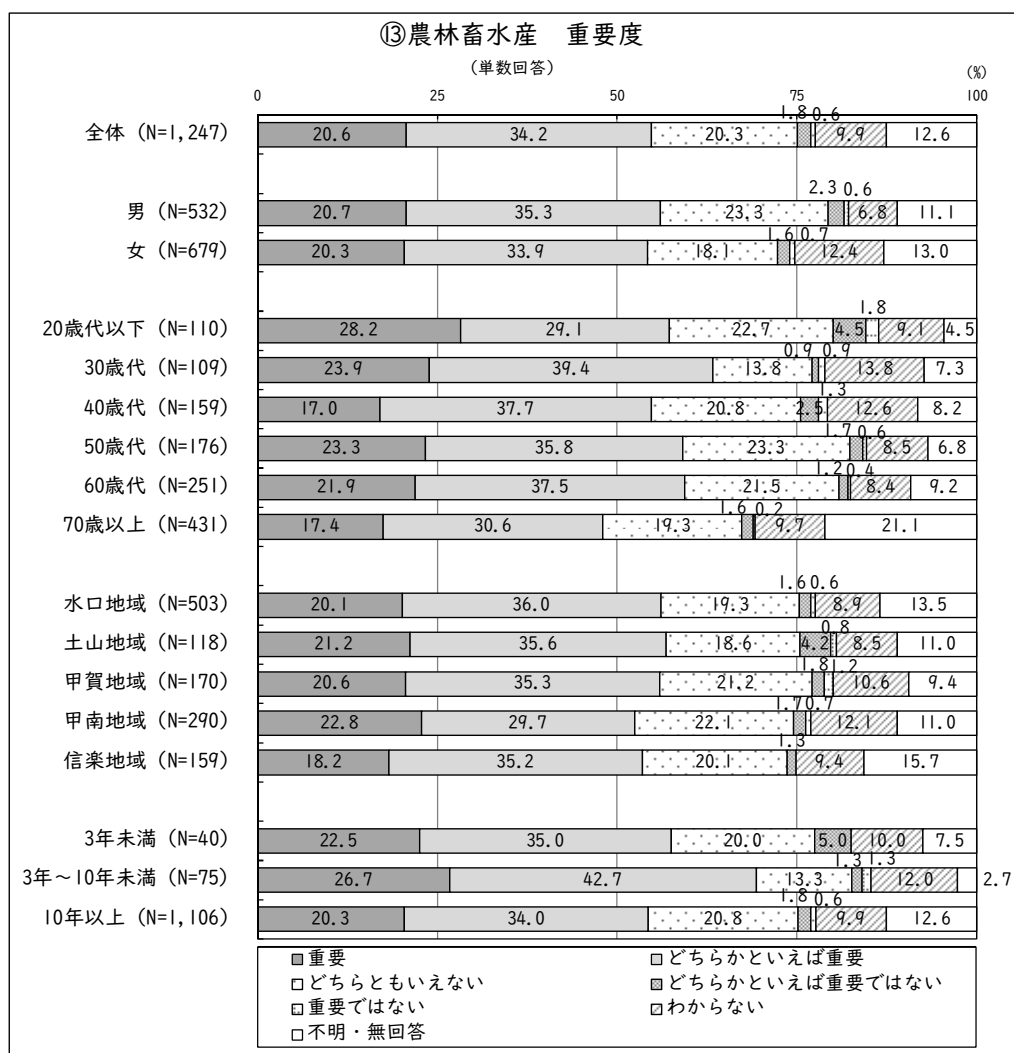
農林畜水産の重要度は、「どちらかといえば重要」が34.2%で最も多くなっており、以下、「重要」が20.6%、「どちらともいえない」が20.3%、「わからない」が9.9%、「どちらかといえば重要ではない」が1.8%、「重要ではない」が0.6%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は54.8%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は56.0%、女性は54.2%となっている。

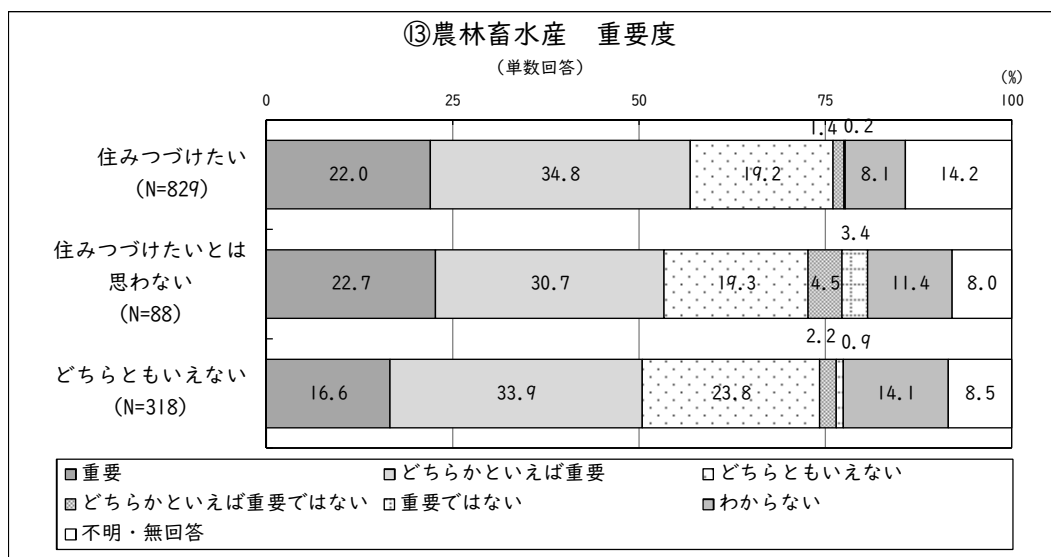
年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは30歳代で63.3%、以下、60歳代で59.4%、50歳代で59.1%と続いている。20歳代以下では「重要」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは土山地域で56.8%、以下、水口地域で56.1%、甲賀地域で55.9%、信楽地域で53.4%、甲南地域で52.5%と続いている。

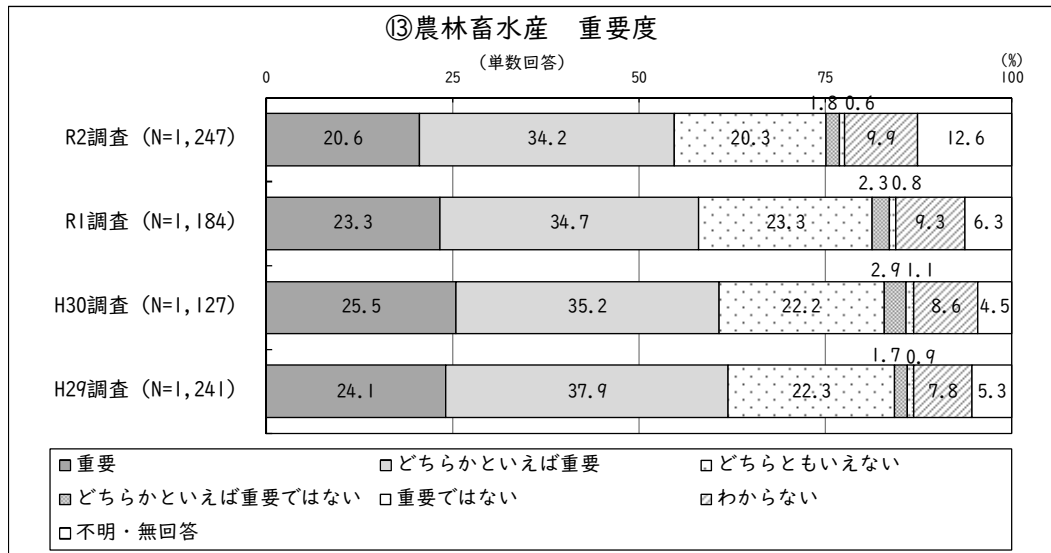
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で69.4%、以下、3年未満で57.5%、10年以上で54.3%と続いている。3年～10年未満では「重要」が多くなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 56.8%、以下、住みつづけたいとは思わないで 53.4%、どちらともいえないで 50.5%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「重要」「どちらかといえば重要」が少なくなっている。



⑭ 商工観光(商業、地場産業、工業、観光振興)

【満足度】

商工観光の満足度は、「どちらともいえない」が 37.0%で最も多くなっており、以下、「わからない」が 15.7%、「どちらかといえば満足」が 15.6%、「どちらかといえば不満」が 14.4%、「不満」が 6.4%、「満足」が 2.3%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 17.9%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 15.6%、女性は 20.0%となっている。

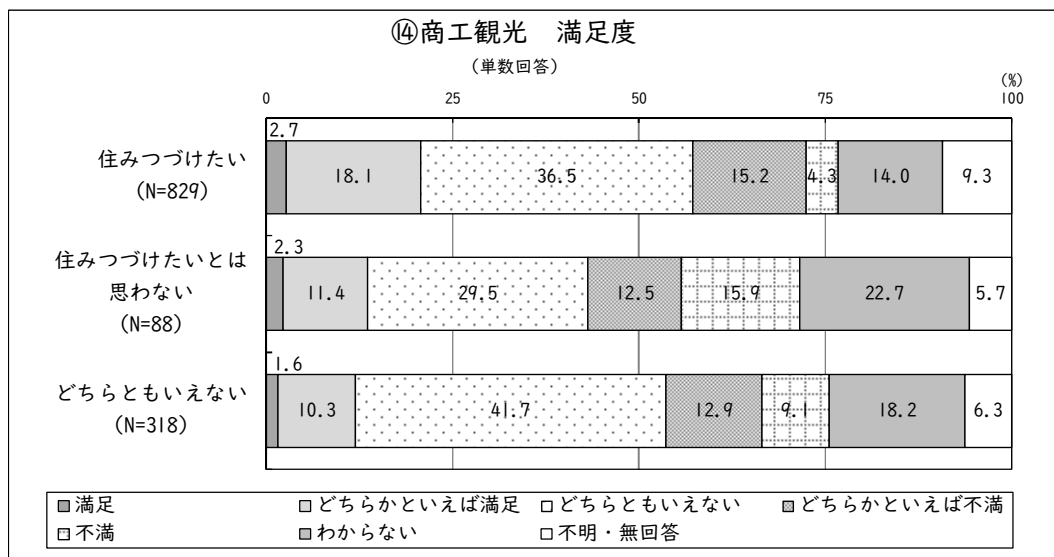
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 29.1%、以下、30 歳代で 21.1%、40 歳代で 20.1%と続いている。20 歳代以下では「満足」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 21.1%、以下、信楽地域で 18.2%、甲南地域で 16.6%、土山地域で 15.3%、甲賀地域で 12.4%と続いている。

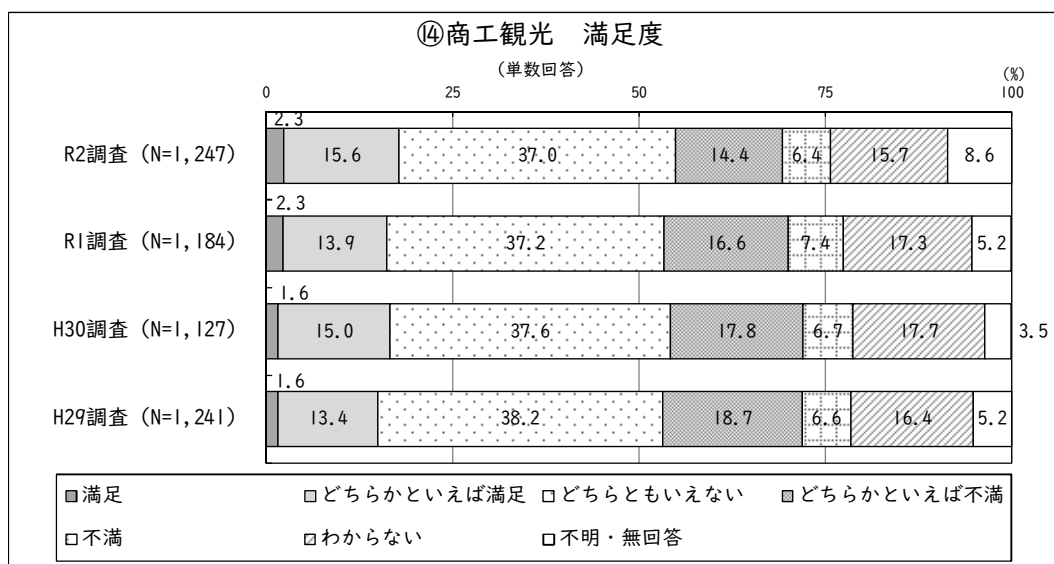
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 25.0%、以下、3 年～10 年未満で 22.7%、10 年以上で 17.5%と続いている。3 年未満では「満足」が多く、「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 20.8%、以下、住みつづけたいとは思わないで 13.7%、どちらともいえないで 11.9%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



【重要度】

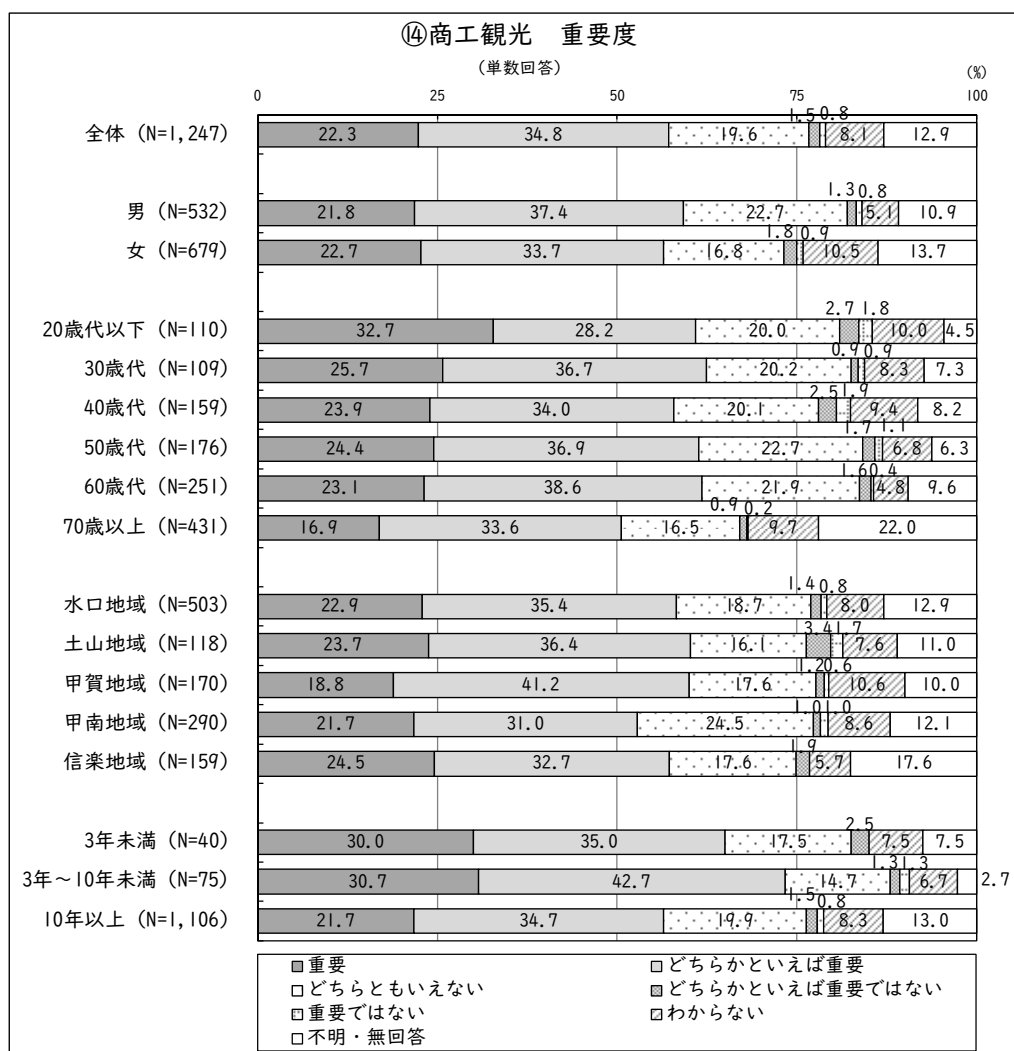
商工観光の重要度は、「どちらかといえば重要」が 34.8%で最も多くなっており、以下、「重要」が 22.3%、「どちらともいえない」が 19.6%、「わからない」が 8.1%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.5%、「重要ではない」が 0.8%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 57.1%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 59.2%、女性は 56.4%となっている。

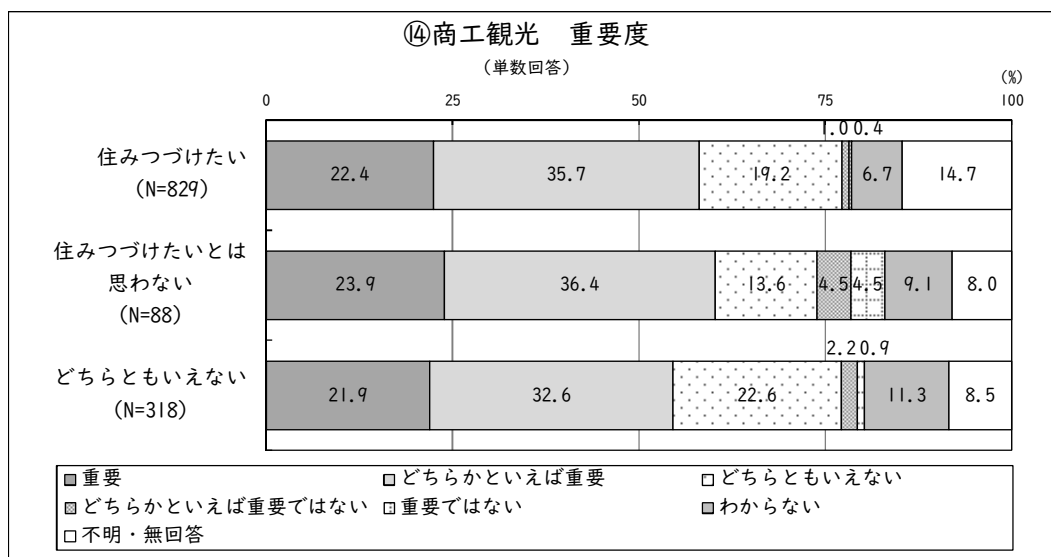
年代別にみると、20 歳代以下では「重要」が、他の年代では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 30 歳代で 62.4%、以下、60 歳代で 61.7%、50 歳代で 61.3%と続いている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 60.1%、以下、甲賀地域で 60.0%、水口地域で 58.3%、信楽地域で 57.2%、甲南地域で 52.7%と続いている。

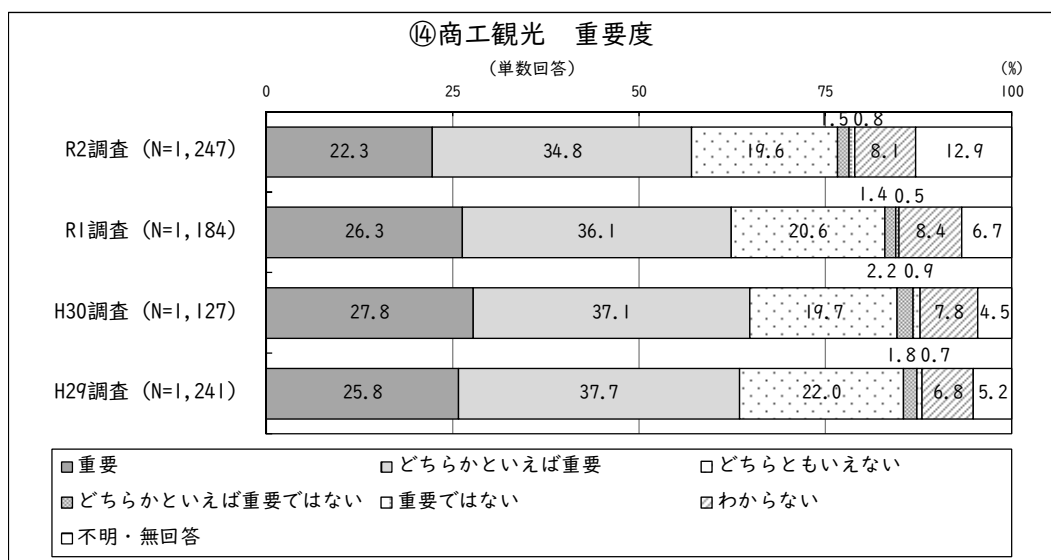
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 73.4%、以下、3 年未満で 65.0%、10 年以上で 56.4%と続いている。10 年未満では「重要」が多くなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたとは思わないで 60.3%、以下、住みつづけたいで 58.1%、どちらともいえないで 54.5%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、平成 30 年度以降「重要」「どちらかといえば重要」が少なくなっている。



⑮ 活躍・雇用(就労支援、女性の活躍、勤労者福祉)

【満足度】

活躍・雇用の満足度は、「どちらともいえない」が 40.5%で最も多くなっており、以下、「わからない」が 17.6%、「どちらかといえば満足」が 13.3%、「どちらかといえば不満」が 12.8%、「不満」が 5.5%、「満足」が 2.1%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 15.4%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 13.9%、女性は 16.8%となっている。

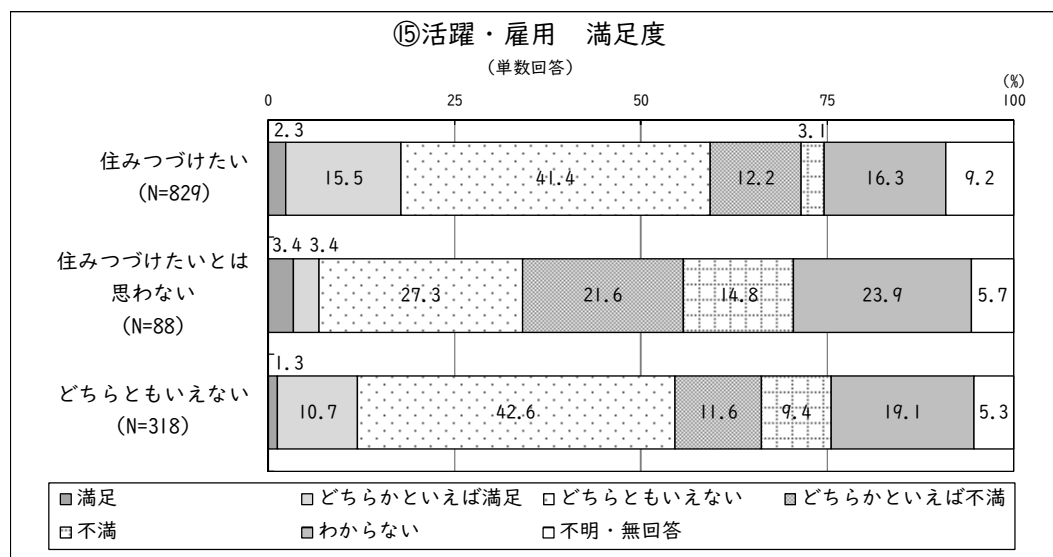
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 25.5%、以下、30 歳代で 18.3%、50 歳代で 15.4%と続いている。20 歳代以下では「満足」が、30 歳代では「不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 18.3%、以下、甲南地域で 15.8%、土山地域で 13.5%、甲賀地域で 12.4%、信楽地域で 10.7%と続いている。信楽地域では「どちらかといえば不満」が多くなっている。

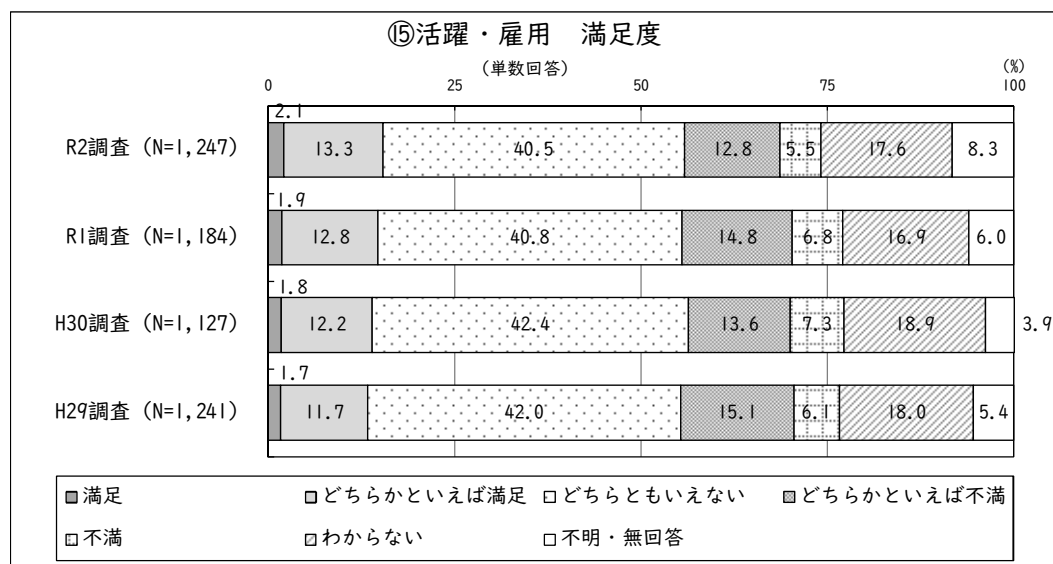
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 20.0%、以下、3 年～10 年未満で 17.3%、10 年以上で 15.4%と続いている。10 年未満では「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 17.8%、以下、どちらともいえないで 12.0%、住みつづけたいとは思わないで 6.8%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえば不満」「不満」が少なくなっている。



【重要度】

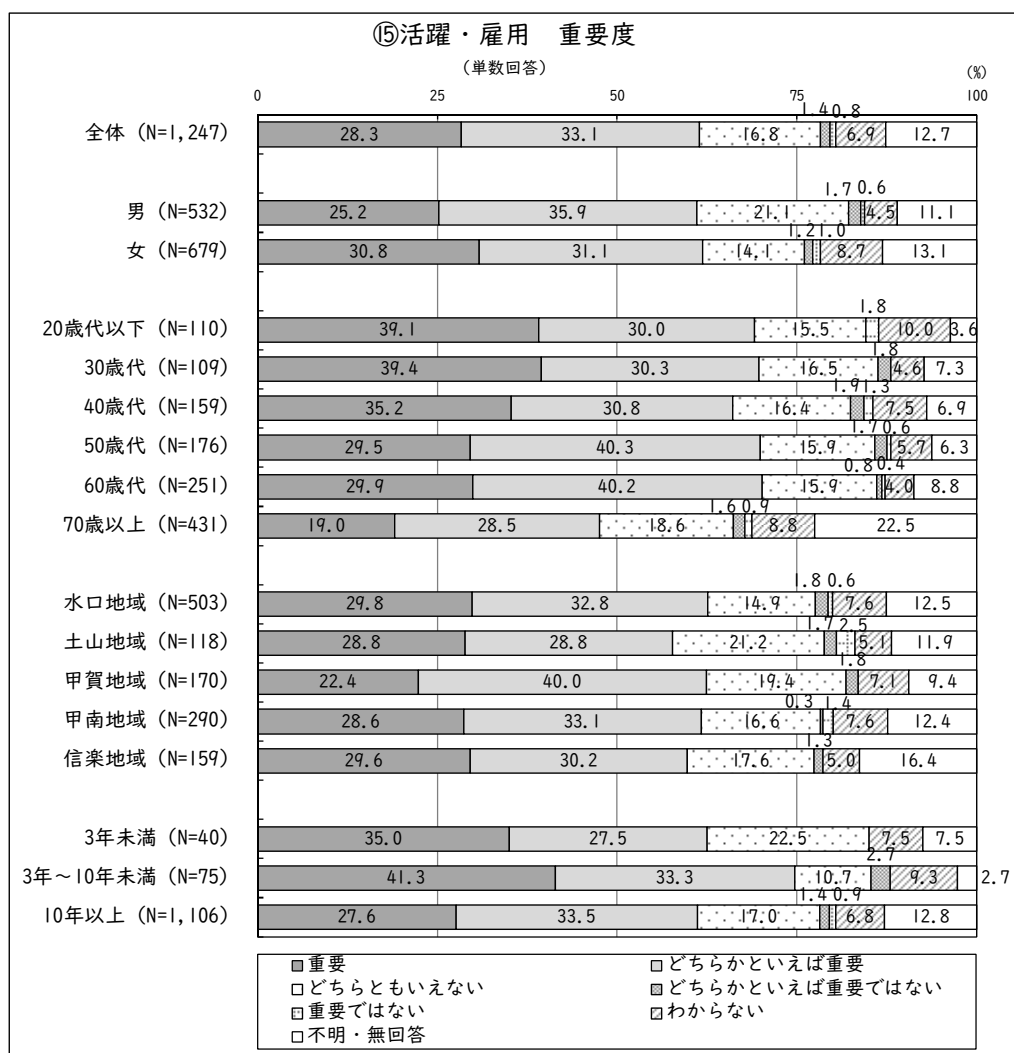
活躍・雇用の重要度は、「どちらかといえば重要」が 33.1%で最も多くなっており、以下、「重要」が 28.3%、「どちらともいえない」が 16.8%、「わからない」が 6.9%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.4%、「重要ではない」が 0.8%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 61.4%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 61.1%、女性は 61.9%となっている。

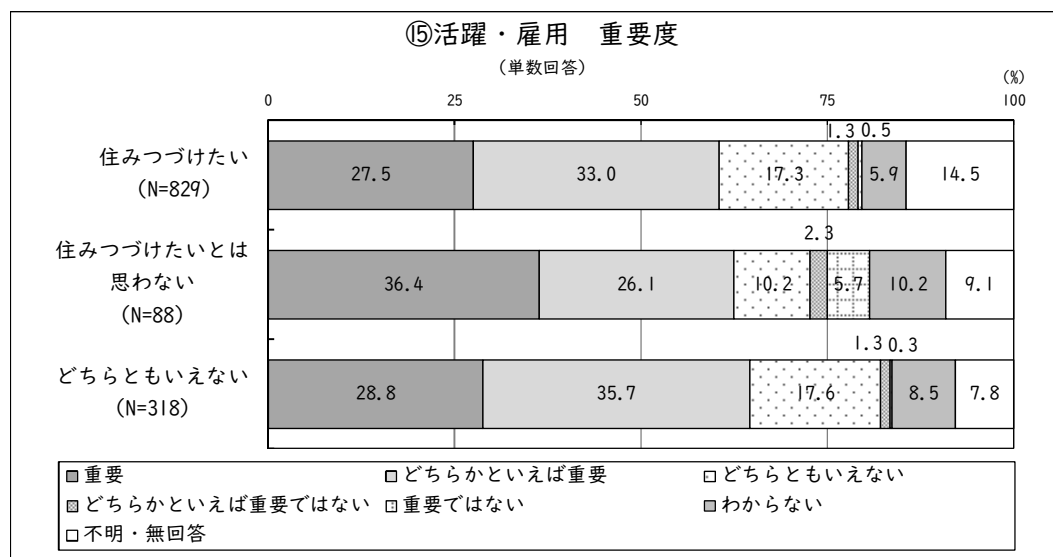
年代別にみると、40 歳代以下では「重要」が、他の年代では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 60 歳代で 70.1%、以下、50 歳代で 69.8%、30 歳代で 69.7%と続いている。

居住地域別にみると、土山地域では「重要」が、他の地域では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 62.6%、以下、甲賀地域で 62.4%、甲南地域で 61.7%、信楽地域で 59.8%、土山地域で 57.6%と続いている。

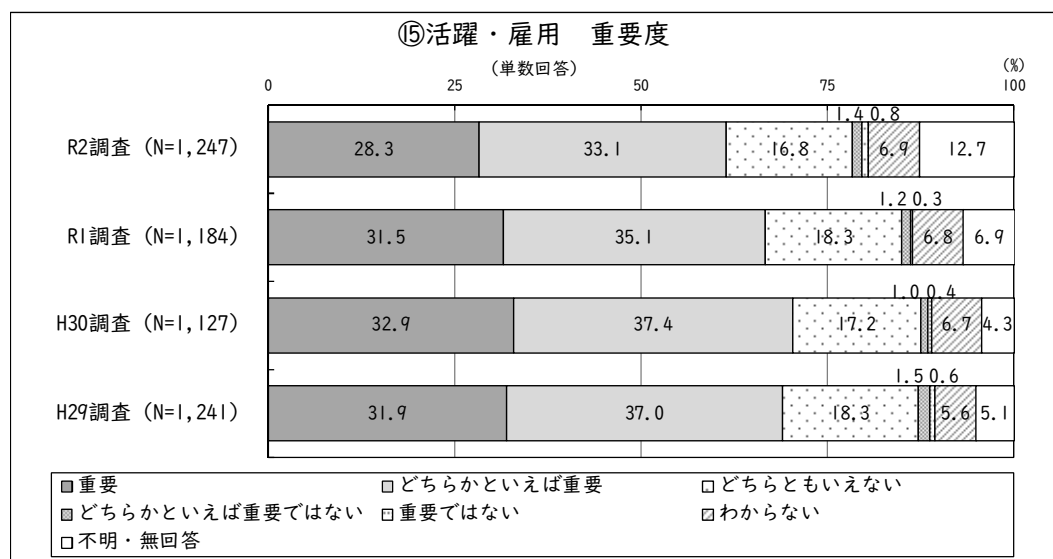
甲賀市の居住歴別にみると、10 年未満では「重要」が、10 年以上では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 74.6%、以下、3 年未満で 62.5%、10 年以上で 61.1%と続いている。



定住意向別にみると、住みつづけたいとは思わないでは「重要」が、他の定住意向では「どちらかといえば重要」最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのはどちらともいえないで64.5%、以下、住みつづけたいとは思わないで62.5%、住みつづけたいで60.5%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「重要」「どちらかといえば重要」が少なくなっている。



⑩ 道路・交通(広域幹線道路、道路整備、鉄道、バス)

【満足度】

道路・交通の満足度は、「どちらともいえない」が 27.0%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば不満」が 21.3%、「不満」が 17.9%、「どちらかといえば満足」が 17.4%、「わからない」が 6.3%、「満足」が 3.0%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 20.4%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 24.0%、女性は 17.7%となっている。

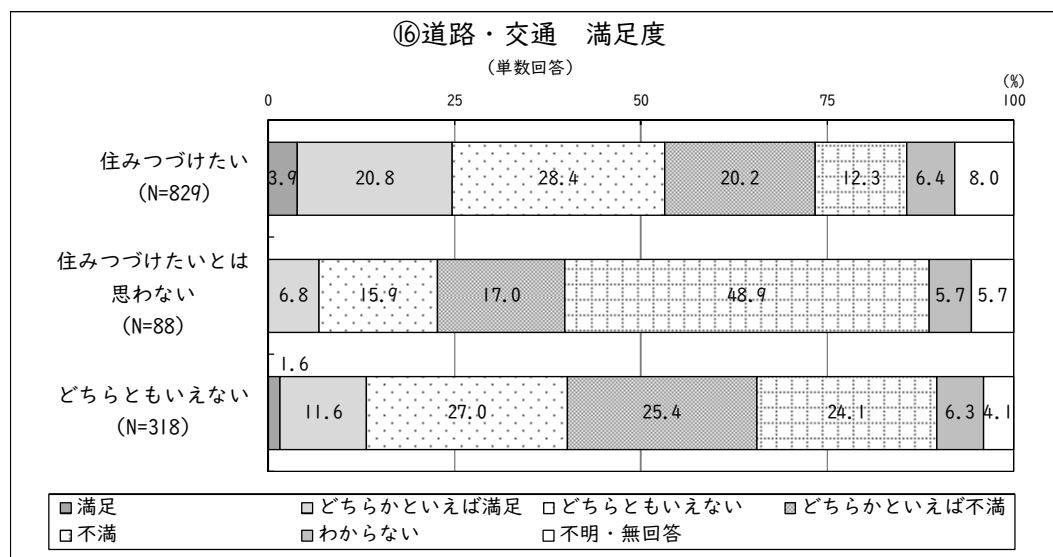
年代別にみると、30 歳代では「不満」が、50 歳代では「どちらかといえば不満」が、他の年代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 28.2%、以下、70 歳以上で 22.1%、50 歳代で 20.5%と続いている。30 歳代では「不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、甲賀地域では「どちらかといえば不満」が、信楽地域では「不満」が、他の地域では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 24.8%、以下、水口地域で 22.1%、甲南地域で 20.7%、土山地域で 19.5%、信楽地域で 10.6%と続いている。信楽地域では「どちらかといえば満足」が少なく、「不満」が多くなっている。

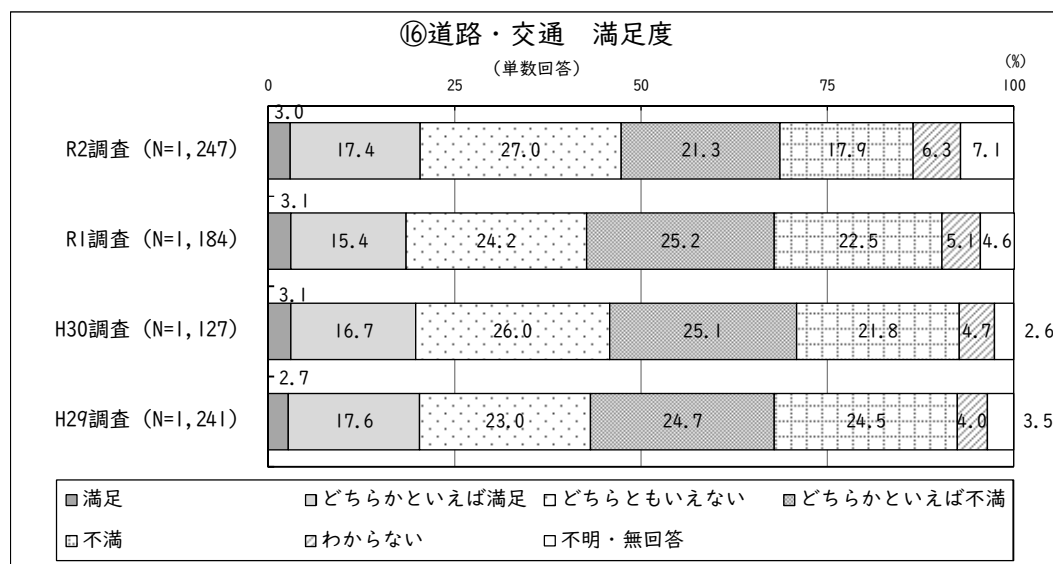
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 10 年以上で 20.4%、以下、3 年未満で 20.0%、3 年～10 年未満で 17.4%と続いている。3 年未満では「不満」が少なく、3 年～10 年未満では「不満」が多くなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 24.7%、以下、どちらともいえないで 13.2%、住みつづけたいとは思わないで 6.8%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、本年度は「どちらかといえば不満」「不満」が少なくなっている。



【重要度】

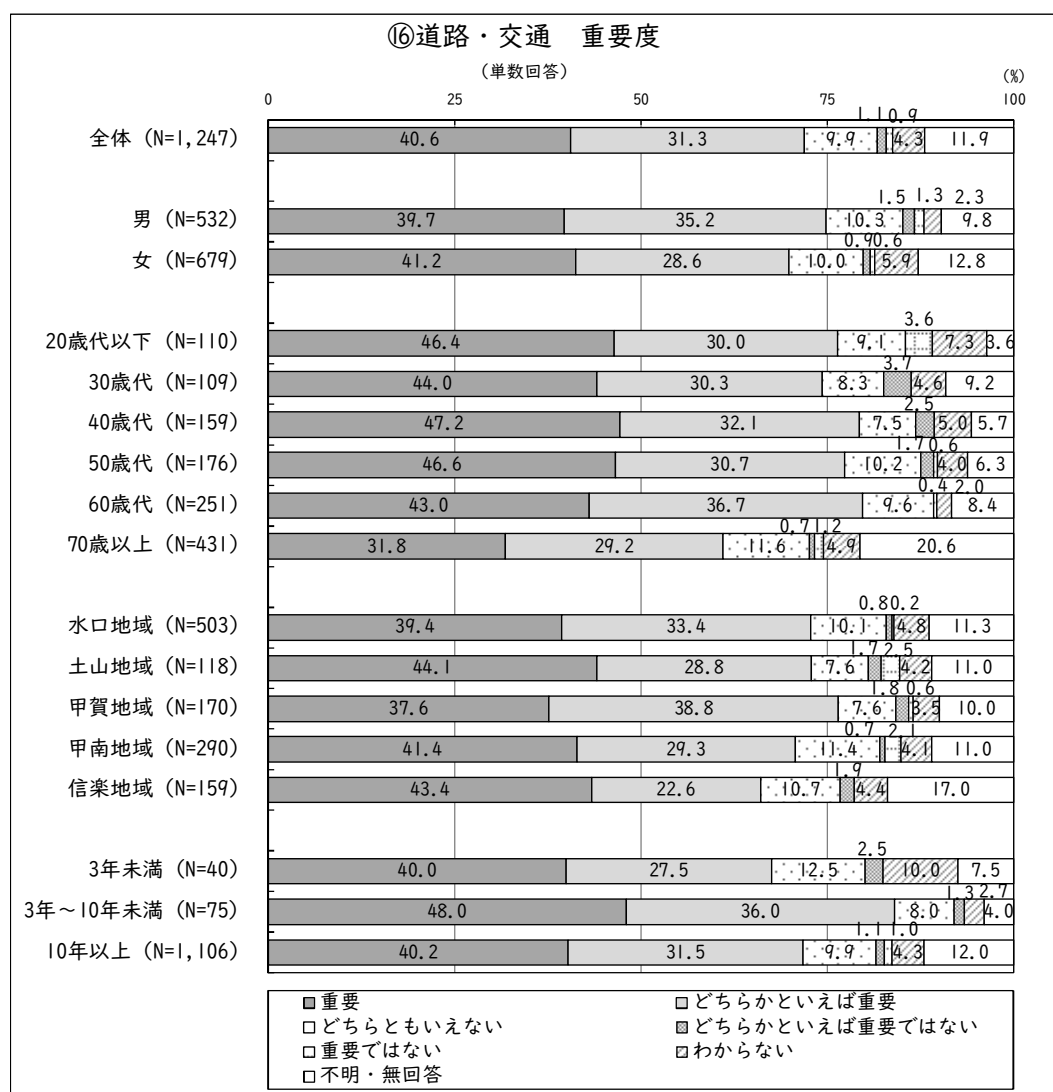
道路・交通の重要度は、「重要」が 40.6%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば重要」が 31.3%、「どちらともいえない」が9.9%、「わからない」が4.3%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.1%、「重要ではない」が 0.9%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 71.9%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 74.9%、女性は 69.8%となっている。

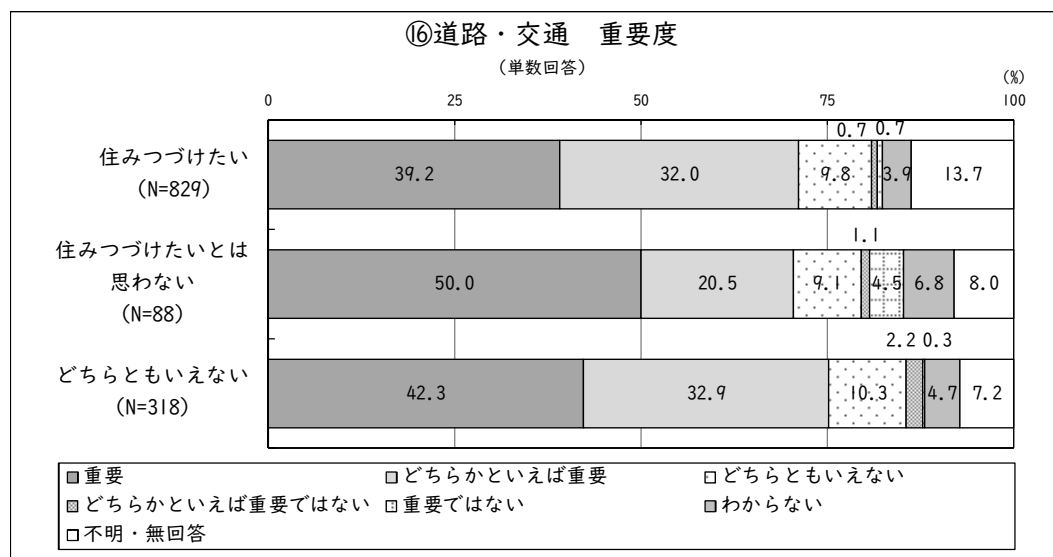
年代別にみると、すべての年代において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 60 歳代で 79.7%、以下、40 歳代で 79.3%、50 歳代で 77.3%と続いている。

居住地域別にみると、甲賀地域では「どちらかといえば重要」が、他の地域では「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 76.4%、以下、土山地域で 72.9%、水口地域で 72.8%、甲南地域で 70.7%、信楽地域で 66.0%と続いている。

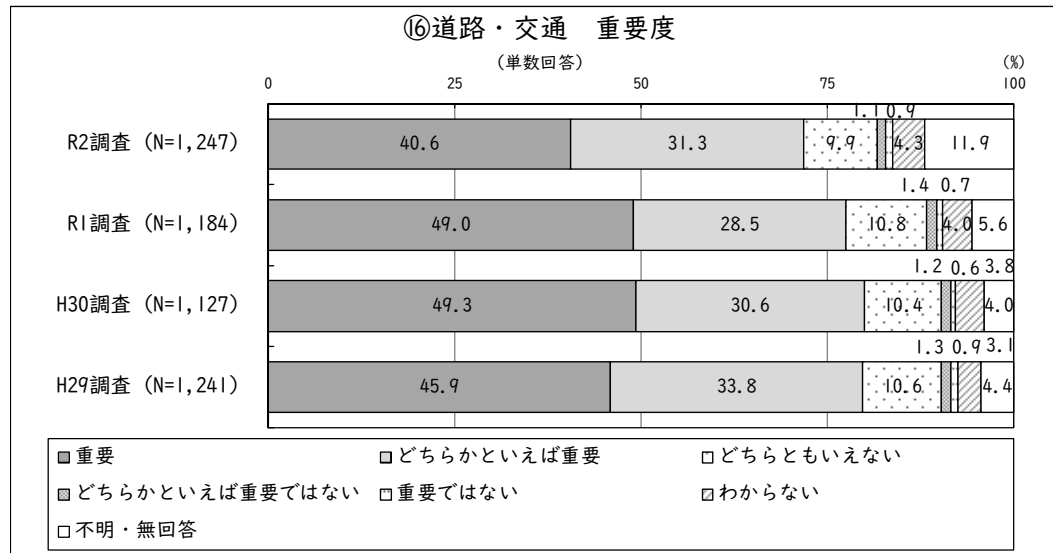
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で84.0%、以下、10年以上で71.7%、3年未満で67.5%と続いている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのはどちらともいえないで 75.2%、以下、住みつづけたいで 71.2%、住みつづけたいとは思わないで 70.5%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、本年度は「重要」が少なくなっている。



【5. かがやく未来に鹿深の夢を】

⑰ 子ども・子育て(子育て支援、就学前教育、保育、放課後児童クラブ、子育てネットワーク)

【満足度】

子ども・子育ての満足度は、「どちらともいえない」が30.5%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が23.8%、「わからない」が19.6%、「どちらかといえば不満」が7.0%、「満足」が6.3%、「不満」が3.4%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は30.1%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。

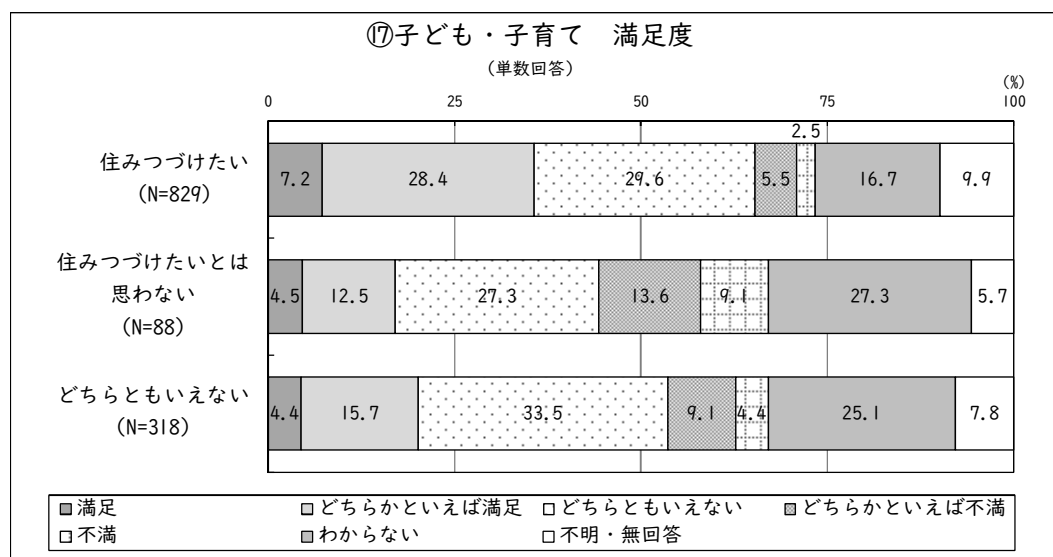
年代別にみると、20歳代以下では「わからない」が、30歳代、40歳代では「どちらかといえば満足」が、他の年代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは30歳代で39.4%、以下、40歳代で37.1%、60歳代で29.9%と続いている。

居住地域別にみると、甲賀地域では「どちらかといえば満足」が、他の地域では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で35.3%、以下、水口地域で31.9%、甲南地域で30.7%、信楽地域で25.8%、土山地域で21.2%と続いている。

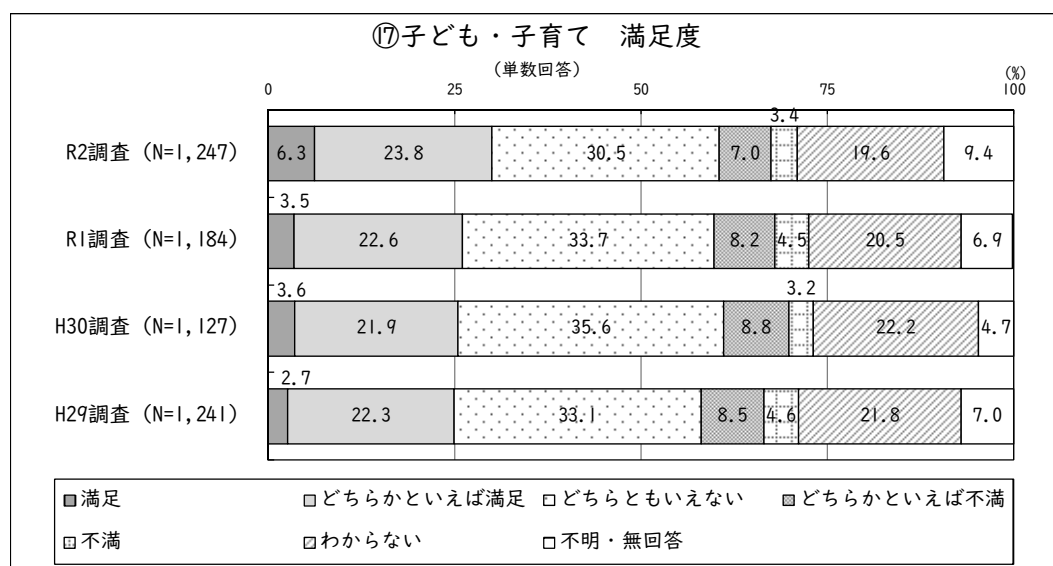
甲賀市の居住歴別にみると、10年未満では「どちらかといえば満足」が、10年以上では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で42.7%、以下、3年未満で37.5%、10年以上で29.4%と続いている。



定住意向別にみると、住みつづけたいとは思わないでは「どちらともいえない」「わからない」が、他の定住意向では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 35.6%、以下、どちらともいえないで 20.1%、住みつづけたいとは思わないで 17.0%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



【重要度】

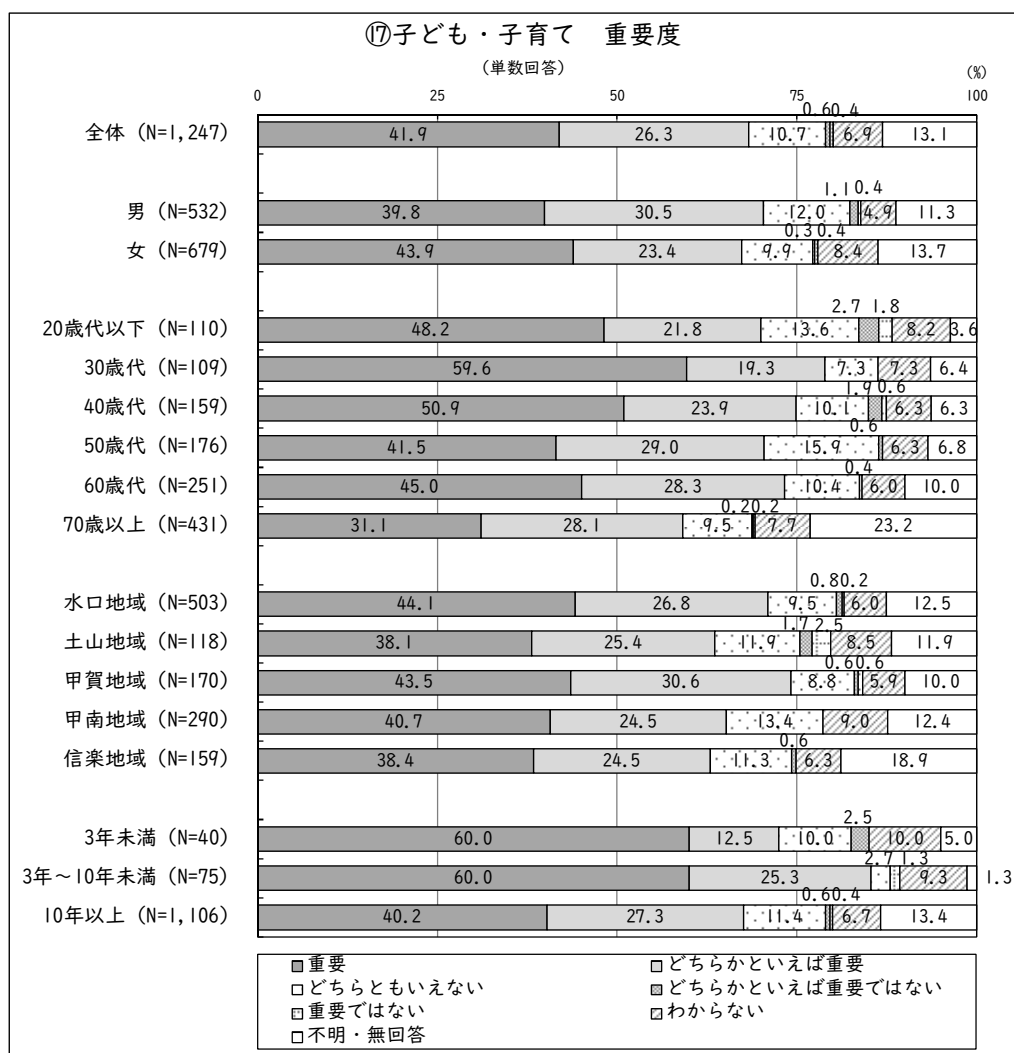
子ども・子育ての重要度は、「重要」が41.9%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば重要」が26.3%、「どちらともいえない」が10.7%、「わからない」が6.9%、「どちらかといえば重要ではない」が0.6%、「重要ではない」が0.4%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は68.2%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は70.3%、女性は67.3%となっている。

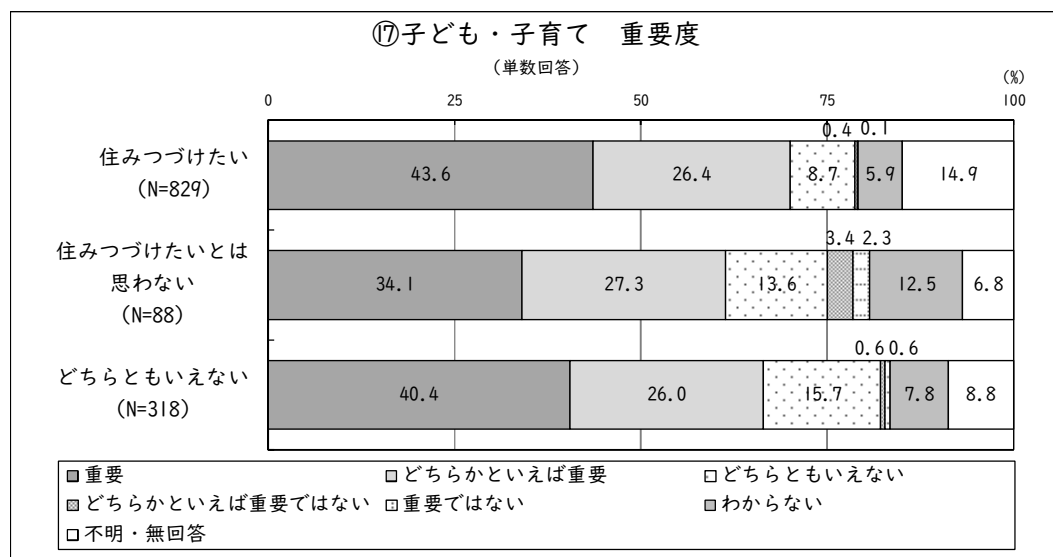
年代別にみると、すべての年代において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは30歳代で78.9%、以下、40歳代で74.8%、60歳代で73.3%と続いている。30歳代では「どちらかといえば重要」が少なくなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で74.1%、以下、水口地域で70.9%、甲南地域で65.2%、土山地域で63.5%、信楽地域で62.9%と続いている。

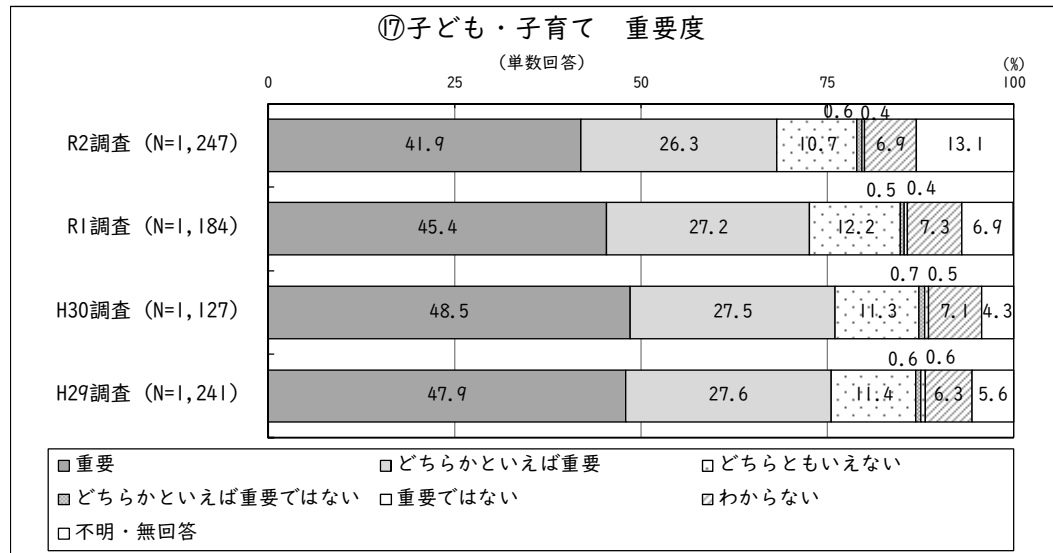
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で85.3%、以下、3年未満で72.5%、10年以上で67.5%と続いている。3年未満では「どちらかといえば重要」が少なくなっている。



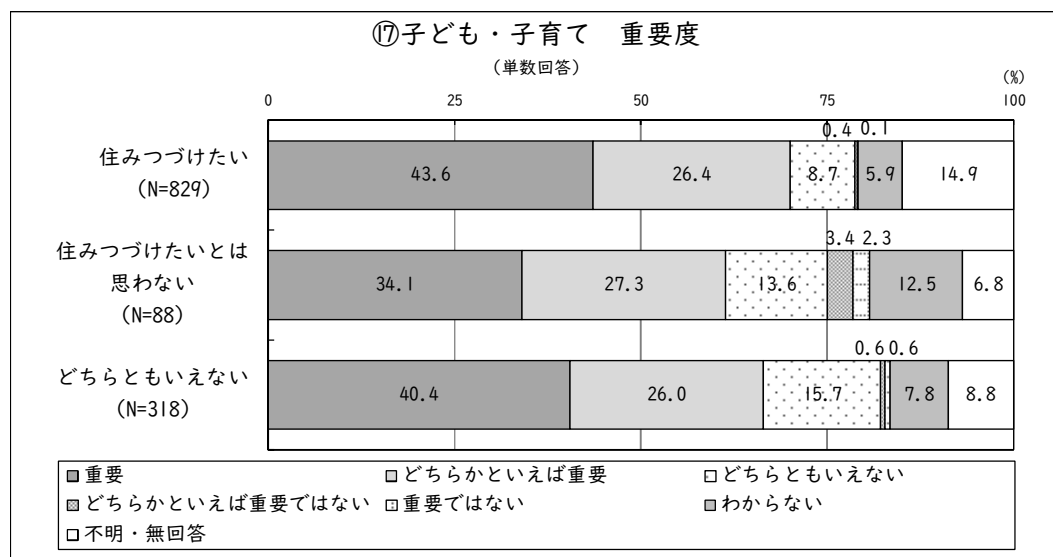
定住意向別にみると、すべての定住意向において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで70.0%、以下、どちらともいえないで66.4%、住みつづけたいとは思わないで61.4%と続いている。



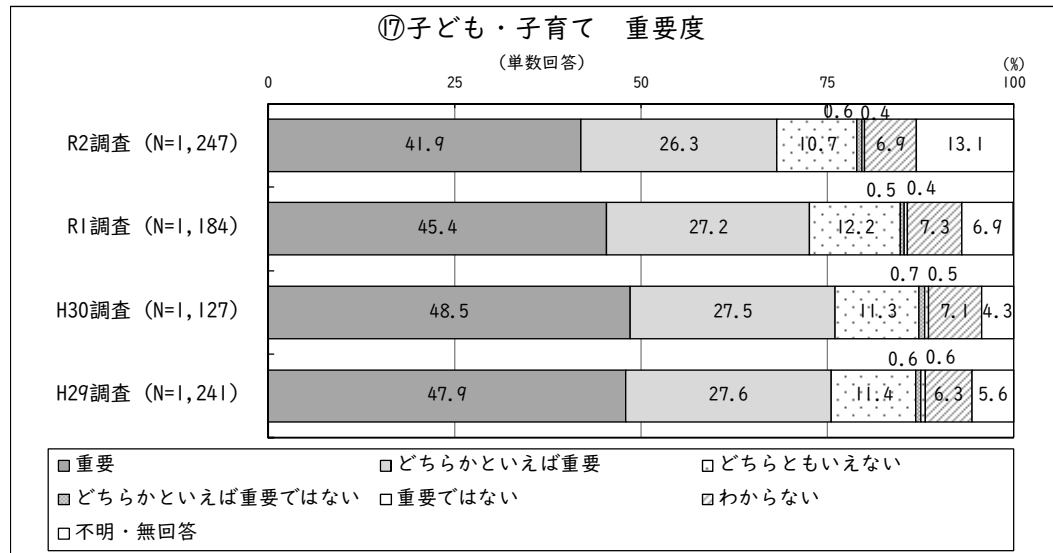
平成29年度調査からの推移をみると、「重要」が少なくなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで70.0%、以下、どちらともいえないで66.4%、住みつづけたいとは思わないで61.4%と続いている。



平成29年度調査からの推移をみると、「重要」が少なくなっている。



⑱ 学校教育、青少年(学校教育、教育環境の充実、健全育成)

【満足度】

学校教育、青少年の満足度は、「どちらともいえない」が 35.5%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 19.6%、「わからない」が 19.0%、「どちらかといえば不満」が 7.9%、「満足」が 5.1%、「不満」が 3.3%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 24.7%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 24.4%、女性は 25.2%となっている。

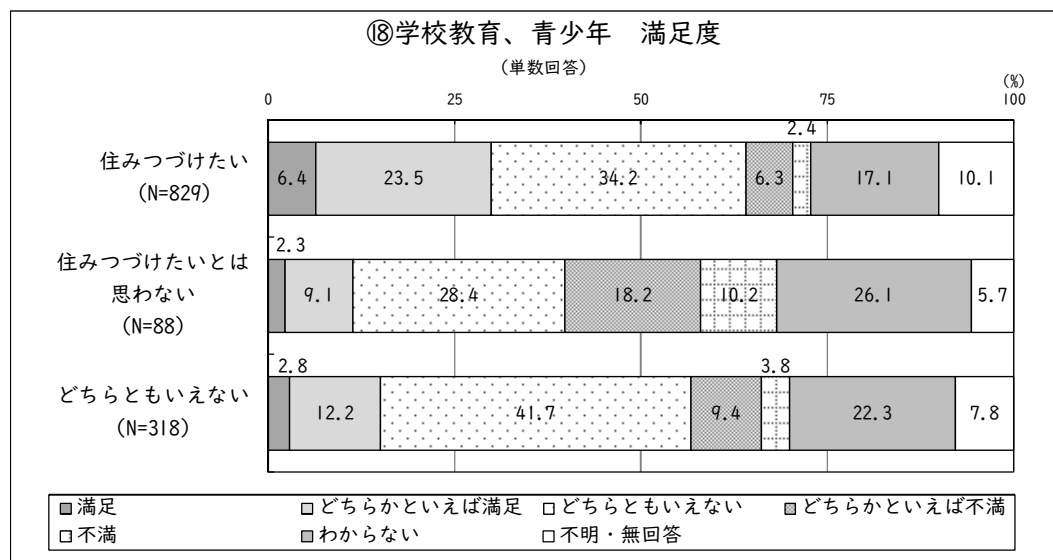
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 30.0%、以下、40 歳代で 25.8%、30 歳代で 25.7%と続いている。20 歳代以下では「満足」が、30 歳代では「どちらかといえば不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 26.3%、以下、甲賀地域で 25.9%、甲南地域で 25.1%、信楽地域で 23.3%、土山地域で 17.8%と続いている。土山地域では「どちらかといえば満足」が少なくなっている。

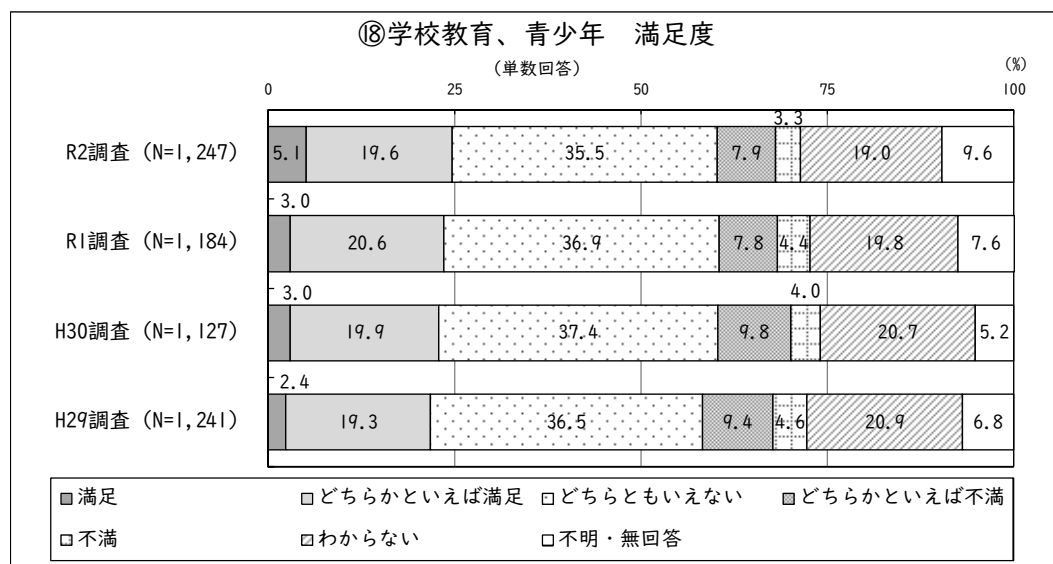
甲賀市の居住歴別にみると、3 年～10 年未満では「わからない」が、他の居住歴では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 32.5%、以下、10 年以上で 24.7%、3 年～10 年未満で 21.3%と続いている。3 年未満では「どちらかといえば満足」が多く、3 年～10 年未満では「どちらかといえば不満」が多くなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 29.9%、以下、どちらともいえないで 15.0%、住みつづけたいとは思わないで 11.4%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」が多く、「どちらかといえば不満」「不満」が少なくなっている



【重要度】

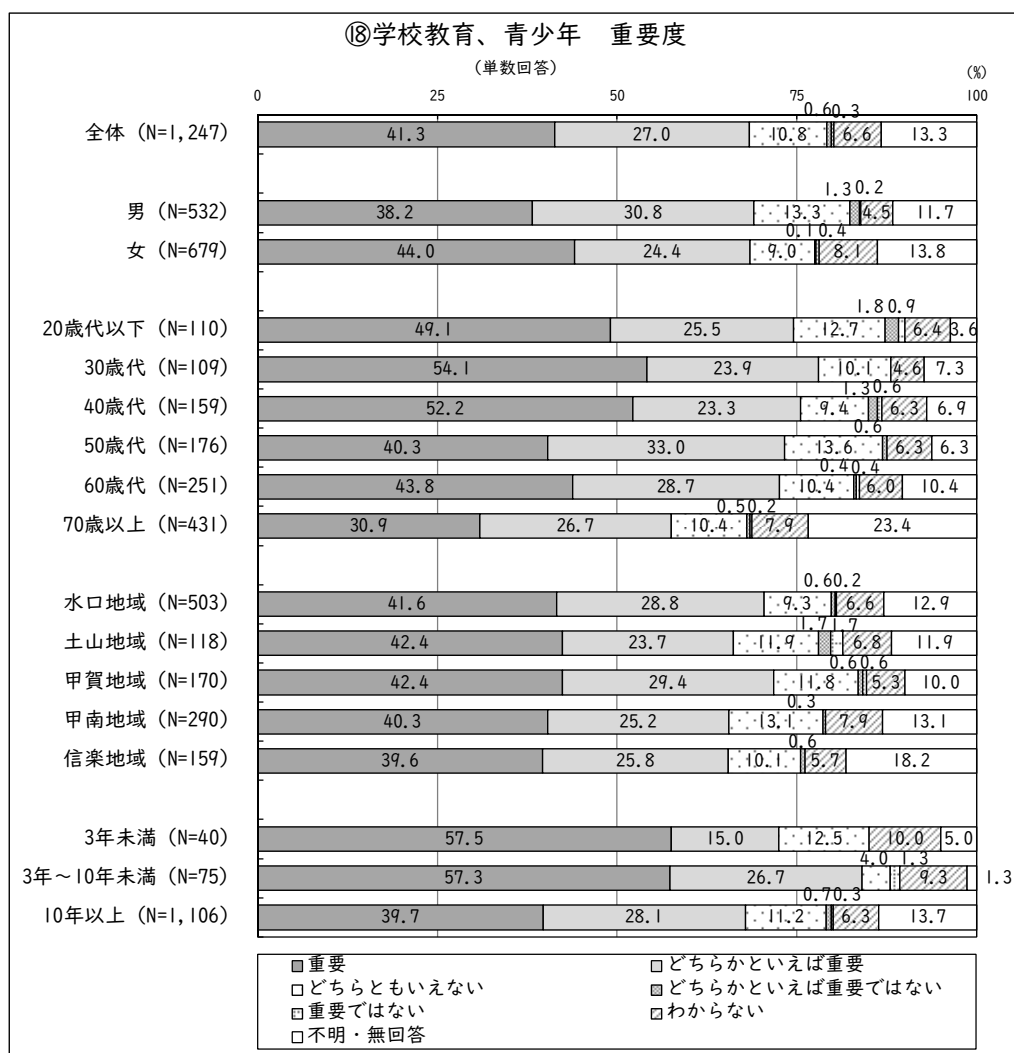
学校教育、青少年の重要度は、「重要」が41.3%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば重要」が27.0%、「どちらともいえない」が10.8%、「わからない」が6.6%、「どちらかといえば重要ではない」が0.6%、「重要ではない」が0.3%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は68.3%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は69.0%、女性は68.4%となっている。女性は「どちらかといえば重要」が少なくなっている。

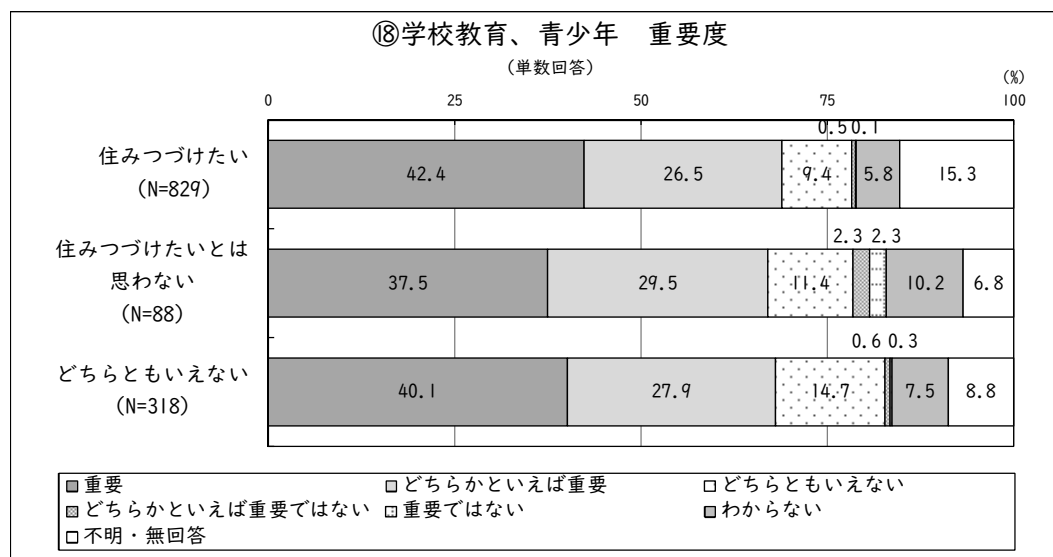
年代別にみると、すべての年代において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは30歳代で78.0%、以下、40歳代で75.5%、20歳代以下で74.6%と続いている。50歳代は「どちらかといえば重要」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で71.8%、以下、水口地域で70.4%、土山地域で66.1%、甲南地域で65.5%、信楽地域で65.4%と続いている。

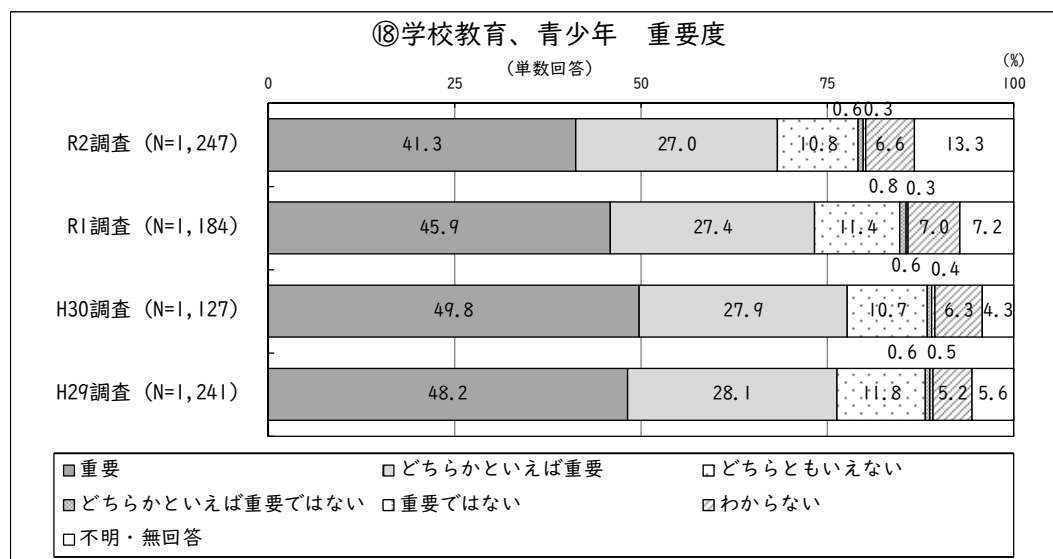
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で84.0%、以下、3年未満で72.5%、10年以上で67.8%と続いている。3年未満は「どちらかといえば重要」が少なくなっている



定住意向別にみると、すべての定住意向において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで68.9%、以下、どちらともいえないで68.0%、住みつづけたいとは思わないで67.0%と続いている。



平成29年度調査からの推移をみると、「重要」「どちらかといえば重要」が少なくなっている。



⑨ 都市形成(市街地整備、土地の有効利用)

【満足度】

都市形成の満足度は、「どちらともいえない」が 37.3%で最も多くなっており、以下、「わからない」が 17.5%、「どちらかといえば不満」が14.1%、「どちらかといえば満足」が11.3%、「不満」が8.7%、「満足」が 2.4%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 13.7%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 14.4%、女性は 13.3%となっている。

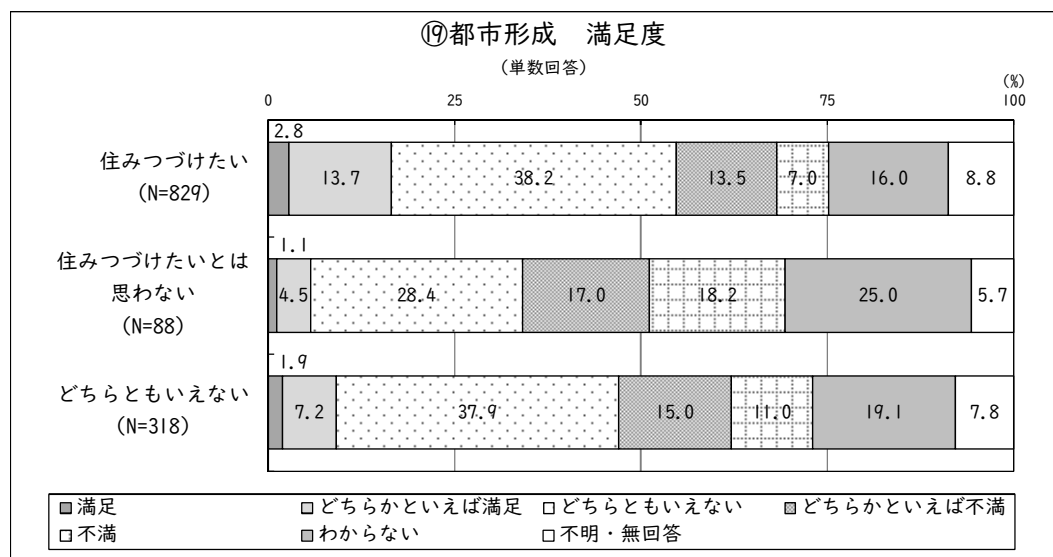
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 27.3%、以下、60 歳代で 14.0%、30 歳代で 13.7%と続いている。20 歳代以下は「満足」「どちらかといえば満足」が、40 歳代は「不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 18.9%、以下、甲賀地域で 11.2%、土山地域で 11.0%、甲南地域で 10.0%、信楽地域で 9.4%と続いている。甲賀地域では「どちらかといえば不満」が多く、信楽地域では「どちらかといえば満足」が少なくなっている。

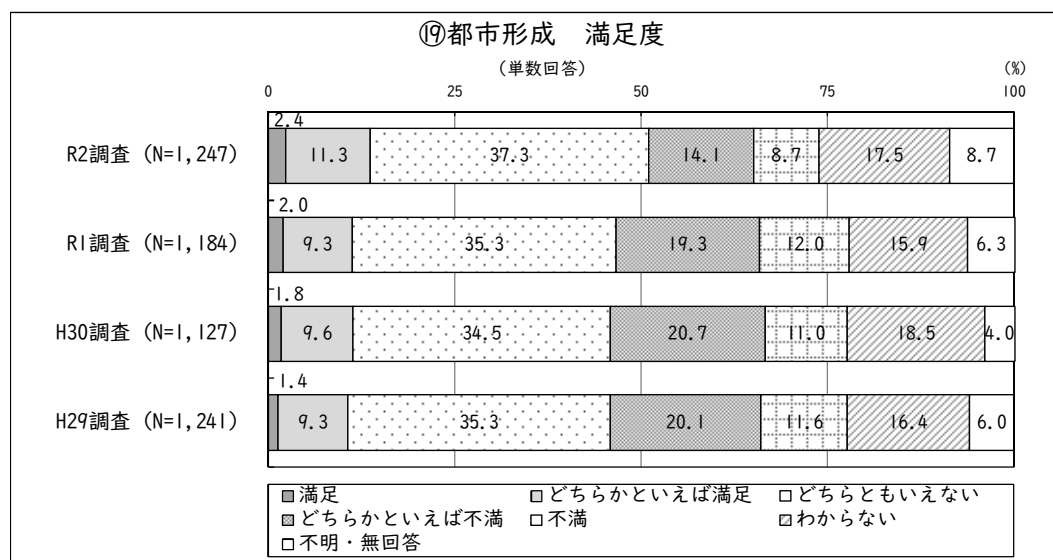
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 22.5%、以下、3 年～10 年未満で 16.0%、10 年以上で 13.2%と続いている。3 年未満では「どちらかといえば満足」が多く、3 年～10 年未満では「不満」が多くなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 16.5%、以下、どちらともいえないで 9.1%、住みつづけたいとは思わないで 5.6%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、本年度は「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえ
ば不満」「不満」が少なくなっている。



【重要度】

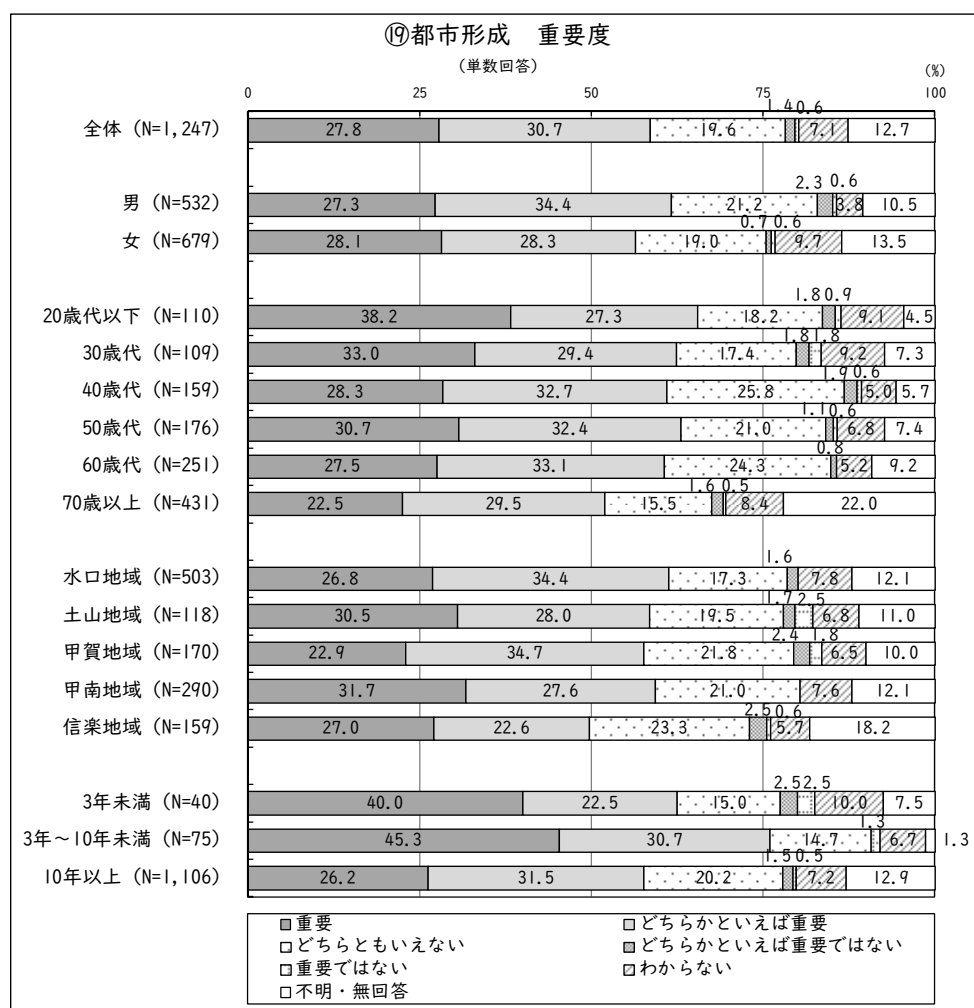
都市形成の重要度は、「どちらかといえば重要」が 30.7%で最も多くなっており、以下、「重要」が 27.8%、「どちらともいえない」が 19.6%、「わからない」が 7.1%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.4%、「重要ではない」が 0.6%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 58.5%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 61.7%、女性は 56.4%となっている。

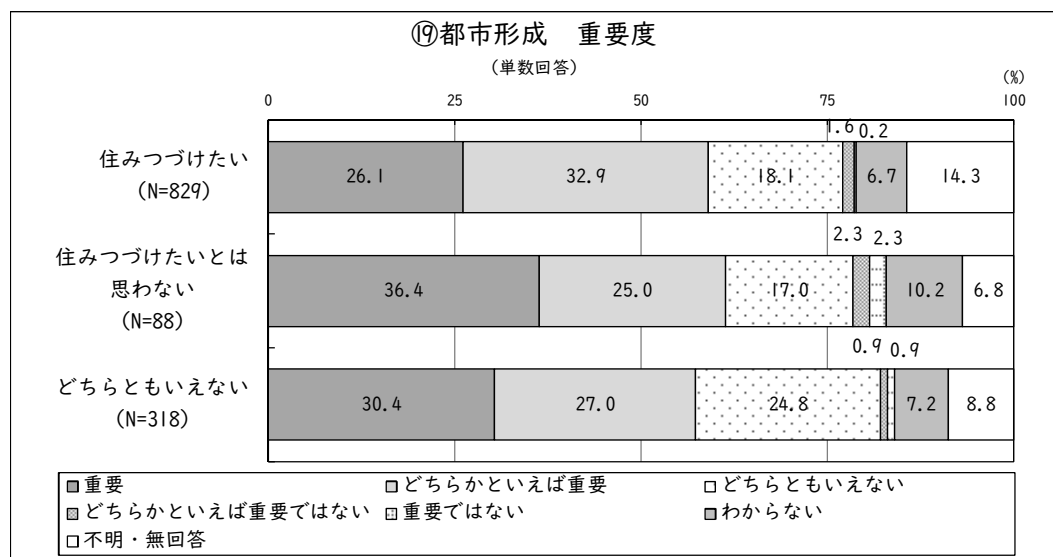
年代別にみると、30 歳代以下では「重要」が、他の年代では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 65.5%、以下、50 歳代で 63.1%、30 歳代で 62.4%と続いている。

居住地域別にみると、土山地域、甲南地域、信楽地域では「重要」が、水口地域、甲賀地域では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 61.2%、以下、甲南地域で 59.3%、土山地域で 58.5%、甲賀地域で 57.6%、信楽地域で 49.6%と続いている。

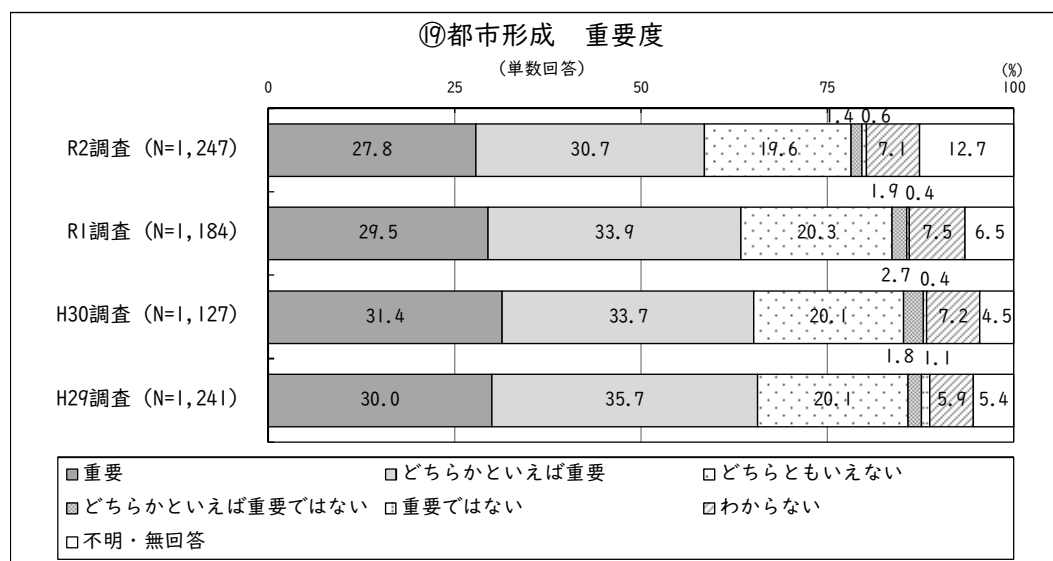
甲賀市の居住歴別にみると、10 年未満では「重要」が、10 年以上では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 76.0%、以下、3 年未満で 62.5%、10 年以上で 57.7%と続いている。



定住意向別にみると、住みつづけたいでは「どちらかといえば重要」が、他の定住意向では「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいとは思わないで 61.4%、以下、住みつづけたいで 59.0%、どちらともいえないで 57.4%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「重要」「どちらかといえば重要」が少なくなっている。



⑳ 行財政(職員の質、行政事務の効率、財産管理、財政運営)

【満足度】

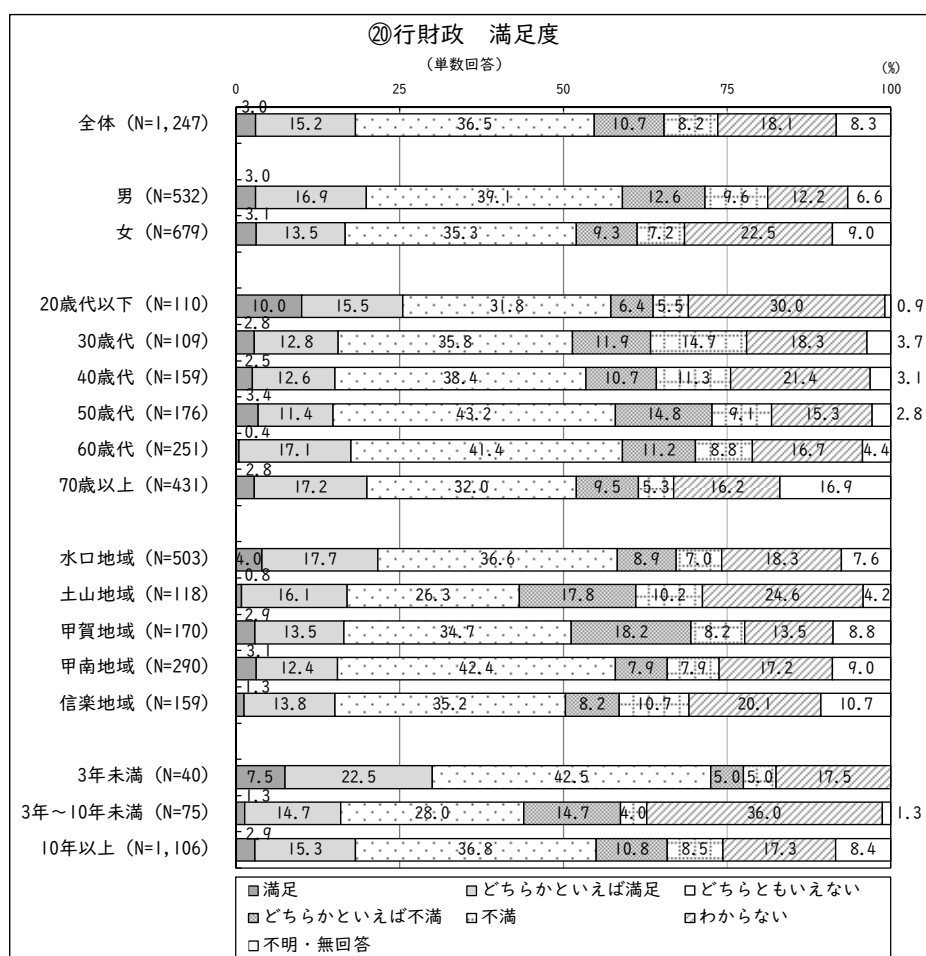
行財政の満足度は、「どちらともいえない」が 36.5%で最も多くなっており、以下、「わからない」が 18.1%、「どちらかといえば満足」が15.2%、「どちらかといえば不満」が10.7%、「不満」が8.2%、「満足」が 3.0%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 18.2%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 19.9%、女性は 16.6%となっている。

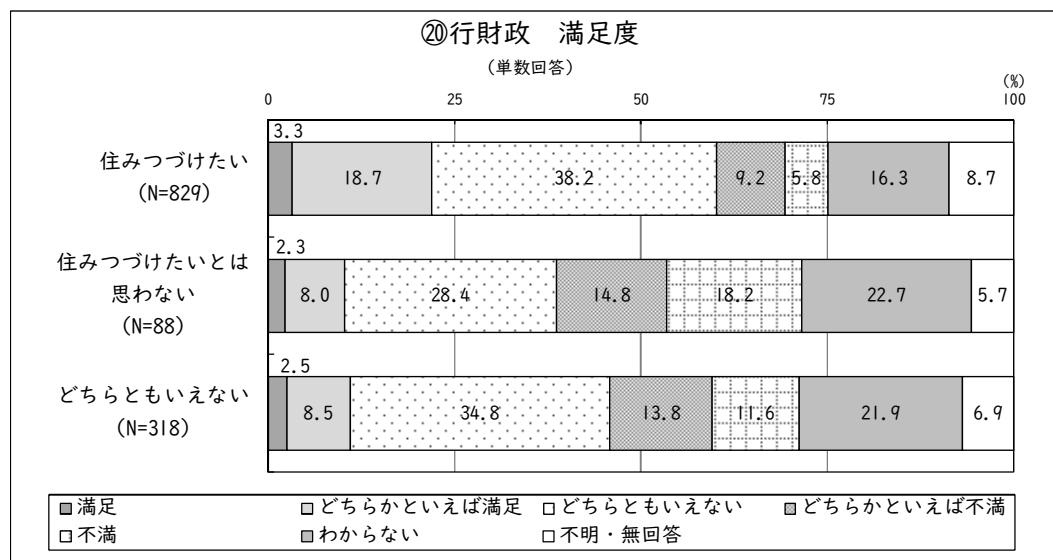
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 25.5%、以下、70 歳以上で 20.0%、60 歳代で 17.5%と続いている。20 歳代以下では「満足」が、30 歳代では「不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 21.7%、以下、土山地域で 16.9%、甲賀地域で 16.4%、甲南地域で 15.5%、信楽地域で 15.1%と続いている。土山地域、甲賀地域では「どちらかといえば不満」が多くなっている。

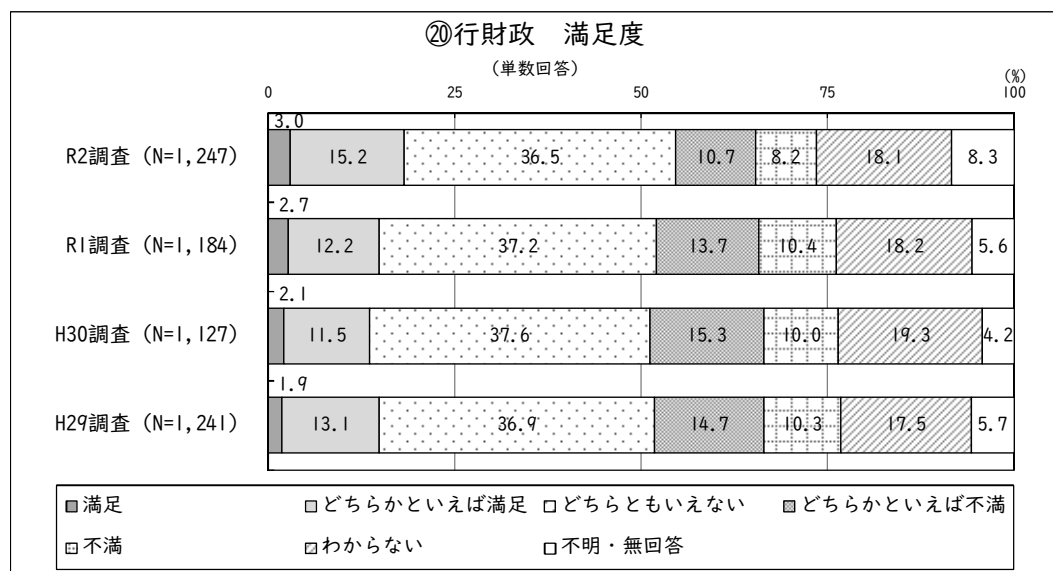
甲賀市の居住歴別にみると、3 年～10 年未満では「わからない」が、他の居住歴では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 30.0%、以下、10 年以上で 18.2%、3 年～10 年未満で 16.0%と続いている。3 年未満では「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 22.0%、以下、どちらともいえないで 11.0%、住みつづけたいとは思わないで 10.3%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえば不満」「不満」が少なくなっている。



【重要度】

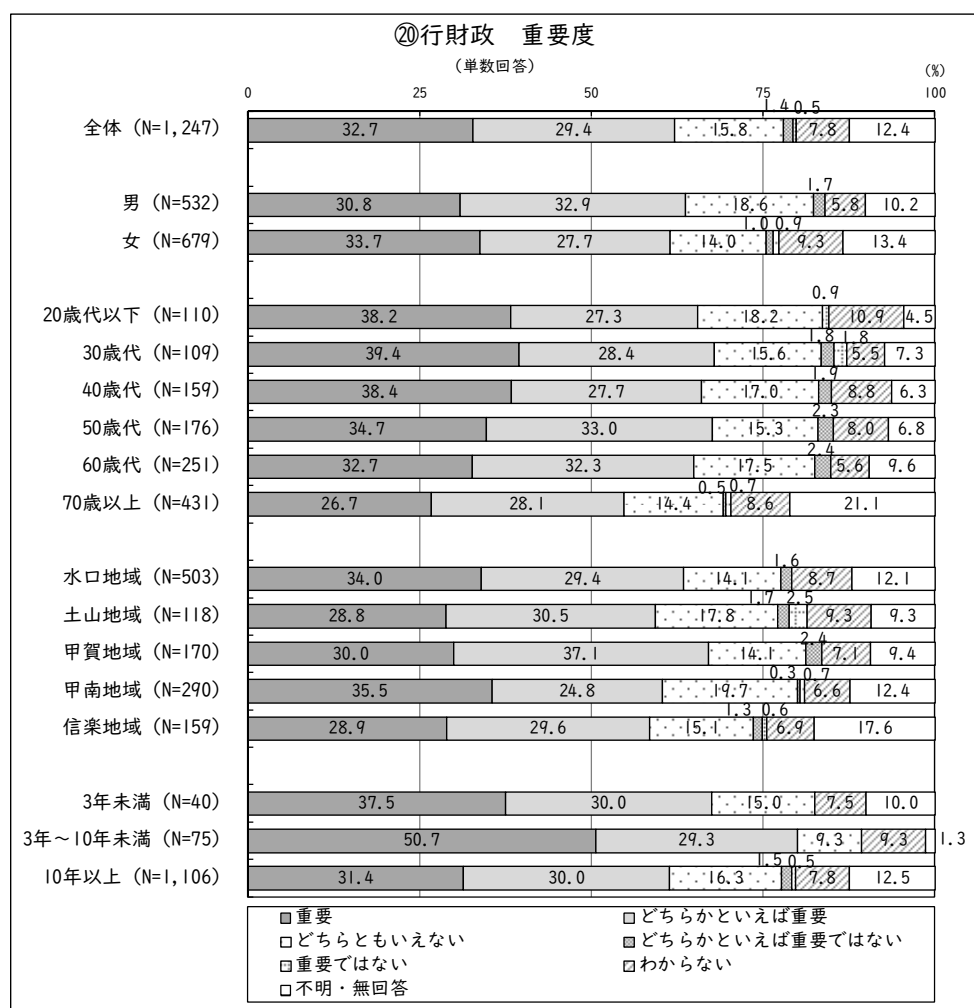
行財政の重要度は、「重要」が 32.7%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば重要」が 29.4%、「どちらともいえない」が 15.8%、「わからない」が 7.8%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.4%、「重要ではない」が 0.5%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 62.1%となっている。

性別にみると、男性は「どちらかといえば重要」が、女性は「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 63.7%、女性は 61.4%となっている。

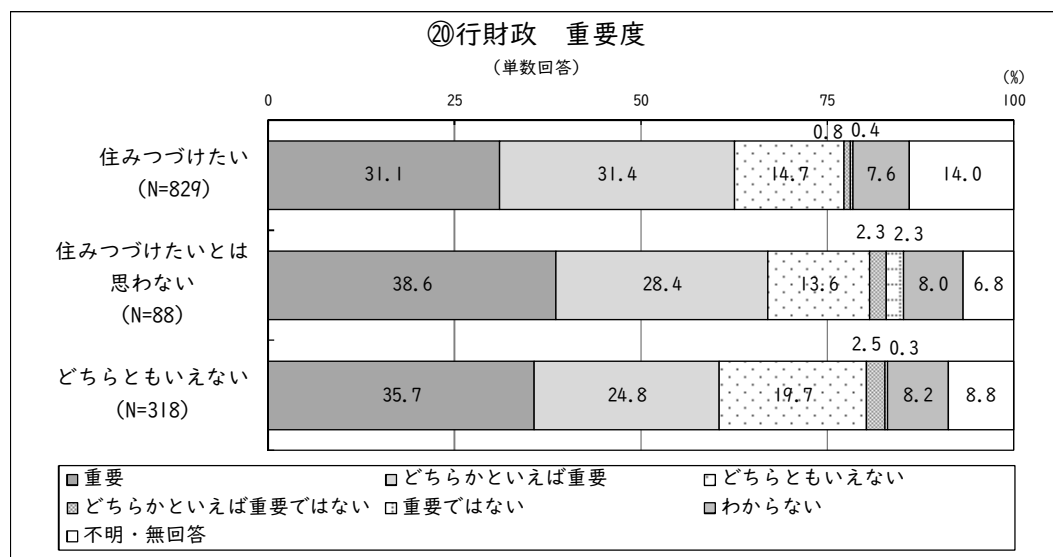
年代別にみると、70 歳以上では「どちらかといえば重要」が、他の年代では「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 30 歳代で 67.8%、以下、50 歳代で 67.7%、40 歳代で 66.1%と続いている。

居住地域別にみると、土山地域、甲賀地域、信楽地域では「どちらかといえば重要」が、水口地域、甲南地域では「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 67.1%、以下、水口地域で 63.4%、甲南地域で 60.3%、土山地域で 59.3%、信楽地域で 58.5%と続いている。

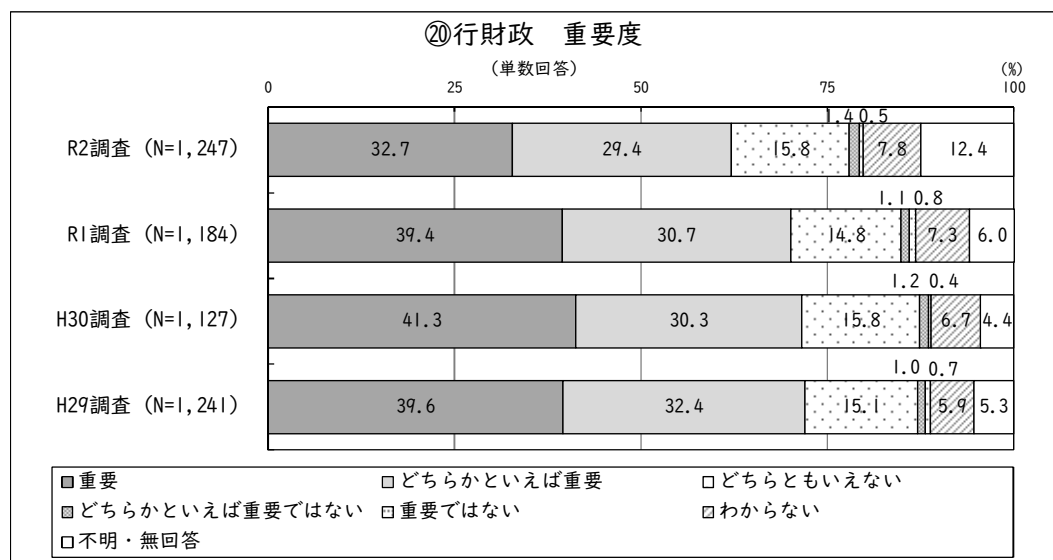
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 80.0%、以下、3 年未満で 67.5%、10 年以上で 61.4%と続いている。



定住意向別にみると、住みつづけたいでは「どちらかといえば重要」が、他の定住意向では「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいとは思わないで 67.0%、以下、住みつづけたいで 62.5%、どちらともいえないで 60.5%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、本年度は「重要」「どちらかといえば重要」が少なくなっている。



(5) 現在の暮らしに幸せを感じるか

① 現在の暮らしに幸せを感じるか

「問 11」 あなたは、現在の暮らしに幸せを感じますか。(○は1つだけ)

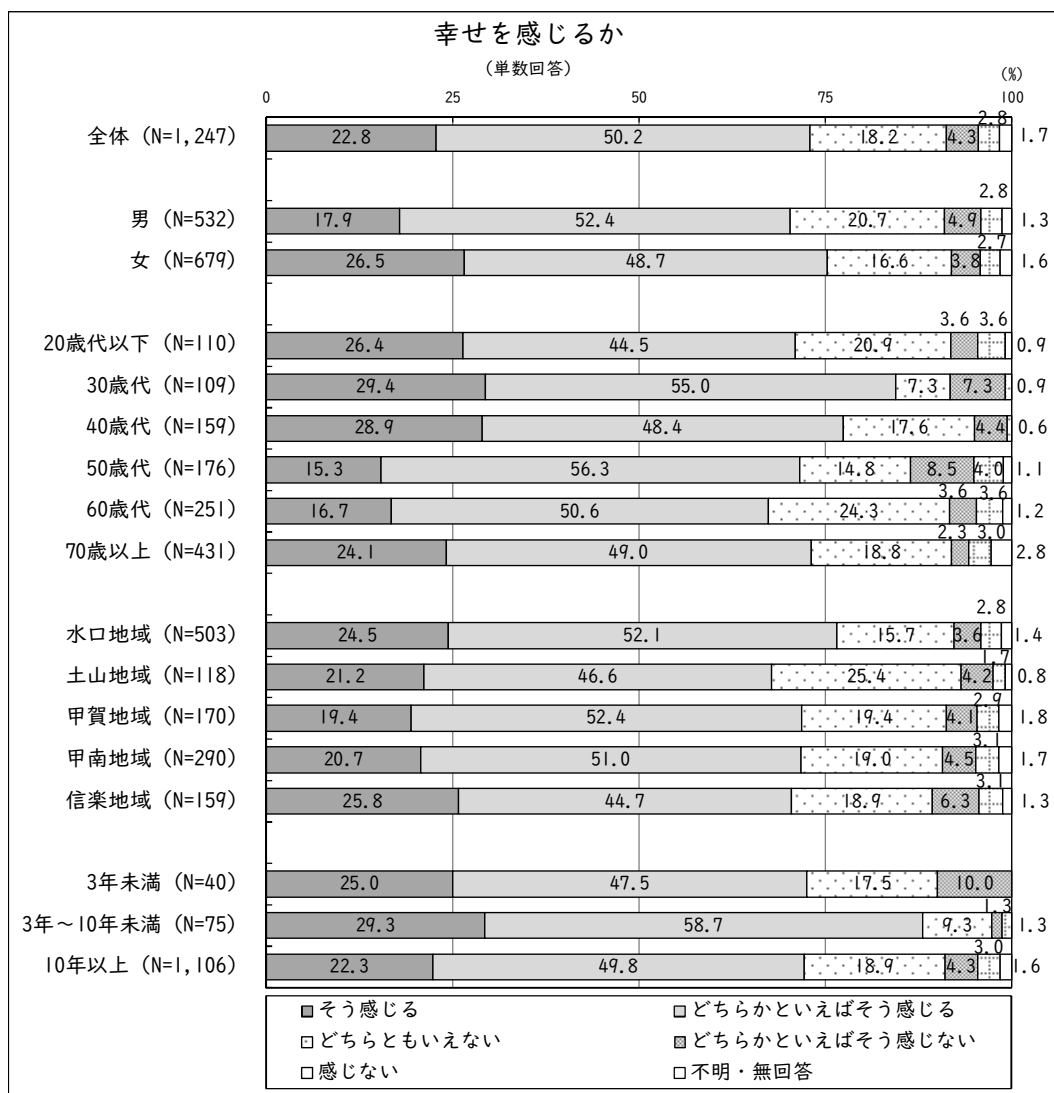
幸せを感じるかは、「どちらかといえばそう感じる」が 50.2%で最も多くなっており、以下、「そう感じる」が 22.8%、「どちらともいえない」が 18.2%、「どちらかといえばそう感じない」が 4.3%、「感じない」が 2.8%と続いている。「そう感じる」と「どちらかといえばそう感じる」を合わせた『感じる』は 73.0%となっている。女性は「そう感じる」が多くなっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえばそう感じる」が最も多くなっている。『感じる』の割合をみると、男性は 70.3%、女性は 75.2%となっている。30 歳代、40 歳代は「そう感じる」が多く、50 歳代、60 歳代は「そう感じる」が少なくなっている。

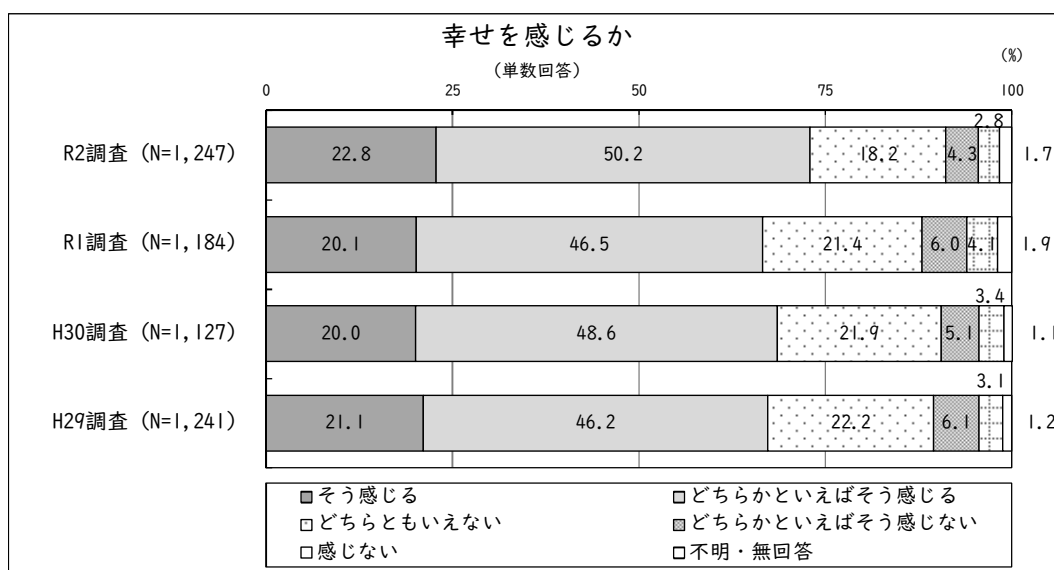
年代別にみると、すべての年代において最も多くなっている。『感じる』の割合をみると、最も多いのは 30 歳代で 84.4%、以下、40 歳代で 77.3%、70 歳以上で 73.1%と続いている。

居住地域別にみると、すべての地域において最も多くなっている。『感じる』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 76.6%、以下、甲賀地域で 71.8%、甲南地域で 71.7%、信楽地域で 70.5%、土山地域で 67.8%と続いている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において最も多くなっている。『感じる』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 88.0%、以下、3 年未満で 72.5%、10 年以上で 72.1%と続いている。3 年未満では「どちらかといえばそう感じない」が多く、3 年～10 年未満では「そう感じる」が多くなっている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「そう感じる」が多くなっている。



② どんなことに幸せを感じるか

<問 11-1> 問 11 で「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」のいずれかに回答された方におたずねします。
あなたは、どのようなことに幸せを感じますか。(あてはまるものすべてに○)

どのようなことに幸せを感じるかは、「健康」が 68.0%で最も多くなっており、以下、「家族関係」が 64.1%、「自由な時間、充実した余暇」が 48.1%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「健康」が最も多くなっている。

年代別にみると、20 歳代以下では「家族関係」「友人関係」が、30 歳代、40 歳代では「家族関係」が、他の年代では「健康」が最も多くなっている。年代が低くなるほど「職場や学校等の人間関係」が多くなっている。

居住地域別にみると、水口地域では「家族関係」が、他の地域では「健康」が最も多くなっている。土山地域で「自由な時間、充実した余暇」「地域コミュニティとの関係」が多く、甲賀地域で「お金」が少なくなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、10 年未満では「家族関係」が、10 年以上では「健康」が最も多くなっている。10 年未満では「就業状況」が多く、「地域コミュニティとの関係」が少なくなっている。

どのようなことに幸せを感じるか（複数回答）

	お金	就業状況	健康	自由な時間、 充実した余暇	仕事	社会貢献	家族関係	友人関係	職場や学校等の 人間関係	地域コミュニティとの 関係	その他	不明・無回答
全体 (N=910)	25.7	24.8	68.0	48.1	25.1	10.1	64.1	36.9	17.8	15.6	1.9	0.5
男 (N=374)	24.9	25.4	68.4	48.4	28.3	14.4	61.2	29.9	12.6	17.9	1.3	0.3
女 (N=511)	26.6	24.9	67.7	48.5	22.7	7.2	65.9	42.5	22.1	13.7	2.2	0.8
20歳代以下 (N=78)	32.1	28.2	61.5	56.4	16.7	3.8	62.8	62.8	41.0	7.7	0.0	0.0
30歳代 (N=92)	26.1	34.8	59.8	54.3	31.5	5.4	78.3	34.8	27.2	8.7	3.3	0.0
40歳代 (N=123)	32.5	40.7	60.2	39.8	39.0	12.2	79.7	33.3	25.2	11.4	1.6	0.0
50歳代 (N=126)	31.0	46.0	77.0	42.9	43.7	15.1	71.4	34.1	31.7	19.0	1.6	0.0
60歳代 (N=169)	21.9	26.6	70.4	47.3	31.4	10.1	63.9	33.1	12.4	14.8	1.8	0.6
70歳以上 (N=315)	21.3	6.0	70.5	49.8	9.5	10.5	51.1	35.2	3.8	19.7	2.2	1.3
水口地域 (N=385)	28.6	25.7	65.7	45.5	24.9	9.9	66.5	35.1	18.4	12.5	2.6	1.0
土山地域 (N=80)	22.5	23.8	70.0	55.0	21.3	8.8	57.5	38.8	17.5	21.3	0.0	1.3
甲賀地域 (N=122)	19.7	21.3	71.3	51.6	23.0	8.2	63.9	36.9	13.9	13.9	0.8	0.0
甲南地域 (N=208)	23.1	25.0	68.3	50.0	26.4	11.1	62.5	36.5	19.2	18.3	1.4	0.0
信楽地域 (N=112)	30.4	26.8	70.5	45.5	28.6	12.5	63.4	42.9	17.9	18.8	2.7	0.0
3年未満 (N=29)	31.0	34.5	62.1	55.2	31.0	6.9	79.3	34.5	20.7	10.3	0.0	0.0
3年～10年未満 (N=66)	24.2	36.4	66.7	48.5	27.3	3.0	71.2	28.8	27.3	10.6	4.5	0.0
10年以上 (N=798)	25.6	23.7	68.7	47.7	24.9	10.9	63.2	37.8	17.0	16.2	1.8	0.5

平成 29 年度調査からの推移をみると、「その他」「不明・無回答」を除く全ての項目で多くなっている。

	お金	就業状況	健康	自由な時間、 充実した余暇	仕事	社会貢献	家族関係	友人関係	職場や学校等の 人間関係	地域コミュニティ との関係	その他	不明・無回答
全体 (N=910)	25.7	24.8	68.0	48.1	25.1	10.1	64.1	36.9	17.8	15.6	1.9	0.5
R1調査 (N=789)	13.1	16.1	54.1	42.1	17.7	9.1	58.8	30.3	12.4	12.5	2.2	0.9
H30調査 (N=773)	14.6	14.7	55.0	38.0	15.5	7.5	59.4	31.0	10.9	11.9	2.1	1.0
H29調査 (N=835)	13.7	14.9	57.7	36.2	16.8	6.6	56.6	31.7	9.1	11.3	1.8	1.4

(6) 市政への関心

「問 12」 あなたは、市政に関心をお持ちですか。(○は1つだけ)

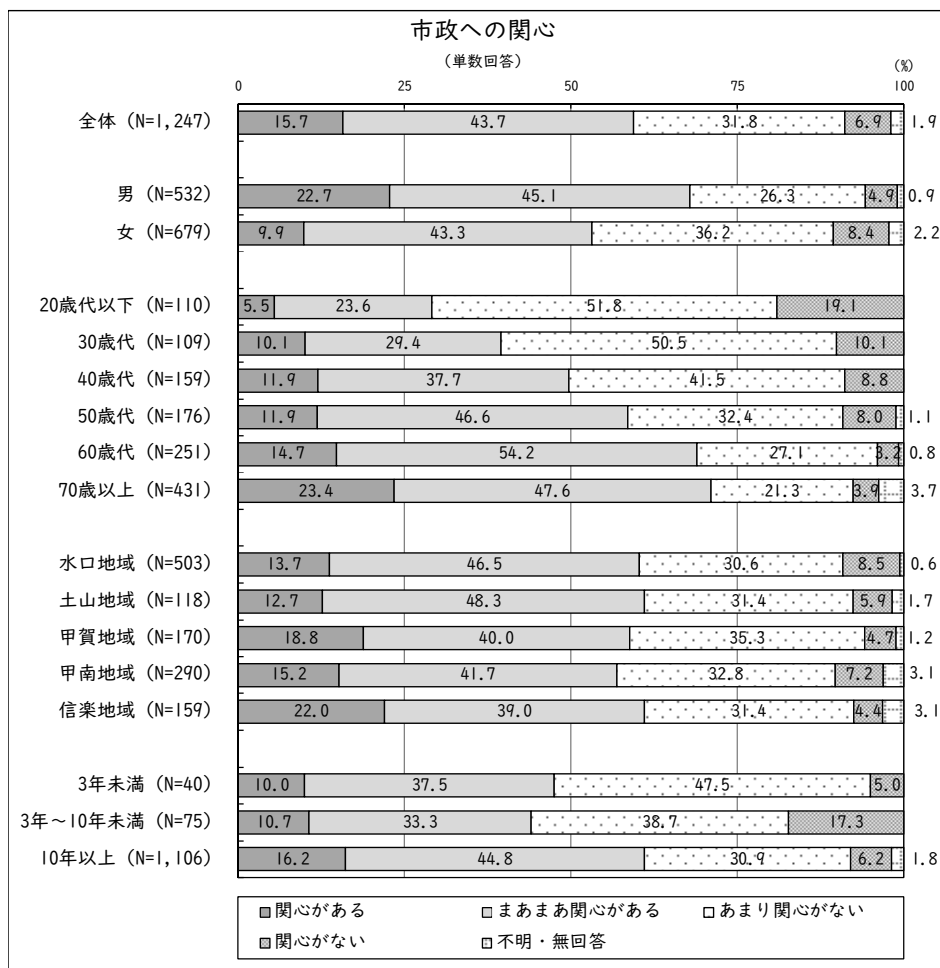
市政への関心は、「まあまあ関心がある」が 43.7%で最も多くなっており、以下、「あまり関心がない」が 31.8%、「関心がある」が 15.7%、「関心がない」が 6.9%と続いている。「関心がある」と「まあまあ関心がある」を合わせた『関心あり』は 59.4%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「まあまあ関心がある」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、男性は 67.8%、女性は 53.2%となっている。男性は「関心がある」が多くなっている。

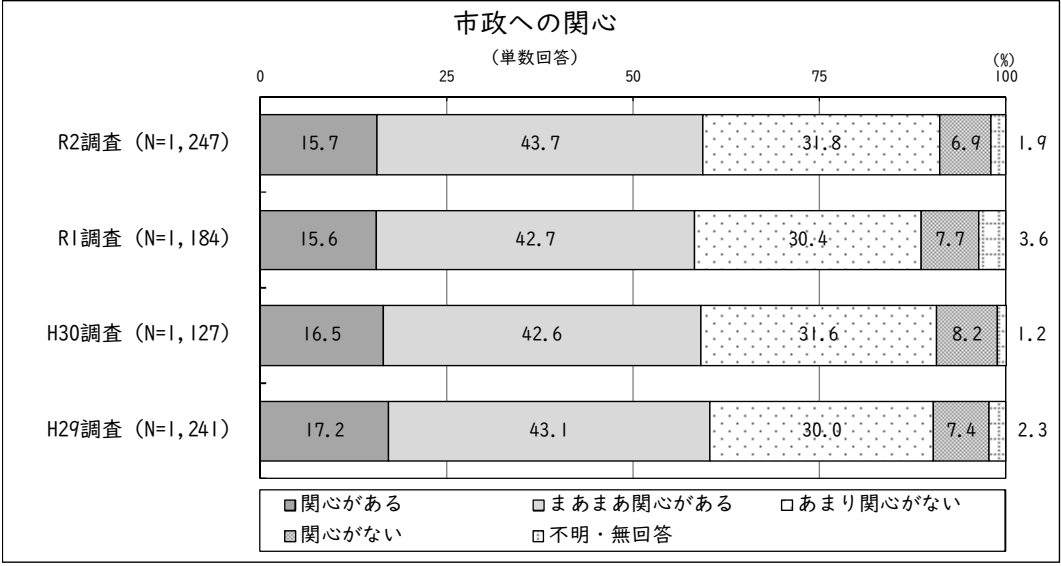
年代別にみると、40 歳代以下では「あまり関心がない」が、50 歳代以上では「まあまあ関心がある」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 71.0%、以下、60 歳代で 68.9%、50 歳代で 58.5%、40 歳代で 49.6%、と続いている。年代が高くなるほど「関心がある」「まあまあ関心がある」が多く、「あまり関心がない」「関心がない」が少なくなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「まあまあ関心がある」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、最も多いのは土山地域、信楽地域で 61.0%、以下、水口地域で 60.2%、甲賀地域で 58.8%、甲南地域で 56.9%と続いている。信楽地域では「関心がある」が多くなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、10 年未満では「あまり関心がない」が、10 年以上では「まあまあ関心がある」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、最も多いのは 10 年以上で 61.0%、以下、3 年未満で 47.5%、3 年～10 年未満で 44.0%と続いている。3 年～10 年未満では「関心がない」が多くなっている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、市政への関心に変化はみられない。



(7) 市政に関する満足度

「問 13」 あなたは、市政に係る次の項目について、どの程度満足されていますか。
 以下の①～⑤のそれぞれの項目について選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

① 行政サービスの水準

行政サービスの水準は、「どちらともいえない」が 38.1%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえ
 ば満足」が 26.1%、「わからない」が 14.3%、「どちらかといえは不満」が 8.7%、「不満」が 4.1%、「満足」
 が 4.0%と続いている。「満足」と「どちらかといえは満足」を合わせた『満足』は 30.1%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみる
 と、男性は 31.7%、女性は 29.0%となっている。

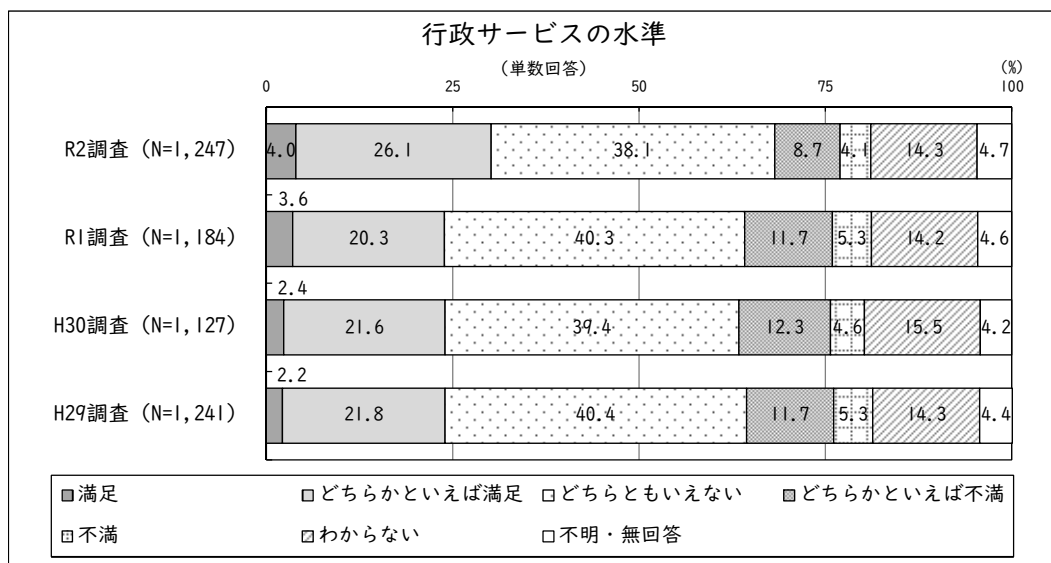
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合
 をみると、最も多いのは 70 歳以上で 35.8%、以下、60 歳代で 30.3%、40 歳代で 30.1%と続い
 ている。30 歳代以下では「どちらかといえは満足」が少なくなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の
 割合をみると、最も多いのは甲南地域で 35.9%、以下、水口地域で 30.4%、甲賀地域で 28.9%、
 土山地域で 24.6%、信楽地域で 24.5%と続いている。

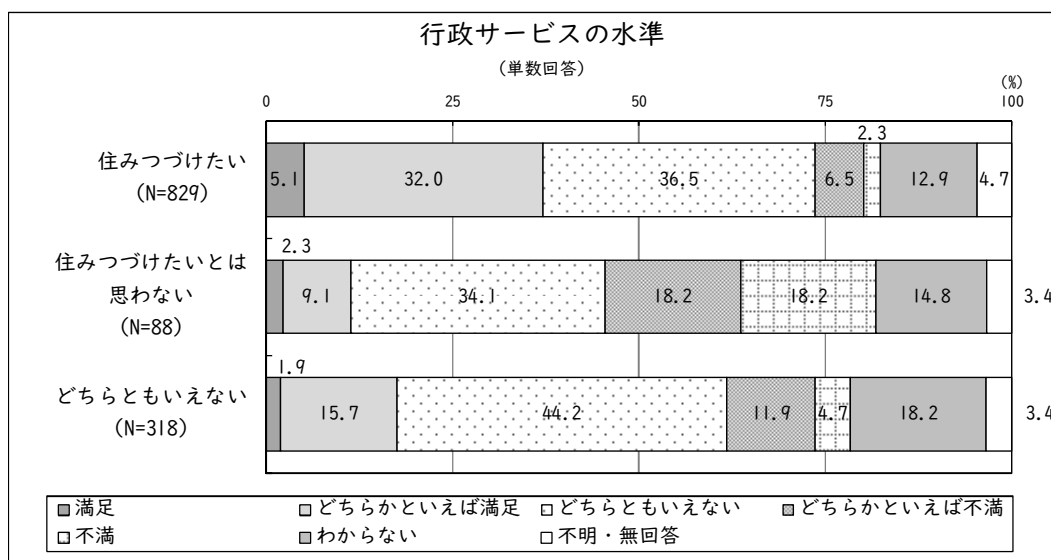
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。
 『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 32.5%、以下、10 年以上で 30.8%、3 年～10 年
 未満で 25.3%と続いている。3 年未満では「満足」が多くなっている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、本年度は「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえ
ば不満」が少なくなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 37.1%、以下、どちらともいえないで 17.6%、住みつづけたいとは思わないで 11.4%と続いている。



② 情報の公開度

情報の公開度は、「どちらともいえない」が 38.2%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 26.0%、「わからない」が 14.3%、「どちらかといえば不満」が 7.9%、「満足」が 4.7%、「不満」が 4.3%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 30.7%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 32.1%、女性は 29.4%となっている。

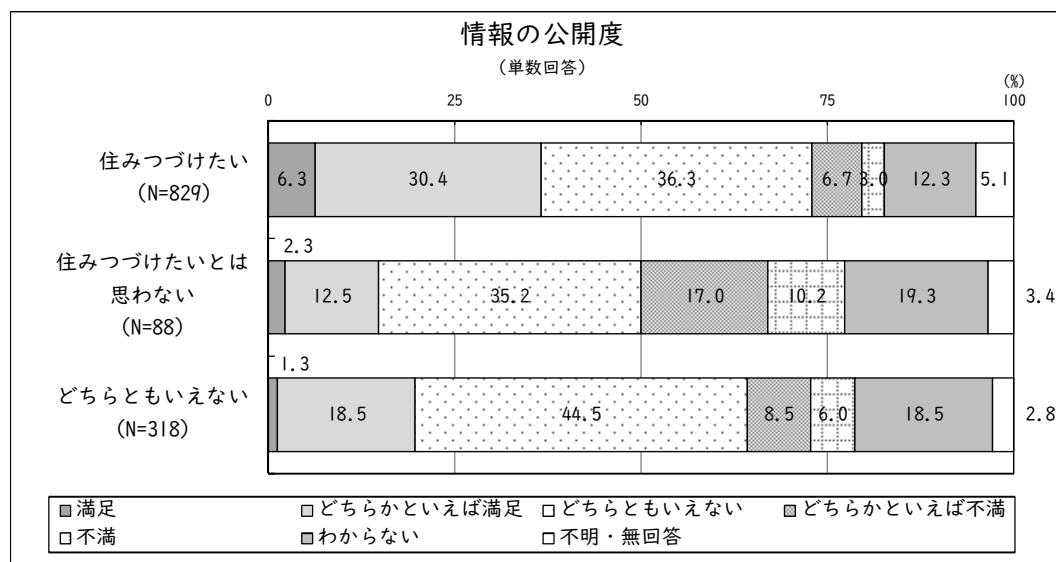
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 33.4%、以下、60 歳代で 31.5%、40 歳代で 31.4%、30 歳代で 29.3%、と続いている。20 歳代以下は「どちらかといえば満足」が少なくなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲南地域で 34.5%、以下、甲賀地域で 33.6%、水口地域で 29.9%、土山地域で 27.1%、信楽地域で 25.8%と続いている。甲賀地域は「どちらかといえば満足」が多く、信楽地域では「どちらかといえば満足」が少なくなっている。

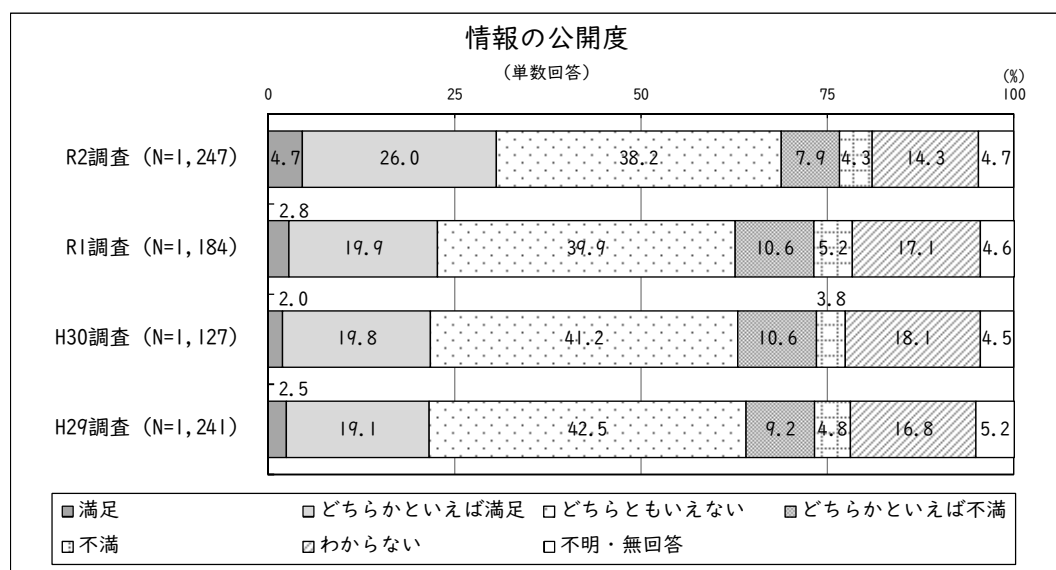
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 33.3%、以下、3 年未満で 32.5%、10 年以上で 30.5%と続いている。3 年未満では「満足」が多くなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 36.7%、以下、どちらともいえないで 19.8%、住みつづけたいとは思わないで 14.8%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」「どちらかといえば満足」が多くなっており、本年度は「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



③ 行政(市役所)の信頼度

行政(市役所)の信頼度は、「どちらともいえない」が 36.6%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 27.6%、「わからない」が 10.7%、「どちらかといえば不満」が 10.3%、「満足」が 5.7%、「不満」が 4.7%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 33.3%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 35.4%、女性は 31.7%となっている。

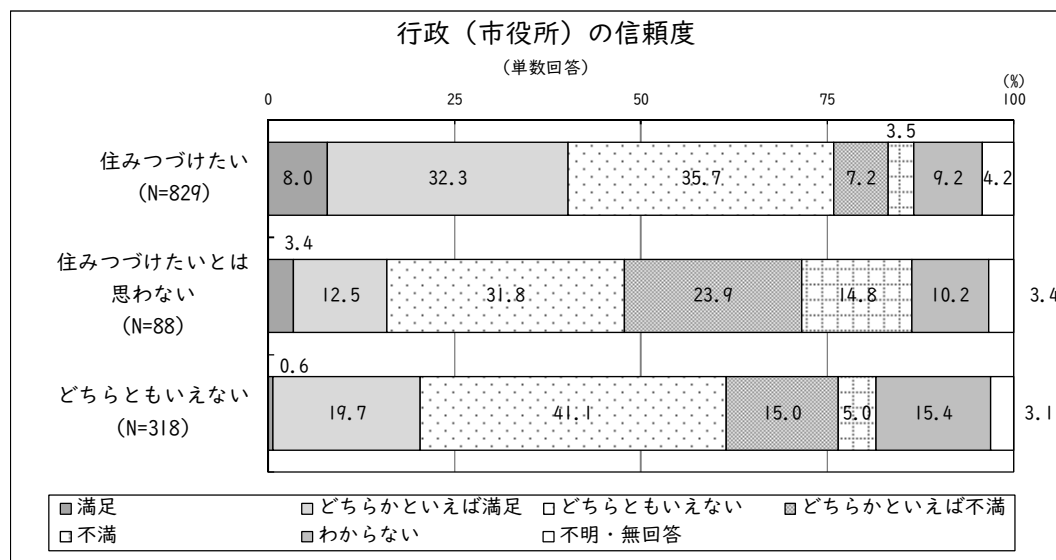
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 37.1%、以下、50 歳代で 34.0%、60 歳代で 33.1%と続いている。20 歳代以下では「どちらかといえば満足」が少なく、30 歳代では「不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 35.9%、以下、水口地域で 34.2%、甲南地域で 34.1%、信楽地域で 29.5%、土山地域で 28.8%と続いている。信楽地域では「どちらかといえば満足」が少なくなっている。

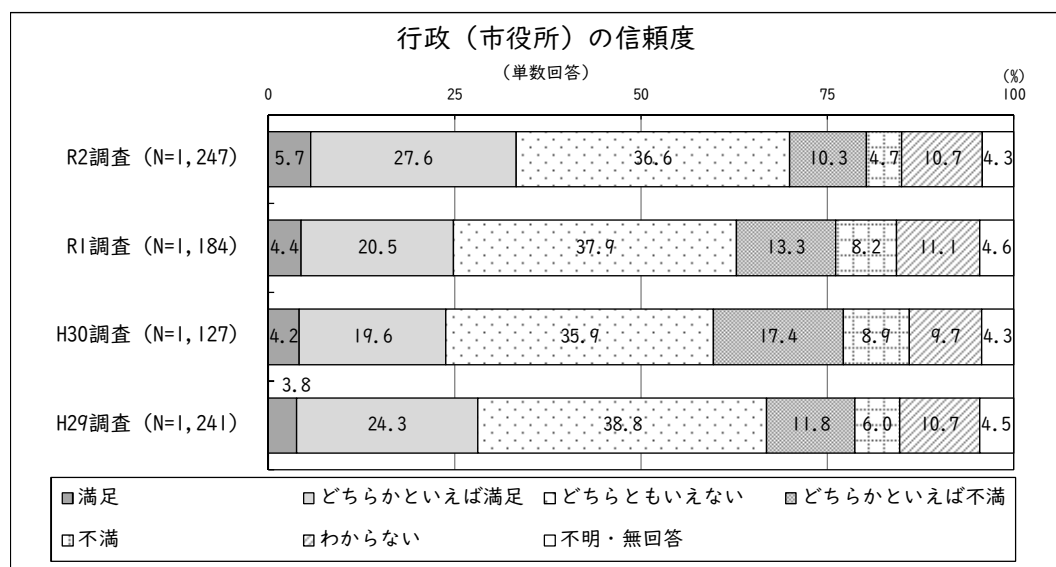
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 36.0%、以下、10 年以上で 33.5%、3 年未満で 30.0%と続いている。3 年未満では「どちらかといえば満足」「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 40.3%、以下、どちらともいえないで 20.3%、住みつづけたいとは思わないで 15.9%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、平成 30 年度以降「満足」「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえば不満」「不満」が少なくなっている。



④ 市役所職員の質・対応

市役所職員の質・対応は、「どちらかといえば満足」が 31.0%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が 30.5%、「どちらかといえば不満」が 11.1%、「わからない」が 9.5%、「満足」が 8.0%、「不満」が 6.1%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 39.0%となっている。

性別にみると、男性は「どちらかといえば満足」が、女性は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 40.8%、女性は 37.6%となっている。

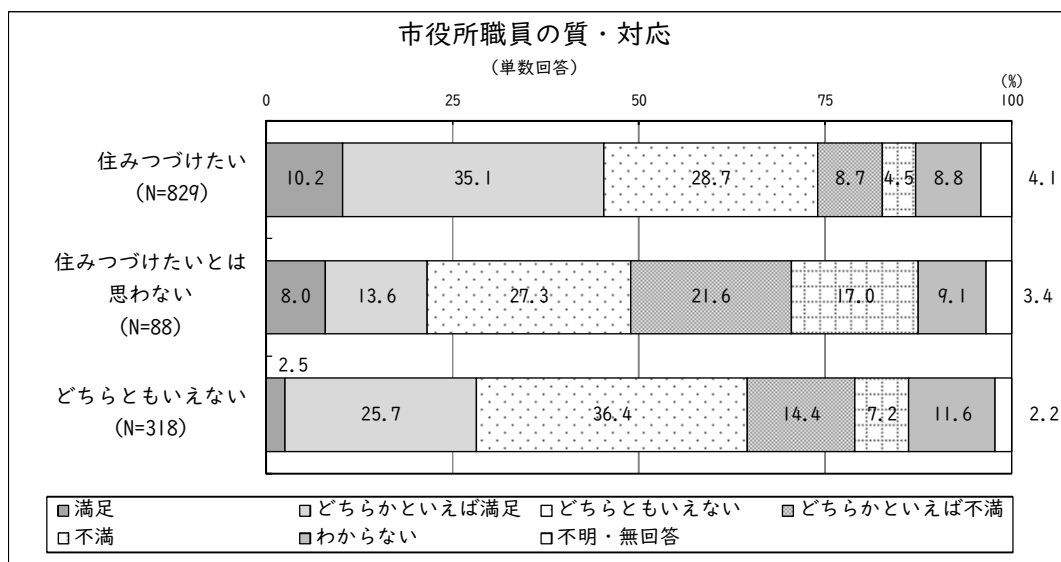
年代別にみると、20 歳代以下、50 歳代、60 歳代では「どちらともいえない」が、他の年代では「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 42.9%、以下、30 歳代で 40.4%、60 歳代で 37.9%と続いている。50 歳代では「どちらかといえば不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、土山地域では「どちらともいえない」が、他の地域では「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 42.5%、以下、甲南地域で 40.0%、甲賀地域で 38.3%、信楽地域で 35.2%、土山地域で 28.8%と続いている。

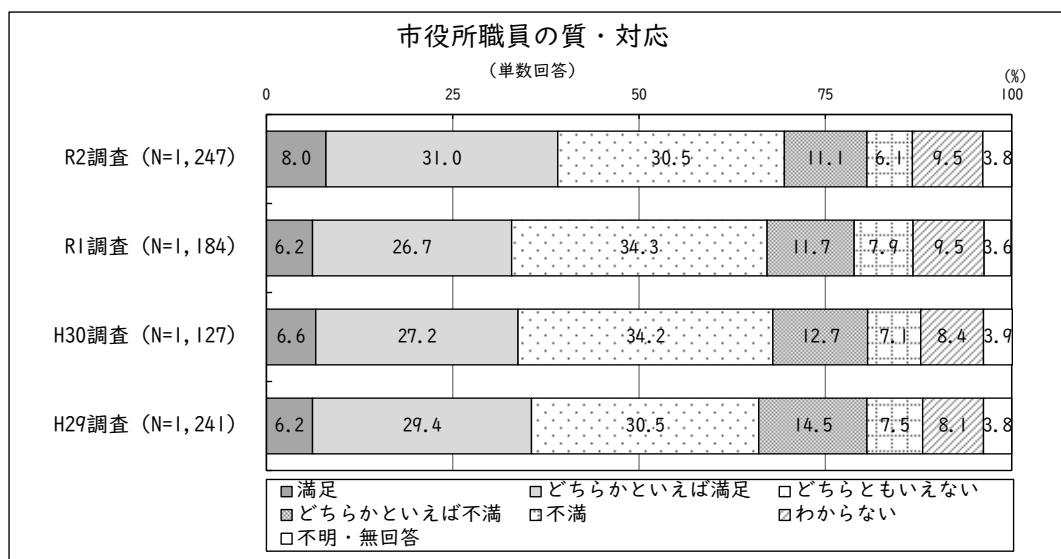
甲賀市の居住歴別にみると、10 年未満では「どちらかといえば満足」が、10 年以上では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 52.5%、以下、3 年～10 年未満で 44.0%、10 年以上で 38.4%と続いている。3 年未満では「満足」が多くなっている。



定住意向別にみると、住みつづけたいでは「どちらかといえば満足」が、他の定住意向では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 45.3%、以下、どちらともいえないで 28.2%、住みつづけたいとは思わないで 21.6%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



⑤ 市政への住民参画のしやすさ

市政への住民参画のしやすさは、「どちらともいえない」が45.2%で最も多くなっており、以下、「わからない」が20.0%、「どちらかといえば満足」が12.8%、「どちらかといえば不満」が9.8%、「不満」が4.5%、「満足」が2.6%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は15.4%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は15.4%、女性は15.5%となっている。

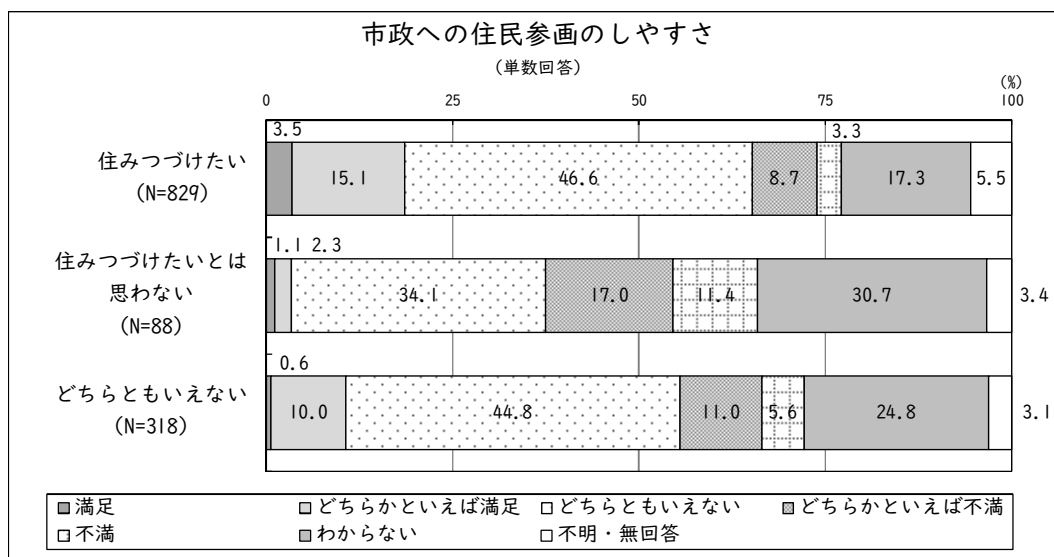
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で18.2%、以下、70歳以上で18.1%、50歳代で17.6%、30歳代で15.6%、と続いている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲南地域で19.0%、以下、水口地域で15.7%、土山地域で13.6%、信楽地域で12.5%、甲賀地域で12.4%と続いている。

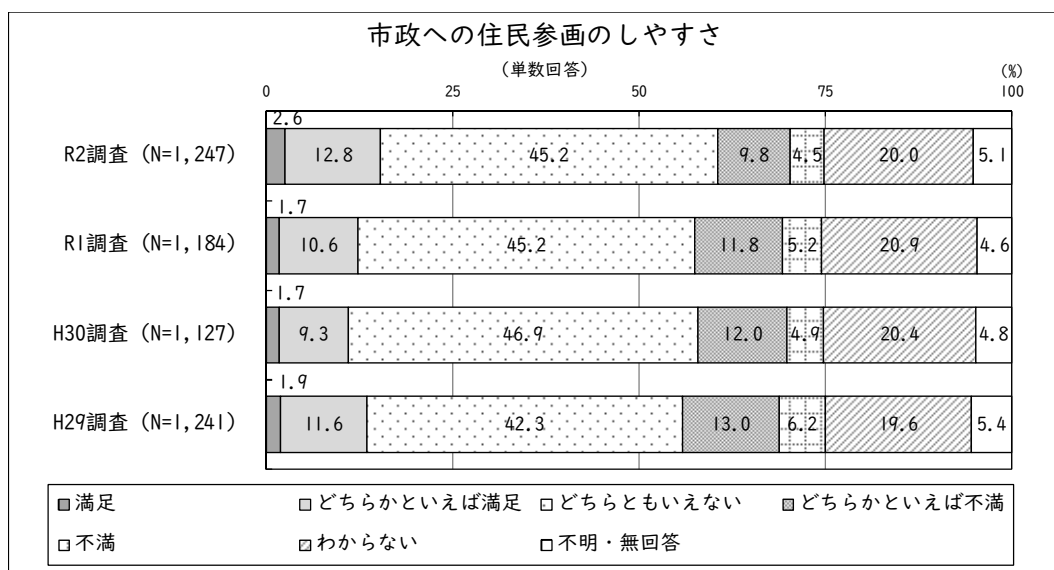
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは10年以上で15.9%、以下、3年未満で15.0%、3年～10年未満で12.0%と続いている。3年未満で「どちらかといえば満足」が少なくなっている。



定住意向別にみると、住みつづけたいでは「どちらかといえば満足」が、他の定住意向では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 45.3%、以下、どちらともいえないで 28.2%、住みつづけたいとは思わないで 21.6%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



(8) これからの4年間で重点的に取り組むべき施策

「問 14」 あなたは、これからの4年間で重点的に取り組むべき施策は、どのようなことだとお考えになりますか。各分野より1つずつ選択してください。

① 子育て・教育

子育て・教育は、「子育てにかかる学費、医療費などの経済的負担」が36.5%で最も多くなっており、以下、「地域産業や文化等への理解を深める「ふるさと教育」の推進」が10.7%、「保育人材の確保や保育士の処遇改善」が9.1%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「子育てにかかる学費、医療費などの経済的負担」が最も多くなっている。

年代別にみると、すべての年代において「子育てにかかる学費、医療費などの経済的負担」が最も多くなっている。50歳代では「保育人材の確保や保育士の処遇改善」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「子育てにかかる学費、医療費などの経済的負担」が最も多くなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「子育てにかかる学費、医療費などの経済的負担」が最も多くなっている。3年未満では「ものづくり」の魅力を伝えるための職場体験が多くなっている。



② 福祉・介護

福祉・介護は、「介護人材の確保と就労環境の改善」が 39.7%で最も多くなっており、以下、「健康寿命延伸に向けた高齢者の「健康づくり」への取り組み」が 19.4%、「ICT 施策(情報通信技術)を活用した自動運転や買物支援などの取り組み」が 16.4%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「介護人材の確保と就労環境の改善」が最も多くなっている。

年代別にみると、すべての年代において「介護人材の確保と就労環境の改善」が最も多くなっている。年代が高くなるほど「健康寿命延伸に向けた高齢者の「健康づくり」への取り組み」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「介護人材の確保と就労環境の改善」が最も多くなっている。甲賀地域では「健康寿命延伸に向けた高齢者の「健康づくり」への取り組み」が多くなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「介護人材の確保と就労環境の改善」が最も多くなっている。居住歴が長くなるほど「健康寿命延伸に向けた高齢者の「健康づくり」への取り組み」が多く、「障がい者や高齢者が農業分野で活躍する「農福連携」の取り組み」が少なくなっている。



③ 地域経済

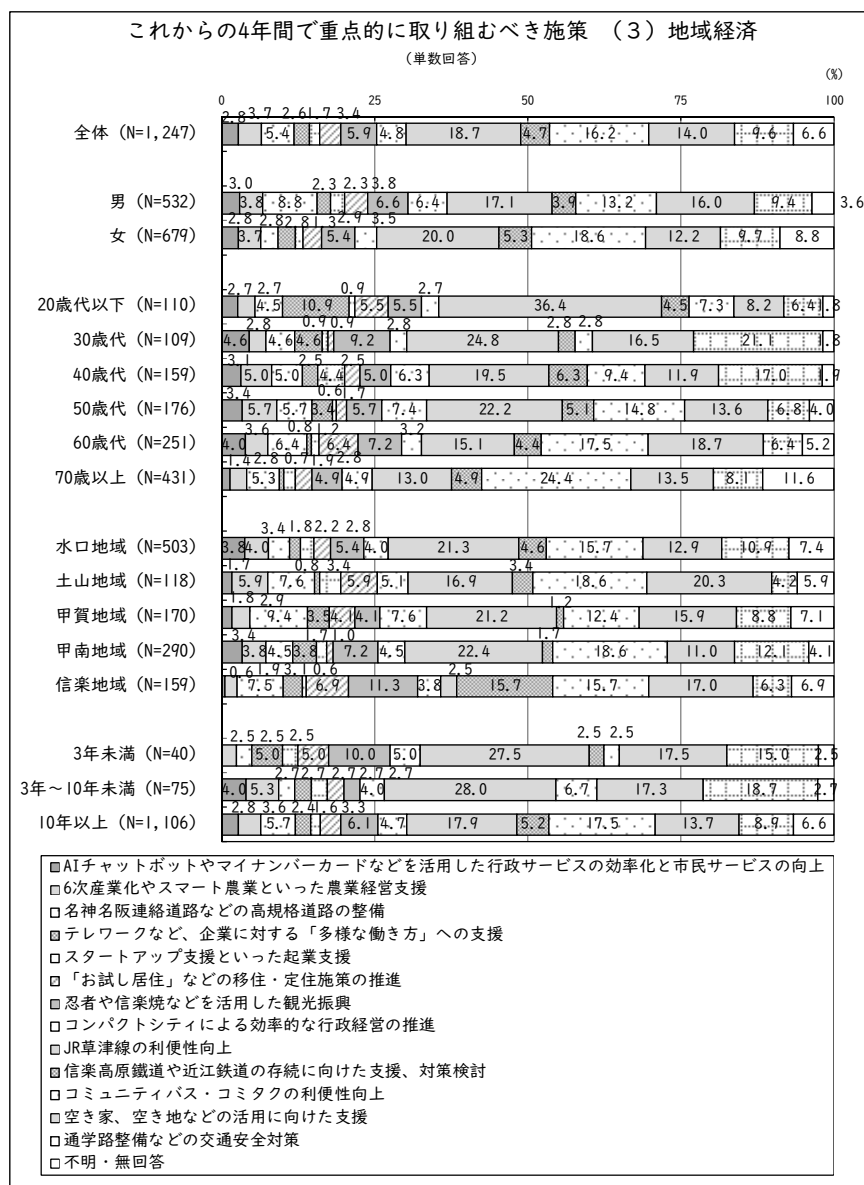
地域経済は、「JR 草津線の利便性向上」が18.7%で最も多くなっており、以下、「コミュニティバス・コミタクの利便性向上」が16.2%、「空き家、空き地などの活用に向けた支援」が14.0%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「JR 草津線の利便性向上」が最も多くなっている。男性は「名神名阪連絡道路などの高規格道路の整備」が、女性は「コミュニティバス・コミタクの利便性向上」が多くなっている。

年代別にみると、60歳代では「空き家、空き地などの活用に向けた支援」が、70歳以上では「コミュニティバス・コミタクの利便性向上」が、他の年代では「JR 草津線の利便性向上」が最も多くなっている。20歳代以下は「テレワークなど、企業に対する「多様な働き方」への支援」が多くなっている。30歳代、40歳代は「通学路整備などの交通安全対策」が多くなっている。

居住地域別にみると、土山地域、信楽地域では「空き家、空き地などの活用に向けた支援」が、他の地域では「JR 草津線の利便性向上」が最も多くなっている。土山地域は「忍者や信楽焼などを活用した観光振興」「通学路整備などの交通安全対策」が少なく、信楽地域は「忍者や信楽焼などを活用した観光振興」「信楽高原鉄道や近江鉄道の存続に向けた支援、対策検討」が多くなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「JR 草津線の利便性向上」が最も多くなっている。10年未満では「コミュニティバス・コミタクの利便性向上」が少なく、「通学路整備などの交通安全対策」が多くなっている。



⑱ 学校教育、青少年(学校教育、教育環境の充実、健全育成)

【満足度】

学校教育、青少年の満足度は、「どちらともいえない」が 35.5%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 19.6%、「わからない」が 19.0%、「どちらかといえば不満」が 7.9%、「満足」が 5.1%、「不満」が 3.3%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 24.7%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 24.4%、女性は 25.2%となっている。

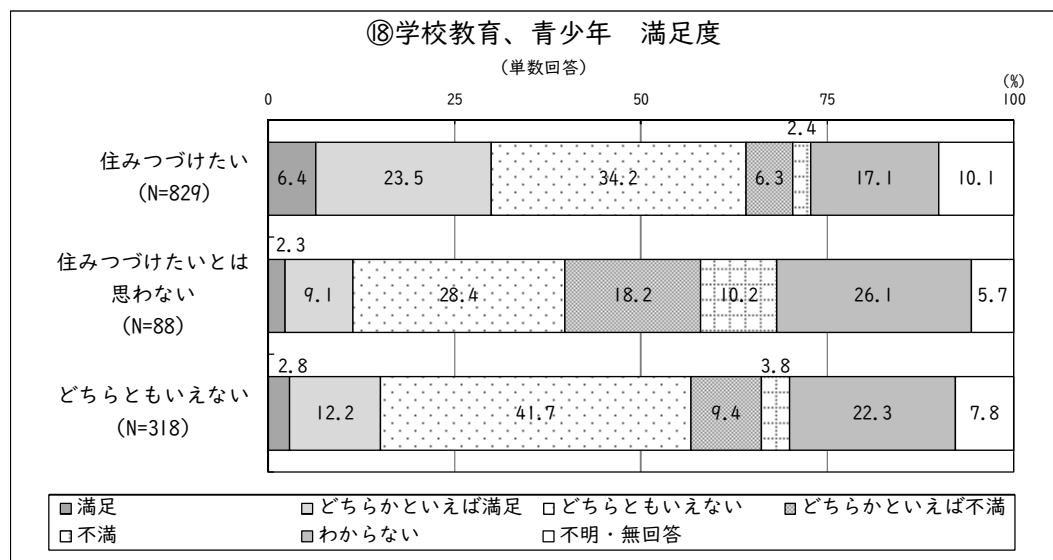
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 30.0%、以下、40 歳代で 25.8%、30 歳代で 25.7%と続いている。20 歳代以下では「満足」が、30 歳代では「どちらかといえば不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 26.3%、以下、甲賀地域で 25.9%、甲南地域で 25.1%、信楽地域で 23.3%、土山地域で 17.8%と続いている。土山地域では「どちらかといえば満足」が少なくなっている。

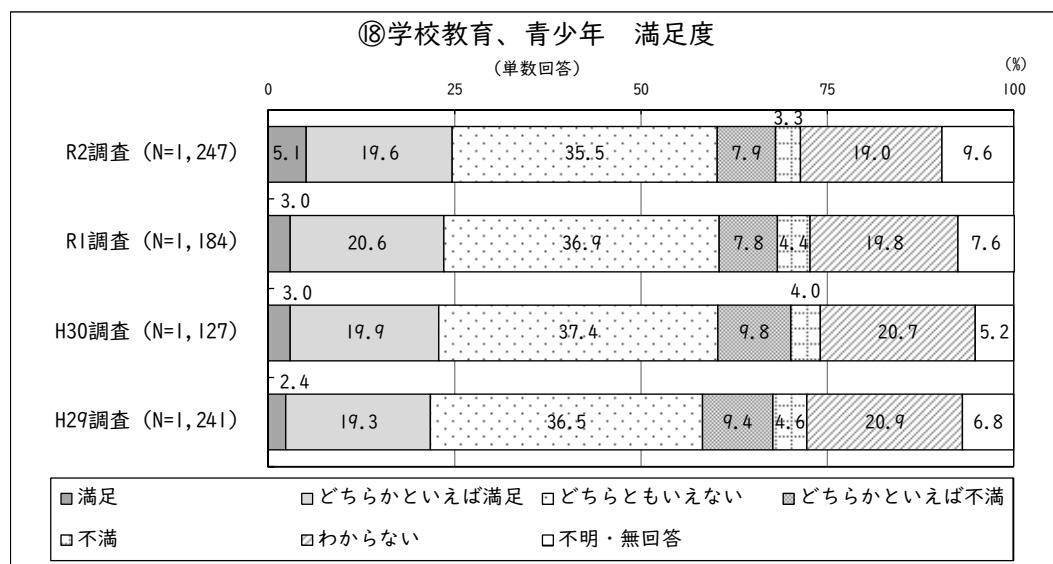
甲賀市の居住歴別にみると、3 年～10 年未満では「わからない」が、他の居住歴では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 32.5%、以下、10 年以上で 24.7%、3 年～10 年未満で 21.3%と続いている。3 年未満では「どちらかといえば満足」が多く、3 年～10 年未満では「どちらかといえば不満」が多くなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 29.9%、以下、どちらともいえないで 15.0%、住みつづけたいとは思わないで 11.4%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」が多く、「どちらかといえば不満」「不満」が少なくなっている



【重要度】

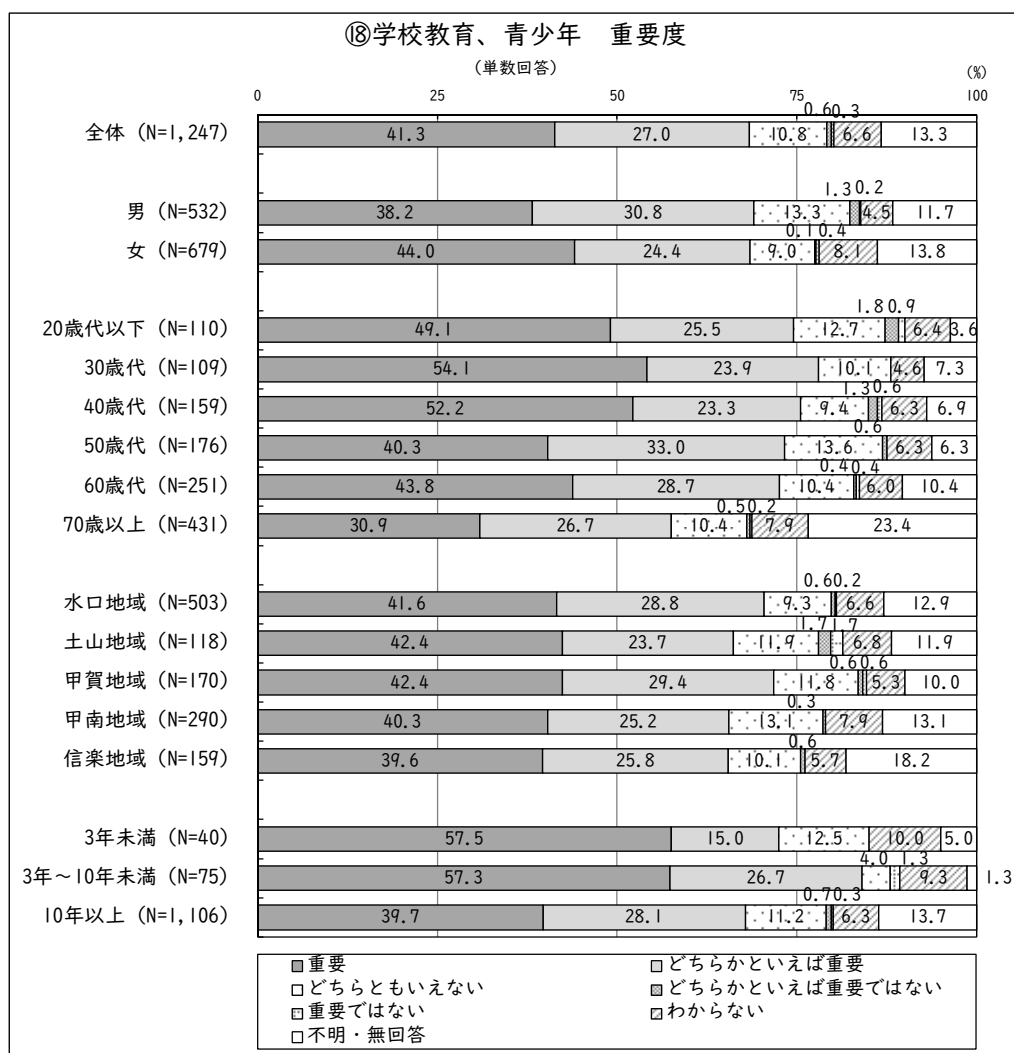
学校教育、青少年の重要度は、「重要」が41.3%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば重要」が27.0%、「どちらともいえない」が10.8%、「わからない」が6.6%、「どちらかといえば重要ではない」が0.6%、「重要ではない」が0.3%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は68.3%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は69.0%、女性は68.4%となっている。女性は「どちらかといえば重要」が少なくなっている。

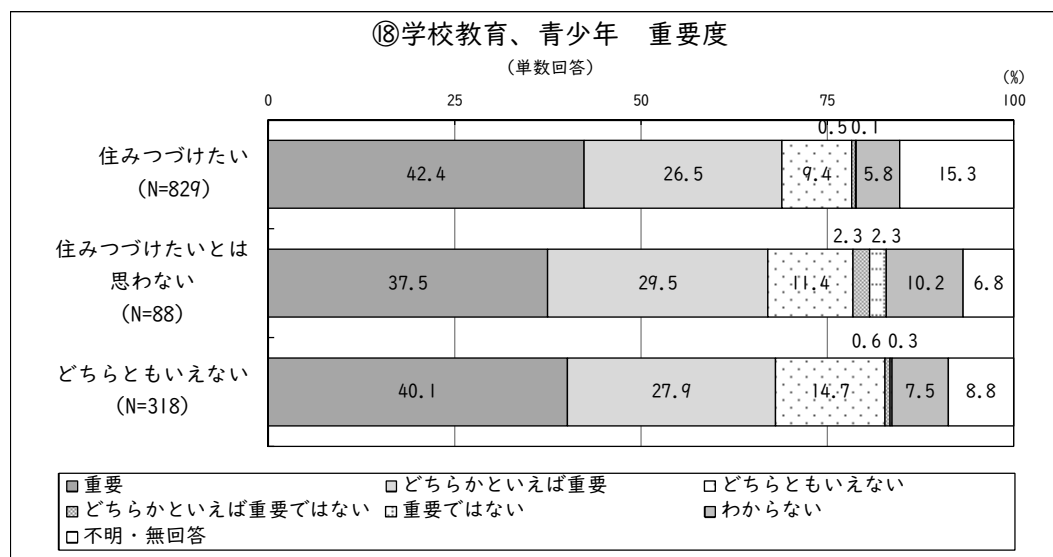
年代別にみると、すべての年代において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは30歳代で78.0%、以下、40歳代で75.5%、20歳代以下で74.6%と続いている。50歳代は「どちらかといえば重要」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で71.8%、以下、水口地域で70.4%、土山地域で66.1%、甲南地域で65.5%、信楽地域で65.4%と続いている。

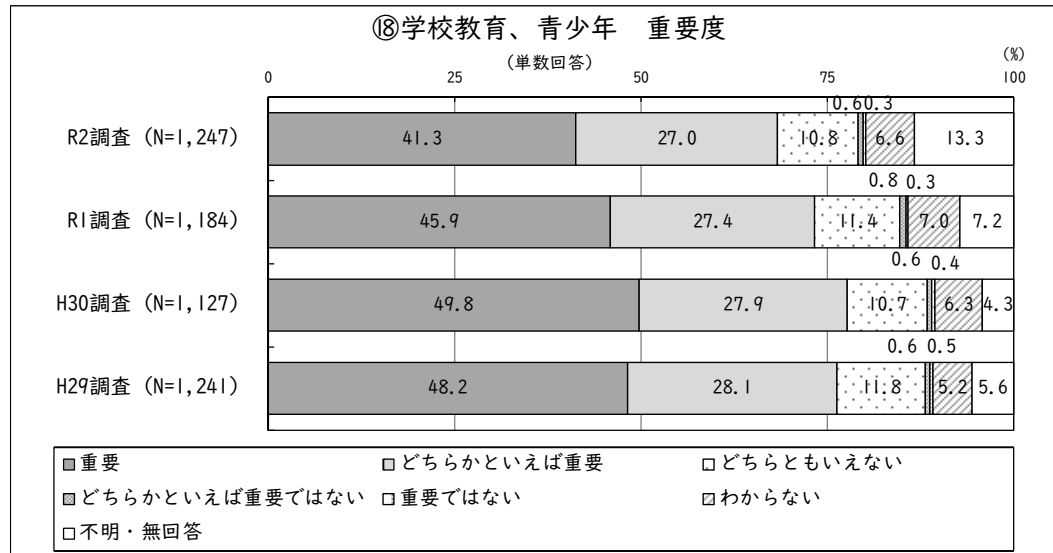
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で84.0%、以下、3年未満で72.5%、10年以上で67.8%と続いている。3年未満は「どちらかといえば重要」が少なくなっている



定住意向別にみると、すべての定住意向において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 68.9%、以下、どちらともいえないで 68.0%、住みつづけたいとは思わないで 67.0%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「重要」「どちらかといえば重要」が少なくなっている。



⑨ 都市形成(市街地整備、土地の有効利用)

【満足度】

都市形成の満足度は、「どちらともいえない」が 37.3%で最も多くなっており、以下、「わからない」が 17.5%、「どちらかといえば不満」が14.1%、「どちらかといえば満足」が11.3%、「不満」が8.7%、「満足」が 2.4%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 13.7%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 14.4%、女性は 13.3%となっている。

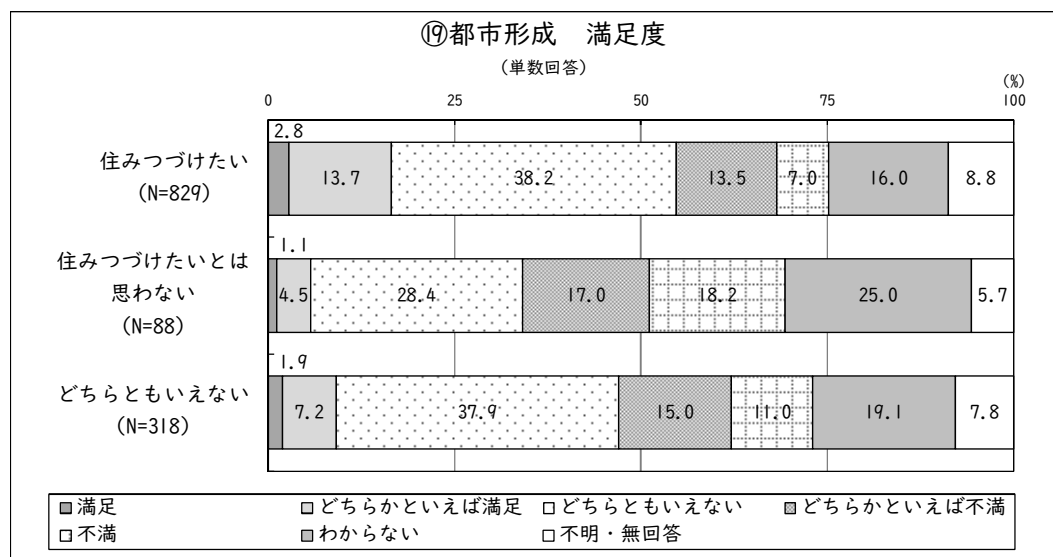
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 27.3%、以下、60 歳代で 14.0%、30 歳代で 13.7%と続いている。20 歳代以下は「満足」「どちらかといえば満足」が、40 歳代は「不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 18.9%、以下、甲賀地域で 11.2%、土山地域で 11.0%、甲南地域で 10.0%、信楽地域で 9.4%と続いている。甲賀地域では「どちらかといえば不満」が多く、信楽地域では「どちらかといえば満足」が少なくなっている。

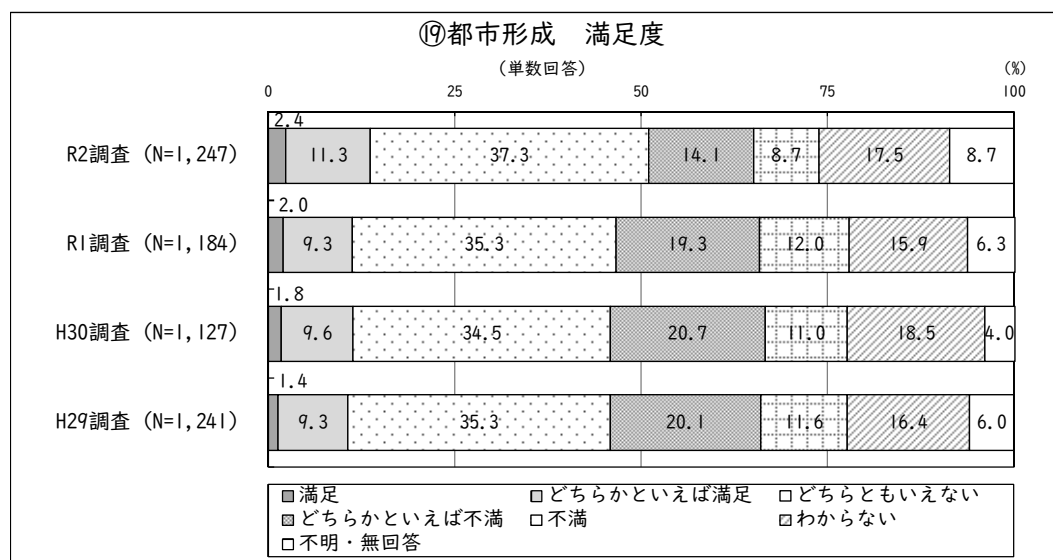
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 22.5%、以下、3 年～10 年未満で 16.0%、10 年以上で 13.2%と続いている。3 年未満では「どちらかといえば満足」が多く、3 年～10 年未満では「不満」が多くなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 16.5%、以下、どちらともいえないで 9.1%、住みつづけたいとは思わないで 5.6%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、本年度は「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえ
ば不満」「不満」が少なくなっている。



【重要度】

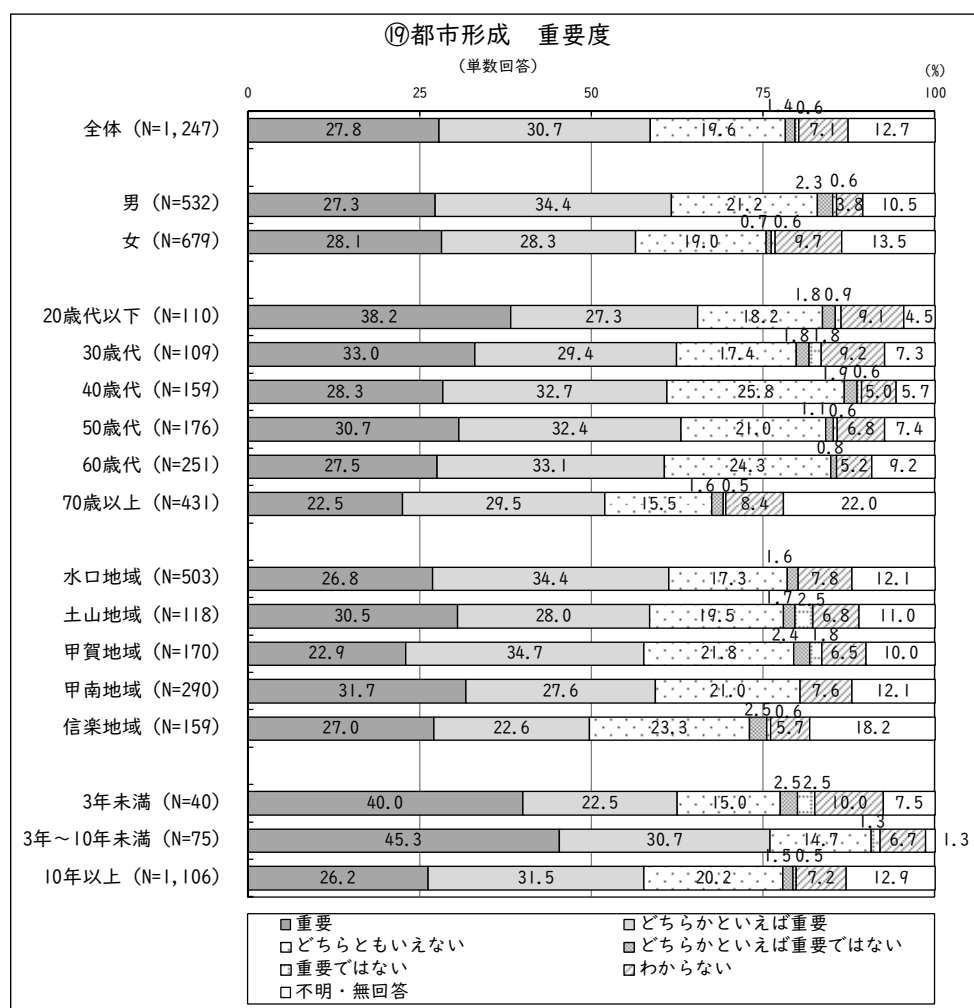
都市形成の重要度は、「どちらかといえば重要」が 30.7%で最も多くなっており、以下、「重要」が 27.8%、「どちらともいえない」が 19.6%、「わからない」が 7.1%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.4%、「重要ではない」が 0.6%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 58.5%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 61.7%、女性は 56.4%となっている。

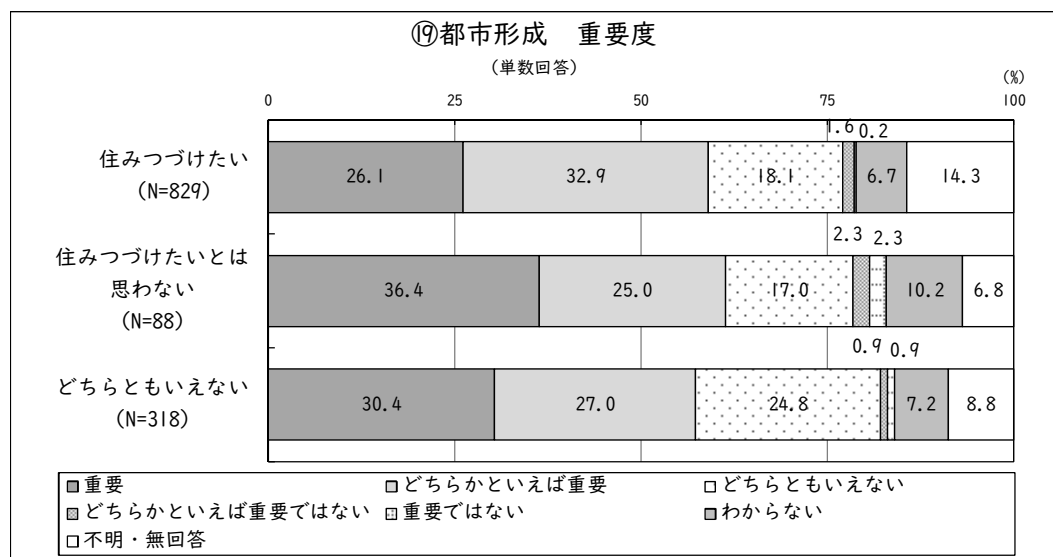
年代別にみると、30 歳代以下では「重要」が、他の年代では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 65.5%、以下、50 歳代で 63.1%、30 歳代で 62.4%と続いている。

居住地域別にみると、土山地域、甲南地域、信楽地域では「重要」が、水口地域、甲賀地域では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 61.2%、以下、甲南地域で 59.3%、土山地域で 58.5%、甲賀地域で 57.6%、信楽地域で 49.6%と続いている。

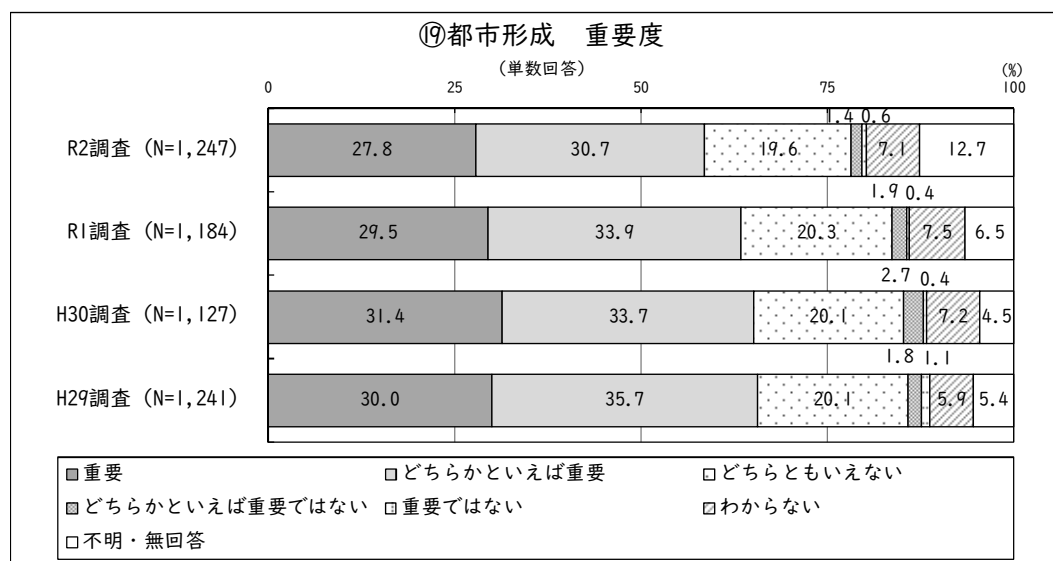
甲賀市の居住歴別にみると、10 年未満では「重要」が、10 年以上では「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 76.0%、以下、3 年未満で 62.5%、10 年以上で 57.7%と続いている。



定住意向別にみると、住みつづけたいでは「どちらかといえば重要」が、他の定住意向では「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいとは思わないで 61.4%、以下、住みつづけたいで 59.0%、どちらともいえないで 57.4%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「重要」「どちらかといえば重要」が少なくなっている。



⑳ 行財政(職員の質、行政事務の効率、財産管理、財政運営)

【満足度】

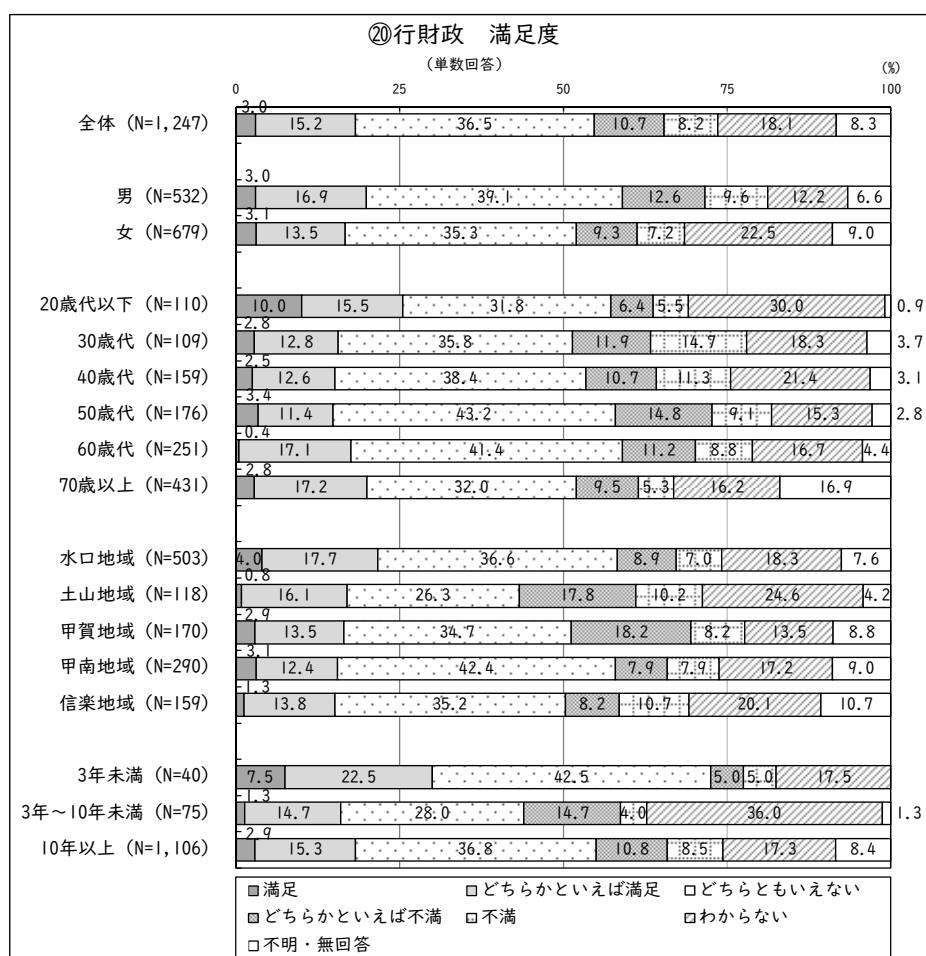
行財政の満足度は、「どちらともいえない」が 36.5%で最も多くなっており、以下、「わからない」が 18.1%、「どちらかといえば満足」が15.2%、「どちらかといえば不満」が10.7%、「不満」が8.2%、「満足」が 3.0%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 18.2%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 19.9%、女性は 16.6%となっている。

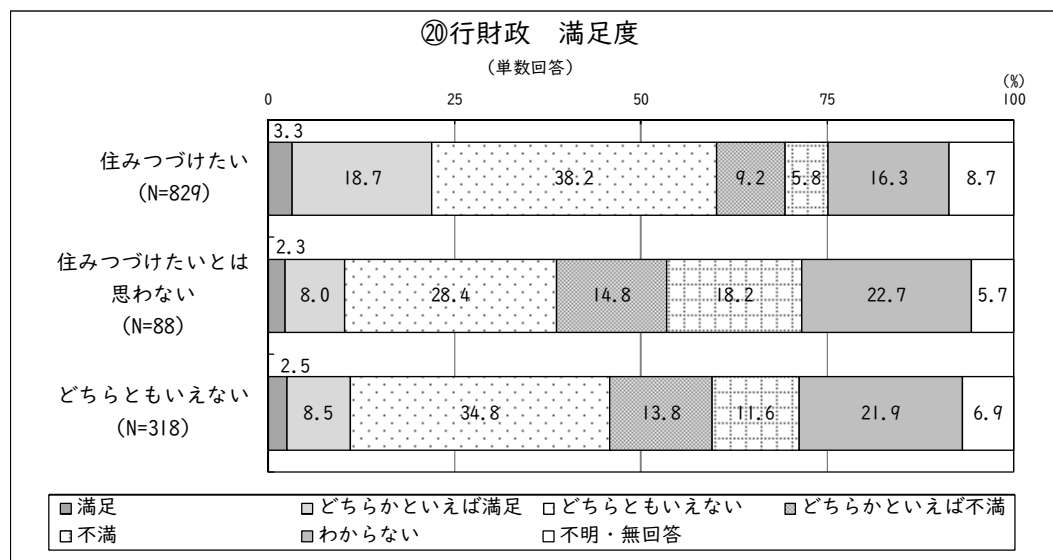
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 25.5%、以下、70 歳以上で 20.0%、60 歳代で 17.5%と続いている。20 歳代以下では「満足」が、30 歳代では「不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 21.7%、以下、土山地域で 16.9%、甲賀地域で 16.4%、甲南地域で 15.5%、信楽地域で 15.1%と続いている。土山地域、甲賀地域では「どちらかといえば不満」が多くなっている。

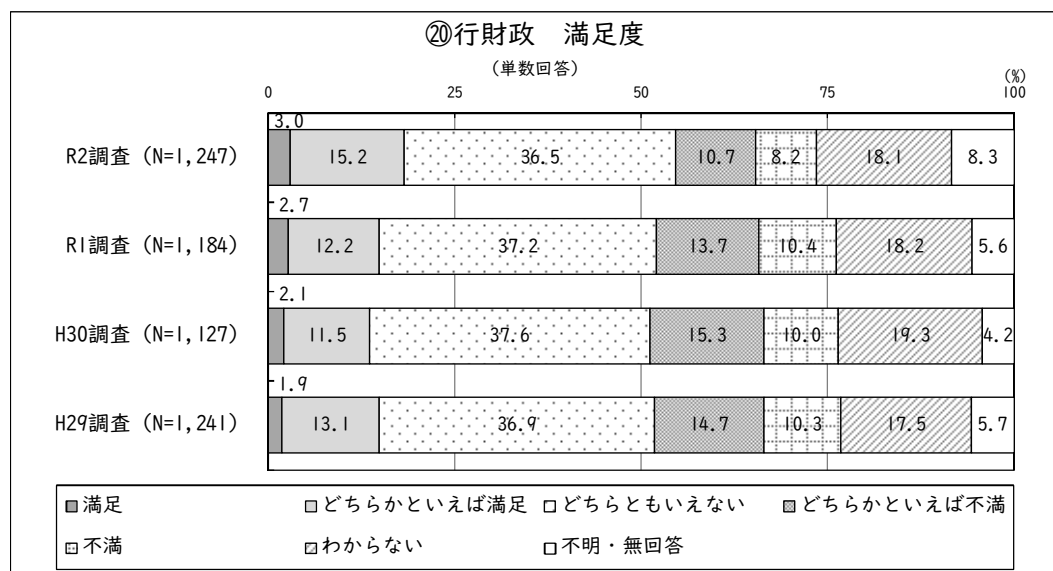
甲賀市の居住歴別にみると、3 年～10 年未満では「わからない」が、他の居住歴では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 30.0%、以下、10 年以上で 18.2%、3 年～10 年未満で 16.0%と続いている。3 年未満では「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 22.0%、以下、どちらともいえないで 11.0%、住みつづけたいとは思わないで 10.3%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえば不満」「不満」が少なくなっている。



【重要度】

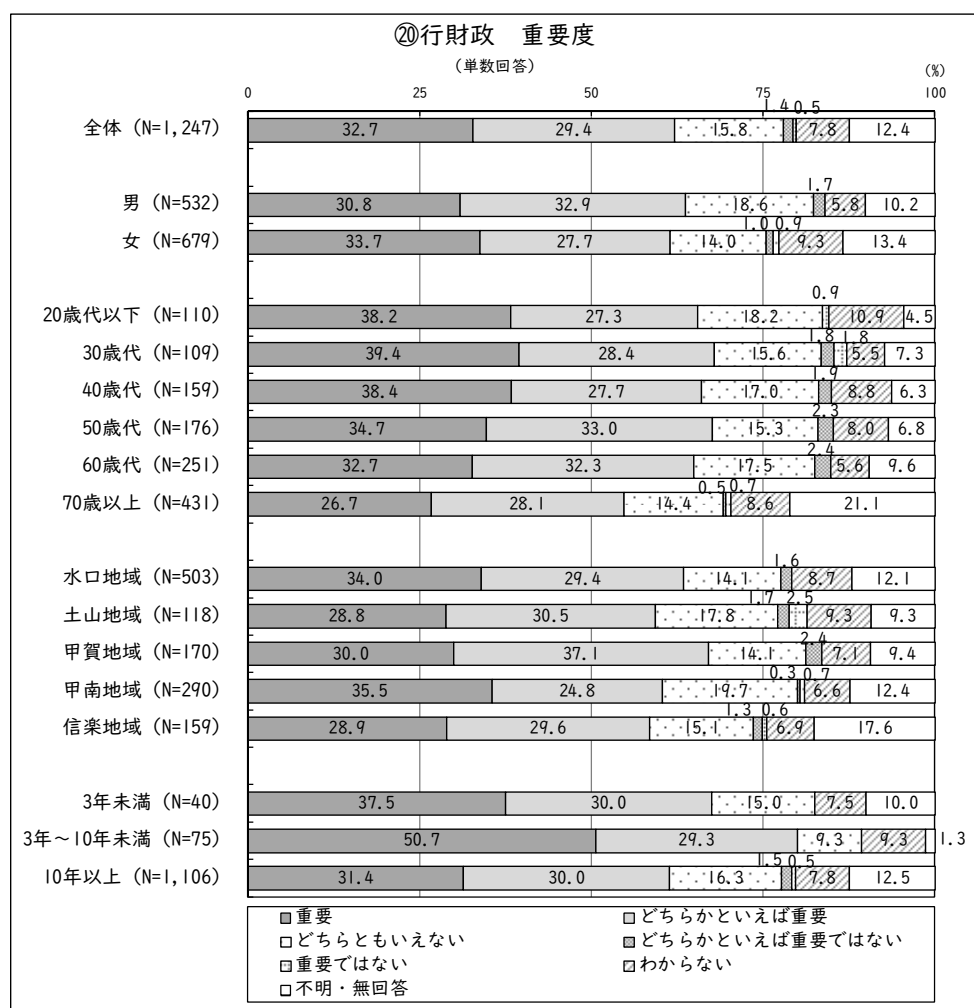
行財政の重要度は、「重要」が 32.7%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば重要」が 29.4%、「どちらともいえない」が 15.8%、「わからない」が 7.8%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.4%、「重要ではない」が 0.5%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 62.1%となっている。

性別にみると、男性は「どちらかといえば重要」が、女性は「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 63.7%、女性は 61.4%となっている。

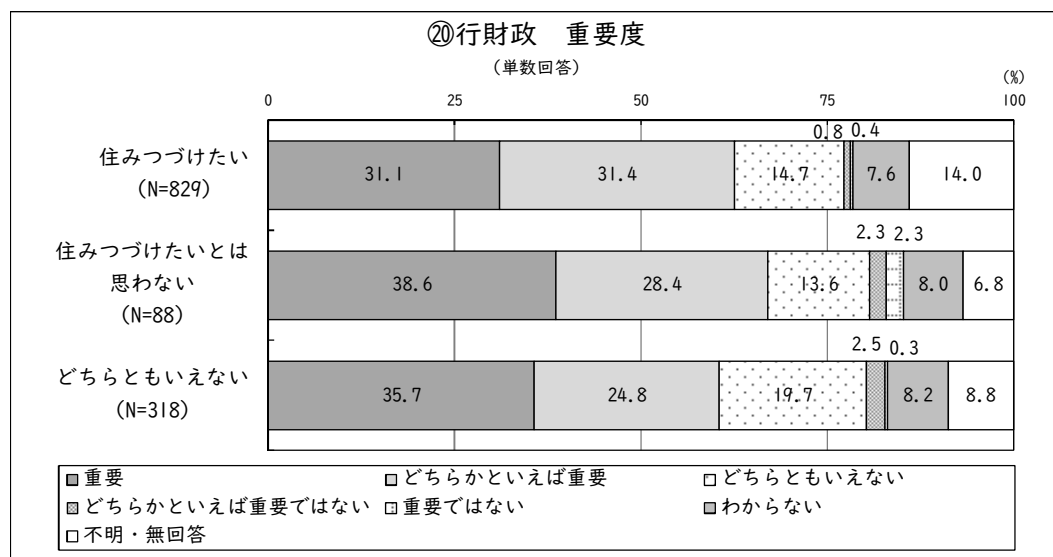
年代別にみると、70 歳以上では「どちらかといえば重要」が、他の年代では「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 30 歳代で 67.8%、以下、50 歳代で 67.7%、40 歳代で 66.1%と続いている。

居住地域別にみると、土山地域、甲賀地域、信楽地域では「どちらかといえば重要」が、水口地域、甲南地域では「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 67.1%、以下、水口地域で 63.4%、甲南地域で 60.3%、土山地域で 59.3%、信楽地域で 58.5%と続いている。

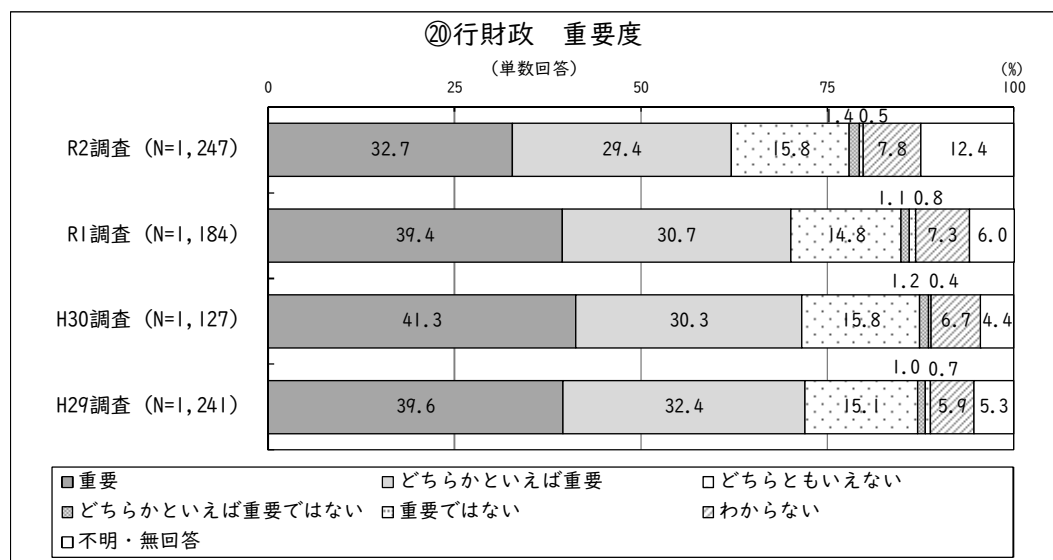
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 80.0%、以下、3 年未満で 67.5%、10 年以上で 61.4%と続いている。



定住意向別にみると、住みつづけたいでは「どちらかといえば重要」が、他の定住意向では「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいとは思わないで 67.0%、以下、住みつづけたいで 62.5%、どちらともいえないで 60.5%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、本年度は「重要」「どちらかといえば重要」が少なくなっている。



(5) 現在の暮らしに幸せを感じるか

① 現在の暮らしに幸せを感じるか

「問 11」 あなたは、現在の暮らしに幸せを感じますか。(○は1つだけ)

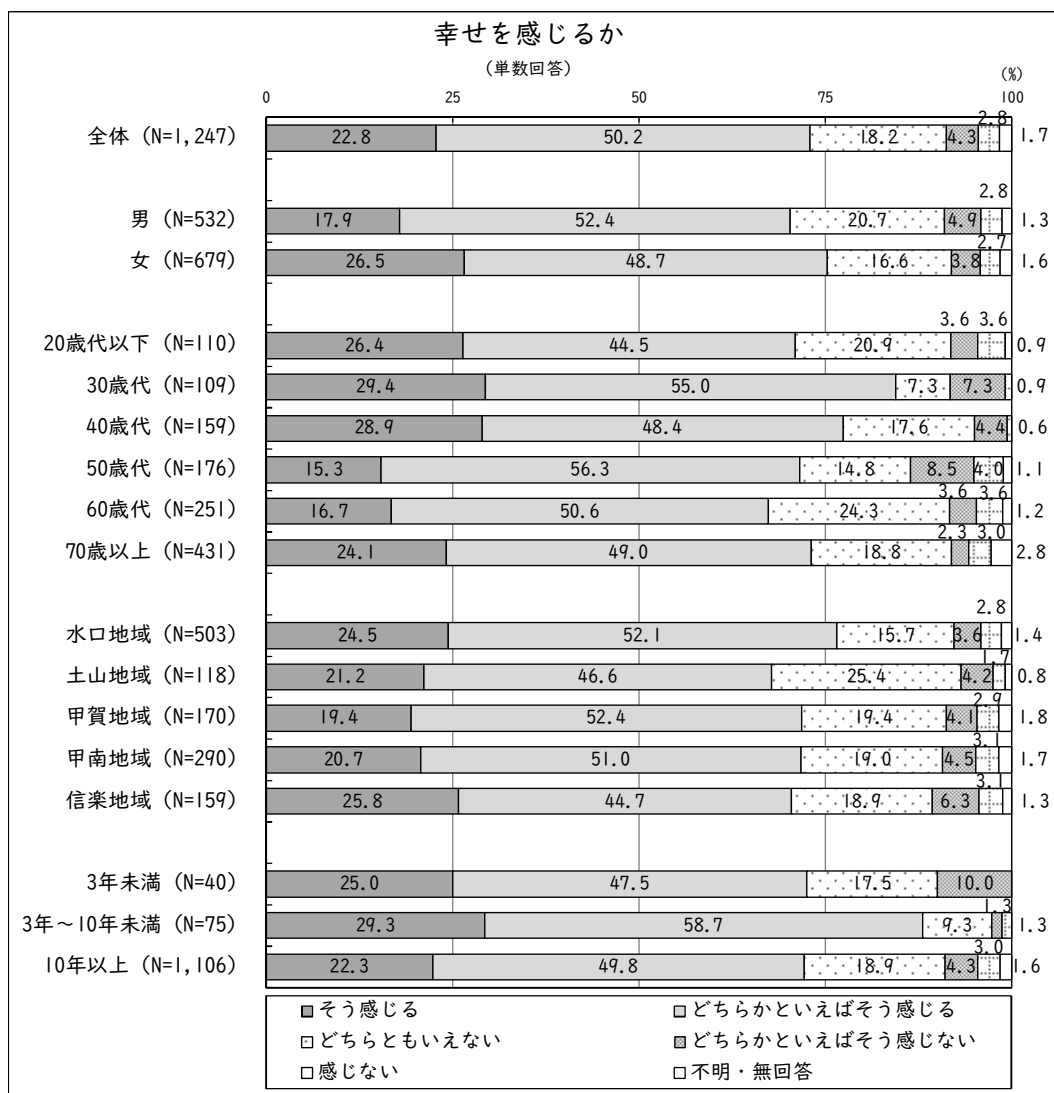
幸せを感じるかは、「どちらかといえばそう感じる」が 50.2%で最も多くなっており、以下、「そう感じる」が 22.8%、「どちらともいえない」が 18.2%、「どちらかといえばそう感じない」が 4.3%、「感じない」が 2.8%と続いている。「そう感じる」と「どちらかといえばそう感じる」を合わせた『感じる』は 73.0%となっている。女性は「そう感じる」が多くなっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえばそう感じる」が最も多くなっている。『感じる』の割合をみると、男性は 70.3%、女性は 75.2%となっている。30 歳代、40 歳代は「そう感じる」が多く、50 歳代、60 歳代は「そう感じる」が少なくなっている。

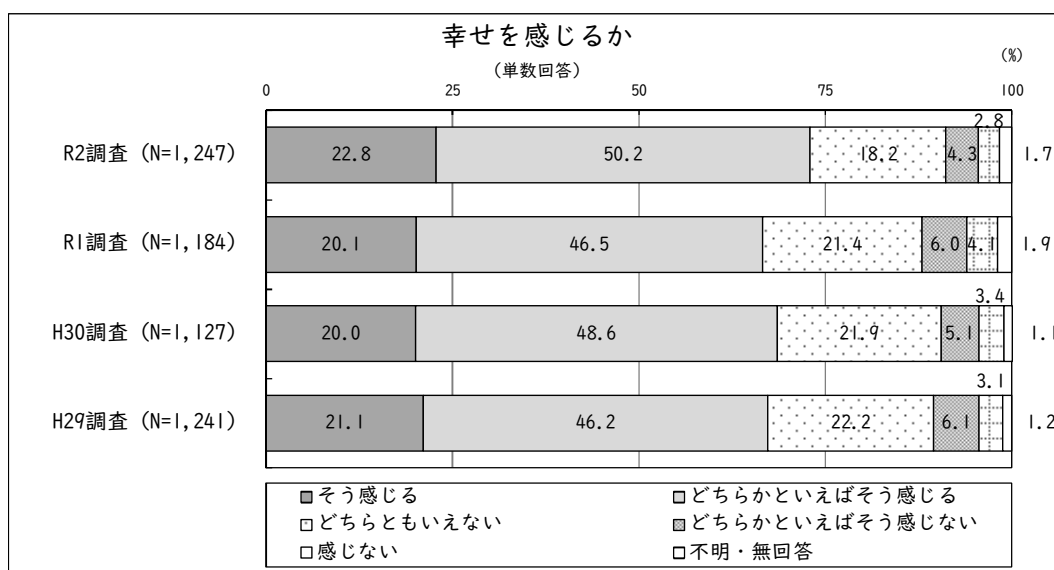
年代別にみると、すべての年代において最も多くなっている。『感じる』の割合をみると、最も多いのは 30 歳代で 84.4%、以下、40 歳代で 77.3%、70 歳以上で 73.1%と続いている。

居住地域別にみると、すべての地域において最も多くなっている。『感じる』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 76.6%、以下、甲賀地域で 71.8%、甲南地域で 71.7%、信楽地域で 70.5%、土山地域で 67.8%と続いている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において最も多くなっている。『感じる』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 88.0%、以下、3 年未満で 72.5%、10 年以上で 72.1%と続いている。3 年未満では「どちらかといえばそう感じない」が多く、3 年～10 年未満では「そう感じる」が多くなっている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「そう感じる」が多くなっている。



② どんなことに幸せを感じるか

<問 11-1> 問 11 で「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」のいずれかに回答された方におたずねします。
あなたは、どのようなことに幸せを感じますか。(あてはまるものすべてに○)

どのようなことに幸せを感じるかは、「健康」が 68.0%で最も多くなっており、以下、「家族関係」が 64.1%、「自由な時間、充実した余暇」が 48.1%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「健康」が最も多くなっている。

年代別にみると、20 歳代以下では「家族関係」「友人関係」が、30 歳代、40 歳代では「家族関係」が、他の年代では「健康」が最も多くなっている。年代が低くなるほど「職場や学校等の人間関係」が多くなっている。

居住地域別にみると、水口地域では「家族関係」が、他の地域では「健康」が最も多くなっている。土山地域で「自由な時間、充実した余暇」「地域コミュニティとの関係」が多く、甲賀地域で「お金」が少なくなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、10 年未満では「家族関係」が、10 年以上では「健康」が最も多くなっている。10 年未満では「就業状況」が多く、「地域コミュニティとの関係」が少なくなっている。

どのようなことに幸せを感じるか（複数回答）

	お金	就業状況	健康	自由な時間、 充実した余暇	仕事	社会貢献	家族関係	友人関係	職場や学校等の 人間関係	地域コミュニティとの 関係	その他	不明・無回答
全体 (N=910)	25.7	24.8	68.0	48.1	25.1	10.1	64.1	36.9	17.8	15.6	1.9	0.5
男 (N=374)	24.9	25.4	68.4	48.4	28.3	14.4	61.2	29.9	12.6	17.9	1.3	0.3
女 (N=511)	26.6	24.9	67.7	48.5	22.7	7.2	65.9	42.5	22.1	13.7	2.2	0.8
20歳代以下 (N=78)	32.1	28.2	61.5	56.4	16.7	3.8	62.8	62.8	41.0	7.7	0.0	0.0
30歳代 (N=92)	26.1	34.8	59.8	54.3	31.5	5.4	78.3	34.8	27.2	8.7	3.3	0.0
40歳代 (N=123)	32.5	40.7	60.2	39.8	39.0	12.2	79.7	33.3	25.2	11.4	1.6	0.0
50歳代 (N=126)	31.0	46.0	77.0	42.9	43.7	15.1	71.4	34.1	31.7	19.0	1.6	0.0
60歳代 (N=169)	21.9	26.6	70.4	47.3	31.4	10.1	63.9	33.1	12.4	14.8	1.8	0.6
70歳以上 (N=315)	21.3	6.0	70.5	49.8	9.5	10.5	51.1	35.2	3.8	19.7	2.2	1.3
水口地域 (N=385)	28.6	25.7	65.7	45.5	24.9	9.9	66.5	35.1	18.4	12.5	2.6	1.0
土山地域 (N=80)	22.5	23.8	70.0	55.0	21.3	8.8	57.5	38.8	17.5	21.3	0.0	1.3
甲賀地域 (N=122)	19.7	21.3	71.3	51.6	23.0	8.2	63.9	36.9	13.9	13.9	0.8	0.0
甲南地域 (N=208)	23.1	25.0	68.3	50.0	26.4	11.1	62.5	36.5	19.2	18.3	1.4	0.0
信楽地域 (N=112)	30.4	26.8	70.5	45.5	28.6	12.5	63.4	42.9	17.9	18.8	2.7	0.0
3年未満 (N=29)	31.0	34.5	62.1	55.2	31.0	6.9	79.3	34.5	20.7	10.3	0.0	0.0
3年～10年未満 (N=66)	24.2	36.4	66.7	48.5	27.3	3.0	71.2	28.8	27.3	10.6	4.5	0.0
10年以上 (N=798)	25.6	23.7	68.7	47.7	24.9	10.9	63.2	37.8	17.0	16.2	1.8	0.5

平成 29 年度調査からの推移をみると、「その他」「不明・無回答」を除く全ての項目で多くなっている。

	お金	就業状況	健康	自由な時間、 充実した余暇	仕事	社会貢献	家族関係	友人関係	職場や学校等の 人間関係	地域コミュニティ との関係	その他	不明・無回答
全体 (N=910)	25.7	24.8	68.0	48.1	25.1	10.1	64.1	36.9	17.8	15.6	1.9	0.5
R1調査 (N=789)	13.1	16.1	54.1	42.1	17.7	9.1	58.8	30.3	12.4	12.5	2.2	0.9
H30調査 (N=773)	14.6	14.7	55.0	38.0	15.5	7.5	59.4	31.0	10.9	11.9	2.1	1.0
H29調査 (N=835)	13.7	14.9	57.7	36.2	16.8	6.6	56.6	31.7	9.1	11.3	1.8	1.4

(6) 市政への関心

「問 12」 あなたは、市政に関心をお持ちですか。(○は1つだけ)

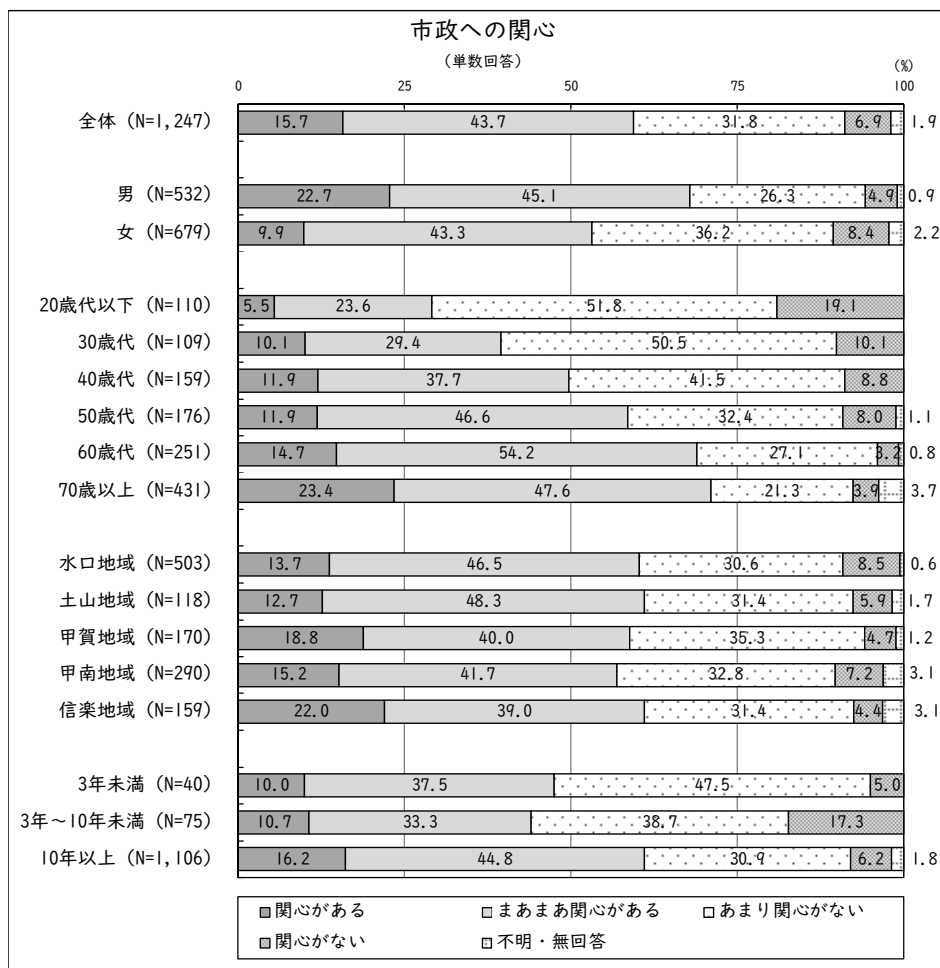
市政への関心は、「まあまあ関心がある」が 43.7%で最も多くなっており、以下、「あまり関心がない」が 31.8%、「関心がある」が 15.7%、「関心がない」が 6.9%と続いている。「関心がある」と「まあまあ関心がある」を合わせた『関心あり』は 59.4%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「まあまあ関心がある」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、男性は 67.8%、女性は 53.2%となっている。男性は「関心がある」が多くなっている。

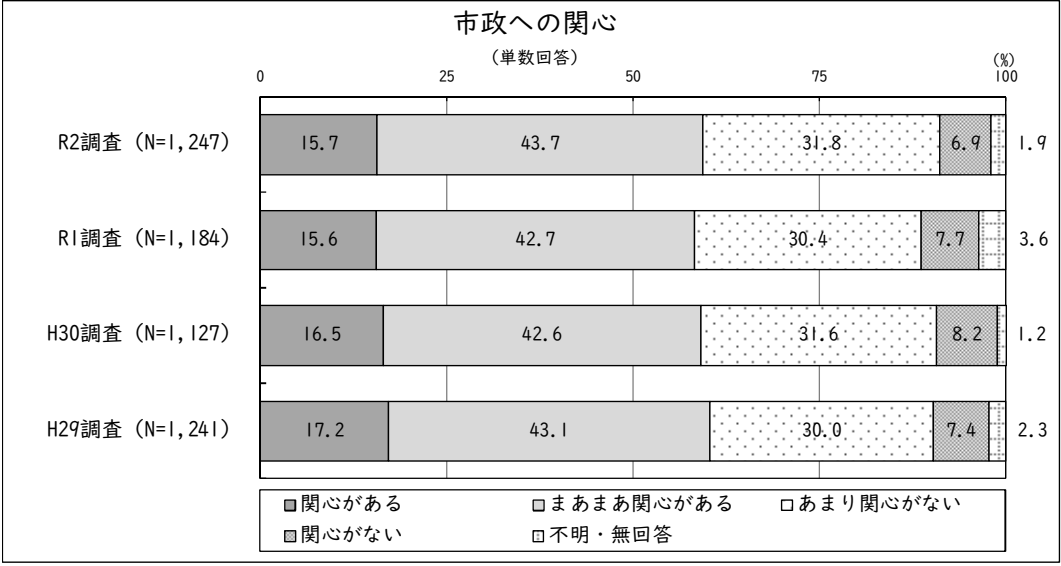
年代別にみると、40 歳代以下では「あまり関心がない」が、50 歳代以上では「まあまあ関心がある」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 71.0%、以下、60 歳代で 68.9%、50 歳代で 58.5%、40 歳代で 49.6%、と続いている。年代が高くなるほど「関心がある」「まあまあ関心がある」が多く、「あまり関心がない」「関心がない」が少なくなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「まあまあ関心がある」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、最も多いのは土山地域、信楽地域で 61.0%、以下、水口地域で 60.2%、甲賀地域で 58.8%、甲南地域で 56.9%と続いている。信楽地域では「関心がある」が多くなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、10 年未満では「あまり関心がない」が、10 年以上では「まあまあ関心がある」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、最も多いのは 10 年以上で 61.0%、以下、3 年未満で 47.5%、3 年～10 年未満で 44.0%と続いている。3 年～10 年未満では「関心がない」が多くなっている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、市政への関心に変化はみられない。



(7) 市政に関する満足度

《問 13》 あなたは、市政に関係する次の項目について、どの程度満足されていますか。
以下の①～⑤のそれぞれの項目について選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

① 行政サービスの水準

行政サービスの水準は、「どちらともいえない」が 38.1%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえ
ば満足」が 26.1%、「わからない」が 14.3%、「どちらかといえれば不満」が 8.7%、「不満」が 4.1%、「満足」
が 4.0%と続いている。「満足」と「どちらかといえれば満足」を合わせた『満足』は 30.1%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみる
と、男性は 31.7%、女性は 29.0%となっている。

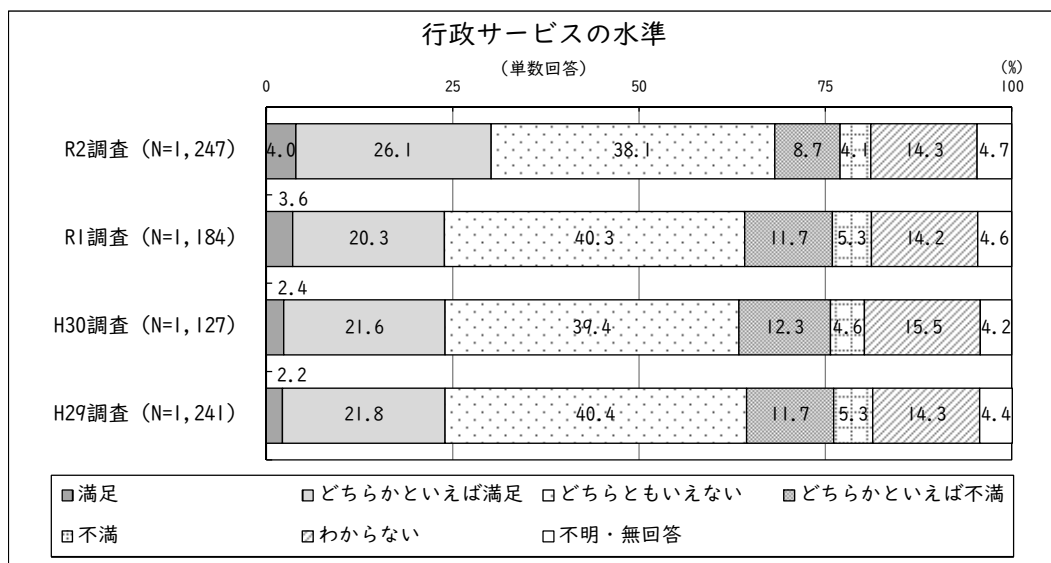
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合
をみると、最も多いのは 70 歳以上で 35.8%、以下、60 歳代で 30.3%、40 歳代で 30.1%と続い
ている。30 歳代以下では「どちらかといえれば満足」が少なくなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の
割合をみると、最も多いのは甲南地域で 35.9%、以下、水口地域で 30.4%、甲賀地域で 28.9%、
土山地域で 24.6%、信楽地域で 24.5%と続いている。

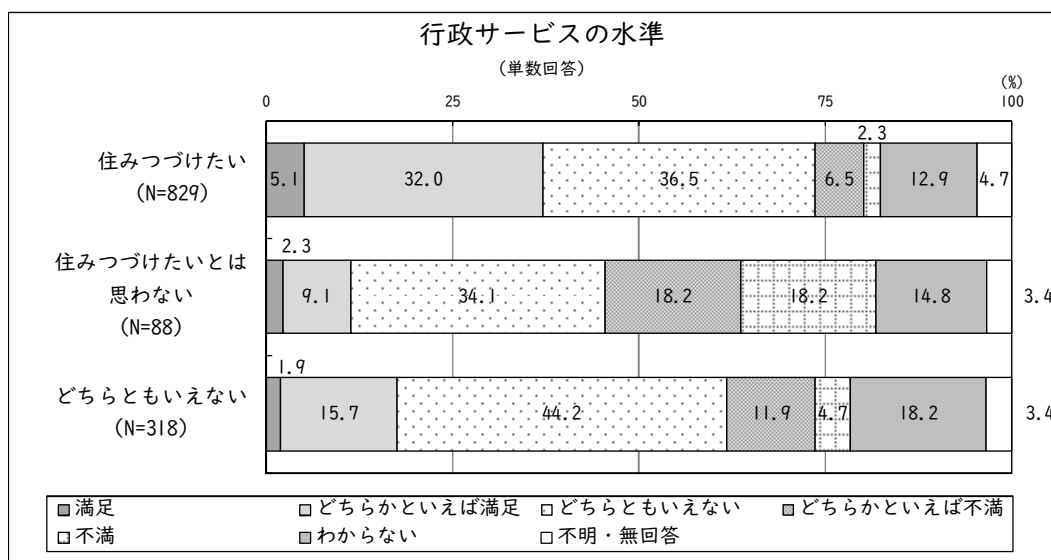
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。
『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 32.5%、以下、10 年以上で 30.8%、3 年～10 年
未満で 25.3%と続いている。3 年未満では「満足」が多くなっている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、本年度は「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえ
ば不満」が少なくなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 37.1%、以下、どちらともいえないで 17.6%、住みつづけたいとは思わないで 11.4%と続いている。



② 情報の公開度

情報の公開度は、「どちらともいえない」が 38.2%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 26.0%、「わからない」が 14.3%、「どちらかといえば不満」が 7.9%、「満足」が 4.7%、「不満」が 4.3%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 30.7%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 32.1%、女性は 29.4%となっている。

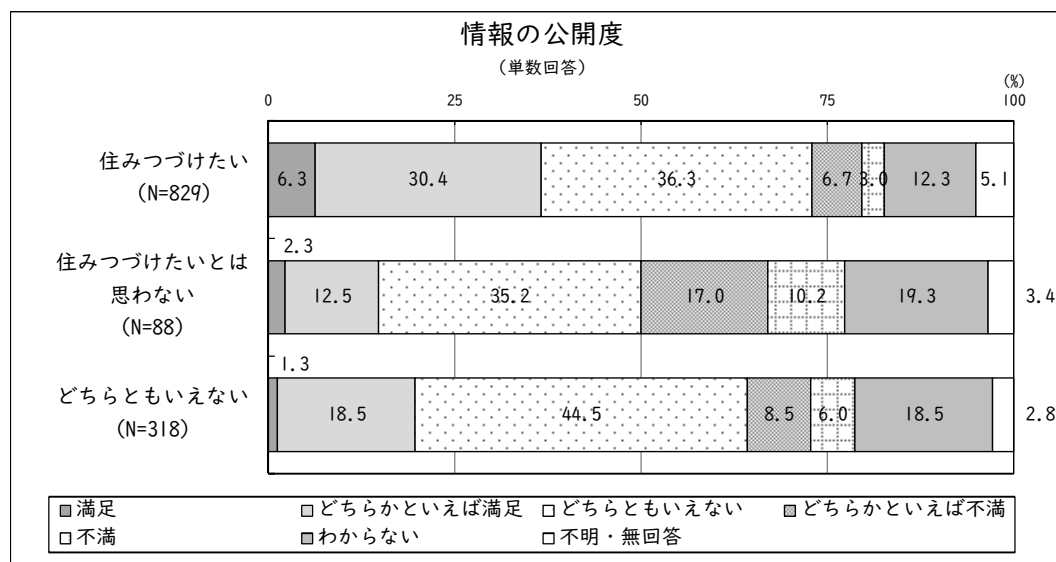
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 33.4%、以下、60 歳代で 31.5%、40 歳代で 31.4%、30 歳代で 29.3%、と続いている。20 歳代以下は「どちらかといえば満足」が少なくなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲南地域で 34.5%、以下、甲賀地域で 33.6%、水口地域で 29.9%、土山地域で 27.1%、信楽地域で 25.8%と続いている。甲賀地域は「どちらかといえば満足」が多く、信楽地域では「どちらかといえば満足」が少なくなっている。

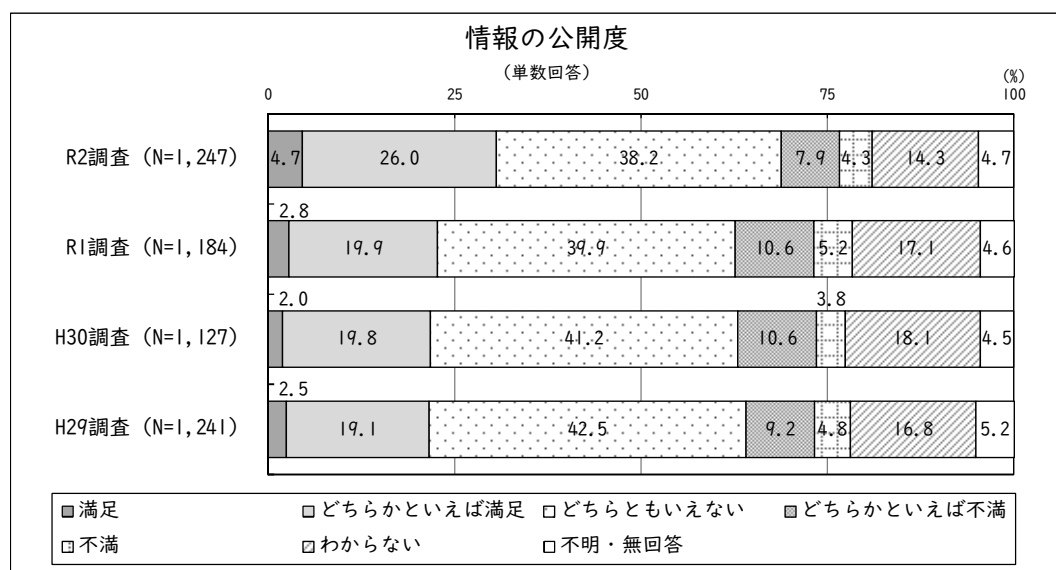
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 33.3%、以下、3 年未満で 32.5%、10 年以上で 30.5%と続いている。3 年未満では「満足」が多くなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 36.7%、以下、どちらともいえないで 19.8%、住みつづけたいとは思わないで 14.8%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」「どちらかといえば満足」が多くなっており、本年度は「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



③ 行政(市役所)の信頼度

行政(市役所)の信頼度は、「どちらともいえない」が 36.6%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 27.6%、「わからない」が 10.7%、「どちらかといえば不満」が 10.3%、「満足」が 5.7%、「不満」が 4.7%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 33.3%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 35.4%、女性は 31.7%となっている。

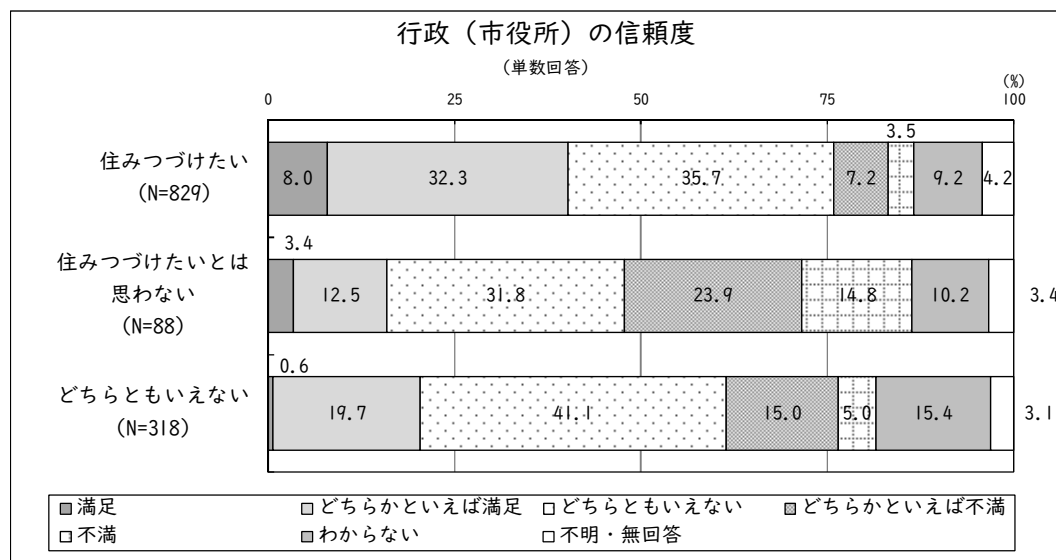
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 37.1%、以下、50 歳代で 34.0%、60 歳代で 33.1%と続いている。20 歳代以下では「どちらかといえば満足」が少なく、30 歳代では「不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 35.9%、以下、水口地域で 34.2%、甲南地域で 34.1%、信楽地域で 29.5%、土山地域で 28.8%と続いている。信楽地域では「どちらかといえば満足」が少なくなっている。

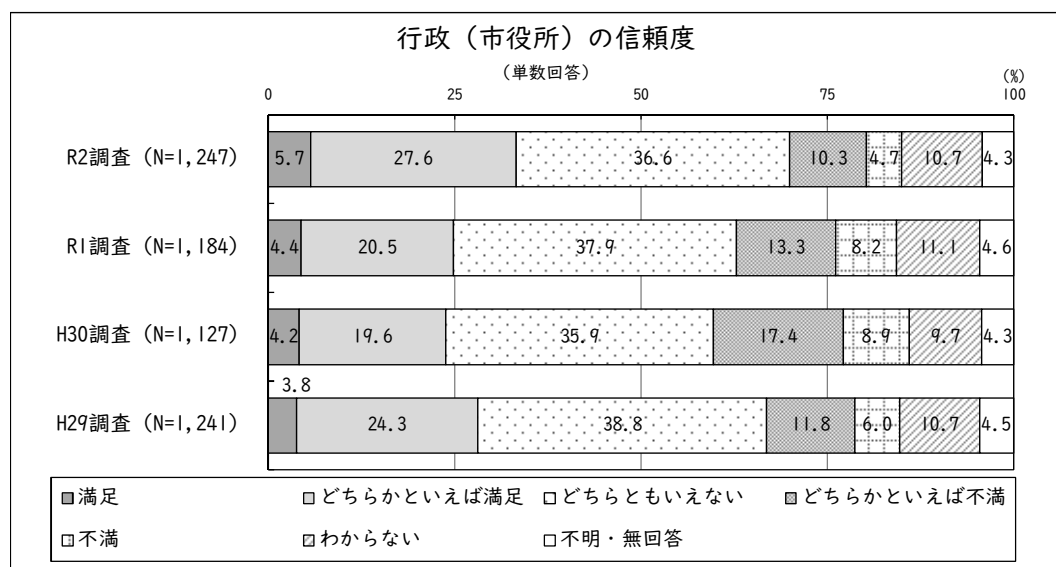
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 36.0%、以下、10 年以上で 33.5%、3 年未満で 30.0%と続いている。3 年未満では「どちらかといえば満足」「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 40.3%、以下、どちらともいえないで 20.3%、住みつづけたいとは思わないで 15.9%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、平成 30 年度以降「満足」「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえば不満」「不満」が少なくなっている。



④ 市役所職員の質・対応

市役所職員の質・対応は、「どちらかといえば満足」が 31.0%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が 30.5%、「どちらかといえば不満」が 11.1%、「わからない」が 9.5%、「満足」が 8.0%、「不満」が 6.1%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 39.0%となっている。

性別にみると、男性は「どちらかといえば満足」が、女性は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 40.8%、女性は 37.6%となっている。

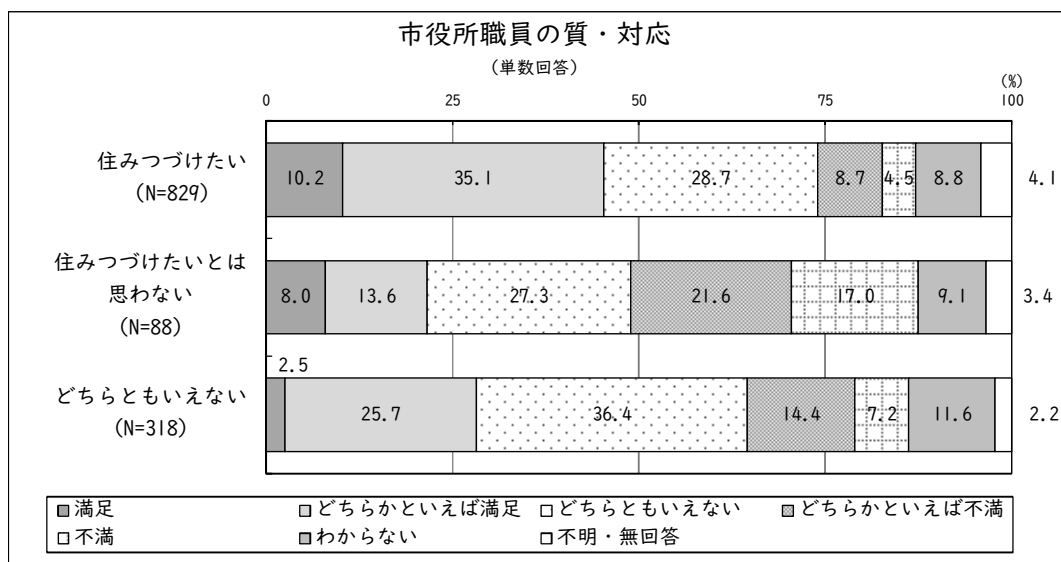
年代別にみると、20 歳代以下、50 歳代、60 歳代では「どちらともいえない」が、他の年代では「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 42.9%、以下、30 歳代で 40.4%、60 歳代で 37.9%と続いている。50 歳代では「どちらかといえば不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、土山地域では「どちらともいえない」が、他の地域では「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 42.5%、以下、甲南地域で 40.0%、甲賀地域で 38.3%、信楽地域で 35.2%、土山地域で 28.8%と続いている。

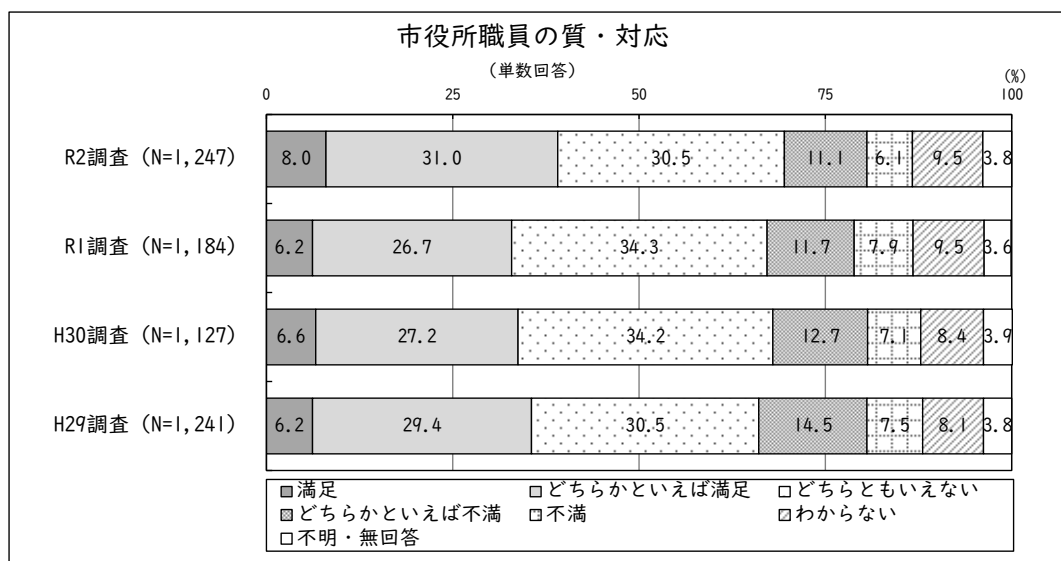
甲賀市の居住歴別にみると、10 年未満では「どちらかといえば満足」が、10 年以上では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 52.5%、以下、3 年～10 年未満で 44.0%、10 年以上で 38.4%と続いている。3 年未満では「満足」が多くなっている。



定住意向別にみると、住みつづけたいでは「どちらかといえば満足」が、他の定住意向では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 45.3%、以下、どちらともいえないで 28.2%、住みつづけたいとは思わないで 21.6%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



⑤ 市政への住民参画のしやすさ

市政への住民参画のしやすさは、「どちらともいえない」が45.2%で最も多くなっており、以下、「わからない」が20.0%、「どちらかといえば満足」が12.8%、「どちらかといえば不満」が9.8%、「不満」が4.5%、「満足」が2.6%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は15.4%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は15.4%、女性は15.5%となっている。

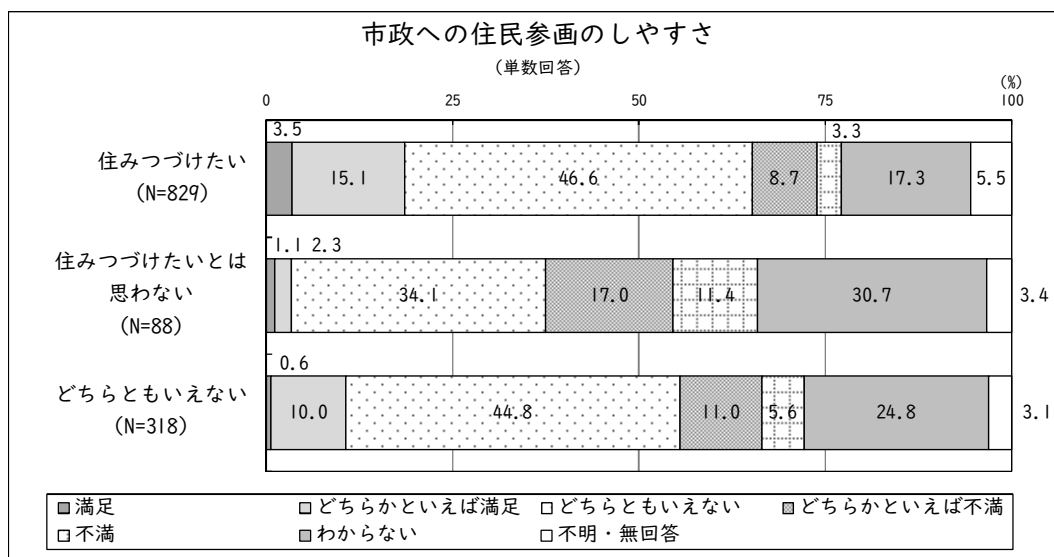
年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で18.2%、以下、70歳以上で18.1%、50歳代で17.6%、30歳代で15.6%、と続いている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲南地域で19.0%、以下、水口地域で15.7%、土山地域で13.6%、信楽地域で12.5%、甲賀地域で12.4%と続いている。

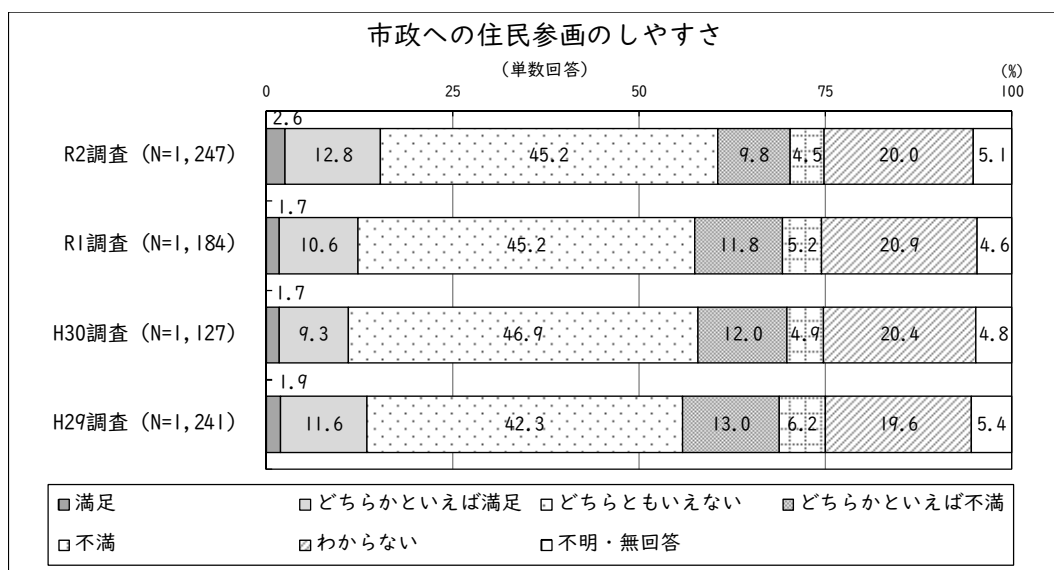
甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは10年以上で15.9%、以下、3年未満で15.0%、3年～10年未満で12.0%と続いている。3年未満で「どちらかといえば満足」が少なくなっている。



定住意向別にみると、住みつづけたいでは「どちらかといえば満足」が、他の定住意向では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 45.3%、以下、どちらともいえないで 28.2%、住みつづけたいとは思わないで 21.6%と続いている。



平成 29 年度調査からの推移をみると、「どちらかといえば不満」が少なくなっている。



(8) これからの4年間で重点的に取り組むべき施策

《問 14》 あなたは、これからの4年間で重点的に取り組むべき施策は、どのようなことだとお考えになりますか。各分野より1つずつ選択してください。

① 子育て・教育

子育て・教育は、「子育てにかかる学費、医療費などの経済的負担」が36.5%で最も多くなっており、以下、「地域産業や文化等への理解を深める「ふるさと教育」の推進」が10.7%、「保育人材の確保や保育士の処遇改善」が9.1%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「子育てにかかる学費、医療費などの経済的負担」が最も多くなっている。

年代別にみると、すべての年代において「子育てにかかる学費、医療費などの経済的負担」が最も多くなっている。50歳代では「保育人材の確保や保育士の処遇改善」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「子育てにかかる学費、医療費などの経済的負担」が最も多くなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「子育てにかかる学費、医療費などの経済的負担」が最も多くなっている。3年未満では「ものづくり」の魅力を伝えるための職場体験が多くなっている。



② 福祉・介護

福祉・介護は、「介護人材の確保と就労環境の改善」が 39.7%で最も多くなっており、以下、「健康寿命延伸に向けた高齢者の「健康づくり」への取り組み」が 19.4%、「ICT 施策(情報通信技術)を活用した自動運転や買物支援などの取り組み」が 16.4%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「介護人材の確保と就労環境の改善」が最も多くなっている。

年代別にみると、すべての年代において「介護人材の確保と就労環境の改善」が最も多くなっている。年代が高くなるほど「健康寿命延伸に向けた高齢者の「健康づくり」への取り組み」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「介護人材の確保と就労環境の改善」が最も多くなっている。甲賀地域では「健康寿命延伸に向けた高齢者の「健康づくり」への取り組み」が多くなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「介護人材の確保と就労環境の改善」が最も多くなっている。居住歴が長くなるほど「健康寿命延伸に向けた高齢者の「健康づくり」への取り組み」が多く、「障がい者や高齢者が農業分野で活躍する「農福連携」の取り組み」が少なくなっている。



③ 地域経済

地域経済は、「JR 草津線の利便性向上」が 18.7%で最も多くなっており、以下、「コミュニティバス・コミタクの利便性向上」が16.2%、「空き家、空き地などの活用に向けた支援」が14.0%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「JR 草津線の利便性向上」が最も多くなっている。男性は「名神名阪連絡道路などの高規格道路の整備」が、女性は「コミュニティバス・コミタクの利便性向上」が多くなっている。

年代別にみると、60 歳代では「空き家、空き地などの活用に向けた支援」が、70 歳以上では「コミュニティバス・コミタクの利便性向上」が、他の年代では「JR 草津線の利便性向上」が最も多くなっている。20 歳代以下は「テレワークなど、企業に対する「多様な働き方」への支援」が多くなっている。30 歳代、40 歳代は「通学路整備などの交通安全対策」が多くなっている。

居住地域別にみると、土山地域、信楽地域では「空き家、空き地などの活用に向けた支援」が、他の地域では「JR 草津線の利便性向上」が最も多くなっている。土山地域は「忍者や信楽焼などを活用した観光振興」「通学路整備などの交通安全対策」が少なく、信楽地域は「忍者や信楽焼などを活用した観光振興」「信楽高原鉄道や近江鉄道の存続に向けた支援、対策検討」が多くなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「JR 草津線の利便性向上」が最も多くなっている。10 年未満では「コミュニティバス・コミタクの利便性向上」が少なく、「通学路整備などの交通安全対策」が多くなっている。

